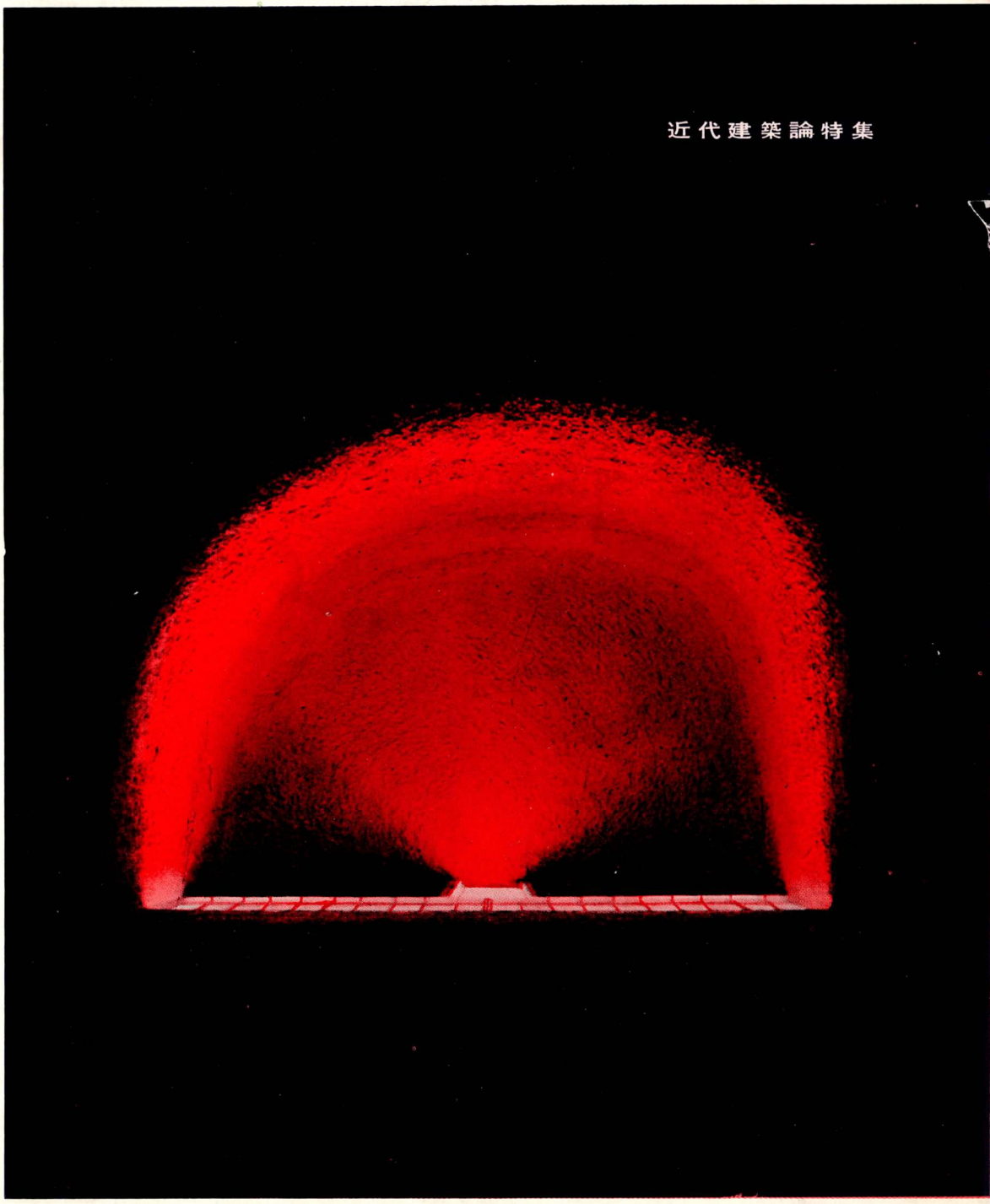
昭和２４年３月１９日第３種郵便物認可　昭和３５年10月２０日印刷　昭和３５年10月２５日発行　第４１輯第10号　（毎月１回２５日発行）

建築と社会

1960 10

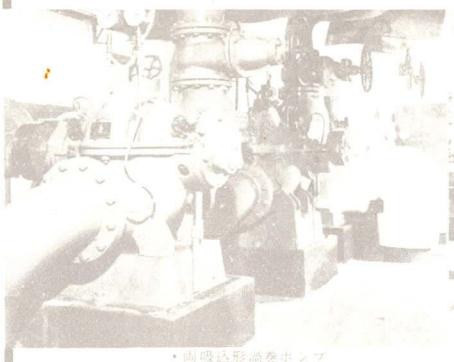
日本建築協会

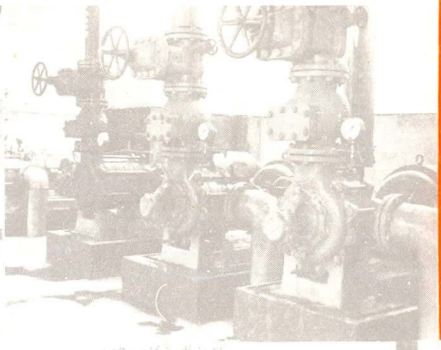
the architectural association of japan



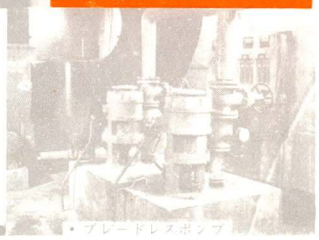
近代建築の機能を生かす！

建築の設備とこれを生かすそれぞれの機器は近代建築美に調和した設計と機能を備えねばなりません。
日立製作所では、ビルディングに不可欠の各種ポンプを、多年の経験を生かして製作し各方面から絶大な称賛を博しております。


・両吸込形渦巻ポンプ


・タービンポンプ

建築設備用
日立ポンプ


・ブレードレスポンプ

ＯＶ型渦巻ポンプ
ＤＶ型両吸込渦巻ポンプ
ＧＭＣ型タービンポンプ
モートルポンプ
汚物用ブレードレスポルプ
水中モートルポンプ
ボアホールポンプ

創業５０周年 **日立製作所**

TRADE MARK



DOG

メンブレン式防水

の補強材料は30余年の経厂を誇る

ドック印で!!

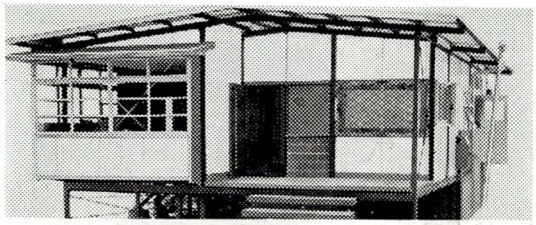
ドッグ印　アスファルトルーフィング
〃　アスファルトフエルト
〃　石綿ルーフィング
〃　砂付ルーフィング
〃　メルタイトルーフィング
〃　キンマレアタイト（高級瀝青金麻布）
〃　ヘッシャンファブリック（瀝青黄麻布）
〃　コットンファブリック（瀝青綿布）
〃　白麻ファブリック（瀝青苧麻布）
〃　ゲオンタイト（伸縮目地板）

地下鉄道、高架鉄道の如き激しい震動箇所でも弊社製品は完璧の防水効果を発揮して居ります

型録・見本・仕様書御報呈上

株式会社 工英社

本社・工場　大阪市西成区橘通９丁目24番地　電話天下茶屋㊿8861・8862番



アートボンド



米国ＵＳラバー社との
技術提携による
ビニールと金属との積層板

素晴らしい色、ソフトな感じ、しかも耐久性と加工性に富んだ金属板―**アートボンド**が誕生しました。

自由な色や柄をプリントしたビニールフイルムを特殊な方法で強力に鉄板又はアルミ板に接着した、美しい金属板です

アートボンドは建築用、船舶用、自動車、車輛用、工業用、電器用、雑貨用と利用範囲が極めて広く、各方面から多大の期待を集めています。

社名変更・本社移転御通知

社名　(新)八幡エコンスチール株式会社
　　(旧)中之島製鋼株式会社
本社　東京都中央区日本橋江戸橋3丁目2
　　(第２丸善ビル４階)
10月までは本社業務は大阪工場で行います

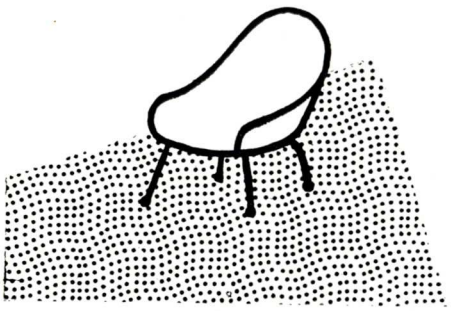
主要製品

軽量形鋼　エコンシートパイル
デツキプレート　ガードレール
サツシバー　サツシフレーム
電縫鋼管　アートボンド

八幡エコンスチール株式会社
大阪工場　大阪市東区弁天町４　電代表(94)5031・6031
東京工場　東京都足立区千住関屋町38　電(881)6141-4
東京事務所　東京都中央区西八丁堀4-10　電(551)1515-6

八幡製鐵株式会社

皆様の設計と施工に**東洋**の床材



リノリューム
リノタイル
ビニール系新製品
ビニラートタイル
ビニール製
スポンジシート

◇ソフトな感触
◇優秀な耐久力
◇美しい色彩

カタログ進呈

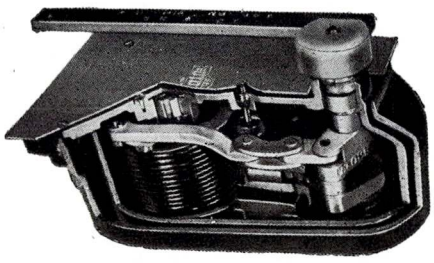
東洋リノリューム株式会社

本社工場　兵庫県伊丹市伊丹５５８
　　電話 伊丹 代表3531・大阪㊽4490
東京支店　東京都中央区銀座４　三和ビル
　　電話 (561) １７０１・２５６４
大阪事務所　大阪市東区瓦町２　三和ビル
　　電話 (23)　０３７５～０３７９

S.K

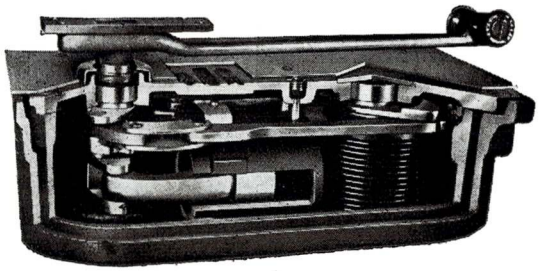
近代人の感覚にマッチする

ユートピア印

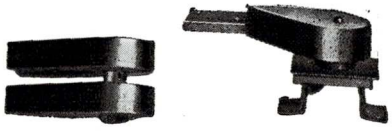


（片開持出吊り型）

フロアーヒンヂ　ピボットヒンヂ



（中心吊自由開型）



（ピボット・ヒンヂ持出し吊り型）

（カタログ御入用の節は御申込下さい）

製造元

敷島金物株式会社

布施市横沼町1丁目46番地　電話　布施(72)839・7713番
東京都千代田区神田三崎町2ノ26　電話　東京(301)0403

特　許

平川-MPボイラ

煙管式ボイラの「革命兒」現る！

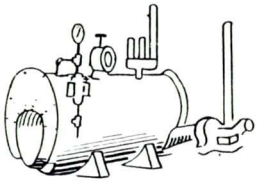
大阪府立工業奨励館

公式試験成績

汽缶効率 **81.2%**

石炭焚にて

排ガス温度 197°C



経費節減 **527万円の利益を生む**

☆高性能・輻射型
☆石炭・オイル・ガス焚
☆1年間(7200時間)の燃料節約額

7′×30′ランカシヤボイラと比較して

527万円益

（但し E.E.2000kg/hr.
6000カロリー石炭6000円/屯
1日24時間1月25日として）

◁営業科目▷　平川～水管ボイラ、平川～機関車型ボイラ
平川～竪型ボイラ、外ボイラ全般・輸送機械

株式會社 平川鉄工所

本社・工場　大阪市大淀区大仁西2の1　電話福島㊽1975－8
東京営業所　東京都中央区八重州6の7　電話(281)5883・7787－8
九州出張所　福岡県小倉市富野545　電　話　小倉Ⅰ㊽362

あなたの忠実な…

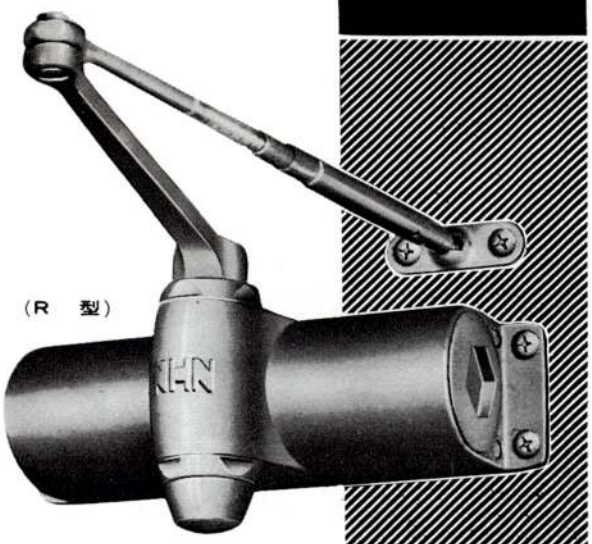
ドアーボーイ！

NHN

＊紫綬褒章に輝く＊

日・米・英・独，各国特許

ニッカナ ドアーチエック



（R 型）

日本金具製作所

製造元 ダイハツ工業株式會社

型状優美
故障絶無

錆びない

岩住の

サッシ・ドアー

弊社製品の総てに

尼崎新工場稼動

オートメーションに依る ボンデライトを
錆止メ塗装は 焼付塗装を
実施致しまして 完全防錆を
期しています 是非御採用の程願上ます

株式会社 岩住鐵工所

本社及本社工場 大阪市西淀川区千舟東二丁目三一番地 電話（47）代表 5123・3000
尼崎工場 尼崎市守部字下河原一五番地 電話（40）3 7 7 4

最高水準を行く

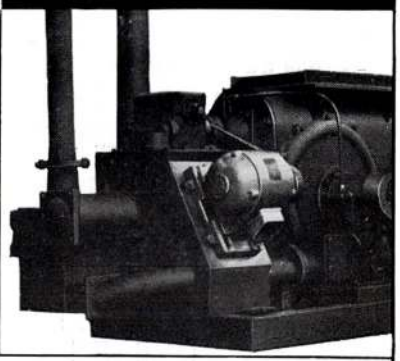
サンレー 重油は
全自動 ロータリー
重油バーナー



サンヒート 軽油は
全自動 ガンタイプ
軽油バーナー



サンレー 石炭は
全自動 ニューマチック
スプレッダー **ストーカー**



NIKKYO
日共冷熱機材株式会社

本社 大阪市大淀区天神橋筋六丁目五（天六阪急ビル）
電話 大阪 ㊺ 代表 1476（直通）7071（交換）

東京出張所 東京都千代田区神田神保町1丁目
電話 東京 (291) 2718

最も進歩した建築には最も進歩した床材

ビニアスタイル
（2粍厚）

新製品



K－タイル
（1·5粍厚）

アスタイル

藤森建材株式会社

本社 東京都中央区日本橋通1ノ2（大倉ビル）
電話 東京 (271) 6432～5
大阪出張所 大阪市西区土佐堀通1－1（大同生命ビル内）
電話 大阪 ㊹ 9417～8·8461～4
九州出張所 福岡市薬院大通2－73 電話 福岡 ④1945·⑤3473



最新の設備
優秀な製品

三和シヤッター

甲種・乙種防火シヤッター
電動式・手動式・スプリング式
其他のシヤッター全般

三和シヤッター株式会社

本　店　尼崎市久々知字コエ二三　電　話　代表（40）５３４１

札幌支店	札幌市琴似町琴似５２２	電話（５）６８７３ （３）７４３８
東北支店	仙台市土樋１１２	電話（３）３２９６
秋田営業所	秋田市横山虎ノ口外張新町９	電話　２７８３
東京支店	東京都新宿区新宿１丁目６０	電話（341）　2478 9678
神奈川営業所	横浜市中区安川町１丁目６	電話（３）８０２３
郡馬営業所	高崎市通町４９	電話　５７５５
栃木営業所	宇都宮市東塙田町１９８	電話　５３７４
甲府営業所	甲府市紅梅町２１	電話　２４４２
名古屋支店	名古屋市中村区広井町２丁目46八洲ビル	電話（54）２８４６
静岡営業所	静岡市音羽町１８８	電話（３）２８４６
大阪支店	尼崎市久々知字コエ２３	電話代表(40)５３４１
新潟営業所	新潟市春日町西二丁目	電話　（３）１４４３
長野営業所	長野市書科町７３９	電話　（２）５２９２
金沢営業所	金沢市上胡桃町３６	電話　（２）１３８７
彦根営業所	彦根市四番町　８８	電話　２０５３
神戸営業所	神戸市長田区菅原通３丁目１９６	電話　（５）９４５１
高松営業所	高松市塩上町８０９	電話　（３）４２９０
九州支店	福岡市渡辺通５丁目９２	電話　（５）５１８１
別府営業所	別府市松原通２丁目	電話　３　２　４
佐世保営業所	佐世保市島瀬町１４０	電話　５　５　１３
熊本営業所	熊本市東外坪井町７３	電話　（２）８９３
鹿児島営業所	鹿児島市平野町１１９	電話　（２）６７６２

社団法人

日本サッシ協会

関西支部賛助会員

スチールシャッター

日本シャッター製作所
小俣製作所大阪支店
鈴木シヤタア商会
本田工業株式会社

錠前

谷山製作所
昭和金属工業株式会社

サッシ附属金物

近松金物株式会社

ドアー附属その他建築金物

石倉商店
渋谷幸雄商店
日本ドアーチェック製造(株)
平安伸銅工業株式会社
協同金属工業株式会社

サッシバー

加納鉄鋼株式会社大阪支店
東都実業株式会社大阪出張所
東鋼商事株式会社大阪営業所
西村金属株式会社大阪出張所

サッシ・ドアー製造用諸機械

関西鉄工所

パーカー

日本パーカライジング
株式会社大阪出張所



明るさと豪華さが

現代の機能美をつくる

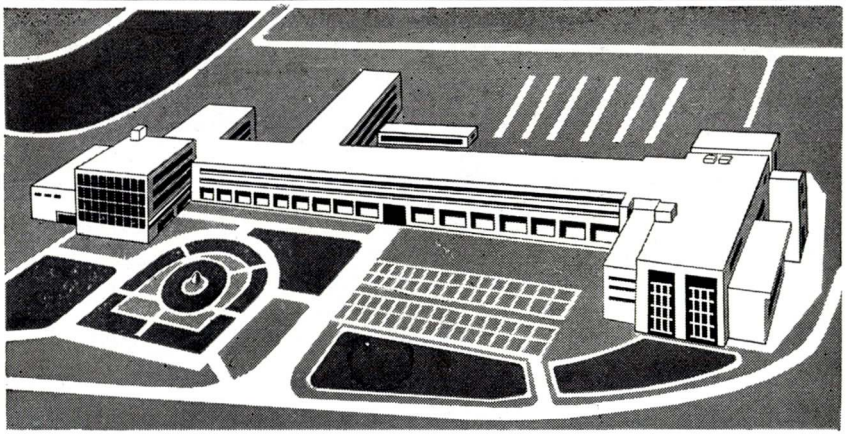
テンパライト・ドアは●透明で明るい●スマートなデザイン●半永久的な耐久力などの特長をもち，あらゆる建築につかわれてすばらしい効果をあげております

テンパライト・ドア

旭硝子株式会社

本社 東京丸の内(明治生命館)

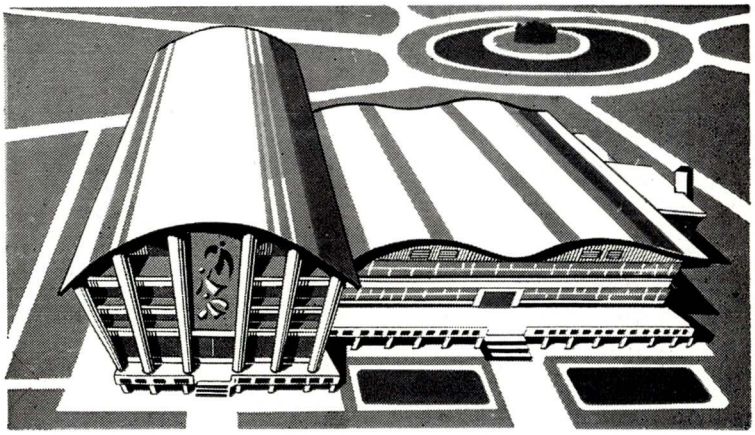
支店 東京・大阪・小倉・名古屋・小樽



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　シールセメント



日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL(271)7000・5463～5
営業所及東京工場　東京都荒川区尾久町6—101
　　TEL(807)代表016 1～5

大阪営業所及大阪工場
　　大阪市東淀川区堀上通り3—39
　　TEL(39)0924～5・2045・2079

東陶の衛生陶器と付属金具

L-92 に代る

L-220

オパール



ビル・アパートはもとより一般住宅

にも御採用頂けるよう寸法や価格の点では従来最もよく

Toyotoki 御愛用頂いていた製品L－92を基準として考慮いたしました。

定　価

陶　器(1級)L 220 ¥ 2,750

金　具(Toyotoki印)

立水栓 T205Y
@¥ 600 (2個) ¥ 1,200

止水栓 T4AY
@¥ 670 (2個) ¥ 1,340

排水金具 T6P ¥ 1,210

バックハンガ
取付木ネジTL220D ¥ 200

計 ¥ 6,700

参考定価

陶　器(並級)L 220 ¥ 2,200

金　具(TTK印)

立水栓 K205Y
@¥ 510 (2個) ¥ 1,020

止水栓 K4AY
@¥ 570 (2個) ¥ 1,140

排水金具 K6PC ¥ 1,030

東洋陶器株式会社

本　社
小倉市篠崎町458　TEL ⑤ 2481～5

大阪営業所　大阪市東区高麗橋5—32　TEL ㉓ 4518～9

各地営業所　東京・名古屋・小倉・広島・高松・札幌・仙台・富山　TEL 2105～8

茅ヶ崎工場
神奈川県茅ヶ崎市

明るい
モダンリビングに

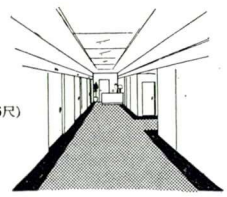
ビニール建材

K 川口ゴム

全国有名内装工事店に御照会下さい。

ロンリウム

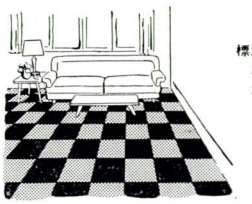
品質随一と定評ある
丈夫な 塩ビ床張材です



標準規格
厚さ 2.5㎜
巾 183㎝(6尺)
長さ 27.45m
(15坪巻)

ロンタイル

あらゆる床にマッチする
品質最高の美しいフロアータイル



標準規格
厚さ 2㎜
30.3㎝角
(1尺角)

- 強い耐久力
- 美しい色彩
- ソフトな感触
- 水洗のきく完全耐水
- 比類なき耐薬品性
- 安全な耐電及防火性
- 常に清潔で経済的

川口ゴム工業株式会社

本社工場　東京都葛飾区本田四ッ木町54
電話 葛飾 (691) 代表 1946

神田営業所　東京都千代田区神田鍛治町2-16
電話 東京 (291) 0003～4

大阪営業所　大阪市南区北炭屋町33
電話 大阪 (27) 4358～9

透明・不透明
艶消し・曇り
模様板各種

防火建築には
網　入
(通産大臣賞)

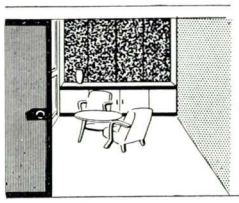
採光用屋根
間仕切・窓
等に好適な硬質塩ビガラス



ロンプレート (各種波板・平板)

ニューロンプレート (トタン小波普及品)

ロンガラス (透明・半透明平板)



標準規格
巾 96㎝
(3.17尺)
長 1.8m
(5坪巻)
単色・二色
フラノ

簡単に貼れて水拭き出来る
最も進んだ壁・腰貼材です。

ロンフイックス
(実用新案登録第469550号)

通常払込料金加入者負担

払込通知票

※口座番号	大阪	十	万	千	百	十	番
			3	9	9	7	5

※加入者名　日本建築協会

※金額	億	千	百	十	万	千	百	十	円

※払込人住所氏名

備考

受付局日附印

（郵政省）

文字は正確明りように、数字はアラビア数字を使つてお書き下さい。

各票の※印欄は払込人において記載して下さい。

通常払込料金加入者負担

払込票

※口座番号	大阪	十	万	千	百	十	番
			3	9	9	7	5

※加入者名　日本建築協会

※金額	億	千	百	十	万	千	百	十	円

※払込人住所氏名

料金	払込	特殊	受付局日附印
	円	円	

備考

（郵政省）

局番号	印

記載事項を訂正した場合は、その箇所に証印して下さい。

各票の記載事項に間違のないことをお確め下さい。

この欄は、加入者あての通信にお使い下さい。

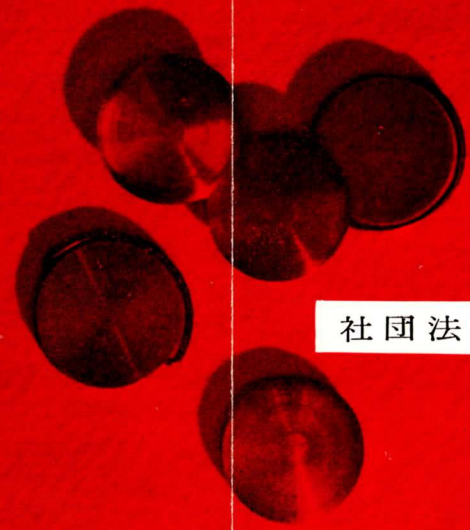
通　信　欄

¥.....円也

会費

自 昭和　　年　　月

至 昭和　　年　　月



社団法人日本建築協会

これからの住宅　観光案内所　学校図書館　公園内に建つ公衆休憩所　駅前に建つポリスボックス

工高生デザインコンクール入選作品図集

■ 新　刊

工高生デザインコンクール入選作品図集・定価300円（会員配布270円)・送料24円・編集工高生デザインコンクール入選作品図集編集委員会・発行所社団法人日本建築協会大阪市東区北浜3—37 電話(23)9648番

内　容

これからの住宅	10点
観光案内所	10〃
学校図書館	12〃
公園内に建つ公衆休憩所	10〃
駅前に建つポリボックス	10〃
原色図版	14点挿入

入選作品の一つ一つの個性を失なうことなくパネルから紙面に巧に移殖されたレアウトは比較的豪華な図集となってでき上っている。本図集は工高生諸君の建築デザイン向上に活用されるのみでなく、その若い新鮮な感覚が広く建築界にも寄与するところ、また少くないものと考える。

＊すべらない
特長をもつ
床材です

プラスタイル“P”の床材でおなじみの田島応用化工がこんどあたらしい特許製品をつくりました。

下駄や靴でもすべらないようなソフトタッチの床材です。12色のヴォリュームのあるデラックスな色彩は必ず色彩調節の面からも十分御満足をいたゞける製品であることを確信します。床材としての科学的性能及び実験上のデーターなど詳しい解説書を用意してありますから是非御研究下さい。

カタログ、技術報告書御請求下さい。（特にソフトンタイルと御指示下さい）

304.8㎜ × 304.8㎜厚 2㎜
一面坪　￥3,700～￥4,000



三星ソフトンタイル

三星ルーフィングの
田島応用化工株式会社

工場・小台営業所・東京都足立区小台町 633　TEL (911) 1181
本社・神田営業所・東京都千代田区神田岩本町13 TEL (866)6148
大阪営業所・大阪市西区京町堀上通1～14　TEL (44) 5951

欧米建築事情視察団出発

本会欧米建築事情視察団出発

かねて編成中の本会の欧米建築事情視察団は，下記会員諸氏の参加を得て諸般の手続も終り，いよいよ10月12日に羽田を出発，エジプト―イタリー―スイス―ドイツ―デンマーク―オランダ―イギリス―フランス―アメリカ―ハワイの巡路で視察し，11月25日東京に帰着いたすことになりました。ここにお知らせ申します。

追って一行の大阪出発は10月11日の第2こだまの予定であります。

団員氏名（略敬称・五十音順）

団　長	青木　友一	（東洋洋瓦株式会社）
	岩崎　　弘	（文部省大阪工事事務所）
	荻野　明一	（株式会社武智工務所）
	荻野八重野	（　　同　　）
	雑賀　孝夫	（雑賀建築設計事務所）
	品川二三男	（品川建築事務所）
	玉置孝太郎	（玉置産業株式会社）
	玉置豊次郎	（大阪工業大学教授）
	藤木　鉄三	（株式会社藤木工務店）
	水島　正男	（株式会社水島商店）
	室谷　山水	（株式会社室谷商店）
副団長	矢野　豊作	（株式会社藤木工務店）
	田井中正弘	（日本交通公社）

委　員　委　嘱

委　員　委　嘱

下記のとおり委員を追加委嘱した。

記

編集委員会委員

太宰　二郎君　（八幡エコンスチールKK）

近代建築調査委員会委員

鳥田　家弘君　（神戸大学教授・工博）

要　望　書　提　出

要　望　書　提　出

現下の状勢に鑑み，大阪府建築士会，大阪建設業協会および本会の3会相計りまして，大阪大学の構築工学科を建築学科と土木学科の両専門学科に分離独立させ，それぞれの学科に講座を増設するとともに収容学生の数をも増加されたい旨の要望書を，3会連名で9月10日大蔵省主計局長宛提出いたしました。ここに会告申しあげます。

茶室見学会
南禅寺の茶室を見る会

金地院の八窓席，慈氏院の看雲席，南禅院の龍淵窟，天授庵の松関，本坊の不識庵

1. **とき**　10月23日（日）午前11時＜集合＞午後4時＜解散＞
1. **集合所**　南禅寺＜京都市左京区南禅寺福井町・金地院山門前・市電東山二条・市バス南禅寺下河原町下車東へ200m＞
1. **申込**　21日までに電話で，定員は30名です。
1. **会費**　250円＜拝観料・抹茶・茶菓代＞
1. **お願い**　昼食を各自携行下さい。集合時間は厳守のこと。
1. **現地解説者**　岡田　孝男氏（岡田建築事務所長）

金地院の八窓の席　＜重要文化財＞

八窓と呼ばれるが，窓は北側に3つ，西側に1つあるにすぎず，床の間廻りの下地窓2つを加えても6つである。何故にまた何年頃から八窓の席と呼んだか，はっきりしない。もとは台目床も中床も無い4帖半の室であったのを，寛永5年頃，小堀遠州によって，今の3帖台目の席に改造されたらしいことも判った。

慈氏院の看雲席

占前畳と踏込畳が本畳で，床前畳と中央畳が台目畳となり，中板を入れて，それに炉を切ってある。天井は複雑に過ぎるが，広縁との取合せを1間3枚の障子としたのは，解放的で明るく，新しい時代の息吹を感ずる。釣棚は一重。

南禅院の龍淵窟

7帖の広間，やや高い竿縁平天井や出書院，釘隠金物を打った長押など，書院風の広間であるが，柱に杉面皮や磨丸太を使い木割もやさしいので，優美な室である。

天授庵の松関の席

山崎の妙喜庵の茶席を写した2帖隅炉の席である。躙（にじ）り口の大きさは妙喜庵のそれと同じく，普通のものより大きく，塗り廻しの床の間下地窓の位置，天井の組合せなどは妙喜庵をよく写している。

本坊の不識庵

4帖半上座床本勝手の席で，茶道口，躙り口，貴人口がつき天井は3帖分が竹竿縁野根板の平天井，残りは竹棰の掛込天井である。

南禅寺茶室を見る会

名古屋の建材工場と
新建築見学会

名古屋の建材工場と新建築見学会

最近増々建築材料として利用される建築用加工板と，エレベータ・エスカレータの工場および新建築などを折込んだ見学会を名古屋市内において下記要項で開催いたします。何卒多数ご参加下さい。

1. **とき**　10月29日（土）午前8時30分―午後5時
1. **集合所**　名古屋電信電話会館前＜名古屋市中区蛭子町・電話㉜6506＞
1. **行程**　29日（土）集合所出発＜8時30分＞→**日本ハードボード工場見学**＜9.00～11.30＞→**中村合板工場見学**＜12.00～14.00＞→**三菱電機工場見学**＜14.40～16.00＞→**名古屋大学豊田講堂―淑徳学園→住宅公団団地見学**→名古屋駅前解散＜17.00＞
1. **申込方法**
22日までに片ハガキに宿泊所＜28日夜＞希望の有無・氏名・勤務先名・住所を記入申込み下さい。但し定員は50名です。
1. **宿泊所斡旋**
28日夜の宿泊所を斡旋します。
名古屋電々会館と電々蛭子寮の2箇所。宿泊と朝食で195円です。
1. **参加者の特典**
28日の宿泊代＜200円＞と29日名古屋→大阪片道の乗車券代＜近鉄特急・準急行券代は含まず＞を補助いたします。
1. **参加者には**
宿泊所，部屋割，その他をお知らせします。

・**お願い**　同業者関係の見学のお申込みはお断りします。

1. **見学会賛助会社**＜順不同＞
株式会社竹中工務店名古屋支店殿・三菱電機株式会社名古屋営業所殿・中村合板株式会社殿・日本ハードボード工業株式会社殿

日本ハードボード工業株式会社……昭和31年6月に中村合板の姉妹会社として設立され，合板の廃材と近県より生ずる小径木の高度利用を目的として現在の名古屋市汐止町に工場を建設した。その後工場の設備拡充整備を数次重ねて昭和33年2月には，ハードボード年産30,000t，33年8月にはインシュレーションボードも年産15,000t生産設備を完了した。製品は最新の機械設備および合理的な生産方式により国際水準のハードボードおよびインシュレーションボードが生産され，建築を始め家具，木工，車両，造船など広い用途に使用されている。

中村合板株式会社……同社は，明治35年創設の中村木材商会が発展したわが国有数の合板製造会社で，その沿革は，昭和14年2月に合板の海外進出および将来性に着目現在地に合板工場を建設した。工場は戦災にあい全かいしたが，戦火治まるとともに再建に努力21年7月より生産を再開した。その後31年11月には，合板の品質改善と生産能率向上のため米国製ロータリーレース，ドイツ製クリッパーの増設と国産優秀機械による生産合理化計画に着手し，ますます輸出に国内向に需用の増大をみている。

姉妹会社として，日本ハードボード工業株式会社，名古屋プライウッド株式会社がある。このたび見学する本社工場は，名古屋市港区木場町6番地にある。

三菱電機株式会社名古屋製作所……昭和12年に東洋一の本格的な試験塔を設けたエレベータ専門工場である。戦災をまぬがれた同工場は昭和29年さらに最新の工作機械を多数設備するとともに工場を倍増し，新型機器の開発，工作技術の向上，生産の増強をはかった。第2次の工場拡張の後には総面積4,500坪の工場設備を有するわが国有数のエレベータ，エスカレータ工場である。

名古屋大学豊田講堂

設　計　槇　文彦
施　工　株式会社竹中工務店
建築地　名古屋市千種区不老町
構　造　鉄筋コンクリート造
規　模　地下1階，地上2階（含中2階）塔屋3階
建築延面積　6,270.22m²
収容人員　1階876席　中2階642席
2階94席　計1,612席
工　期　昭和34年3月24日～35年5月9日

＜参　考＞

往路（28日）の電車時間表（名古屋行）

国　電	大阪	→	名古屋
（準急）比叡	17時20分		19時58分
（〃）伊吹	18時40分		21時05分
			（座席指定）
近　鉄	上六	→	名古屋
	17時		19時27分
	18時		20時27分
	20時		22時28分

帰路（29日）の電車時間表（大阪行）

国　電（準）18時10分		20時35分
		（座席指定）
（〃）19時50分		22時34分
近　鉄	17時25分	19時55分
	18時25分	20時55分
	20時	22時33分

「新しい都市と建築展」開催通知

1. 会　期　10月31日（月）——11月13日（日）
1. 会　場　大阪国際貿易センター
（大阪市北区玉江町2—2）
1. 内　容　都市不燃化と市街地再開発
建築基準法の紹介—建物と火災
新しい防火建材と建築設備
新しい組立ハウス
建築相談所，講演会，説明会
1. 主　催　大阪不燃都市建設促進協議会
近畿六府県建築士会協議会
大阪建設業協会
日本建材協会
日本建築学会近畿支部
日本建築家協会関西支部
本　会
1. 後　援　建設省外関係官公庁，商工会議所，公団，公庫，諸団体，毎日新聞社等

本会後援

第3回全国都市不燃化大阪大会

1. 主　催　大阪不燃都市建設促進協議会
1. 行事予定

11月9日（水）都市不燃化大会
午後1時半—4時　於　大阪朝日会館
同　日　記念講演会
午後4時—5時15分　於　大阪朝日会館
同　日　懇親ビアパーテイ
午後6時—7時半　於　近鉄百貨店アベノ

11月10日（木）　市内見学および建築展観覧
午前9時—12時　貸切バス使用

1. 後　援　建設省外関係官公庁，公団，公庫，団体
参加希望者はもよりの市役所建築課へ申込のこと

冬の桂離宮と修学院離宮見学会

本会恒例の標記離宮見学会を下記要項により催しますから，折返し往復ハガキでお申込み下さい。尚開催日時は宮内庁京都事務所の許可次第お知らせします。

記

(1) 申込方法　申込は往復ハガキに限る　＜往信用＞に　(1)希望離宮名（1カ所に限る）(2)氏名　(3)年令　(4)勤務先および職名　(5)現住所
＜返信用＞に差出人住所氏名を記入のこと。

(2) 参加者の決定　29日までに到着のハガキにより抽せんを行ない，決定人員各離宮共30名を選び参加者に通知する。

(3) 見学予定日　12月3日—12月10日の予定

(注) 桂離宮見学は1級建築士の資格者に限る

新しい都市と建築展

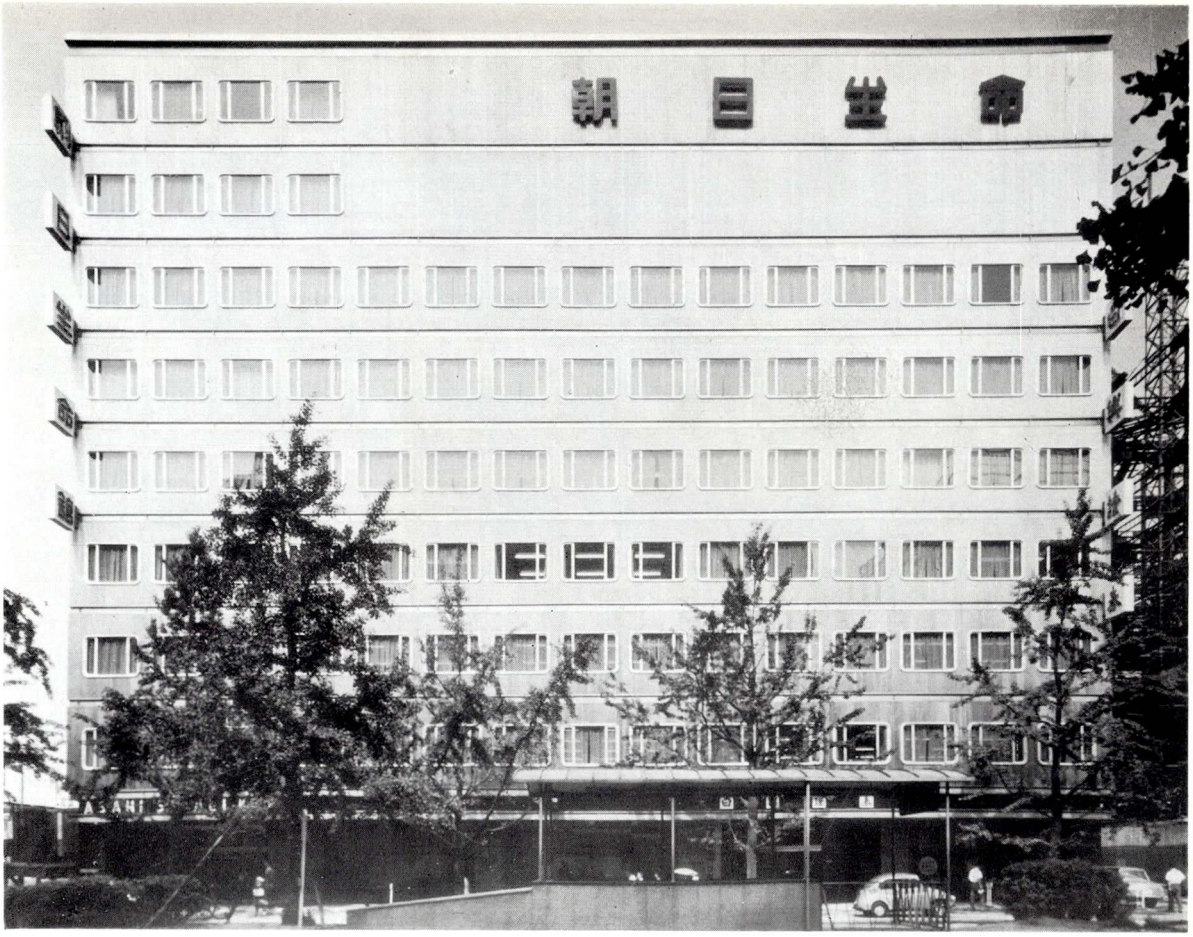
ル・コルビュジェ 大阪展

と　き　1960年11月6日(日)より
1960年12月4日(日)まで
開館午前9時・閉館午後5時　日曜祭日無休

ところ　大阪市立美術館

入場料　一般入場料　〒150
本会会員には割引券（〒120）がありますのでご利用下さい。

主　催　ル・コルビュジェ大阪展実行委員会
委員長　森田　慶一
大阪市立美術館
日本建築学会
日本建築士会連合会
日本建築家協会
日本建材協会
大阪建設業会
総合デザイナー協会
近畿デザイナー協会
世界デザイン会議
日本建築協会



大阪朝日生命館

設計施工　株式会社 竹中工務店

大阪朝日生命館

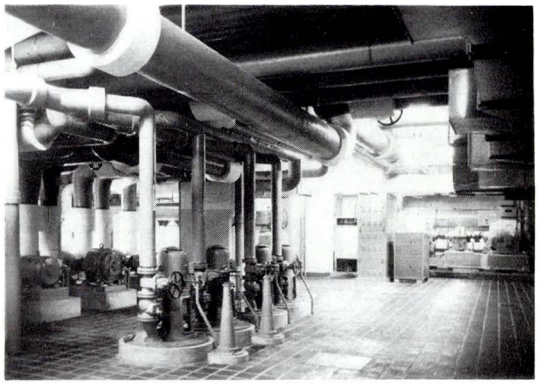


8階講堂



9階クラブ

地下3階機械室



暖冷房工事

三機工業株式会社

大阪朝日生命館



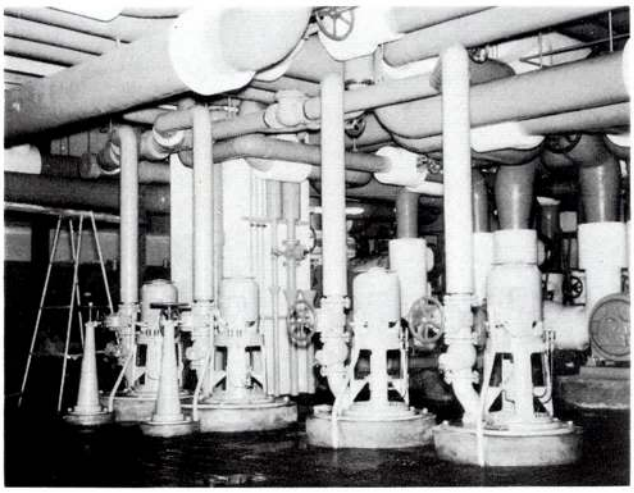
支社長室　リノタイル使用

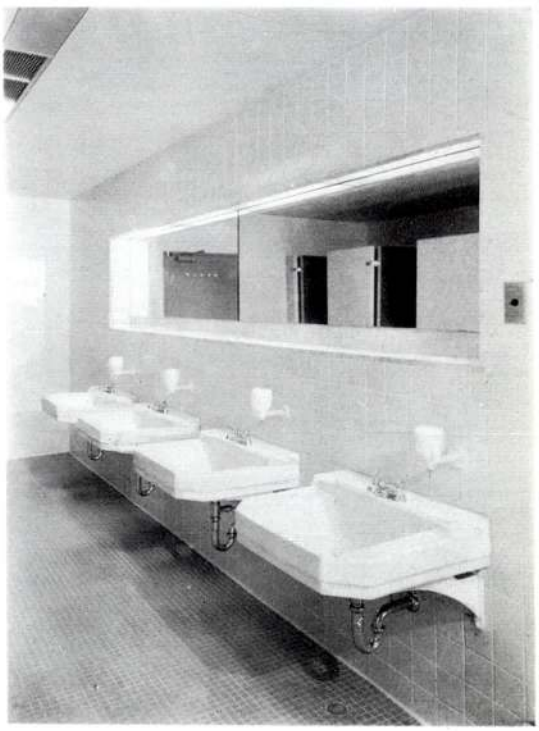
東洋リノリューム株式会社

衛生給排水工事

西原衛生工業所大阪店

地下3階機械室







大阪朝日生命館

外壁は金色アルマイト仕上のアルミスパンドレル貼です

アルミサッシ・アルミ内装・外装工事

日軽アルミニュウム工業株式会社

東京都港区芝新橋3—18　電 東京431-1739・3637・8733

大阪営業所　大阪市南区東清水町12　電　27-1177～8



工場生産による
車輌用の（隅R式）アルミサッシ

ナニワ工機株式会社



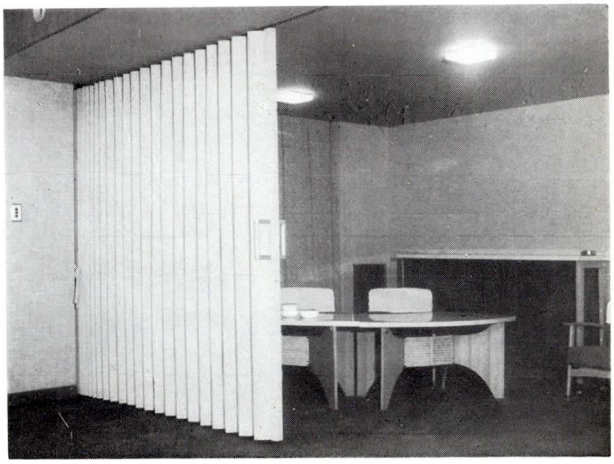


エレベータ工事	東洋オーチスエレベータ株式会社
シャタア工事施工	株式会社　鈴木シヤタア商会
電線管・フロアーダクト コンヂットチューブ 納入	日本パイプ製造株式会社
ガラス工事	株式会社　大阪硝子店

大阪朝日生命館

アコーディオン・ドアー

明装興業株式会社



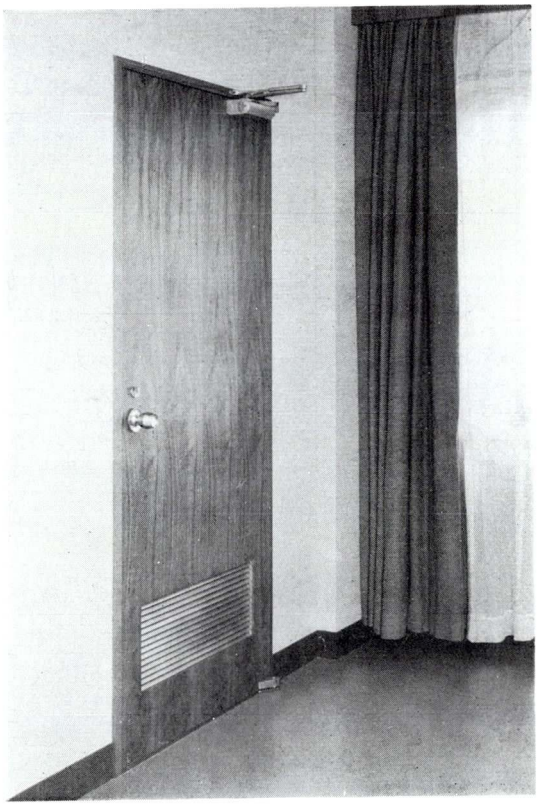


5階・大阪本部役員応接室

家具施工　　大阪　三越

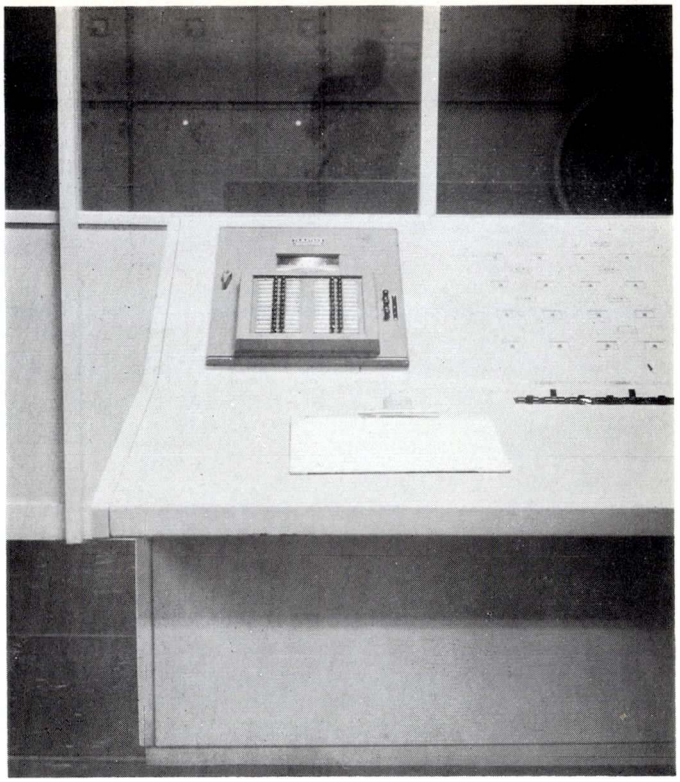
大阪朝日生命館

ニュースター印
ドアーチエック新製品



日本ドァーチエック製造株式会社

大阪朝日生命館



空調用自動調節装置

山武ハネウェル計器株式会社



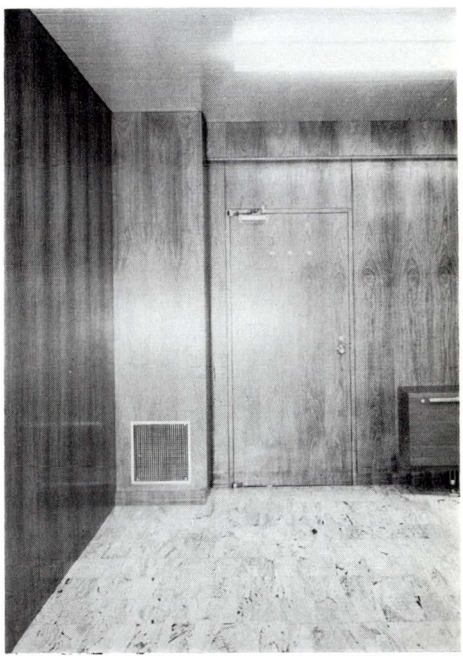
日興証券営業室柱

#91 伊太利産大理石

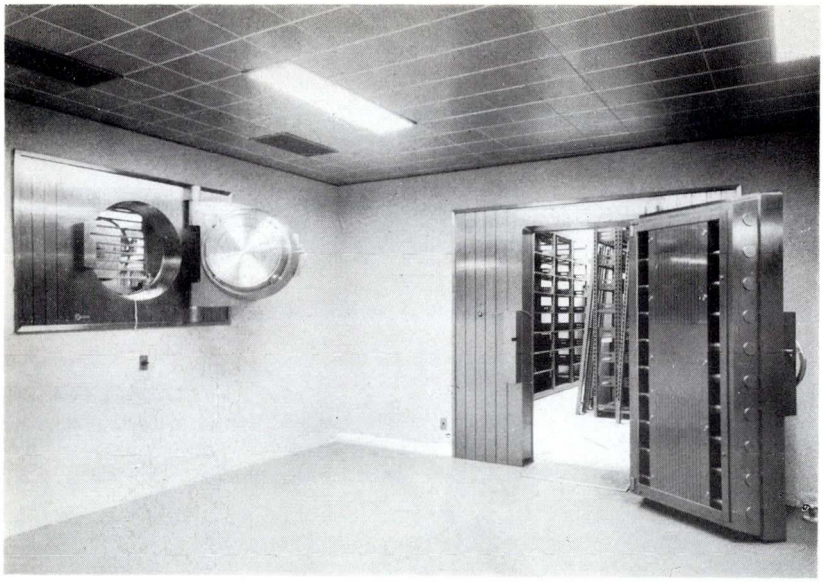
株式会社　矢橋大理石商店

内部造作

内外木材工業株式会社



大阪朝日生命館



金庫室扉・保護預り庫工事

富　士　精　工　株　式　会　社

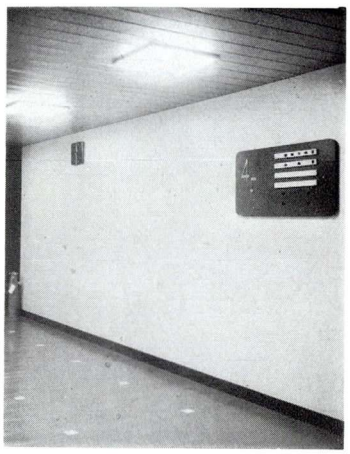
本　　社　石川県能美郡根上町浜ワ100
東京営業所　東京都千代田区神田旭町13番地
大阪出張所　大阪市東区北浜4丁目14
名古屋出張所　名古屋市中区南大津通2丁目13

室内壁面スプレッドサテン
廊下階段室ゾラコート
9、8階劇場練ベリヤ東亜フラットクリヤー仕上げ
2階重役室練ベリヤ東亜フラットクリヤー仕上げ
各階出入口鉄扉東亜ペイントフタル酸樹脂塗装または東亜ラッカー仕上げ
廊下、便所ベニヤ東亜艶消ペンキ叩き仕上げ

株式会社　石渡康三郎塗装店

大阪市阿倍野区播磨町東2－7　電（691）1757～8





建物クリーニングの店

住宅美素工事の創始者

◎ビルディングの洗浄工事
◎建物外塗サンドブラスト工事
◎建物外壁各種吹付工事
◎建物外壁シリコーン防水工事
◎月極め清掃工事
◎木造建築洗浄美素仕上工事

株式会社 **美素工業所**

大阪市東区瓦町二丁目(三和ビル)　電話㉓4938・5888・㊼8050

三星の床材

プラスタイル"P"

(Pタイル)

株式会社　木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話 ㊹ 5408・5486

株式会社　久保商店
大阪市北区真砂町5
電話 ㉞ 0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪営業所
大阪市西区南堀江大通1の19 電話 ㉞ 6161～4

合名会社　利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20(道頓堀電停前)
電話 ㉕ 0471～2・0371 ㉗ 7604
京都営業所　京都市中京区河原町丸川下ル 電話 ㉓ 3277

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話 ㊸ 0137 ㊹ 3286

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話 ⑤ 2697・2140

タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル 電話 ㉞ 4468

岡田建材株式会社
名古屋市西区西菊井町2ノ12 電話㊸0121・2057

株式会社　名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2 電話㉔1329・2106・2817

日東物産株式会社
本社・名古屋中区東瓦町39 電話 ㉔ 6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27 電話③2201・2360

青盛建材株式会社
本社・広島市鉄砲町108 電話 ② 2281～4
岡山・岡山市東田町3 電話②7911・8169
福岡・福岡市万行寺前町14 電話 ③ 1225～6

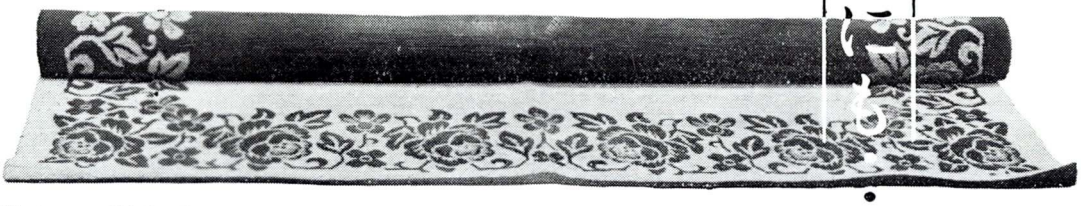
関西三星タイル会員

Toray
Reg. Trade Mark
東洋レーヨン株式会社

美しい
花園をお部屋にも……

丈夫で弾力性に富み、ホコリがたたないので大へん衛生的です。
お部屋の雰囲気にマッチしたカーペットをお選びいただくため、あらゆる色柄を豊富に準備いたしております。室内に豪華な感覚と新鮮で楽しい雰囲気を漂わす東レ・カーペットをぜひお試し下さい

東レ カーペット
二重織・銀鈴織・富士織・三重織・装美織
・額縁三重織・三美織などがございます
東レ・カーペットのほか、東レ・フラットーヨー使用
ファンシーラッグ(夏の敷物)も好評を頂いております



東レカーペット発売元—(株)辻田文平商店(大阪市住吉区南住吉町4の59)　ファンシーラッグ発売元—丸紅飯田(株)

ビニデラックスは当社の技術陣が久しく鋭意研究を続けて完成した新しい型の合成樹脂ラテックスペイントで，他のラテックスペイントに比べて，多くの優れた性能をもつ品質優秀なアクリル系合成ゴムを主成分とする塗料です。
ビニデラックスの用途は主にコンクリート・モルタル・プラスター面などの塗装に好適な塗料で，建築内外部用塗料として発売以来好評を博しております。

● ビニデラックスの特徴

■ 作業性が非常によい
ハケサバキが非常に軽く，乾燥も普通のエマルジョンペイントより速くて，作業能率がよろしい。

■ 耐久力がよく〝やけ〟がない
アクリル系合成ゴムを主成分とするため，他のラテックスペイントにみられる〝やけ〟がなく，耐久力に優れています。

■ 耐水性・耐水洗性がよい
乾燥塗膜は非常に強靱で撥水性があるため耐水性がよく，特に塗膜が汚れたときには石鹸水で洗うと，たやすくきれいになります。

■ 優雅な光沢ある仕上り
塗面はエマルジョンペイントに見られない優雅な光沢があります。

■ 付着力がよい
コテ仕上のよい平滑な塗面や，ハードプラスター，調合ペイント塗面にもよく付着し，シート状にはげることがありません。

■ 耐薬品性がよい
耐アリカリ性が強く，稀薄な酸にも耐え，又カビが生えません。

● 色見本付カタログご希望の方は当社宣伝課Z係までお申付け下さい。



建築内外部用塗料
ラテックスペイント
ビニデラックス
関西ペイント株式会社
大阪市東区伏見町5丁目

建築と社会

10

近代建築論特集

表紙写真：ロンシャンの教会の塔
内上部を見上げたところ
（撮影：西沢文隆）

建築と社会
第41集・第10号
売価 1部180円・送料共
昭和35年10月20日印刷
昭和35年10月25日発行
発行所 社団法人 日本建築協会
大阪市東区北浜3丁目37
電話 大阪㉙ 9648・9649・9640番
振替口座 大阪39975番
編集人 松井昭光
発行人 沖田誠一
印刷所 株式会社 研文社
大阪市北区堂山町66
電話 ㊱ 2091～3番
印刷者 網野栄

1960年10月号目次

作品作風

大阪朝日生命館……設計：KK竹中工務店設計部…16
施工：KK竹中工務店

建築の眼

担当50音順：木村康彦・近藤正志・隅谷一郎・光安義光…24

本文

ワルテンシュプール「現代建築の諸相」…相川浩・藤本康雄…27
P. Waltenspuhl「現代建築の諸相」を読んで…森田慶一…30
建築三巨匠論……向井正也…32

現代にたいするライト建築の意味……樋口清…36
ミース・ファン・デル・ローエの
二三の作品について……薬師寺厚…39
コルビュジェの変貌……西沢文隆…46

海外の近代建築アンケート……53

◀公共建築関係
ケルン市庁舎……鈴木洋也…54
ストックホルム市庁舎……秀島乾…54
ウッパルタール市営浴場……坂静雄…55
マラカァナ・スタジァム……吉成武…55
アインドーフェン駅本屋……山崎兌…56

◀オフィスビル関係
Republic National Bank of Dallas……伊藤鉱一…56
レバーハウス……小川正…57
レバーハウス……木村幸一郎…57
レバーハウス……東畑謙三…57
ピレリー・ビル……角田榮…58
ピレリー・ビル……山根正次郎…58
ピレリー・ビル……永井賢城…59
ピレリー・ビル……池田宮彦…59
シーグラム・ビル……徳永正三…60
シーグラム・ビル……陶村功…60
ノートン・ビル……長谷川大…61
トレ・ペラスカ……黒川紀章…62
Manufacturers Trust Company……稲田芳郎…63
LORRAINE-ESCAUT……稲垣皎三…63

◀学校建築関係
ブラジル学生寮……近藤正志…64
ウェイン大学記念館……吉原慎一郎…64
メキシコ大学構内の一群の建築……高田秀三…65
Administration Building（メキシコ大学）……中村功…65

◀教会関係
Chapel for M.I.T……桜井清…66
大学の礼拝堂（Otaniemi）……塚本猛次…66
ロンシャンの教会……前川国男…67
パシリカ St pie X……川崎清…67
サグラダ・アアミリア寺院……棚橋諒…68

◀アパート・住宅関係
明日の住宅（プラスチックスの住宅）……亀井勇…68
アルバ・アールトのアパート……大倉三郎…69
ベリンピのアパート……吉家光夫…70

◀会館関係
オールボルグ市民会館……寺島三雄…71
パリユネスコ大会議場……村田政真…72

随想

8年目のホノルル・サンフランシスコ・ロスアンゼルス
……尾崎久助…73

近代建築調査委員会報告10

同志社の明治建築……近藤豊…77

書評

「ヨーロッパの生活と建築」他……鈴木洋也…52

会報（8月分）……81



外観詳細

大阪
朝日生命館

設計　株式会社竹中工務店設計部
設計担当　小川　正
吉木　寿
構造　石田　正
監理　朝日生命保険相互会社不動産部
施工　株式会社竹中工務店

大阪朝日生命館

大阪朝日生命館・設計について

吉木　寿

大阪朝日生命館は，大阪のビジネスセンター御堂筋淀屋橋の南より，高麗橋筋角に計画されたオフィスビルであり，生命保険の支社と証券会社との二社の組織によって占められている。

○基本計画　はじめに商業建築のあり方を検討して，一般市民に直接関係深い建物の性格として内容においても外観においても，それは新鮮にして親近感の溢れたものであってほしい。そして美しい大銀杏並木にふさわしい表現が要求される。金色のアルミと機能的な角丸のサッシ，スティンレスのアーケード，一般に開放される8階のホールとは，私どもの当初よりの基本構想でもあり，なお設計条件を要約すれば

- 将来地下鉄淀屋橋駅に直結しうること
- 1階は全面的に証券会社の営業室に利用する
- 2～7階は一般貸室の形式を取る
- 8，9階に約400人収容の講堂をもつ
- 地下ガレージは30台収容のこと
- 2期に分れる工程に対する計画
- 1期工事に関しては竹中式潜函工法による

○外装　私どもは石貼りタイル貼り，あるいはコンクリートによる表現を強く否定するものでもない。しかし車輛や航空機の高度の技術，および組織より生ずるあの正確なデザインに対しては教えられる点も多い。建築の場においてもマスプロの組織による規格化された工業製品を追求することは施工精度の向上と工期の短縮，ひいては Cost down の手段でもありたい。幸いここに試みえたものは，全面に恒るアルミパネルであり，車輛タイプの角丸のアルミサッシである。蓚酸による金色アルマイトパネルの利用については，メーカーの消化能力ならびに生産技術の限界をみきわめて立案されたものであり，施工技術についても，ここ数年来試みてきた経験に基づくものである。つぎに角丸のアルミサッシについても，空気調整の完備した近代建築における遮音と採光の条件による，快適な室内環境を，確立しうる確信に基づくものであった。そしてこれらの内外の建築表現は，商業建築におけるアドバタイジングバリューにも通ずるのである。

なお，これ等の材質ならびに仕上については，下記のものを採用している。

外装アルミパネル	材質1MT　1.2mm 厚 蓚酸アルマイト　プレス加工
同上ボーダー	材質63S　押出材　蓚酸アルマイト
アルミサッシ	材質A2S5F　硫酸アルマイト 枠材ヘヤライン 280 番仕上 建具(ミラーポリシー)本パフ仕上 スペーサー　天然ゴム黒 戸当り　合成ゴムスポンジ入り

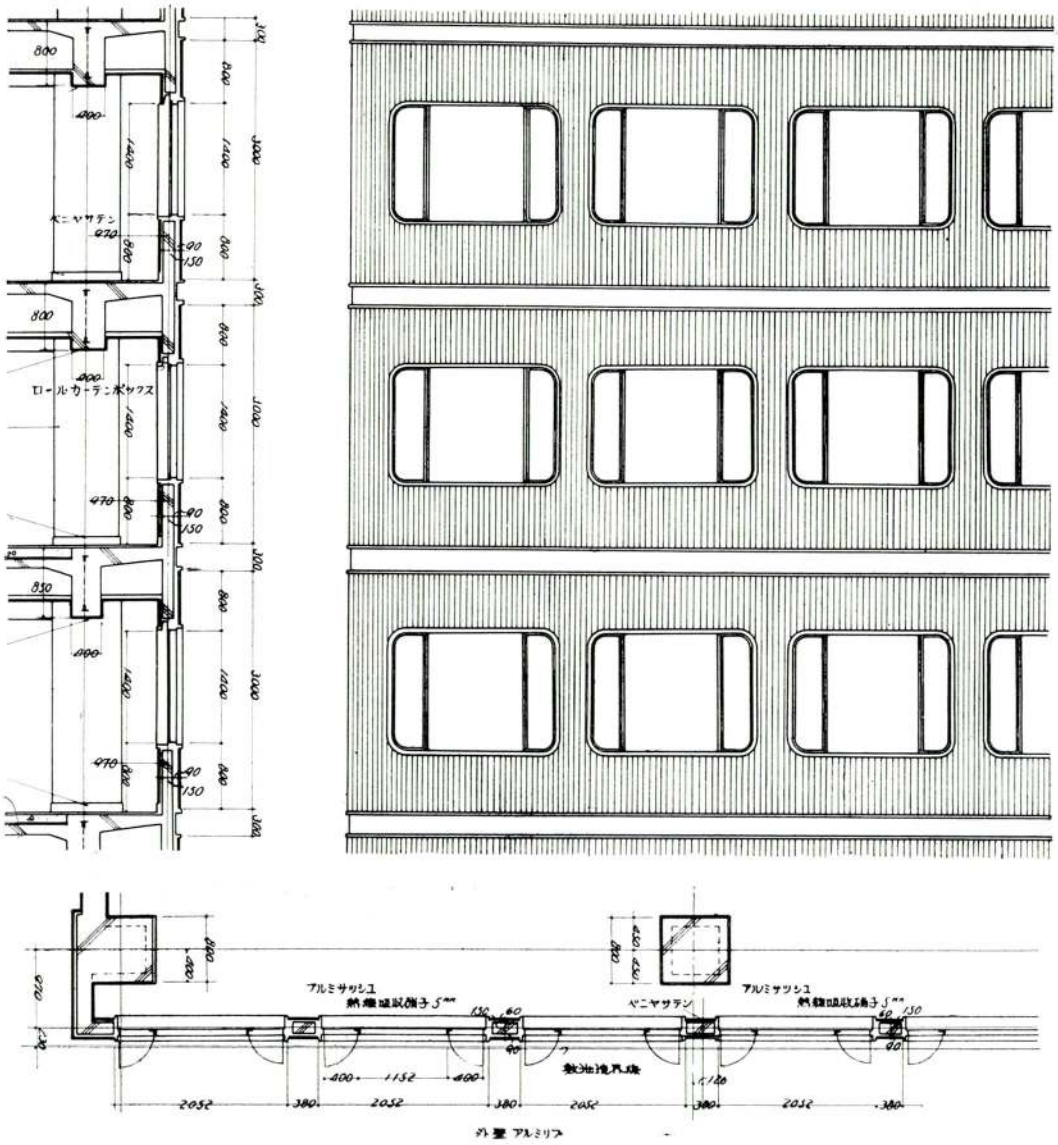
ともあれ，この建築の合理性と機能性と精度の高い工業製品の構成による表現は，社会的共感をえられるべき商業建築のイメージの実現であり，この建築に包含される事業の繁栄と直結する所以である。

（竹中工務店設計部第二課長）

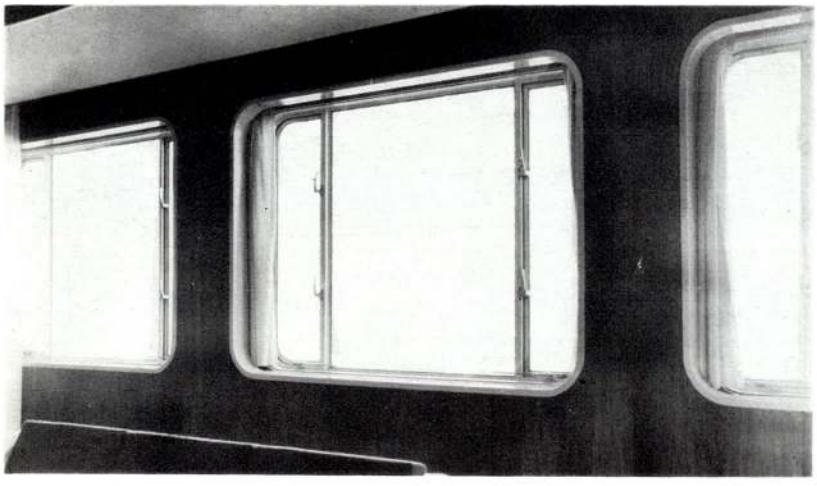
建物の概要

所在地	大阪市東区高麗橋筋5丁目50	
敷地面積	1,901.2m²	576.87坪
建築面積	1,670.60m²	505.35坪
延面積	20,479,78m²	6,194.97坪
階数	地下3階，地上9階，塔屋3階	
高さ	軒高	31.00 m
	塔屋	40.00 m
深さ	基礎下端まで	14.450m
構造	竹中式潜函工法による地下工法 主体構造：鉄骨鉄筋コンクリート造	
外装	屋根：アスファルト防水クリンカータイル貼り 外壁：2階以上　アルマイト加工，アルミリヴプレート 1階　ステンレス・リヴプレート 窓：2階以上　アルミサッシ 1階　ステンレス	
工期	地鎮祭　昭和33年11月26日 竣工 第1期工事　昭和35年7月5日 第2期工事　昭和36年12月末日予定	

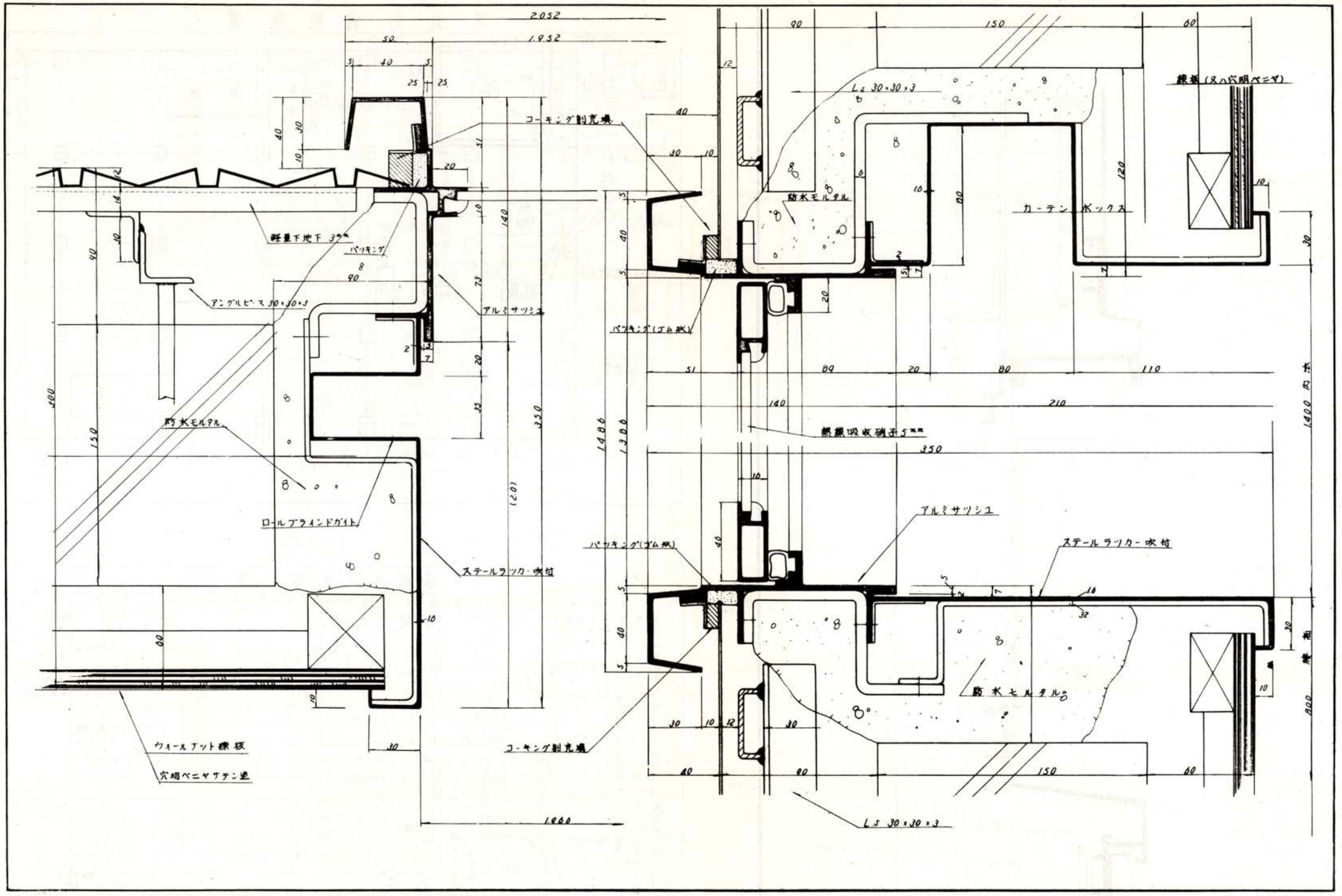




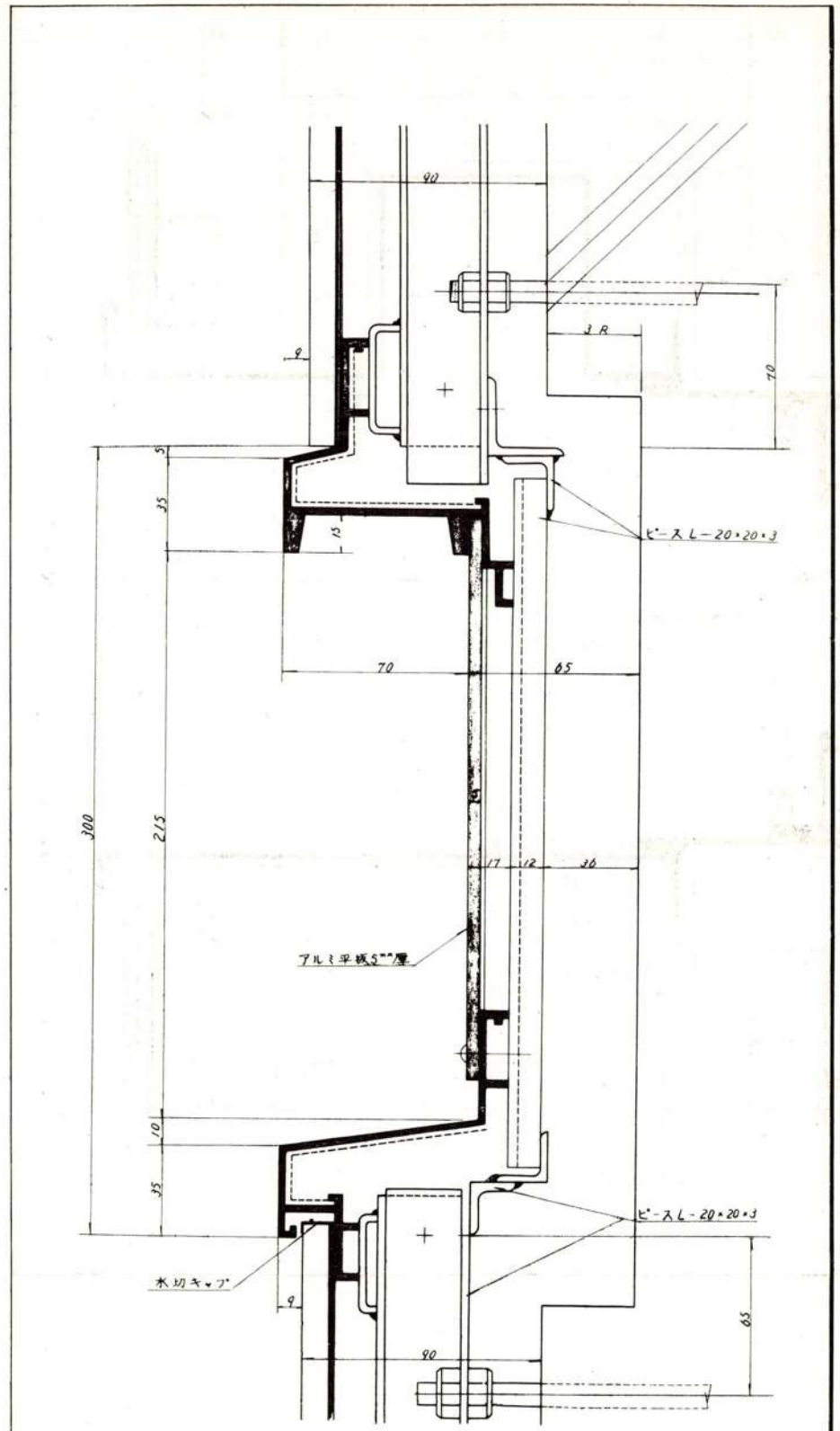
基　準　矩　計　図



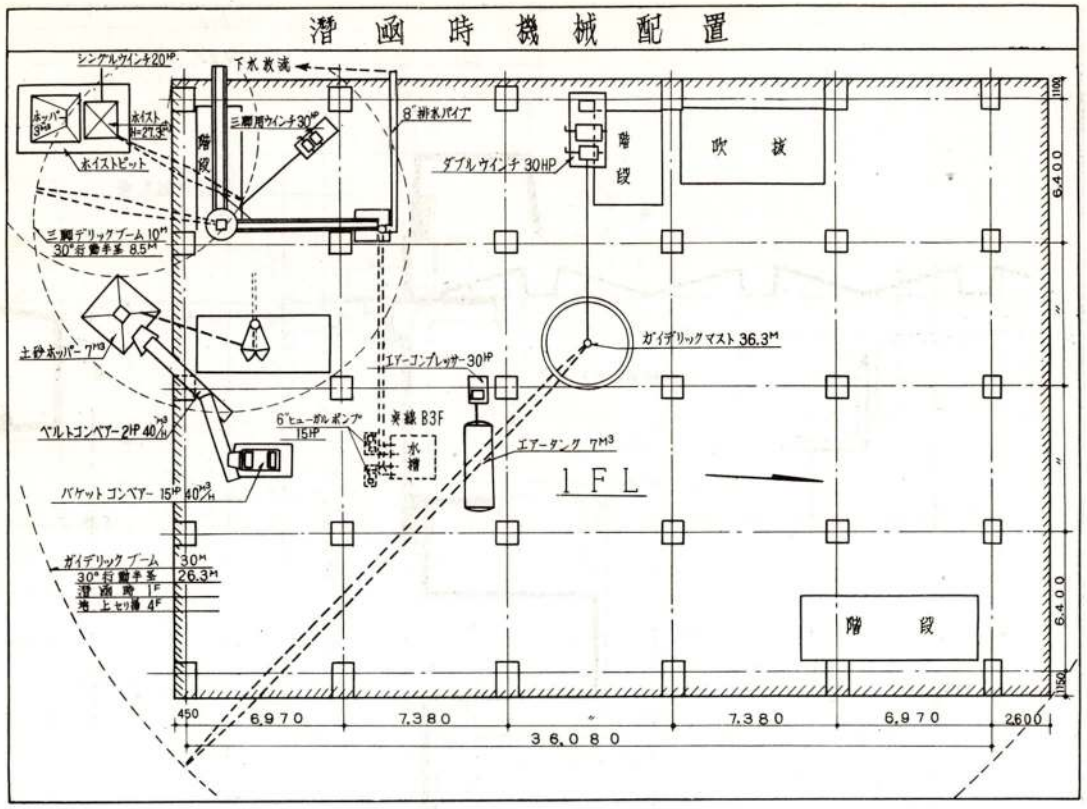
大　阪
朝日生命館



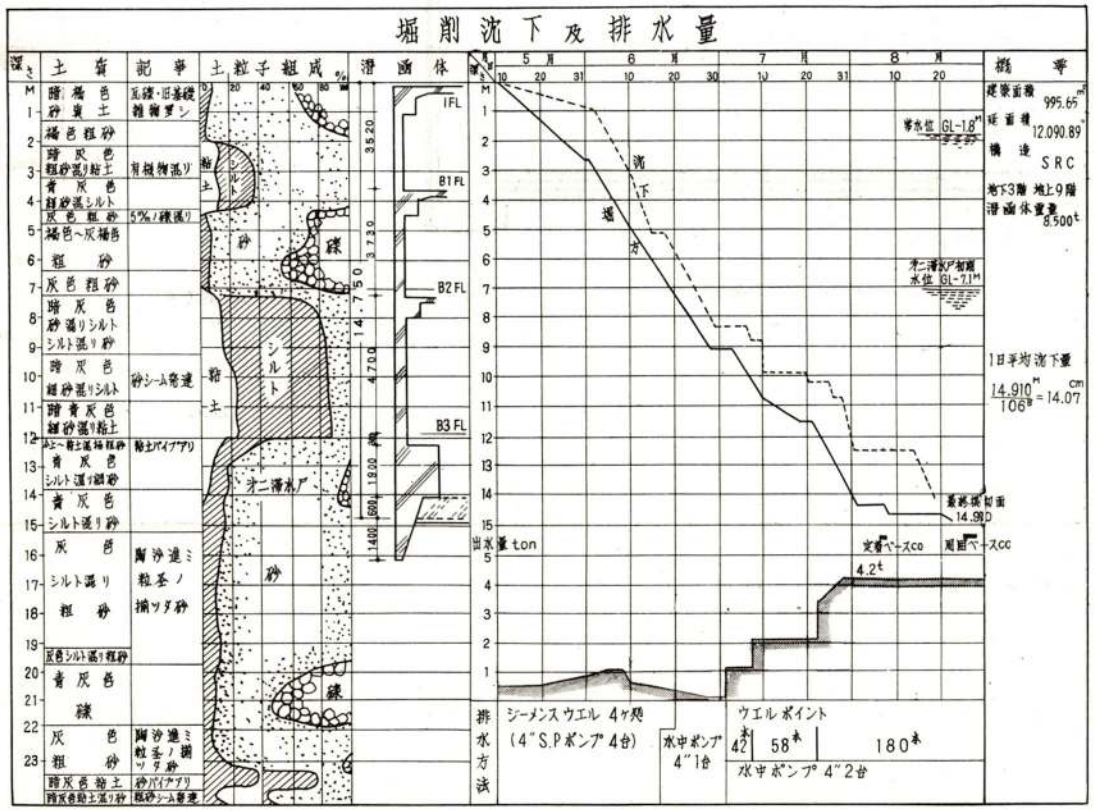
大阪朝日生命館　窓廻り詳細



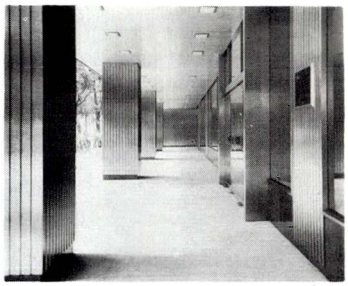
大阪朝日生命館　外装パネルボーダー詳細



大阪朝日生命館



大阪
朝日生命館





アーケード
床　：花崗石挽石貼
巾木：折　壁
腰　：折　壁
柱型および壁面：ステンレスリヴ 1.5mm
天井：アルミモルディング 1.0mm

玄関ホール　床　：花崗石挽石貼
巾木：大理石銀星
壁　：アルミ押出材 2.5mm
天井：アルミリヴ 1.0mm

大阪朝日生命館新築工事を担当して

工事主任　水本　稔

大阪の南北を貫く主動脈，御堂筋西側に面して，高麗橋との角に位置する大阪朝日生命館は，去る7日5日その一期工事を完成いたしました。

当ビルが一般の注目を集めた主たる原因は

1) 地下部分の主体工事は，竹中式潜函工法によって施工された。

2) ビルの外装が全面的にあまり例のない，金色のアルミニューム（蓚酸アルマイト加工）仕上により施工され，窓は完全エアータイトによる車輛用の角丸のアルミサッシが使用された。

3) 金色に輝く，リブラインとシルバーのアールの窓が，特異な調和を表現している。屋上に，ビル清掃用のゴンドラを設置し，つねに，ビル外装管理に重点を置いた。

4) 55万時間無災害の記録を樹立した。

などであると考えます。

昭和33年11月26日地鎮祭を行ない，34年4月29日潜函体コンクリート打完了。8月19日潜函体を基礎版に（杭なし）沈下碇着完了。35年2月20日塔屋3階まで，地上部コンクリート打完了。7月5日竣工。以上が工事進渉過程であります。

次に，工事進渉に当っての所感を簡単に述べますと

1. 竹中式潜函工法

われわれが都心の建築，とくに地下工事の施工にあたり，つねに直面する難題はいかにして，近隣ならびに通行の市民に騒音，振動による迷惑を少くするかにあるのです。その対策として潜函工法を採用し，それはまた，工費，工程および建築面積においてもその特長とあいまって，地下工事を完成いたしました。潜函体の深さ，14米750。重量約8,500噸，ウエルポイント5セットジーメンスウエル4ケ処。1日平均沈下量14糎07でありました。（別紙図表）

2. 外部アルミ貼は，デザイン上の問題は別として，それによるコストの低下，なかんづく，工期面における短縮は非常に大きく，内装においても，エレベーターホール，天井などに大量にアルミを使用したのですが，このビルの特色である。アルミ貼施工については，つねに，現場員の創意と努力により完全に近い施工をみ，仕上工期を短縮しえましたが，完全なる養生の問題については，なお研究の余地が残されていると思います。特に，内装壁面のアルミなどは，より以上徹底した破損養生をすべきであります。なお，専門的にはアルミの表面が多少のことでは損傷のない硬度を持つことが必要ではないかと思います。この点は竣工引渡しの後，一般に使用の場合も同様この問題に直面するものと思われます。アルミの取付，取外しの点も，個々に任意の個所で取外しのできることが必要であると，痛切に感じられます。外装アルミの色合せの点でも色の均一を計るためには，工場にて標準光源により色の選別をなし，現場にて取付時に地上より検査員の指示により色合せを行なって取付け，ほぼ所期の成果をおさめえました。この色合せの点は，取付工程上大きなウエイトをしめるものでした。しかし現在のアルミの着色技術の段階では，色の均一化は困難なことでありますが，あえて金色アルミを採用し，その商業建築の一つの表現として世に問う設計者の英断を，いかにしてその設計者のイメージに近づけえるかにわれわれの責任と義務を感じ，この困難と努力をしてまいりました。諸賢のご批判を期待しております。

3. 屋上のゴンドラ設備もこの建物の特色であるが，いまだ施工上改良すべき点は，たとえばアンカーと屋上仕上との関係，レール防錆の点などがあり，これも適切な方法を考えねばならないと考えます。

以上，概略ながらこのビル施工面より所感をのべましたが，この経験を生かして，さらに，よりよい建築を創り出すよう努力を続けていくつもりであります。



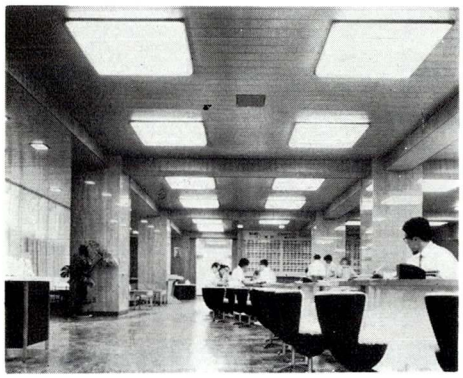
◀ 8 階 ロ ビ ー

床　：ゴムタイル 6mm
巾木：木セイ O.P
壁　：パーミナリヤ練板クリヤー
1部：テッセラ貼
天井：マンガシロ有孔練板クリヤー
階段：プレキャストコンクリート版



8 階 講 堂

床　：ゴム タイル 6mm
巾木：木セイ O.P
壁　：ウォールナット練板クリヤー
天井：塩地リヴ打上クリヤー



1 階 営 業 室

床　：ゴム タイル 6mm
巾木：T.B 桑尾
柱　：大理石イタリー91号
天井：有孔アルミ板貼グラスウール詰

大 阪
朝日生命館



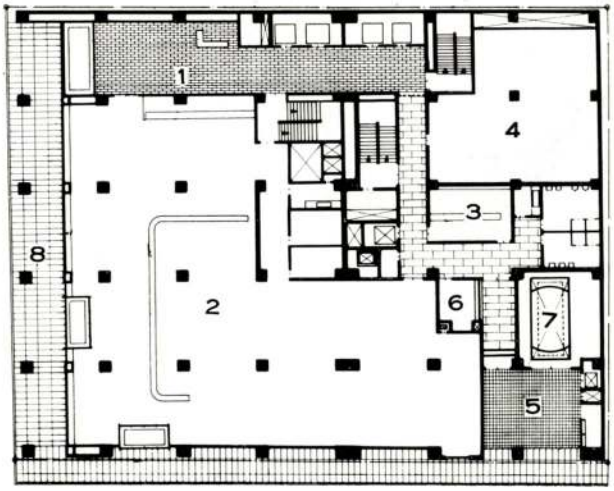
5 階 役 員 応 接 室

床　：ゴムタイル貼
巾木：ウォールナット練板クリヤー
壁　：ウォールナット練板クリヤー
天井：マンガシロ有孔練板クリヤー

大阪
朝日生命館

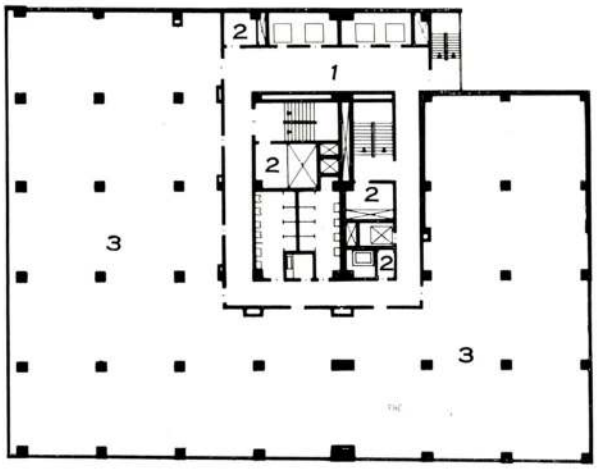
1階平面図

1. 玄関ホール
2. 日興証券営業室
3. 日興証券文書受付
4. 日興証券事務室
5. サービスエリヤ
6. 守衛室
7. カーリフト
8. アーケード



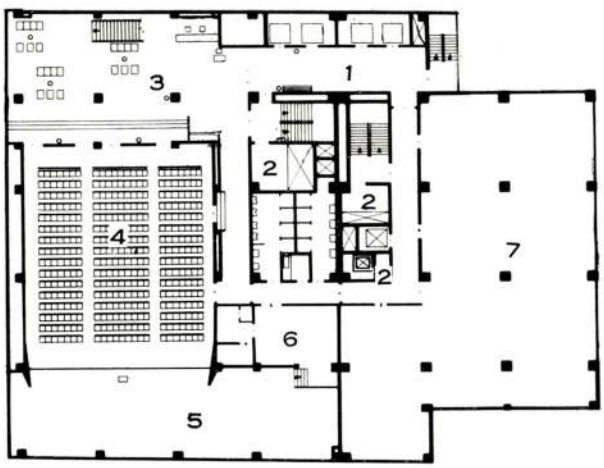
基準階平面図

1. エレベーターホール
2. 機械室
3. 事務室



8階平面図

1. エレベーターホール
2. 機械室
3. 朝日生命ホールロビー
4. 朝日生命ホール
5. ステージ
6. 控室
7. 貸室



設備概要

●空調設備

方式　新鮮空気，循環空気両系統に分離，吹出口にて二重混合する

主要機器　第1期
一般事務用　ターボー冷凍機 285ton 1基
第2期
一般事務用　ターボー冷凍機 275ton 1基
ホール関係　ターボー冷凍機 91ton 1基
セクショナルボイラー 5S16 6S16

●給排水衛生設備

給水　高架給水槽による重力給水
給湯　蒸気加熱式貯湯槽より強制循環する
消火設備　消火栓，スプリンクラ設置
その他　塵芥焼却，茶穀シュート設備

●瓦斯設備　100㍉管引込み所要に供給

エレベーター

客用　4台 速度120m/min 14人乗 4プログラム オートトロニックコントロール方式
人荷用　1台 速度90m/min 1t積
自動車リフト　1台 押ボタン半自動迫り上げ式

●電気設備

受電電圧　持高 22,000V
電力容量 1,300KW
自家発電装置　ディーゼル発電機 150KV
その他　火災報知，時計，拡声装置設備

●通信設備

局線引込容量　600回数，内線容量 900対
朝日生命　局線容量 200対　局線 30P
中継台 10P　3席　30P
局線容量 400対　局線 50P
中継台 10P　10席 100P

特殊施設概要

●8階朝日生命ホール

固定席 368，シネマスコープ，スーパスコープ，ビスタビジョン，スタンダード映写設備，16㍉，スライド，ステレオ立体音響再生装置，舞台照明完備

●地下ガレージ

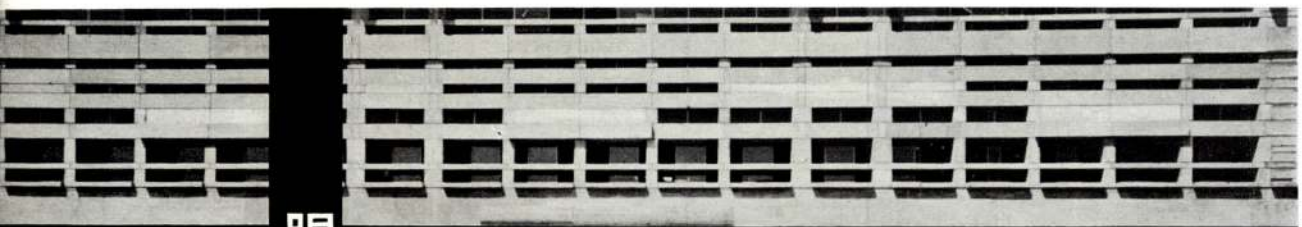
収容台数 30台，カーリフト利用

建築施工の級別と能率

最近の建築施工の情勢は，とくに早くてよい施工を望まれているようである。そこで能率増強のひとつの手段として，私は施工級別の，完全な制定を提唱したい。そして要求される建物の程度が，確実に必要最低限を上まわることを望みたい。そこで必要最低限度をどのように具体的に表現するかは，ひとつの課題であるが，級別を定めることによって表現しよう。構造の面では，強いほどよいけれども経済性とのバランスの上に決定されるべきで耐用年数，天災の抵抗力，仕上工事との関連を折込んで級別が定められその等級の範囲内で早く，安く，ということになる。また仕上げについてもその建物の用途，目的により程度，級別が定められ，その等級のなかでの仕事をするということになる。一般に現在のやり方は「なるべくよい」を望まれるので，その程度が判然としない場合が多い。級別と規格の定められているものも一部にはあるが，この範囲をさらに拡げて適用の円滑を図りたい。ここにこそ施工計画が確立し，無駄を排除して能率が上昇するのではなかろうか。 (S1)

不均衡について

最近の竣工の多くの建築をみて感じることは，その造型的なこととか，建築思想的な貪慾さについて目をみはるとか，いうことより，その贅沢さである。それらは何人のために贅沢なのであろう。古代オリエントの記念建築が，王の威厳の表現であった，とは周知のことである。ルネッサンスにしてもそうであった。そして古代建築ほどではないが，現代にしても然りである，といいたくなる巨大資本の牙城としての建築が，この富の均衡をこえて表現されているといえないであろうか。それはまた商業建築においては，別な形であらわれている。サービス過剰は，わが国の封建的伝統からバトンタッチされている社会全体の平均化した向上のために建築があらねばならないという考えは，あまりにも青臭いであろうか。この大阪という大都市の4割しか道路は舗装されてなく，また2割しか下水道は完全化されていないのである。この現状の経済体制は，徐々にその不均衡を地ならししてゆく過程にするかもしれないが，それにしてもあまりに不均衡集中のサービス過剰ではなかろうか。 (Ks)



けんちくの眼　担当50音順：木村康彦・近藤正志・隅谷一郎・光安義光

（次号は新しい執筆者に担当してもらいます）

公共建築の設計

公共建築は戦後，丹下健三によって特色づけられ，公共性，都市性，記念性，芸術性を強く印象づけられてくる。こうした設計を指向，実現できたことは，個人の能力はさることながら，周囲の理解とともに，クライアントとしての公共性の大きな影響をみのがしえない。そこには営利の伴わぬ純粋な建築性（合目的・合理的など）があり，その思考と追求による造型の表現をなしうるからである。

しかし無制限に思われるこの事柄に枠をはめているものは，あまりに現実的公共性（税金の節約使用）があって，完成後の管理費の少ない建物をとの要求ということになる。

地方の私どもは，庁舎の総ガラス張りのサッシの塗装費が5年目に500万円を要したといわれると，小都市庁舎の設計に当り，このことを念頭より忘れ去ることはできなくなる。それがあるのか，最近の丹下作品の傾向が，芸術，素材，技術の新しい開拓ばかりでなく（窓が引込み，壁の大きい）現実的公共性をも解決しようとしているのだろうか？ (MY)

ローソクの灯

子供の頃の話に，人の生命がローソクの灯に象徴されていて，人の知らぬところで燃え続けている。ローソクの灯が燃んであれば人の活動も盛んであり，灯が消えればその人の一生が終る。そこで神様がてで，というのがあった。

建物にもこんなローソクがあるとしたらどうであろう。設計，施工にたずさわる者は胎動を感じながら，この世に建物をとり上げる産婆というところか。建物の生命はその時に始り，ローソクの灯がともされる。人と違ってその生命は初めから予想される場合が多い。産婆はその生命を安らかな成長と永きを祈る。機能，目的によって長短様々あろうが，ほとんどのものは一定の大きさの焔で燃え続け，はかられた長さを燃えつくして終るのであるが，なかには焔は小さくなってはいるが，いつまでも燃え続けているものもある。桂離宮などその一例であろうが，建物の生命を決める要素のいくつかに建築家が関係していることは間違いない。 (KY)



近代建築論特集



chandigalにて



上：コルビジュエ
右：ライト
裏：ミース

ワルテンシュプール「現代建築の諸相」

原文は1959年，ヴオート州学士院主催で，ローザンヌ大学において行なわれた，スイスの建築家パウル・ワルテンシュプールの講演を抄録したものである。以下，その要点を紹介しようと思う。

（京都工芸繊維大学　相川　浩・藤本康雄）

建築の芸術は，今日，人々の関心をひいている。しかし，そこには概念の混乱がある。

一方，現代建築の変貌も今日，実質上，行きづまっている。したがって，ここでその位置づけを行なうことは時宜を得たものだと思う。

最初に示そうと思うのは，われわれの時代を最もよく代表する建築作品の比較分析である。

現代建築は，前時代の折衷主義的様式から絶縁している。今日，建築家は過去の様式を知る必要はないといわれる。各人の個性が建築を生みだすというわけである。この意味で，様式は人間である。では，現代建築家のなかで最も個性的な作品はだれのものかといえば，文句なしに三人の名，三つの行き方が浮び上ってくる。表にしてみると次のようになろう。

人　　名	特質	表　現	性　格
ミース・ファン・デル・ローエ	理性	骨組的 (structurale) (建築技術的) (architectonique)	クラシック
ル・コルビュジェ	感覚 肉体	塑造的 (plastique)	コンポジット
フランク・ロイド・ライト	感情	絵画的 (picturale) 機能的 (fonctionnelle)	バロック

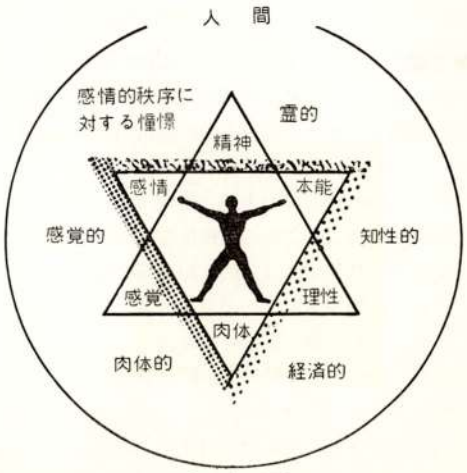
上記の表の内，理性，感覚，感情などの関係は**第1図**に示される。

さて，この三人は，現代建築の表現の諸傾向を示した三角形（**第2図**）の頂点に，それぞれ位置すると考えられる。三角形の中央には，平凡な建築家達が位置することになろう。彼等は真似がうまく，良くも悪くもない人達である。また，三角形の頂点に近いかどうかで，作品の純粋な価値が測られるというのではない。しかし，頂点に近いほど，強い表現力はありそうである。

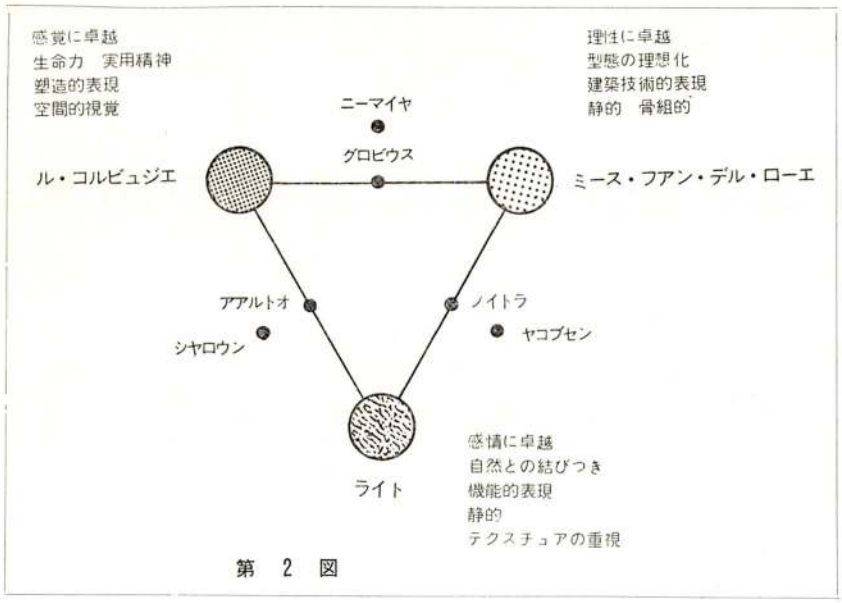
次に三人の思想を探ろう。

ミース・ファン・デル・ローエ。「解剖学的」建築家。彼は構造の秩序について，厳密な等級を確立した人である。彼は，鉄・コンクリートなど頑丈な骨組に似た第一等の構造と，ガラス・煉瓦などの充填材でできた壁のような第二等の構造とを，はっきり区別する。彼は単純さと，技術的手法の窮極的な完成とを追求する。彼は一定のパネルのなかに示された素材のもつ自然の気品に価値をみいだそうとする。その比例はひとつの古典的厳格さを示している。代表作は，イリノイ工科大学建築学教室。

ル・コルビュジェ。創意の種を播いた人。理論家。近代建築の詩人。彼は建築に，社会性と実用性を望んだ。彼は絶えず新しく，的を狙って命中させた。彼の意図するところは絵画と彫刻とを，積極的に建築に導入することによる主要芸術の総合である。彼は材料や技術を無視することがあるが，それは「光の下で組み合された，知



第　1　図



第　2　図

的な，正確な，そして美しい空間の楽しみ」の形式を完成させようとしてのことであろう。代表作は，マルセイユのアパート。

ライト。「有機的」建築の使徒。彼にとっては，機能が最初の形態を決定する。しかし，でき上った空間全体は，プランを主にして考えたのか，それともセクションから考えたのかよく判らぬ場合がある。彼の建築は，自然に似て気随気儘である。彼がそのなかで作品を形成しようとした自然と同様に気儘なのだ。プランの自由，周囲の自然への定着，素地のままの材料。そこには，いまだに人間のなかに眠っている孤独な猟人の心を想起させるものがある。代表作はグッゲンハイム美術館。

第2図の三角形に，もう三人の建築家を加えてみよう。グロピウスは，ル・コルビュジェとミースの間，ノイトラはミースとライトの間，アァルトォはライトとル・コルビュジェの間になる。

第3図はユストス・ダヒンデンの作った図であるが，この図に示されている歴史的発展のカーブは，現代建築の三つの典型である上記三人の性格について，新しい見方を示すものといえよう。

おのおののS形曲線の上向きの線（a）は，独創的形態を摸索した探求期である。理性が先行し，建築に理想が求められた時期であり，個性が表面に表われるまでにいたらない時期である。その手法は主として，秩序，構造的厳格，各部の量の正確な組み合せである。だからその建築は古典的で，全世界に理解される作品だということになる。

下向きの線（b）は不安の時代。どちらかといえば，行動の集合的な精神が支配する強烈な生命力の時代である。ここでは塑造的な表現において優れた建築が生れる。

再上昇の線（c）は自由な形態表現に向う時期。その建築は，しばしば個性的であり，自己中心的でさえある。ここでは，偶然とか，非対象的なアクセントの強調とか，建築空間の球体的把握などが表わされ，作品は，動的な「絵画的」な，バロック的なものとなる。だからその作品はすべての人に理解されるとは限らない。

以上のa，b，cに上の三人を当てはめれば，次のようになる。

a：ミースは構造的本質そのものが持つ形を最も純粋に表現する。

b：ル・コルビュジェはもう少し騒々しい。彼はミースよりも自由に塑造的な形を強調する。

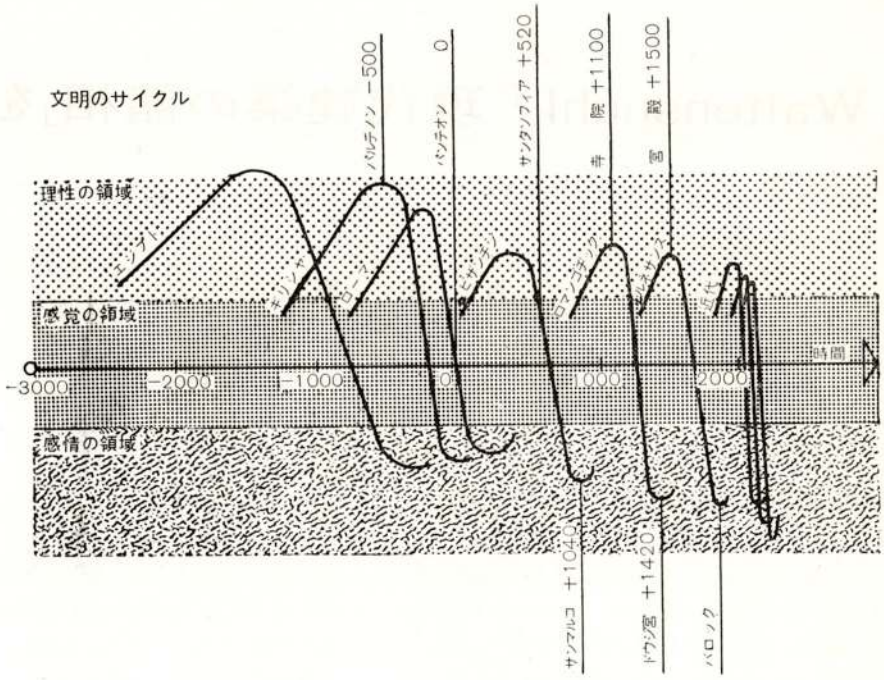
c：ライトは終始，自由な形に執着する。

また，aからcまでのS形曲線は，それぞれの様式ごとに繰返されていて，全体は一つの大きな波のようになっていること，さらに一人の作者についても，この同じS形の推移があるように思えることは興味深い。しかし三人の作者にa～cを該当させたのは，三者の価値に発展的段階を示すためではない。三人を一層広い視野からみようとしただけなのである。

さて話は変るが，現代建築の発生に原動力として働いたもの，今日も働いているものは何であろうか。

近代に入って，代表的な材料である「鉄」は，建築を一変させた。また，新しい考え方が，ギーディオンのいう四次元の空間や，テオ・ファン・デスブルクのスケッチ（**第4図**）に示される空間に代表されて現われる。それはみる人の動きと共に変る自由な空間であり，交錯し，互に切り込みあい，自由な連続性を持った空間なのである。ただし，鉄，新材料と技術，および新しい空間が最初に現われたのは，技術者達の建造物においてであった。エッフェル塔，メイヤールの橋がその例である。

さらに，現代建築発生の他の源となったものには，知識の拡大，マスコミの発達，旅行，科学的諸発見によってもたらされた異国趣味がある。すなわち，中央アメリカ，あるいは，日本の文化の発見，これら文化のもつ完成された精緻な芸術への認識である。



第 3 図

では，われわれは今日，どこに立っているか。

今日の時間は昔に較べて，二倍も三倍も，あるいは，もっとあわただしい。

次から次へと，一層重要にみえる「変位」が現われ，あらゆる思想，あらゆる表現を混乱さす。都市の不調和をみるがよい。ここに，その様相はよく現われている。

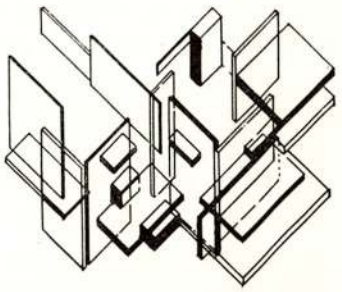
都市は自分にふさわしい「顔」を持っているか。

現代には，賞賛に値する建築家が，はたして幾人いるであろうか。

最初に述べたように，過去の無視，過去の建築に対する教養の欠如は，現代的感覚をもつことの妨げとはならなかった。しかし，そのために近代式芸術のなかに，ある種の感傷的芸術を混入させる原因とはなっている。何故ならば，過去五千年，建築の材料はほとんど変らず，そこには，精神，技術，性格の変遷だけしかなかった。従って，ここに発生した保守的な精神と，望郷的な感傷の心情は，過去の建築を理解しないため，何の洗練も受けずに，今日まで残り続けているからである。

都市では，スイスの丸太小屋，カリフォルニアの週末住宅の隣りに貧民窟をつくりだした。

建築では，昔のオペラ劇場の，いいかげんな模倣程度の価値しかもたない劇場がつくられる。かと思うと，奇異な形のけばけばしさ。建築の前進はこけおどしにあるのではない。われわれはこの混乱が何から生れるか，よく反省してみなければならない。



テオ・ファン・デスブルクのスケッチ、1923年

第 4 図

今こそ，近代建築が，近代的なもの以外にはなりえない時がきている。われわれの社会の新しい組織を本当に身に着けない限り，近代建築は空転するだけだ。

建築が単に，空間の有機化や，弱点のない構造や，美しい比例に頼るだけでなく，さらに時代の精神的鼓動と一本化することによって表現されるべき日がきたのである。

われわれは，過去において人間の棲家がもっていたような，つつましさを基にして，その上に総合的生命の開花したような現代建築を求めたいのだ。

（以上）

P. Waltenspuhl「現代建築の諸相」を読んで

森　田　慶　一

P. Waltenspuhl氏の上記の小論を読んでそれを批判せよとの編集子の仰せである。軽い気持ちで引き受けたものの，さて一読してみると，その叙述はあまりに簡略で舌足らずの感があって，いま筆先はいささかそれを持てあましている。もちろんこれは著者の罪ではない。原文は単なる講演要旨に過ぎないから，講演そのものにおいてはもっと十分な説明が加えられていたであろうし，またこの要旨だけを読むにしても，著者と同じ建築環境に浸っているスイス人にとっては，この論文のねらうもの，この論文を成立させている周囲の情勢は自明のこととして，その内容がじかにいわば直覚されるであろうから，簡単な叙述も十分な内容をもって理解されるであろう。しかしわたくしにとっては事情は全くちがう。きわめて普通なスイスの，あるいはヨーロッパの，最近の建築的空気にうといわたくしにとっては，この論文を相手に何かをいうことは仲間の軍勢から離れて一騎打をするようなものであるから。だからここでは批判というような物々しい姿勢でなく，単なる読後の感じを記すことでお許しを願いたい。

この講演要旨で著者が述べようとしていることは，全般的にいって，その文面に現れた限りにおいていちいちごもっともで，とくに抵抗を感じたり異議をさしはさんだりする筋合のものではない。著者は現代建築の複雑な多様な，そして著者の見解によると，混雑した現れ方を理解しやすいように整理しようとして，現代建築のうちとくに目立った，その作品の絶体的な評価によるよりも，むしろそれが有する特色の故に際立った，三人の建築家――ミエス・ファン・デル・ローエとル・コルビュジェとフランク・ロイド・ライト――をとり出してその作品の外貌とその背後の精神を分析しようとする。現代建築を代表する建築家三人を挙げるとすれば，この三人が選ばれることは一般的通念としては無理がないように思う。わたくし自身としては，ミエスの最近の作に無知であり，知る限りの彼の作品に対して必ずしも共感的でないわたくしとしては，恐らく著者が先駆者としてあげているマイヤールやペレを「三角図形*」のミエスの頂点に代置させたであろう。著者がこの三人を現代建築の「推進者」とし，サリヴァン，ベルラーヘ，ヴァン・デ・ヴェルデ，ベーレンス，トニ・ガルニエ，ペレなどを「先駆者」とする規定の仕方は，年代的にいっても彼らが現代建築に果している役割についていっても，相当問題がありうるのではなかろうか。

いまかりに現代建築を代表する建築家を，その作品の評価を基にして，幾人かを選びだすとすれば，その数は必ずしも3でなく，2であり4である公算も少なくないだろう。著者があえて三名を選んでいるのは，彼が現代の建築現象に三つの特徴の明らかな類型を認めているからであり，しかもこの建築現象は表現の面と意図の面で捉えられている。そこで，この三つの類型において，表現と意図とは互に一々的に対応しているか，三つの意図は建築論的によく検討されているか，いいかえれば建築造形の本質に照してこの三位法的図式は必然であるか，が問題となる。

著者は現代建築の造形意図ないし制作手法の三類型をそれぞれ理性・感覚・感情という人間の心的能力の三つの上に打ち立てている。この三能力は果して「三角図形*」のように単純に三角形に図式化しうるものであろうか。感覚と感情，感覚と理性，理性と感情，これらの関係は恐らく同じ次元で係り合っているとはいいがたいのではなかろうか。ライトは感情に支配され，ル・コルビュジェは感覚に支配されていると規定されている。ライ

* 前掲論文の第2図(28頁)の三角図表参照

トが感情に支配されているという場合，そのことが彼の作品の上に具体的には有機的な自然と結びつく「情緒的なもの」として現れているという認識に基くと思う。ル・コルビュジェが感覚に支配されているとすれば，それは具体的には彼の作品が単なる感覚的な快感をわれわれに与えるということだろうか。確かにル・コルビュジェの建築にはわれわれの感覚をくすぐる何物かをもっているが，そのような「くすぐり」が主として彼の建築を際立たせているのだろうか。どうもそうではないように思う。感覚的なくすぐりを踏えてそれを乗り越えたある情趣を彼の作品に認めない限り，彼を現代建築の一選手とみることはむつかしいのではないだろうか。だから感情と感覚という二つの領域を同列に設定して，ライトとル・コルビュジェをそれぞれの頂点に位置させようとする試みは相当便宜的な臭が濃い。建築の領域において理性と感覚と感情がどう係り合っているのか，も少し理論的な著者の見解を聞きたかった——もっとも著者は「無味乾燥な理論えの深入りはしばらく措こう」と逃げているのではあるが。

表現とその背後の意図との対応，さらにおのおのの作品の性格との対応を示した上表の図式は大体において妥当的であると思う。ル・コルビュジェの作品の表現性質は plastique と規定されているが，建築一般の表現は本質的にプラスティクであるといえるから，ミエスの建築もライトの建築もまたある意味でプラスティクである。プラスティクな表現と，構造的なあるいは機能的な表現とはちがったフェーズに属するのではなかろうか。しかしプラスティクという概念は多義であるから，著者がル・コルビュジェの表現をプラスティクであるという場合その意味はおぼろ気ながら判じられないわけではないがもう少し立入った説明がほしい。さらに欲をいえば，プラスティクの代りに，構造的や機能的と同列に置かれうる他の形容詞を用いてほしかった。そうすることによって，さらに理解を容易にすることができたであろう。

三者の建築の性格を古典的・複合的・バロッコ的と規定することは，やや割り切り過ぎているきらいはあるが，造形意図の三位性を肯定する限り，一応うなずける——もっとも表現と性格との対応，とくに構造的と古典的，機能的とバロッコ的の対応，には幾分無理があるように思われるが。ライトの建築の性格をバロッコ的と規定することは，著者がその論証のための過去の建築例をギリシア・ラテン的文化の領域にのみ求めているのであれば，やむを得ないことであろう。なぜ過去の事例をギリシア・ラテン的文化圏にのみ求みなければならないのであろうか。それが著者の教養や趣味によるのであれば何をかいわんやであるが，新建築はもともとギリシア・

	表現	性格	作品例として
ミエス 主として理性	structurale architectionique	classique	アテネのパルテノン
コルビュジエ 主として感覚・肉体	plastique	compo-site	ベニスの Palazzo Grimaldi (1549)
ライト 主として感覚	picturale fonctionnelle	baroque	パリのオペラ劇場 (1874)

ラテン的空気のなかに育ったのでなく，反対に北欧的空気のなかに育ったのであるとすれば，このような制限は自分で自分の頸を締めているものといわなければならぬ。ライトの建築の性格はむしろ端的に浪漫的と規定する方が理解しやすく，また均斉のとれた図式的構成となるのではなかろうか。ル・コルビュジェにいたっては，その作風は元来古典的であることを目指しながら，そのなかに情趣的なものを漂せているという意味で，複合的といってよいかも知れない。しかし，それに対応する過去の建築例としてあの硬直した，モデュラシオンを欠いた，Palazzo Grimaldi を指定することは如何にも肯きかねる。もしヴェネチアの建築にその対応例を求めるならばむしろPalazzo Vendramini，さらにサン・マルコのScuola，こそより適切ではなかろうか。ともあれ，上表の性格の欄および作品例の欄は相当ぎこちない感じがする。著者は何かひどく J. Dahinden氏の「文明のサイクル」なる図式に拘泥しているかにみえる。この図式は，著者の簡単な紹介だけでは，全く理解できがたいものであった。

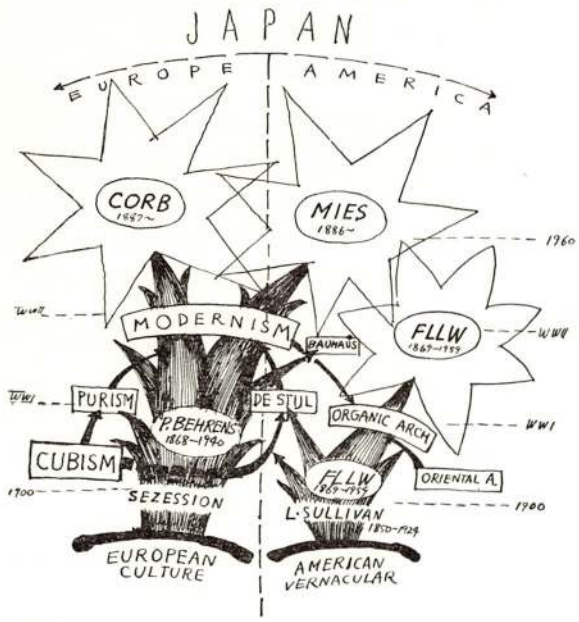
作品分析につづいて著者は建築革新の動力について述べているが，その内容にとくに興味をひく点は見当らなかった。彼もギーディオン的 space-time なる観念を重要視して現代建築における動的傾向を注目して，それを〔動的に把握された新建築空間〕→〔Theo van Doesburg の建築的動的空間の試み〕→〔キュビスムの絵画〕→〔アインシュタインの相対性原理〕と系譜づけているが，その転換のモメントに関する説明と動的建築空間の建築空間一般内における位置づけについては残念ながら触れていない。現代建築における異国的要素の導入，exotisme，も興味ある問題にちがいないが，それを可能ならしめた，記録，弘報，旅行趣味などの拡大というような外的条件を指摘するだけでなく，エグゾティスムそのものの現代建築における地位の分析にまで触れてほしかった。

次の現代の建築情勢の見通しを述べた項目では，われわれ著者の現代建築に対する反省を聞くことができた。そしてそれはそのまま，われわれ日本の建築家たちの反省であってもよいように思う。

（筆者　京大名誉教授・大阪建築事務所顧問）

建築三巨匠論

向井正也



3巨匠を木にたとえると，コルブとミースはヨーロッパ的伝統に培われ，ライトはアメリカ西部の野に育った巨木である。だがヨーロッパ育ちのこの2人の名匠がほとんど同年輩であるのに対して，ライトはむしろ，彼等の師匠であるベーレンスと同じ世代に属し，すでに今世紀のはじめ頃より，ヨーロッパ近代建築運動に影響するところが少くなく，ミースもまたデ・スティールの運動をとおして間接的にライトの同化をうけたといわれる。昨1959年，ライトの死により，戦後アメリカ建築界に輝いた双つ星のうち，いまや未来をてらすかがやかしい巨星はミースだけとなったが，今なおヨーロッパ的伝統の上に足をふまえた建築のスターダム上に健在なる巨星コルブと共に，この年を同じくし伝統をひとつにしながらも，建築観や表現の方で際立った対照を示す2巨匠の人間像は，そのまま20世紀後半の近代建築におけるヨーロッパ的なるものとアメリカ的なるものとの，対立として興味深く眺められるであろう。

万事が格下げの軽文化時代である。近頃マスコミのあさましさは何かというとすぐ巨匠などというコトバをつかいたがる。大衆を宣伝にのせるのには都合のよいコトバかもしれぬが，どのような芸術・文化の世界にも，巨匠と名のつく天才や大芸術家などはそうザラにいるというものではない。もっとも日本の国内だけでこっそりつかうというのならまだしもだが，それにしてもこう地球が狭くなってくると，すべてが世界性を帯びてきたりなどして，日本だけに通用する巨匠などというのも何かおかしい気がする。かくて巨匠の格は本当は上るべきなんだろうが……。余談はさておき，ここに取り上げられた三人の建築家ライト，ミース，コルビュジェは，もとより皆さまご存じの，これはもうおしもおされもせぬ巨匠である。この点だれしも異存はなかろう。あまり口数は多くないくせに，しゃべるとつねに技術主義礼賛をやり「建築とテクノロジー」などという話を発表したりするミースは，他の二人に比べて世にでたのがおそかったことも相まって，その真価はなかなか理解されないむきもあるようだから，これはしばらくおくとしても，ライトとコルブとは，同時代のわれわれにはちょっとピンとこないにしても，後世の史家の眼からすれば，フイディアスやレオナルドやミケランゼロなどと伍するにたる巨匠として映ずることはほとんど確実とみてよかろう。

私は巨匠のイミをこのように高く評価したい。さてその基準のおきどころだが，これもそうカンタンにいってのけられないので他の機会にゆつくり考えるとして，まずさし当っていいたいことは，だれにだってできるようなことを，やっていたのでは巨匠はおろか，芸術家の名にも価しないということである。「単に建築物の有用性や構造的価値だけが考慮されている限り，建築は決して芸術であるなどと主張せられるべきものではなく，またその建築家の名は決して永遠に記憶されるべきではない」とラスキンも述べ，「何故なら，どんな人間でも船をこしらえることや家を造ることぐらいは何時でも容易に習うことができるのであって，だれにでも教えこまれ得るような事柄をするということのなかには永遠性に価する何ものも存しない」と結んでいる。このように，建築家が巨匠として歴史に名を止めるためには，まず天才的である必要があるわけだが，それだけでも巨匠の条件には充分だとはいえない。ダルムシュタット・ゼツエシオンの輝ける天才，J.M. オルブリヒはライトと二つ年かさだけだが，若死であるため，巨匠の名をもってするには適当でない。そのためには天賦の才に加えてある程度以上の長期にわたって作品の蓄積と盛り上りが必要である。単に才があって長生きしたらいいというだけでも困るのである。だから私のいういみでの巨匠などは場合によっては見当らない時代があってもさしつかえないわけだ。ところが，現代建築はこのところかくも堂々たる巨匠を三人も擁して発展してきた。なんでもないようで，実はなかなかあり難いすばらしい事実なのである。その他これにつづく大建築家群にはことかかないが，どうも世界の巨匠としてはずかしくないようなのは今のところ，ちょっとこれ以外に見当らないようだ。グロピウスさんなど大分文句のでそうなところだけれど，ちょっと創作活動という点をふりかえっていただいたら，充分ごなっとくの行くことと思う。

ところでこの特集に示されているような，包括的なテーマの下にこの三人の巨匠の作品の比較分析云々というP. ワルテンシュプールのやり方は，私としては全く同意できかねる。これは大変意地の悪い憶測だが，ワルテンシュプールはもう二三カ月も後で講演していたら，おそらくこのような方法によらなかったのではあるまいか。何故なら，ライトは昨年4月に歿しているからである。詳しくは何も知らないから大きなことはいえないが，このワルテンシュプールのアプローチのあやまりの第一は，この三巨匠があたかもカナエの足のように世界の建築を支えでもしているかのように考えたところにある。精神面にはなるほどそうとってもいいようにも考えられるむきもあろうが，私はいかなるイミでもライトの影響の現代的な意義はみとめられない以上，本当は彼の生死いかんにかかわらず，「三巨匠の鼎立（テイリツ）」からはどんな方法をもってしても実り豊かな結論はみちびかれそうに思われない。とても詳述の余地はないから，この辺で批評は端折るが，問題の「性格図式*」「三角図表**」にしても，何か本当は分割分離できぬもやもやしたものや，矛盾したものなどをムリヤリ整理戸棚に区分けして放りこむような，何か分類のための分類とでもいった，なまの現実を類型化にもちこむ危険を感じさせられる。もちろん彼等の作品や人間像にはこうした面もあることは認めるが，それをてきとうに時の流れからすくいあげ，現代建築をささえる時代背景や社会経済的構造から切り離し，各々の建築家の作品の傾向や世界観等の発展過程に目を閉じて，作品の人間性だとか，内部的矛盾などには一顧もしないようなコチコチに干からびたやり方からは何一つ生きた収獲は得られないのではないか。しかもたまたま三巨匠が同時代に，いあわせたからといって，これをそっくり分析の方法論のなかにもちこみ，手法を「鼎立」という複雑な相互関係から眺めるのはどうだろう。三人三様のやり方がバラバラにそれこそ「三つ巴」になって関連しあうことは，論理的処理の方でも困難というよりは，むしろ方法的な欠陥があるように思われる。

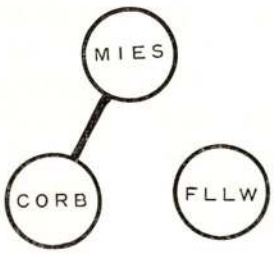
前おきや批判で紙面の半ばを費して，はなはだ不本意であるが，私はここでは頭書の題目のとおり「現代建築

---

* 27頁の左段の表参照

** 28頁の第2図の三角図表参照

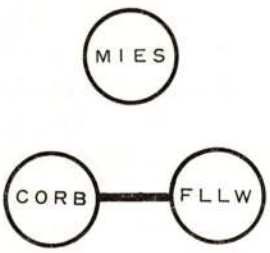
の諸相」というような広汎な問題から離れて，ただこの三巨匠を相互関係の中でどのようにつかまえるか，そこからどのような現代的意義をみいだすかという線で少しみることにする。そのため，私のとった方法はワルテンシュプールの鼎立関係でなく，これを何らかの形で対立におきかえて考えようとするもので，それはちょうど三人で旅行をすると一人が仲間はずれになってそこに対立関係が生れるといったやり方なのである。つまりこの三人の建築家のなかの二人を何らかの共通のバンドによって結びつけると，このバンドの性質から残された他の一人との間に何等かの対立関係が生ずるわけである。なお上記のような整理戸棚式分類における方法上の欠陥の一つは，三つの特性の差異ばかりに注目し，類似点や共通点には目をふさぐということで，このいみで私は区切りの必要性をみとめると同時に，共通点をみちびきだすためにもバンドが必要だと考えたわけである。そして，この三巨匠を一つに結びつけるバンドがみつかったならば，それは要するに巨匠の定義ずけに他ならぬわけである。



まずミースとコルブをむすびつけるバンドから始めよう。それにはさし当って次のようなものがあげられるだろう。(a)土と伝統，(b)世代，(c)近代主義。

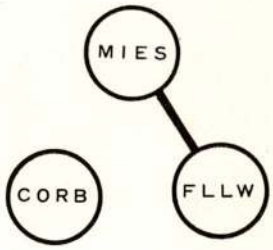
ライトがアメリカ土着の建築家であるのに対して，他の二人はヨーロッパの土に芽生え，その伝統を何らかの形で負いつづけてきている。そしてこのことは(b)の世代を全く同じくするという事実，ミース(1886—)，コルブ(1887—)とからみ合って，近代建築の父ともいわれるP. ベーレンスの同門として，ともにヨーロッパ近代主義の運動の第一線を歩んできた点において(c)にからみあうわけである。こうした点でライトは他の二人ときわ立った対照を示す。(a)はいわずもがな(b)においては他の二人とは20年近くも年のちがいがあり，むしろ世代的には彼等の師ベーレンスと同じである。ちなみにライト(1869—1959)と同じ世代の大建築家をあげれば，P. ベーレンス(1868—1940)，C.R. マッキントッシュ(1868—1928)J.M. オルブリヒ(1867—1908)，T. ガルニエ(1869—1948)，こうしてライトと他の二人との間に横たわる世代の断層は，彼の作品に最後まで19世紀的なニオイを与える結果となったといえるが，このことはまた一面，ライトをして最後まで(c)の近代主義との間に越え難い深淵をつくることとなった。ニューヨーク近代美術館あたりでもライトはどこまでも近代主義の建築家としてあつかっていないし，ライト自身もまた近代主義に対してかなりよく反パツするところがあった。コルブなどを戦前からいつも目の敵のようにしていた。彼によれば近代主義の建築は「魂のぬけた有機建築」だったり，「国際様式」は「ファシズムに似合いの文化的災難」なのであった。なおこうしたことは彼が他の二人とちがってアメリカの土に生れ，その建築的経歴のはじまりをヨーロッパのいかなる建築の流派とも全く無縁のアメリカの民族性や風土に根ざした，いわゆるシカゴ派に置いたという事実と無縁ではない。また彼の作品のもつ一種独特のニオイやアクのつよさは，単に上記の世代や強烈な個性の故のみでなく，彼がどこまでも感情的にも感覚的にもモダニズムに同調したり，とけこんだりできなかったことにもよるものと考えられる。(見出しカット参照)

次に，コルブとライトをむすびつける共通性には次のようなものが考えられる。(a)個性，(b)造形性，(c)表現傾向の変化，そして，ミースはこうした諸物性とはことごとく，あまりにも対立的な傾向をもっているのは面白い事実である。彼等は三人が三人とも何らかのいみで建築的空間の表現を追求してきたことがみとめられるが，大まかにいって，ライトとコルブの求めたものは，ミースの絶えず求めてきたユニバーサルな空間とは異った，いわば造形的空間であったといえよう。このことは具体的にいうならば，ミースが平滑平坦な非材質的な面の抽象的構成を基調としたのに対して，コルブやライトは，マッスの組合せからさらに進んで無定形的でソリッドな彫塑的な造形を求めるものであったといえる。もっともこの傾向は特に近年のコルブの傾向につよいもので，彼の初期の作品とか，ライトの作品にはそう強く現われてはいないが，ただ傾向的にみる場合，ミースの少しでもより単純直截明快なものを求めて，とぎすまし洗練しようとする，彼のいわゆる "Less is more" という，きびしい禁欲的な行き方に比較した場合，他の二人の傾向は同一のカテゴリーのなかに一括しうるものであろう。コルブにもライトにも共通して一面非常に野放図なところがある。そしてこのことは要するに彼等の造形性の追求の故におこる機能的障害に他ならない。ライトが大変雨もりのする家を建てて，苦情をいわれた時，室内で傘をさしたらよいといった逸話は有名だが，そんな昔の話よりも，ごく手近なところで例のグッゲンハイム美術館の場合など，奇しくも同じころ完成されたコルブの西洋美術館の問題と全く軌を一にするもので，この点同じく美術館の計画においても，ミ



ースが1942年，A/フォーラムのために計画した美術館とよき対照をなすものだといえる。ちなみにミースのこの計画案は，ポカンとした柱一つないまるで雨天体操場のようなもので，これこそ美術館の機能を十二分に満すユメの計画だったといわれる。そしてこうしたミースの作品がどちらかというと，非個性的アノニマスな性格を持つといわれるわけで，こうしたいみでも，また他の二人の作品にみられる強烈な個性の刻印とするどい対比を示すわけだが，もともとこの（a）と（b）とは本来不可分の連関関係を形成することはいうまでもあるまい。ミースのこうしたアノニマスな空間性の追求は，彼の1920年ガラスのスカイスクレーパー計画案から1958年シーグラムにいたるまで，ガラスと鉄の高層建築のデザインにおけるいわば構成主義的語法の洗練という方向で当初の表現の基本線を少しも変えずに終始一貫してきているということで，他の二人の作品における表現傾向の時代とともにする変転と，これまたきわ立った対照を示している。

S. ギーディオンもまたこうした建築の語法上での高化と不変化との対立的な傾向に注目して，これをゲーテ型とデカルト型という気質上の対立に帰しているが，私は（ライトは別として）コルブとミースのこの対立は，むしろ，ピカソとモンドリアンとの同様の対立になぞらえた方がより現実的だと思う。ピカソとコルブとがキュビズムに属し，モンドリアンとミースがデスティール（ネオプラスティシズム）に属することが明かである以上，前者の比較的個性的，具象的であるのに対して，後者がその絶対主義的純粋性の追求のキビシサの上で非個性的，抽象的であり，そのイミでアノニマスな傾向とそこから必然的にみちびかれるものとしての「表現傾向の不変化」があるといえよう。このようにミースの作品は総じてそのライフがいちじるしく長いのを特徴とする。彼のデザインした椅子の中に有名な「バルセロナ・チェア」というのがある。1929年バルセロナ国際博覧会における彼の代表的傑作ドイツ・パヴィリオンのために自らデザインしたもので，以後30年あわただしいモダニズムの流行の浮き沈みをしりめに，堂々と耐えぬき用いられてきた。この椅子は，ミースの芸術の不変性とライフの長さを見事象徴的に浮彫している。思うにミースは，大きな振巾で高転をくりかえす他の二人に対して，そうしたエネルギーを単純化，純すい化という面に向けているもので，双方いずれにしても，何らかのいみで一つの極限を求めているといえるのであり，かような「極性の保持」こそ，私は巨匠にふさわしい資質のひとつだと考えている。



おわりに，この図表上での三角関係からひとりで生ずるものは，ミースとライトをむすぶバンドである。だが私はこれについては大したイミを認めていない。強いていえば，活躍の舞台と時期の一致ぐらいであろう。ミースと同様ライトがアメリカで本当にみとめられたのは，第2次大戦後のことであり，以来両者は大きな名声を博して今日にいたったのだが，正直のところ，どちらかというとミースの方に人気があったことは明白な事実である。今やライト亡きあとアメリカ建築界の空高く燦然と輝く巨星はミースその人である。今年に入って彼がアメリカの建築家としての最大の栄誉であるAIAの金メダルをもらったことが何よりもこのことを雄弁に物語っている。ミースにくらべるとライトはもとよりコルブも何か過去の建築家といったくたびれた感じがする。今回の受賞に際して，口数のいたって少い彼が珍らしく感想をのべている。その一部『私はこの国に来て，教え，かつ仕事ができることを心から感謝している』『教育と仕事とは思想と行動の明澄さの必要を私に確信させた』『明澄さなければ理解なく，理解のないところに方向はなく，ただ混乱あるのみである』『1900年のあとさきのような時には偉大な人達の間でさえ混乱があった。当時はライト，ベルラーヘ，ベーレンス，オルブリヒ，ロース，そしてヴアン・ド・ヴェルドが仕事をしていたが，彼等はみんなめいめい別々の方向に向っていた』

（筆者　京都美大助教授）

特許 防火シャッター全般
小俣式
電動式～箱型・ウオーム・スパー
手動式～自動・鎖・オートマチック
ステンレス・アルミニウム・シャッター
株式会社小俣製作所大阪支店
大阪市北区若松町30　電話(34) 9004・9016・4825
本社及工場・埼玉県与野町
東京事務所及工場・東京都北区田端町

現代にたいするライトの建築の意味

（ワルテンシュプールの図式にもとずく考察）

樋口　清

はじめに

スイスの評論家パウル・ワルテンシュプールの紹介する人間の性格の分析と，それを応用しての芸術史の運動の解析は，きれいに割り切れた図式になっていて，そこに一種の知的な興味と満足が感じられる。また，その図式にコルビュジェ，ミース，ライトの3人の近代建築家を当てはめた比較は，皮相的で無責任なところもあるが，パズルを解くような面白さがある。この評論が，「過去を正しく判断して，現代の混乱から抜け出る道を探ろう」としているにもかかわらず，知的な遊びに終っているのは，ただ芸術作品としての建築の視覚的な印象を分類し対照しているだけだからであろう。歴史の流れや社会のあり方にたいする建築家の態度や作品の意味を無視して，ただ芸術表現の性格を観念的に述べるだけでは，生活の場の表現としての近代建築の良し悪しの判断もできないし，近代建築家の果した役割りも理解できない。それでは，ただ好みの違いを区別できるだけで，したがって，これから進むべき方向を定めることができないのは当然であろう。

近代建築は産業革命にともなう社会の変化とともに生まれたもので，機械文明と市民社会のための建築である。その始めから近代建築家たちは理論と行動によって社会にはたらきかけ，彼等の建築の造形作品としての性格は，そのような社会や歴史にたいする態度ときり離して考えることはできない。ここで，ワルテンシュプールの図式に具体的な内容をあたえながら，コルビュジェ，ミース，ライトの3人の近代建築家が機械文明にどのような態度をとり，どのような建築をつくりだしたかをみてみよう。このように，ライトの側から光りをあててコルビュジェやミースを眺めることは，CIAMの建築家の言葉や作品に一辺倒のわが国の近代建築にとって，現在を反省するよい機会となるであろう。

機械文明と人間性

それまでほとんどボザール式の様式建築しかなかったアメリカに近代建築をもたらしたのは，第一次大戦後ヨーロッパから移住してきた新建築家たちであり，その後，ナチスに追われて亡命してきたバウハウスの建築教師たちである。こうして国際建築を主流とするヨーロッパの新建築がアメリカの近代産業と学校教育に受け入れられ，第二次大戦後は，アメリカ経済の繁栄にともなって今日のような発展をとげることとなった。このヨーロッパから渡ってきた建築とその影響のもとにある建築を，ライトは，人間を機械の犠牲に捧げたモニュメントであり，個性と自由をおし殺すファシズムの建築であり，また商売に都合のよい当世流行のモダニズム表装であるといって攻撃した。そして，それらはもともとアメリカ中西部で起った有機的建築から派生したヨーロッパ近代運動を逆輸入したもので，商業主義と機械文明に去勢されて魂の抜けた形骸にすぎない。このままでは，近代産業によって屠殺場と化した大都市のなかで近代文明は滅びてゆくであろう，などと罵った。この近代文明の危機にあたって，ライトは，デモクラシイの建築である有機的建築によって，奪われた人間性と失われた自然とをふたたびとり戻そうというのである。

この有機的建築は，シカゴ博覧会をきっかけとしてボザール系がシカゴ派を打負かしたころ，サリヴァンから承け継いでライトが発展させた建築である。当時，ライトは工業都市シカゴにいて，近代産業の悪をみすぎるほどみていたが，モリスのように機械を否定して過去に帰

るのではなく，機械を手段として新しい時代にふさわしい建築をつくるべきであると説いた。その後もライトは，近代工業のつくりだした設備や材料をとりいれることに積極的で，たとえば，エア・コンディショニングやパネル・ヒーティングを早くから実用化し，マッシュルームやキャンティレヴァー構造をくりかえし試み，コンクリート・ブロックやガラス・チューブを組織的に使っている。そして，原子力が自由に制御できると聞けば，すぐさまその動力をエレベーターに用いて，高さ1マイルにもおよぶ摩天楼の計画案をつくるのだ。

機械文明の礼賛者といえばコルビュジェであるが，彼が建築生産を工業化し量産化すべきことを主張し，機械設備をそなえた高層建築によって都市の混乱を解決しようと唱えたのは，フォード工場における流れ作業やニューヨークの摩天楼の林立によって学んだものであろう。コルビュジェがエア・コンディショニングや人工照明に信頼し，ガラス張りの建築を試みようとするときは，役所のアカデミズムから攻撃をうけ，保守的な世俗の反対に遭い，予言者のような苦難の道をたどらなければならなかった。それだから彼は，機械の力ですべてが可能であると信じようとし，また機械の美学に夢中になったのであろうか。ところで，コルビュジェが理想とする機械設備による生活の便利さ安楽さも，建築の規格化や量産も，アメリカでは近代建築家の進歩的な提案を待つまでもなく，営利追求の手段として日常に実現されている。コルビュジェが理想都市の計画案に画いた全面ガラスの建築も，アメリカ人の好みがルネッサンス式の装飾から流線形のデザインに変わるだけでよく，採光面積の必要な事務所建築からプライヴァシイの欲しい住宅にまで入りこんでいる。ミースの金属とガラスによる表現派風な造形も，アメリカの工業水準と生活環境の高さがなければ，十分その価値を現わすことができなかったであろう。

それゆえ，アメリカにおけるライトの問題は，むしろ機械生産による非人間化，非個性化であり，商業主義によるデモクラシイの文化の破壊であった。「家は住むための機械である」といったコルビュジェの言葉にたいし，ライトは，あと数千年たって考古学者が20世紀の遺跡を発掘するとしても，目だつ特徴として衛生陶器しかみいださないだろうといっている。

近代産業は都市に人口を集中させて人間を自然から引離し，精神も肉体をも不健康にしてゆく。コルビュジェは機械文明にふさわしいモニュメントとして高層建築による都市の再建を叫ぶが，ライトはそのような現状を肯定する妥協案ではなく，人殺しの道具となった企業と都市を分散させようと提案する。そこでいわれる自然は，都会人が週末休暇や観光旅行で「接触」するようなこま切れの自然ではなく，コルビュジェが屋上庭園やテラス庭園でつくりだすような人工的な自然ではない。自然の本質そのもの，ものごとの本質そのもの，生活の基盤そのものとしての自然であり，それを失うとき精神と肉体の墜落がはじまるというのである。若い時代のライトは，機械による新らしい手段と新らしい人間意識をもった有機的建築によって，人間精神の衰退であるルネッサンス以来の様式建築と戦った。その後のライトは，個性の自由を尊び，自然の本質そのものである有機的建築によって，機械文明と商業主義による近代建築の非人間的な様式化と戦った。そのような有機的建築は，中西部の平原生活から生まれたアメリカ開拓者のデモクラシイを育てるシェルターである，といってよいであろう。

有機的建築と国際建築

ライトは，有機的建築とは，機能に適切で，材料に適切で構造に適切な建築のことであり，有機体のように部分と全体の統一のとれた建築であるという。したがって，ワルテンシュプールがいう「機能的な表現」とか「材質の尊重」といったような，皮相的なものではなく「機能と形がひとつ」であり，機能にかなった材料と構造をもつ建築である。ワルテンシュプールの分類によれば，ミースの表現は構造的で建築技術的であり，コルビュジェの表現は造形的（プラスティーク），ライトの表現は絵画的となっている。しかし，ライトはプラスティシティを有機的建築のひとつの原理としており，それを欠くコルビュジェの建築を2次元的な画家の建築であるといっている。そしてライト自身は，空間の架構そのままを形の表現とするので，アメリカの様式建築家たちから構造技術家的であると非難されていたのだ。

ミースの建築が「構造的，建築技術的表現」であると感じられるのは，壁がほとんどガラスになって，柱と梁がはっきり現わされているからであろう。ライトは，このように骨組をみせた建築を裸の建築と呼び，生物が骨と肉でできているように肉づけが必要であるという。「より少いことはより多いことだ」と主張してミースの求める表現派的な工業の美も，生活を抽象して一様で無機質であるため，ライトの目にはただの否定としか映らないのだ。ライトはプラスティシティと全体の統一を重んずるため，柱，梁，壁と分ける構造や，たて横，上下どちらにも同じ四角の無性格な空間を重ねる建築を嫌って，人間を機械と商売に捧げるファシズムの建築であると罵る。それは，ラーメン構造のほうが計算も施工もやさしく，平面に融通性があるため商売に都合がよく，外観も好みに応じて，創造力の乏しいルネッサンス様式にも機械の美学によるモダニズム意匠にも自由に変えることができるからであろう。

このような等間隔に配置された柱に支持される自由な

平面，直線と直角による秩序ある構成，全面ガラスの透明な立方体は，もともとコルビュジェの主張であった。コルビュジェの表現が「造形的」な感じがするのは，むしろ晩年のロンシャンの礼拝堂やシャンディガールの裁判所などであろう。しかし，こうした造形性はライトのプラシティシティとは違って，なかの空間とあまり関係がなく外に造られた形であり，その形も屋根を壁から浮かせることを大きな特徴としている。マルセーユのユニテの屋上の造形もそうであったが，これらの屋根や壁の曲面は自然のなかにみられる曲面と違って，平面を曲げてできる形に近い。フィリップス館も自由な形のようにみえながら，直線群によって展開できるPHシェルである。ギーディオンが指摘するように，コルビュジェはキュビスムの画家たちとおなじく平らな面の美しさを発展させた建築家であり，それだからこそ，2次元の平面に適用される黄金比やモデュールを「音楽における和音や音階」のように，建築の美しさを生みだす基本的な要素であると考えたのであろう。3次元の空間を求めるライトは，比例とか構成とかいった2次元の平面を決めるものを問題としない。また，一種のモデュールとして4フィート間隔のユニット・ラインや3角形，6角形のユニットを使うが，それは美しさをつくりだす原理としてでなく，人間的な尺度にしたがって平面を展開させる足がかりとして役立つのである。コルビュジェは建築をピロチにのせて大地と縁を切り，明確な幾何学的な形や純白や原色の壁によって自然との分離をきわだたせるが，ライトは石や木や煉瓦のような自然の材料を好んで使い，建築と大地との一体化を求める。

ライトは，サリヴァンの装飾は植物に似ているが，自分のは幾何学的，抽象的である。そして，三角定規とT定規でできる抽象的な模様は機械文明に適したものである，といっている。ライトの幾何学的な形は，コルビュジェが説くような理性のつくりだした秩序ではなく，セザンヌやフレーベルがみるような自然物の窮極の形，純粋な形，理想的な形なのだ。そして，円は無限，3角は願望，4角は閉鎖を現わすと考えて，空間の性質や方向に応じて組合わせて使い，全体を統一する秩序を求める。ワルテンシュプールがライトの性格を「バロック的」というのは，ライトが四角い箱の建築を嫌って4隅を切り開き，直角にこだわらずに60°や120°，円や螺旋などを使うからであり，さらにそこに「ダイナミックな表現」が感じられるからである。しかし，バロックは構造体と関係なく装飾そのものを発展させたが，ライトの装飾は直線や平面の貧しさを救うための手当であって，構造そのものの意味を失わせることはない。また，バロックは形の変化や動きを求めて曲面や異形を使ったが，ライトの曲面や形の動きは内の空間の動きにしたがい，架構の力のかかり方にもとずいている。

ライトはプラシティシティを連続性の意味に解しているが，幾何学的な形を構成するだけではプラシティシティは得られない。シェルターとしてのライトの建築は，生活の空間を囲う架構であって，なかの空間が上下左右につながっているように架構も壁や屋根が一体となっていなければならない。一体構造であるといっても，スペース・フレームやシェル構造のように数学的な解析にもとずく抽象的な形ではなくて，樹木や貝殻のように有機的な一体なのであり，内の生活の空間にそった形なのである。したがって，生活を外にたいして護るべきところは塞ぎ，外に向かうところは開き，その塞いだところが架構を支える壁となればその部分はコアとして扱われ，外にもそれと分るように現わされる。この部分から屋根が持ちだされるのだが，木造では版構造となり，鉄筋コンクリートではキャンティレヴァー構造となる。材料の性質に適った使い方をするということは，鉄は引張力に強いので引張りに働くように鉄筋コンクリートのキャンティレヴァーとし，壁が欲しいところは石や煉瓦をころげ落ちないよう厚く積み，身体に親しいところは木材とする，といったようなことである。ここでまた，可塑材であるコンクリートをプレキャストして組立て，壁や屋根を外からみるために造形し，材質の面白さや対照の効果を狙って石を壁り貼りつけるコルビュジェの建築や，上下に平行な二枚のスラブがあるだけで，壁がないため空間が蒸発したミースの建築と較べてみれば，ライトの有機的建築がどのような空間意識をもっているかが理解されるであろう。

おわりに

わが国では，コルビュジェやミースの建築論や都市計画論が紹介され，その造形手法や建築要素がとり入れられているが，ライトは過去の人として建築論も作品も敬遠されている。それはひとつには，コルビュジェやミースが近代産業の進む方向に向いているのに対して，ライトはつねに機械文明を批判しているからであり，またひとつには，国際建築の幾何学的な構成や金属とガラスの表現が機械時代の好みに受け入れやすいのにたいし，有機的建築の個性の強さが空間の良さを理解するのを妨げたためであろう。しかし，現在のこの混乱のときに，ライトのデモクラシイの人間意識と有機的建築の空間概念を理解して，コルビュジェやミースの建築を考えなおしてみることは，これからのわれわれの態度を決めるために役にたつことであろう。（1960．8.22）

ミース・ファン・デル・ローエの二・三の作品について

薬師寺　厚

1. はじめに

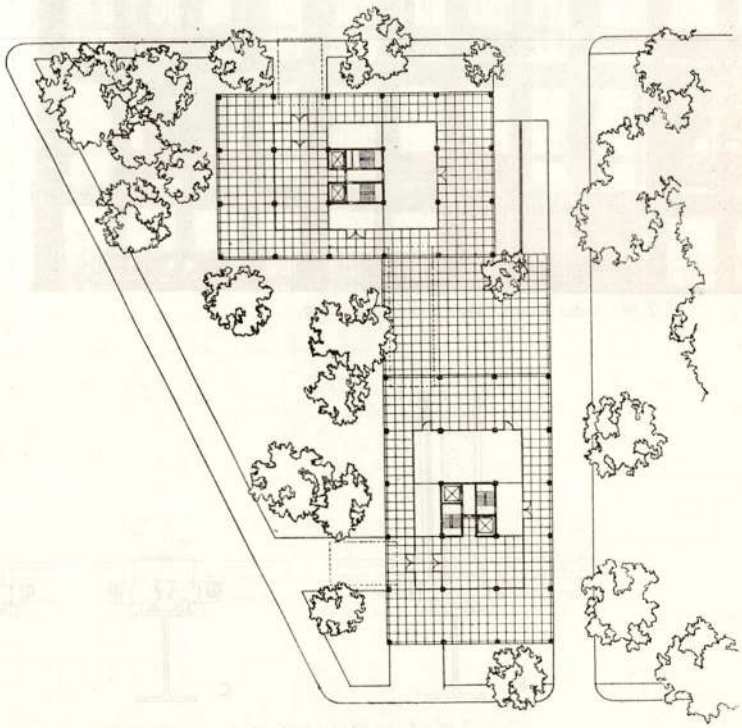
現代建築の代表的巨匠であるミース・ファン・デル・ローエについては外国でも，日本でもすでに多くの人々によってさまざまな角度から説かれているが，私はミースの作品のいくつかについて，評論家的立場からではなく，設計者の立場から創作過程の分析を試みてみようと思う。

私なりの解釈であって，もちろん考えの及ばない点も多々あろうし，独断的な点もあるであろう。しかしでき上った作品について，とやかくいわゆる客観的に述べるより，この方法によった方が，本質に触れることができると信ずるので，あえて冒険をおかしてみるつもりである。

2. Lake Shore Drive のアパートについて

シカゴのLake Shore Driveに面する敷地に1951年完成されたこのアパートは，以後のミースのいくつかのアパートやオフィス・ビルの原形となったものである。

また最近のアメリカのオフィス・ビルがほとんどこの形の影響を受けているのをみても，ミースの作品中もっとも重要なもののひとつであるばかりではなく，現代建築のひとつの形を創造したものとして高く評価されるべき作品であろう。



第1図　Apartment House "Lake Shore Drive"のプラン

1. ブロック・プランについて

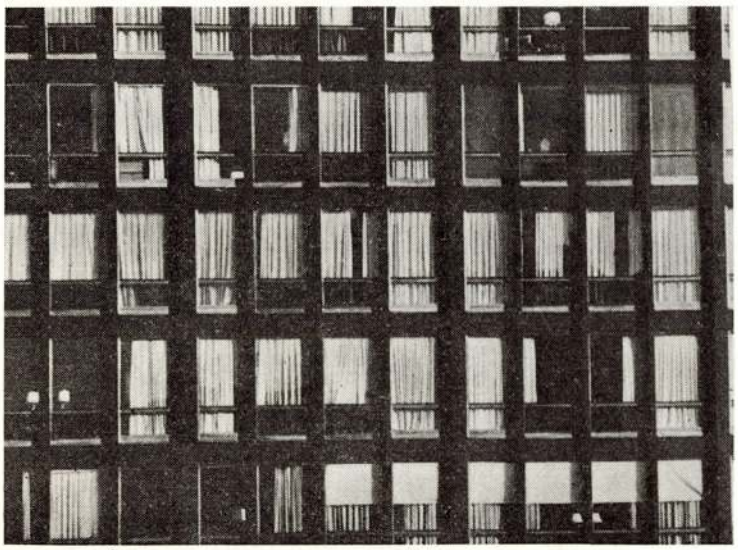
この建築は二棟の全く同形の矩計の建物で構成されている。しかし敷地をみると，その形はこの二棟をまとめて一棟としても差支えない。また平面をみてもこれを一棟にまとめることは明らかに可能である。（第1図）

ここでどうして二棟に分けたかという疑問が起ってくる。一棟にした方が，階段，エレベーターの数もへらすことができて，工費は経済的になるだろうし，住む人が互にみすかされることもなくてよさそうである。

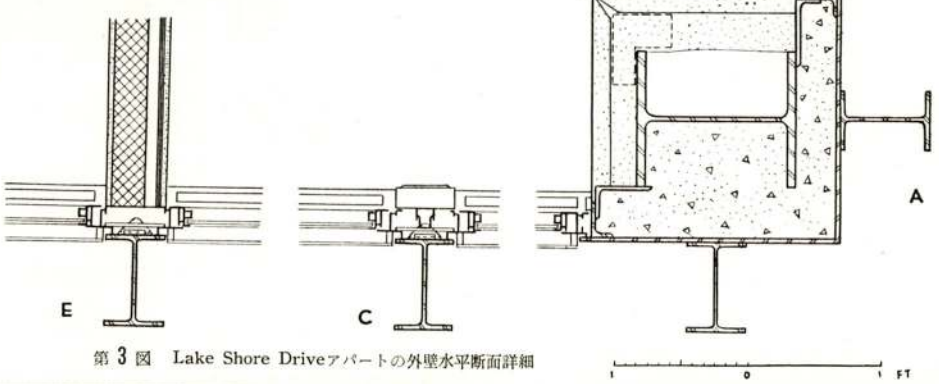
おそらくミースは二棟の建物の組合せの面白さ，豊かさを念頭に置いて設計したものであろう。私が実際この建築をみた場合にも，二つの建築がみる方向や，角度によって，いろいろ組合せの変るのに強く心を打たれたのであった。この感じは桂や二条離宮の雁行形のブロックをみたとき，法隆寺の塔と金堂の組合せをみたときの感じと共通点を持っている。

もしこの建築が一棟でできていたら，このような変化にとんだ豊かな感じは到底えられなかったであろう。

また一棟にした場合には，立体としての感じが変ってくることも考えられたのであろう。現在の正方形に近い塔状な感じは失なわれて，板状に近い平凡な魅力のない形になったろうと思われる。



第2図　Lake Shore Driveアパート立面の一部



第3図　Lake Shore Driveアパートの外壁水平断面詳細

国連の事務棟が魅力がないのは，窓割りや細部の悪い以外に，うすっぺらで高い全体の形が根本的によくない点にあるのだと思われる。

2. プランについて

この建築の形の大きな特徴は，一階の壁が柱の線から後退して設けられている点にある。そしてこの形が近頃の建築に広く使われている点に注目すべきである。

一階平面が基準階より小さいのは，一階が広間と階段，エレベータ・ホールのみで構成されている平面からも無理のない形であるが，それればかりからこの形が生れたのではあるまい。中二階を止めて一階を基準階と同形にすることもできたはずである。一階を高くして，壁を引込めたい意欲が働いていると思わざるを得ない。

この一階の凹んだ形がなぜわれわれの心をとらえるのであろうか。まずこの建物の下部をけずりとった形は建築と外界との連絡を自然にスムースにする効果がある。外界が一部建築のなかに貫入した形であって，コルビュジェのピロテイが建築を地面から切離し，地面は建築を通して連らなっている感じと異なり，この場合は，建築と大地が互に入り組んで不即不離の状態にあるといえよう

外界と建築との対立感がなく，スムースに低抗なしに建築の内部に引込まれる感じが生れている。

1階の凹んだ形は，この他に立面の処理上，技術的に有効な点もある。1階の回りに大きな蔭をつくって統一してしまうから，多くの出入口がつき立面の統一がとりにくい場合もこの方法によれば，凹みによって大きく統一してしまうことができる。

3. エレヴェーションについて

この建築の立面の特色は，第一に柱，窓の方立毎に取りつけられているI形鋼にあるであろう。(**第2図**)

このI形鋼には機能的な意味は全然ないともいえないだろうが，稀薄である。強いて意味づければ，方立の補強，施工上の便等が想像されるが，柱についているものにいたっては詳細図（**第3図**）でみる通り，構造体と全く関係のないものであって，機能的な意味が全然認られないのである。

しかしI形鋼の感覚的な意味は逆に極めて大きい。これあるがために建築のそそりたつような垂直感が生き生きとしたものになり，I形鋼による壁面のアクセント，生ずる蔭によって単調さはすくわれ，豊かさがあふれている。

なぜI形鋼をミースがえらんだのであろうか。I形鋼がこの建築の場合に限らず，ミースの好んで使うものであるが，この場合は構造的意味が稀薄なのであるから，プレートを曲げた箱形でもよし，チャンネルであってもよいはずである。しかしこれらの形のなかでI形が一番形として美しく，表現力のある点がミースをしてI形をえらばしめたのであろう。

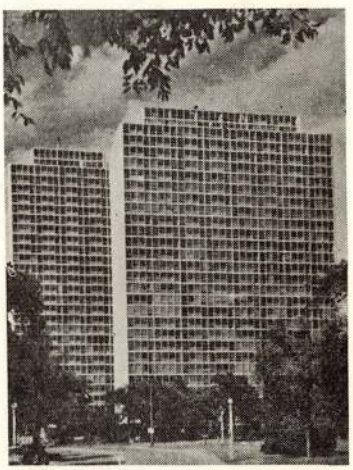
立面におけるI形鋼の意味は以上のごとくまことに大きい。しかし単なる装飾ではもちろんない。形のための建築はミース自身強く排撃しているのであって，この辺りが機能と形の間の問題として微妙な点であってミースと他の凡庸な建築家を劃然と別ける一線がここにあるのである

二階以上の柱，梁を全部鋼板でおおっているのは，I形鋼との納まりの関係もあるのだろうし，また一方鉄とアルミサッシとガラスという現代を代表する建築材料のみで，新鮮な立面を構成したい意欲のあらわれでもあるのであろう。鉄はこの場合仕上材料として使用されている。

3. 以後のアパートとオフィス・ビルについて

Lake Shore Drive以後のミースのアパートとオフィス・ビルの設計は，このアパートの発展と考えられる。

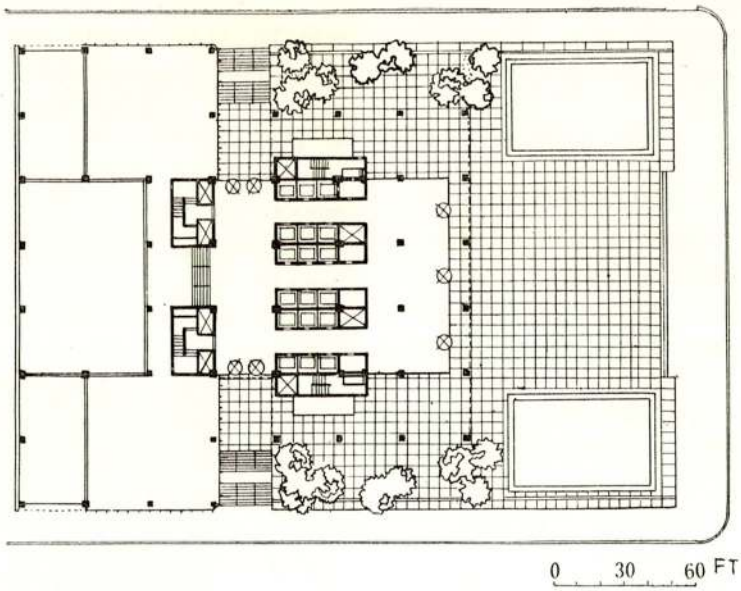
Commonwealth Promnade（1957年）のアパートは，二棟が四棟（現在は二棟のみ完成）になっている以外は全体の主な形は変っていない。大きな差は外壁が全部アルミニウムで仕上げられ，外壁は構造体の外側につき，構造体は外部からはみえなくなっている。この点はLake Shore Driveの場合，柱にもI形鋼をつけざるを得なかった矛盾が解決されているが，一方，柱の太さがもつエレヴェーションの力強さは犠牲になっているともいえよう。（**第4図**）

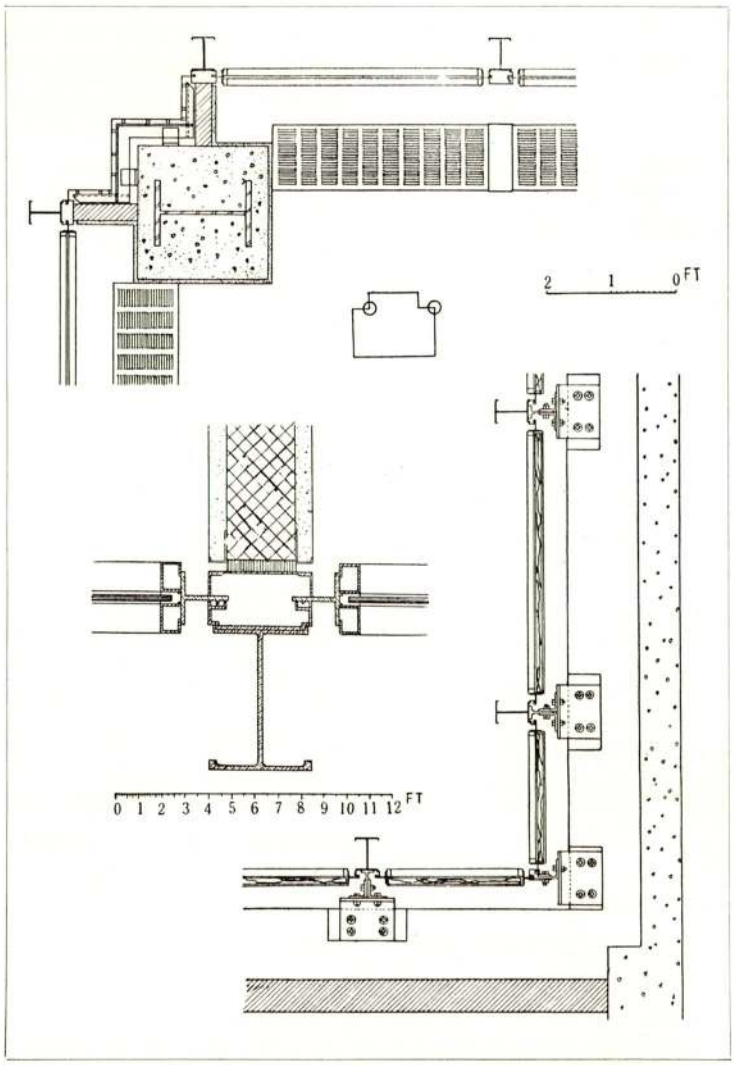


第4図　Commonwealth Promnadeのアパート

Seagram Building(1958年)の場合，一階の扱いは同様であるが，外壁がブロンズとガラスと裏面の一部は大理石のパネルとなっている。アパートにくらべて階段が多く，より塔状であるに対して，窓割りは縦長になり，I形も細身になって垂直感が強調されている。この建築はPark Avenueをへだて，Lever Houseと筋向いに建っているが，さすがのレバーハウスも格調の差をいかともしがたい。（**第5，6，7図**）







5 | 6
7

Seagramビル

第5図　外　　観

第6図　プ ラ ン

第7図　外内隅水平断面図

4. Farnsworth 邸 (1950年) について

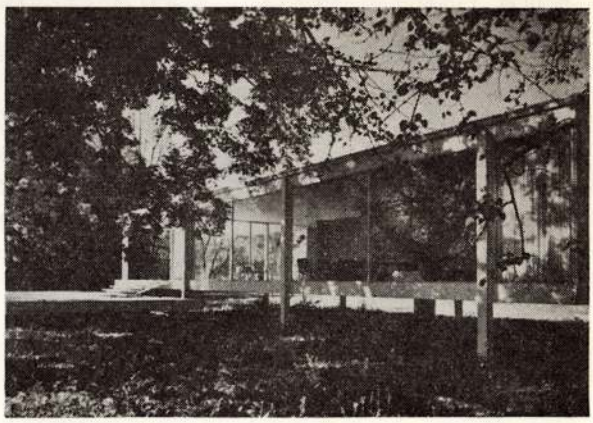
この住宅建築は四面ともガラス壁の矩形の屋根のあるテラスをもつ住宅と，屋外の一段低い広いテラスから構成されている。室内ほぼ中央にコアがあるのみで間仕切はなく，単純すぎるほど単純にできている。

(第8，9図)

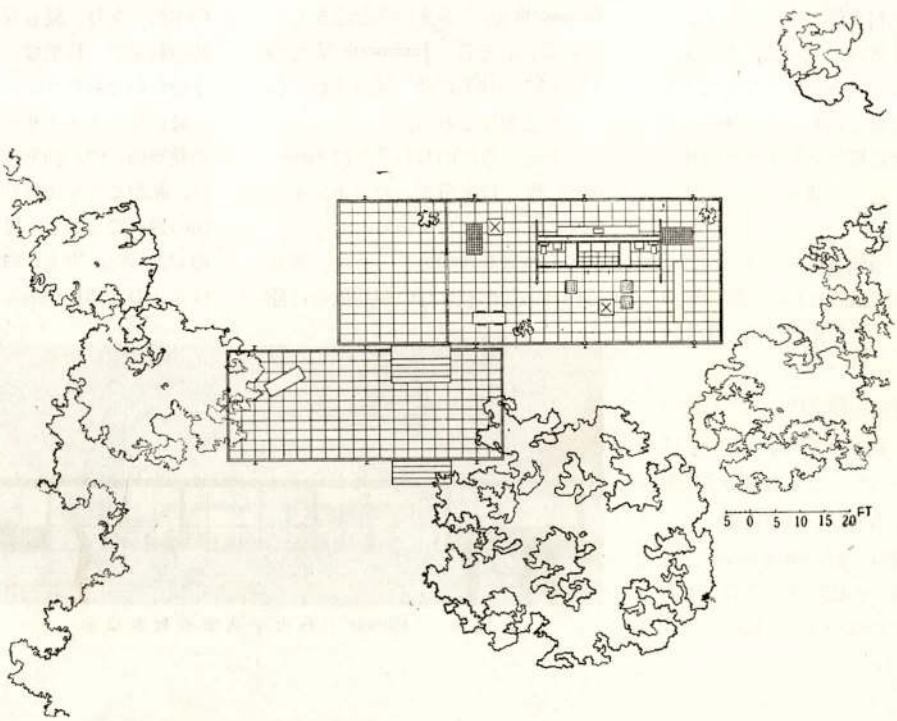
この建築の魅力は，これらの要素の巧みな構成にあるのだと思われる住宅の床が高いのはこの敷地が低地であるらしいこと，廻りが庭園として整備されてなく，林間に何等人工を加えずにおかれている点から考えつかれたのであろう。屋外の大きな，一段低いテラスは一見全然無駄のもののようにもみえる。しかし室のまわりが芝生になっていて庭がOutdoor Living Roomの役目をしている場合と違って，草が勝手に茂っているこの場合には，このテラスは一般の場合の刈り込まれた芝生に相当するものと考えられ，Outdoor Living Roomの役目を果すものとして機能的にも必然性がありそうである。

しかし，このテラスのもつ意匠的な意味もきわめて大きい。

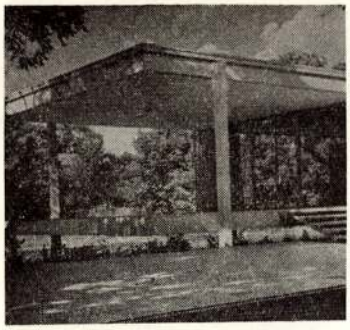
幾何学的な人工的な，建築と人工の全然加えられていない自然との間の橋渡しとして有効に働いているのである。室内から，屋根のあるテラス，一段下って屋根のないテラス，地面へとスムースに連らなって，この近代的なむしろ固い近代的な建築が自然のなかに見事にとけこんでいるのである。



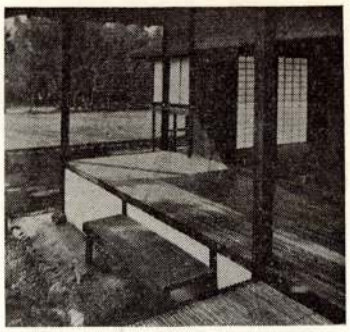
第8図　Farnsworth邸



第9図　Farnsworth 邸 プラン



第 10 図　Farnsworth邸テラス



第 11 図　桂離宮古書院御月見台附近

この手法は奇しくも，桂離宮の古書院の月見台の場合と意匠的には全く同じ手法であって，すぐれた建築には洋の東西を問わず共通点のあることを示す興味深い一例であろう。（第10，11図）

この建物の隅には柱がなく，短かい辺はカンテイレバーになっている。テラスも同じ手法で統一されている。

これは，柱がI形なので，隅に柱を置くと納まりがむずかしいのを避ける技術的理由からだろうと思われるが，床下が解放された意匠と相まって，建築が軽く浮んだ効果を一層強めている。

5. Il inois 工科大学建築科教室（1955年）

Illinois工科大学の全体の配置は，全敷地を基盤目に割って，モデュールとし，建築をバランスを考えて配置した特異なものであり，鉄骨と煉瓦，または鉄筋コンクリートの柱，梁と煉瓦を使った統一されたデザインである。

ただひとつ建築科教室は，鉄骨とガラスのみで構成され，一階の床の高い手法とともに他の建築と全く異った形をとっている。

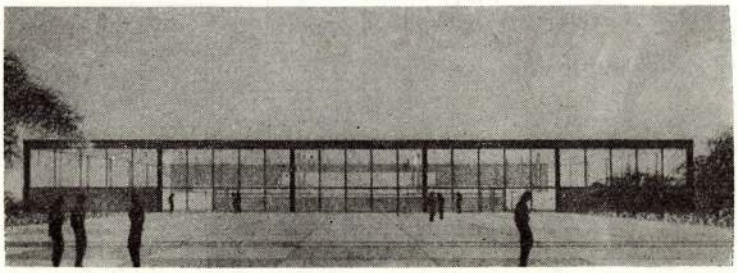
建築科教室の原案は，しかし他の建築と似たものであった。しからばこの原案がいかにして現在の姿に変ったのであろうか。（第12図）

この建築は一階の床高の高いこと，宙に浮いた広いテラスのあること，隅に柱のない点で，前述のFarnsworth 邸と多くの共通点をもっている。おそらくFarnsworth 邸での経験がこの建築に多く採り入れられたのだと想像される。

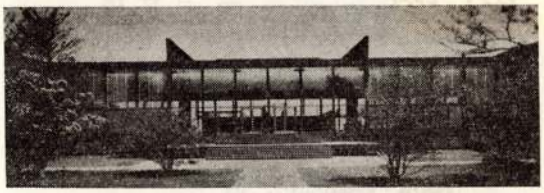
しかし，意匠的なねらいはFarnsworth 邸とは大分異ったジャンルに属するもののようである。

ミースは意識的であったか，無意識のうちにか判らないが，彼の自分の本拠であり，最も愛する建築のための教室に，神聖な，尊厳なものを求めたのであろう。

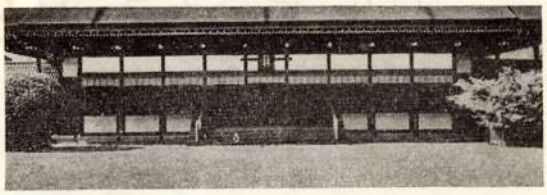
厳正なシムメトリーの形をもつこの建築のもつ，神聖な尊厳な感じは，私がここを訪れた際に，京都御所の紫宸殿を直ちに思い起こさせたのであった。事実この二つの建築には多くの共通点があって，またして



第 12 図　Illinois 工科大学建築科教室原案



第 13 図　Illinois工科大学建築学教室



第 14 図　紫　辰　殿

もすぐれたもののもつ共通点の世界性に驚ろかされるのである。（第13，14図）

厳正な左右対象，高い床高，階段，正面の左右に植えられた樹木までそっくりであって，神聖な雰囲気を形成している。

床を高くしたことはこの場合は尊厳の感を与える。床と大地との中間にある広いテラスは，Farnsworth 邸のそれが，自然とのむすびつきをスムースにするためのものであったのに対し，ここでは直接建物にはいらず，テラスを中間に設けて，建物にはいろうとするものに心構えを要求するもの，一種の抵抗として役立っているように思われる。玄関という言葉は，禅からでた言葉で，玄妙に入る関門という意味から起ったものだそうである。

寺の門や玄関は，現世と宗教の世界との仕切りであることの役目をもっている。

建築科教室のテラスもこのような意味がふくまれているように私には感じられる。

6. むすび

終りにミースの設計の傾向について，彼のごとき巨匠の全貌をつかむことは到底不可能であるにせよ，私の力の及ぶ限りふれてみたいと思う。

"Less is more" これはミース自身の言葉であって，彼の創作態度を解く重要な一つのカギであろうと思われる。直訳すれば，より少ないものはより多い，ということになり，何のことやらわけが判らない言葉であるが，より単純なものがかえって表現するものは豊かであると解すべき言葉と思う。ヴィンケルマンがギリシア古典芸術の特徴について述べたあまりにも有名な言葉「静かな偉大さと，高貴な単純」と通じる点が多い。

複雑なものの方が豊かであると一般的には考えられるが，黒一色の墨絵と，極彩色の絵とどちらが強い表現力をもち，豊かであるかは一概にはいえない。

このような単純さは，また日本文化の大きな特色のひとつでもあり，建築を例にとれば，伊勢神宮，桂，書院造，茶室は明白であるが，桃山時代の建築でも，外国のバロックやロコーの建築にくらべればあっさりしたものといえよう。ミースの建築にわれわれが非常に親近感をもつのはこのような理由によるのであろう。

Less is more のLessをただ単純に，単純なものと解することは，ただし非常な誤まりである。そんな安易なことではLessは永久にLessにとどまるのみであって決してmoreにはなりえないのである。

自分の意図を表現するいろいろな手段の中から，修道僧のような，きびしい禁欲的な態度で，余計なものを排除してゆき，抜き差しのできないところまで行って，はじめてLessはmoreとなるのであって，その道はきびしく，けわしいものである。

事実ミースの作品集をみると，ディテールの図面が数多くのっていて，その一点.一劃もゆるがせにしない態度に深く頭がさがるのである。

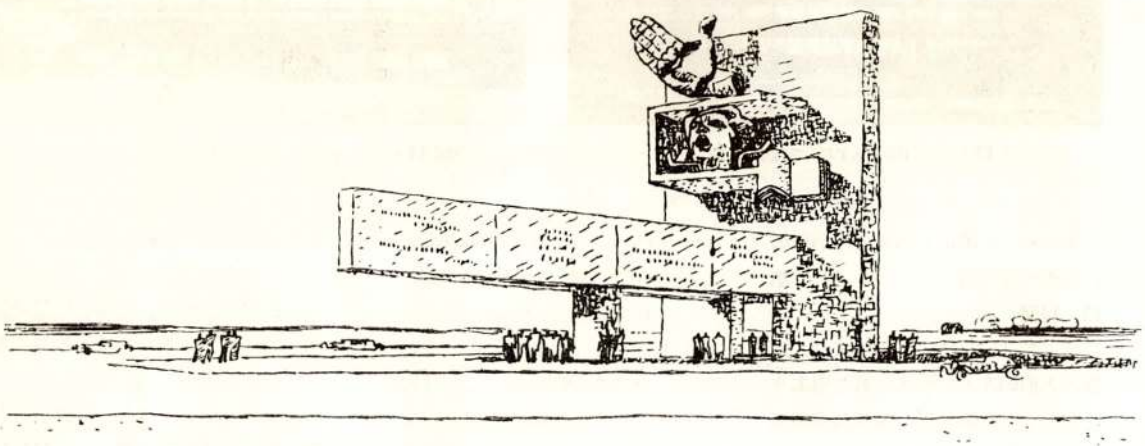
ミースのもひとつの傾向として，テクノロジーを尊重していることを挙げよう。現代，とくに第二次大戦後の世界の最も大きな特色は，技術革命の時代であることは疑うまでもないことであると思う。

建築の進むべき方向の本道も，技術革命に背を向けては到底考えられないと信ずる。

（筆者・郵政大臣官房建築部設計課長）

コルビジュエの変貌

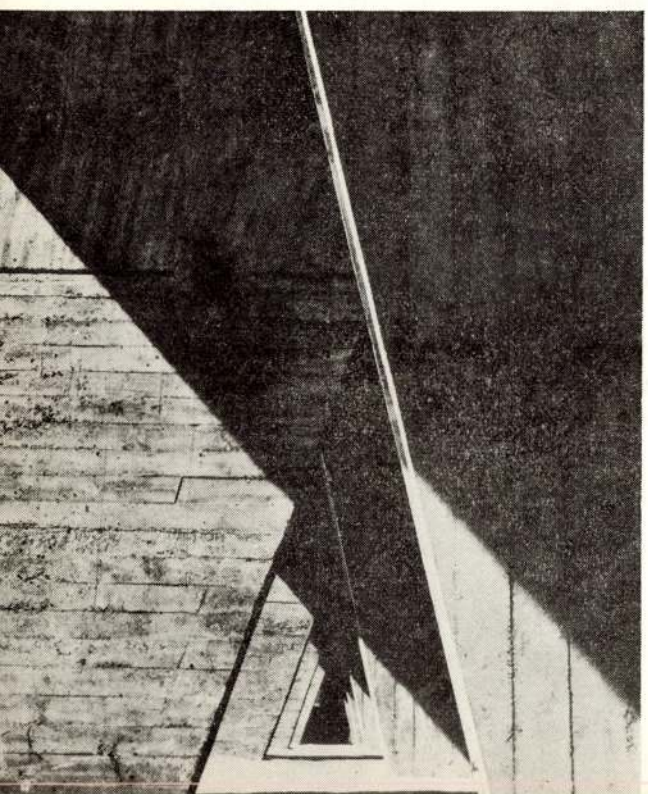
西沢文隆



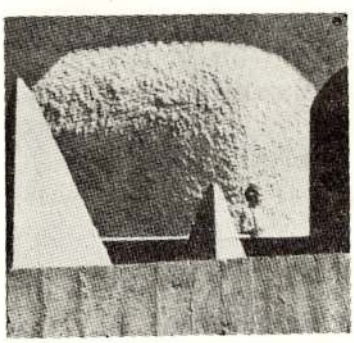
1940年シャルロット・ペリアンが来日した折，Clark Arundel 邸やSPA Lannemezan邸の着色青図をもつて来た。第三巻までのコルビジュエの作品をみなれた私の眼には，異常な迫力であつた。美しいという感動よりも少し身にこたえる清新な圧力そのものであつた。終戦後にいたつて，マルセイユのいも虫のようなユニテの模型写真に接したときの圧力はむしろ不快感に近いものであつた。その後，作品集第四巻や第五巻が入つてきて次第にみなれてきたけれども，これらの作品がいかなるものであるかを実感することができなかつた。1957年ロンシャンを訪れマイセイユを訪れて，この眼でそのものをみたとき，はじめてその偉大さが体得されたのであつた。それは今まで全く未知といつてよい次元の高い世界であつたのである。これまでローエやライトなどとならべて考えたことすらが，次元の違うものを比較していたのではなかつたかと悔いられたのであつた。その後，パリーを訪れて Swiss Pavillon をみたときの失望はいかばかりであつたか。Marseilleの Unitéをみた後では石造建築とハリボテ建築ほどの相違である。Poisyの Villaや救世軍の建物等ぜひ順礼して行きたいと思つていた私は，もはやこれらのものに少しの魅力も感じないまでになつてしまつていたのであつた。かくのごとく偉大な飛躍と変革をなさしめたものは果して何であろうか？

戦後の開花

コルビジュエは，Vaillant（ヴァーラン） Couturier（クチューリエ）（1937—8）の記念碑を堺として，偉大なる飛躍変貌をなしとげたかにみえる。それはパリーの入口に当るヴィーユジュイフ（Villejuif）の三叉路の楔形の敷地に計画されたもので，長く楔形にカンティレバーで突きでた碑文石の遙か後方で高く前へさしのべられた手と胸像ガデモンそのものの姿で未来に向って，宇宙に向って絶叫している姿である。1937年は日独伊の防共協定が結ばれた年であり，38年はミュンヘン四国協定の結ばれた年である。それは悪夢のはじまりであったが，第二次世界大戦を契機とする世界観の一大変貌の夜明けでもあったのであろう。それはよりよき未来像への希求であり，四次元の世界への跳躍寸前の姿のごとくである。画家としてのコルビジュエの中でも，このころキューヴの世界からダイナミックな世界へと次元を加へつつあったように思われる。もちろん変貌といっても 180° の転換が行なわれたわけではなく，むしろコルビジュエのあくなき建築への努力探求が，戦時中の沈潜期を経て見事に開花したという方が妥



ロンシャンのノート
ルダムの水溜め ▶



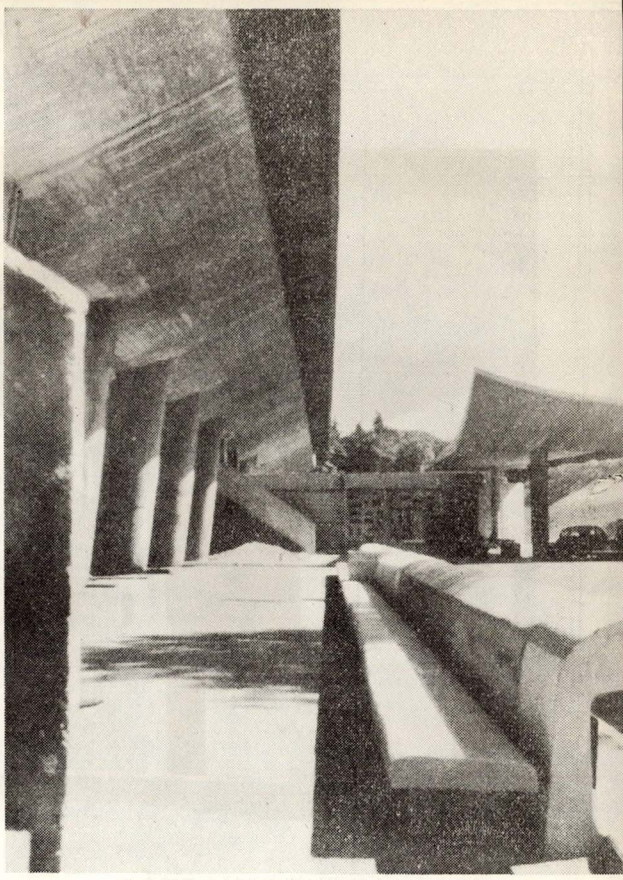
◀ ナントのユニテ
・ピロテイ

当であろう。戦時中，アメリカに渡ったローエがその豊かな工業力のなかで，スチールの真髄に肉迫したようにコルビジュエはその沈潜期の間に鉄筋コンクリートの材質を自然石の立派さにまで高めることを会得したのである。また一方，Roche邸 やGarcheのVilla以来の黄金比を基とする比例の研究が，丁度この期に人間的な尺度Modulorとなって結実したのである（1945）。このModulorの駆使による建築空間のリズム化とコンクリートの材質への肉迫はマルセイユのユニテ以降の具現した諸建築に，今までかってなかった清新な建築的次元の深みを彫り込むテクニックの根幹であると思われる。

以下少しく戦後の作品につき，その軌跡を追跡してみたいと思う。

マルセイユの Unité d'habitation

長さ130M，高さ56Mのこのアパートの前に立って，壮大なピロティの上に高々と支へられた337世帯のこのユニテをみあげるとき，われわれ建築家のまず覚える感懐はおそらくまったく同じではなかろうか。それは，Plan Voisin（1923）いらい彼が呼びつづけてきた輝ける都市（Ville Radieuse）の構想が，ついにここに一里塚として現出したというほのかな安堵と，彼の今までの雄大な宇宙的計画をみなれてきたものにとっては，あまりにも孤独にひとつぼつんと建っているという建築家の力のおよぶ限界をみせつけられたようなさびしさである。Plan Voisin（1923）や Ville Radieuse（1935）は平地全体を建築化しているし，São Paulo（1929）や Rio de Janeiro（1929，1936）の計画は建築が起伏する自然にまたがり，山をつらぬきえんえんとつづいて，自然と建築が合一して新しい自然を造りだしている。また1930年の Alger の計画は，建物の中央階に自動車道路が貫通していて万里の長城にも比すべき高層ビルがえんえんと続いて，Alger全体が雄大なひとつの建築と化しさっている。このような全体計画の壮大さにまでおよべなかったことと，かねがねの彼の発想である自動車道路を歩行道路から分離して土地を100％歩行者に提供する形にまでもっていきえなかったというさびしさである。コルビジュエの雄弁と，フランスの建設大臣 M.Claudius Petitの最後まで反対を押しきった勇気をもってしても，なおここまでしかいきつけなかったのである。それにしても，それは厳然として眼前に屹立している。ながいあいだ戦い続けてきた努力の結晶である。それは単なる337家族をいれるアパートではなく，中央階に商店街をもち，屋上に育児室や体育館，児童遊戯場をも完備するという，社会的考慮の払われたひとつの街である。Modulorによって寸法的に

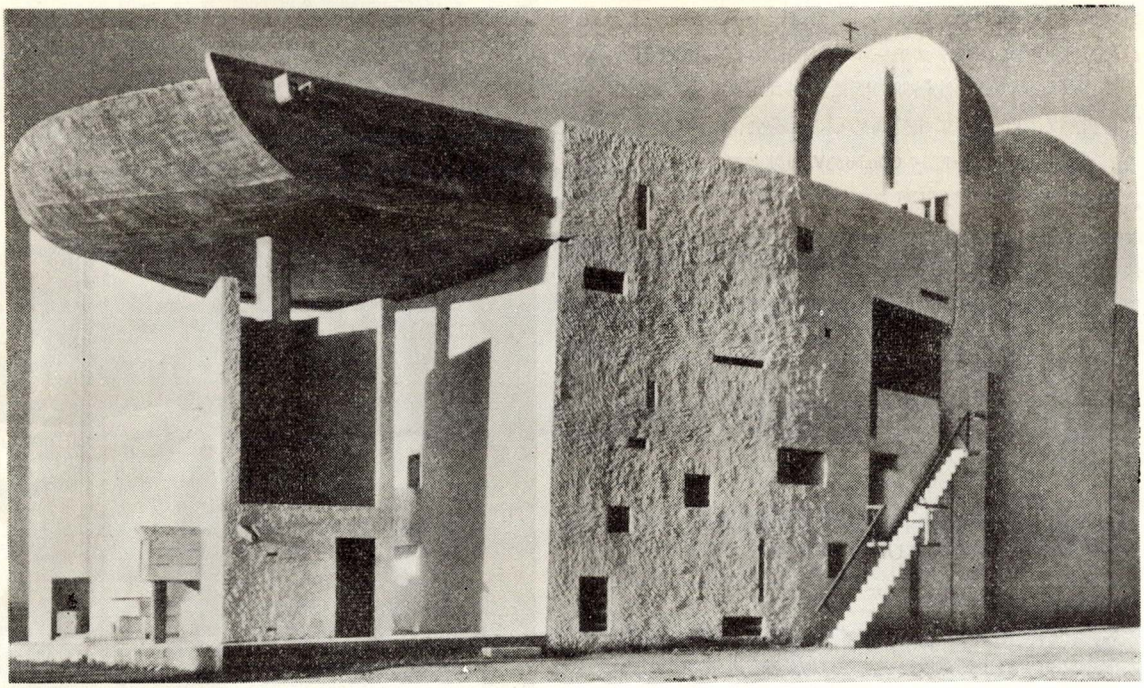


マルセイユのユニテ・ピロティと玄関ポーチ

統禦され，空間全体にリズム化された美しい比例は，地中海の輝やかしい陽光の下で，コンクリート打放しの仕上面の荒々しさと調和して，かえって天然の岩石の立派さにまで材質を高められたコンクリート打放しの膚とあいまって，まさにコルビジュエが開館の辞でのべたごとく，「建物のあらゆる部分が一致して叫びだして」いる。

コルビジュエは初期の作品以来，ピロティや屋上庭園を採用することにより，太陽と輝く緑の大自然を100％獲得することを志しているのであるが，それは建築の建つ以前の自然ではなく，むしろ建築的に再構成された自然である。この自然のなかで建築は劃然と遮断されて独立し，その独立した孤城のなかでおもむろに自然を貫入せしめるのである。ピロティは，地上において緑の地平線のヴィスタを獲得するためだけではなく，住居を自然から孤立させる役割をもはたしている。

このユニテもその壮大な柱脚によって，高々と中空にささえられて完全に外界から隔離されている。外部との接触点は，最小限に縮められた玄関ホールと，これにつづくユニテの巨大さと対比的なL字形の不整形にそりあがった鋭い冷徹なポーチだけである。それはひとでの胃袋のように巨大なピロティの下からはみだしてわれわれを引きいれる。モデュロールのグリル窓によってほの暗く光のしぼられたこじんまりとまとまった必要最小限の玄関ホールに立つとき，これから次元の異る世界へ導れるのだという情感がひしひしと身にしみてくる。Unitéは



ロンシヤンのノートルダム北面

プロフィルと輪廓は建築の試金石である
プロフィルはすべての束縛から自由である
プロフィルは心の純粋な創造である
これらは造型的芸術家を要求する　　Le Cor.

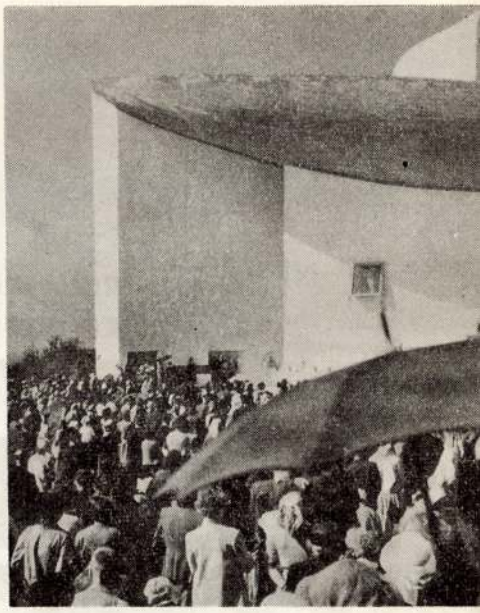
Ville Radieuse（ヴィーエ ラデユース）(1930) の具現である。天井照明を一切排して，ブラケットとスタンドのみに限定した試みは一種劇的な光となって多少疑問があるが，この異様な廊下を通りぬけた後で，Unitéの一室に入り込んだとき，東西に自然の貫流する中二階のあるUnitéの明るさは対比的に自然の再獲得として印象的である。再獲得として最もみごとなのは屋上である。人が屋上に立つと 1M400の高い手摺越にみる景色は，すぐ下の外界はさえぎられて，遙か東には緑に白の点々と入り混った石灰岩質の山々の連り，西には地中海の紺青に輝く姿だけがみえるようになっている。

Ronchamp（ロンシヤン） の Notre Dame（ノートルダム）

車窓から遙かに緑の丘陵に，大きな笠をいただいたようなノートルダムの白い教会が浮び上ったときの感激を忘れることができない。それはニューバウハウスの立っている緑の丘から遙か下界に夕日に霞むUrm（ウルム）の Minster（ミンスター）をうちながめたときのおちついた美くしさとは，まさに対称的な感激をもって迫ってくる。写真でみていてむしろ奇異に感じたものが，ここではまさに風土のもつ雰囲気とぴったり合一して中空に浮びでているではないか。ごたごたした田舎町の路地を通り古風なロマネスク風の鉄製の門をくぐり抜けると，道は爪先上りの緑のスロープになって，僧院の屋根越しにノートルダムの鋭角的に光った東南の隅角の壁の上に雄大な深い打放しの屋根がもうそこに迫っている。丘の上に立つと広い青草の上に，丁度牡丹のつぼみが，その柔い若葉につつまれてほどよく納っているように実に確かな位置をしめている。西から北へ，北から東へと堂の廻りを巡ぐって行くに従い，ノートルダムは刻々とファサードを変貌していく。ここでは，荒々しく塗り堅められたモルタルの膚が霰石をノミ切り仕上げしているような厚味のある材質に変っている。餅網のように鉄筋を組込んで蟹の甲羅のように構成された構造は，今までの壁構造とはおよそ異った構造の世界である。それは構造計算から演繹された構造ではなく，蟻がおのれの巣を造るようにして創りだされた形態である。こうして新しい形態と空間は真に生れてくるのではあるまいか。ブリッセル博の Pavillon Philips に創りだされた構造もそのようなものであったと思われる。ここでは今までにかってなかった異様な閉鎖空間を創りだし，そのなかで新しい音や色やイメージのリズムによって，人々はひとつの魔法の次元へと引き入れられ



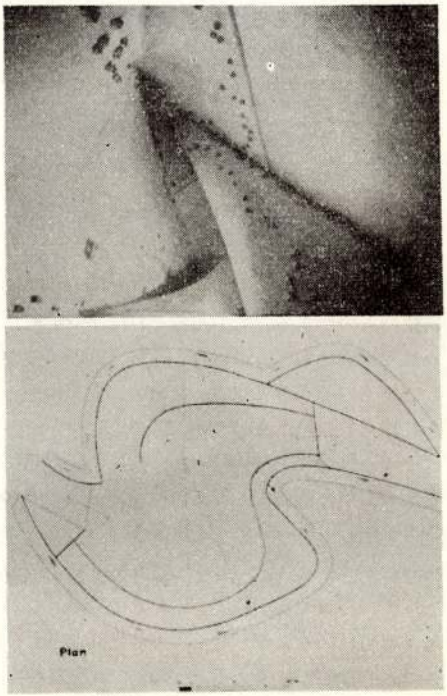
ロンシヤンのノートルダム　東壁内面



ロンシヤンのノートルダム　東壁外面

たであろう。ロンシャンのノートルダムもまさにそうした新しい空間である。しかもそれは教会なのだ。北の入口から入るとほの暗いなかで，まずきっちりと敷きつめられた床石が目につく。南正面には銃眼のように深く彫り込まれ，ステンドグラスを嵌め込んだモデュロールの窓が壁一面に輝き，その最頂部と天幕を張ったかとも思われる柔かくたれた打放コンクリートの天井との間に，ストリームラインのように細く白い光の帯が走っている東正面右寄りの龕にはめ込まれたマリアの像があり，その右下にキャドンルライトが妖しく輝いている。このマリアの像の背面は東面外部でコーラス台や説教台のある。野外舞台の中心となっていて，内部空間が外部へ直接貫流する窓口になっている。また，この像は内部究間に対しては，ごくありふれたマリアの風貌，外部に向ってはエルンストのニンフのような姿態で，精神，物質両界の反曲点となっているのである。東西それぞれの入口の左側に弥撒台があって，高い塔の上部から光がさし込むようになっているが，その塔は真赤に塗られていて，丁度ステンドグラスを通して赤い光で塔の内部が輝いているような雰囲気を醸しだしている。しかもそれはステンドグラスそのものでないだけに，時間の切断面と相対待したような空間感覚を感じさせるものがある。これら隅々までデザインされつくした壁と光の奏でる空間音楽は，パンテオンのドームやブラマンテのドームのもつやわらかで崇高な空気とは異り，冷厳な中世の寺院ともまた異って，冷徹でしかもやわらかな宗教的詩曲にみちみちているのである。厚い壁によって完全に遮断されたこのノートルダムの室内空間は，壁と天井を区切る白いスリットの光と，南北にあけられたモデュール窓を，なかんずく，マリアの像と弥撒台のトップライトによって，非常に鋭い内外空間の貫流を達成している。

そして，東側マリア背面の広場には，晴れた日曜に人が充満し，東北隅に設けられたピラミッド形の壇上まで人々があふれるとき，この丘全体が聖母マリアを讃へる讃美歌でうなるであろう。



フィリップ館とうのプラン



La Tourett 南面

外部は常に内部である

建築の全体的効果において，敷地の要素そのものが大きな役割をはたす。その立体的ボリュームや深さ，敷地全体を構成している材料—材木，大理石，樹木，草，青い地平線，近くまた遠い海，空等々—によって，壁が光と関係を持ち光と影と関連し，悲しみ，喜び，のどけさ等々と関係をもつように敷地の諸要素は重要である。すべてこれらの諸要素は織込まなければならぬ。

ラ ツウレット
La Tourette

最近レコード誌に発表された La Tourette の姿には誠に快いものがある。もちろんそれは Modulor によって隅々まで計画され，この場合とくに人間的尺度が美しく生かされているように思う。東京の国立美術館と期を一にして造られた精もあろうか，荒々しいコンクリートの膚はその石質を失わないのみか非常に清純な感じを与える。西面から南面にかけての律動硝子面 ≪Pande Verre Ondulatoire≫ (Modulor を元にしてコルビジュエの協力者 Xenokis (クセナキス) の考へだしたもの) が上部の宿舎部分と対比して，リズミカルな引締役をはたしている。これは ≪Pande Verre≫ の冷徹さがなく，外部空間がひたひたと内部へ浸入しうるかにみえる。玄関ホールと礼拝堂を結ぶ廊下にも，この律動硝子面が用いられ，悠やかなスロープで礼拝堂の方へ落ち込んでいく。ランプは Poisy (ポワシイ) の住宅いらい，動線の動きにつれての空間の展開の役にまま反覆使用されてきたものであるが，La Tourette の場合のような悠かさは一度実地を訪ねて歩いてこの体で味わってみたいと思う。(国立美術館の場合も，ランプは非常に大きなファクターとなっており，それは単に空間の展開のみでなく，上り切ったところに大きく外部の景色がクローズ・アップされて室内外の空間が快く貫流するようになっている。) 西棟と北棟の間の断崖絶壁のような裂け目，律動硝子面の下のピロティ，各棟をむすぶ律動硝子面の渡廊下，その間にできる中庭，その中庭は中世の僧院のクロイスターと異り，山の傾面のままに西へ向って下り，渡廊下の下からさらに西棟の下を横切ってどこまでも西の下界へと連っていく。自然と建築との相互貫入はみごと実現されている。この建築空間を拡げる努力は初期のころより，執拗になされており，Villa Garche (ヴイラ ガルシュ),

Villa Savoya以来，あるいは階段，あるいはランプ，屋上庭園，日光浴室等々，あらゆるテクニカルアプローチが試みられている。

ロンシャンの雨落ちのところで行なわれたような単純な幾何学立体による造形的な試みがいたるところでなされている。祭壇への採光のために造られた思い思いの方向を向いた3ケの円塔形や行儀よく鉋口を並べたような8ケの角塔，また祈禱所の採光窓のための大きなピラミッド，東北隅に高く突き出た鐘楼等緊張した彫の深いものとなっている。

シャンテイガール Chandigal

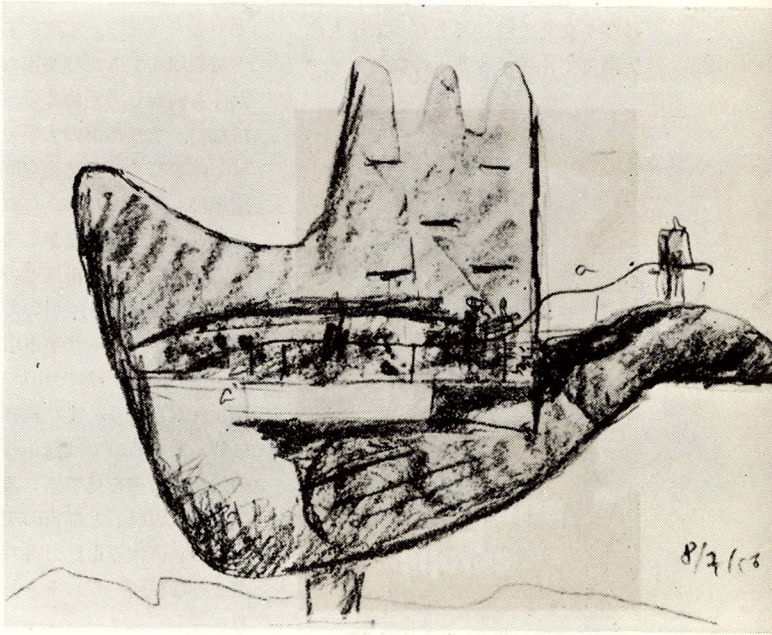
第二次世界大戦の結果，続々と新生国家，新興国家が誕生した。当然の帰結として首都建設が行なわれる。わが国でいえば，奈良の都や平安の都が出現したころの若々しさである。わけても，たくましくエネルギーの発現をみるものは，Chandigal（シャンデイガール）と Brasilia（ブラジリア）であろう。一方はコルビジュエ，他方はルチオ・コスター(Lucio Costa) とオスカー・ニーマイヤ(Oscar Niemeyer)，いずれも師弟関係にある二人の建築家の手によって遂行されている。しかも双方ともに中央官庁地区を街の一方におき，これを主軸の起点としており，街すなわち一般住区はいずれも住区（Secteur）制をとっていることは興味深い。住区はもちろん独立した村落形態を採るわけであるが，Brasilia の場合は高層の近代住居区を形成する意図であるのに対し，Chandigal ではコルビジュエは今までの Ville Radieuse 以来の行き方をかえて，相当印度の風俗伝統を生かして東洋的な解決をみようとしている。一住区の大きさは，約 800M×830M，人口は 8,000～20,000 人とあるから，Ville Radieuse の 1,000 人/1ヘクタールにくらべると，およそ⅙～⅛である。そしてこの住区は高速道路に囲れて東洋の古代都市のような条坊制をもつ。この地区の大きさの決定には相当人間スケールの考慮がなされており，彼が日本を訪れ京都の街を歩いた折も，Chandigal のスケールに合せて歩いてみたりした。平安京の街区は道路巾を除くと，144 丈（437M）角であるから，Chandigal は丁度この4倍に当るわけである。案内して歩いてもおよそなにもみず Chandigal の話ばかりしていた。桂の離宮では滝口の音を聞いて，Chandigal でも川に堰を造って音をだせばよかったと惜い，深々と繁った杉苔をみては，これが防暑用に屋根に使えたら，といったぐあいであった。

彼はいままさに Chandigal で夢中である。幸にしてこのかんじんの住居区も含めて彼の案が実現することを望んでやまない。

これにくらべて実に華々しく自由奔放に彼がいま腕を発揮しているのは，東北端の中央官庁区である。Alger の計画以来随所に試みられた Briese Soleil（ブリーズ ソレイユ）や空中に架けた遮熱屋根などの建築的処理法は，高等裁判所，事務館，議場などに採用され，Modulor によってリズム化されて非常に彫の深い内外空間の交貫をみるのである。これは Ahmedabad の紡績組合会館でも Shodhan 邸でもいえることである。とくに後者の場合，中央にスロープをもつ発想法は Poisy の住宅と同じでも，ここにはおよそ行きわたった内外空間の相互貫入があり，全体に彫の深い陰影のリズムを奏でている。官庁区中央の議場が完成され総督官邸ができ，その前の広場の外部のスロープや，階段や，そして人工山が完成し，官邸の右側前面に高さ50フィートの「天に向って開かれた手」が，ボールベアリングによって風見のようにくるくるとまわるとき，住居地区や主要道路も完成に近ずきつつあるようにと祈るばかりである。

ファウストは海岸地区の干拓工事が完成に近ずいたとき，瞬間に向って思わず叫んだ。「止れ，お前はあまりにも美しいから」と。時計の針は落ちファウストは倒れた。コルビジュエは瞬間に向って叫ばないだろう。永遠に若々しく混沌（カオス）の世界で造形へのデモニッシュな変貌を続けるであろう。

（筆者　坂倉準三建築事務所大阪出張所々長）



開　か　れ　た　手

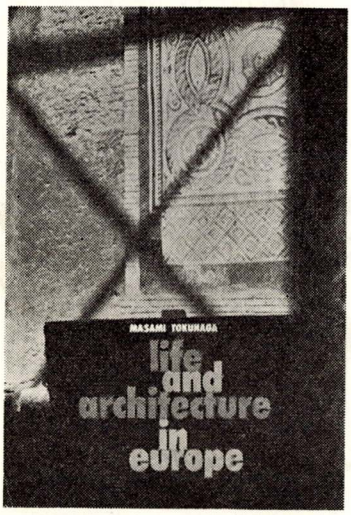
徳永　正三著「ヨーロッパの風物と建築」
同　「ヨーロッパの生活と建築」



A5版。265頁。¥300。弥生書房発行。

著者徳永正三氏の旅行は北欧コペンハーゲにはじまる。そして北欧各国からドイツ，フランス，ロンドン，スイスからイタリーへ飛んで，カイロのピラミッドを最後に日本へ帰ってくる。その間三ケ月のヨーロッパの風物と建築の見聞と著者の感銘深かった体験を，つぶさにしかも平明に綴ったものが「ヨーロッパの風物と建築」であり，建築家の鋭い眼と建築家らしいセンスに満ちた写真技術を駆使して写した写真を編集したものが「ヨーロッパの生活と建築」の写真集である。

とにかくよく書かれ，またよく写されている。その国々の空気が感じられるのである。たとえばストツクホルムの朝の公園の風景など，湿り気のないカラリとした芯の何かひやりとした北欧の朝の空気に包まれて，清潔なエプロン姿の中年婦人が屋台のカウンターの中で働いている。点描，あるいはフローレンスの砂塵を交えた強い風となって旅人に突当ててくるイタリーの空気など，



グラビア写真87点，文 58頁。¥ 1,800。
美術出版社発行。A4版

鼻の中が乾いてくる空気の味も表現している。写真にしても，冷え冷えとして雨に煙るローマのエセドラ広場，朝もやのなかに優しくかすむミラノのドウオモのエレガンスなど，静中の動，写真の中から低い都市の暗騒音まで響いてくるような気がする。こんな風に活字と写真からそこのアトモスフエヤさえ感じとることのできるのも，けっきょく著者のらんらんたる観察眼と，見たものの何物たるかを看破する教養見聞の深さに源しているのではなかろうか。

この旅行記は，いたるところに石の話が出てくる。スカンジナビヤの花崗岩，ドイツ，フランスの砂岩，イタリーの大理石そしてパルテノンの大理石まで，素材の肌合から加工性，靴の裏での足触りとか，媒煙が透み込んで風化した具合，石に対して抱くヨーロッパ人のノスタルジー，そして土にも等しい豊富な石を売って外貨を得ることができる国のありがたさなど，実際に石を手に持って取組んできた建築家ならでは，かくも観察し考えめぐらせるものではない。また都市の広場のこともしばしばでてくる。建築空間としての広場はもちろんだが，これらの広場につどう市民達の姿がよく画かれている。著者はこの市民達の姿を通じてその市民生活を，引いては日本では数少いこういった都市広場の社会生活上の位置ずけについて，何かを摑まれたと思う。また読者にも自然に解ってくるのではなかろうか。この二冊の著書を見て感じる。旅行中の著者の眼は石と都市の広場（あるいはこれに代る市民の寄りつどう殻のような場所，レストランであったりショッピングセンターであったりする）とに特に向けられていたように思える。まことに適確である。しかしこの二冊の本は決して角張って読みづらいのではない。全編にその国の人々との会見記や食物の話が織り込まれ，便所の話やところどころには失敗談めいた体験記まであって，前述の社会的建築的な観察と批判と著者の活き活きした体験談が全く一体となり，最初の著書とは思えない達者な筆致は，淀みなく流れて飽くところを知らない。文章も気取らぬようでスタイリツシュ，随筆としてもウイットを底に秘めた文体は肩も凝らせず一気に読まされてしまう。

建築家はもちろん，一般の人々にも，建築家の眼を通して見たヨーロッパの現在の姿を知るには，まことに好個の書として多くの人に読んでもらいたい本である。とくにヨーロッパに旅行した人，あるいはこれから旅する人々には案内記にもなろう。そして，ぜひこの二冊を一緒に読まれ，また見られるようにおすすめしたい。

（50日ばかりのヨーロッパ旅行をしたというので若輩の私が，建築界の大先輩の書評を頼まれてしまった。書評の書き方も知らぬ者の非礼非力，お許しを乞う。しかし，もう一度ヨーロッパへ行きたくなった）

（東畑建築事務所　**鈴木洋也**）

伊奈の タイル 衛生陶器

衛陶マーク

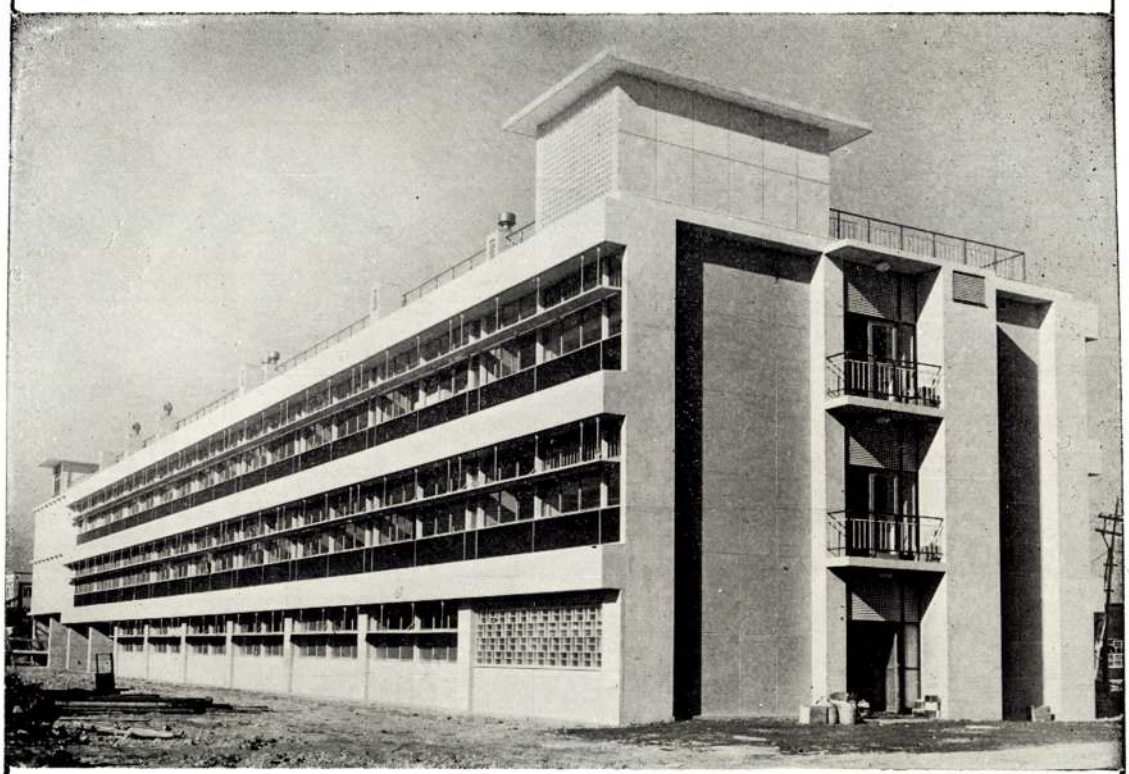
良質と量産を誇る

カタログ送呈

許可番号　第6428号

タイルマーク

衛生陶器はJIS表示の伊奈の製品を



名古屋市大基礎医学教室
設計・市営繕課
施工・大成建設
納品・ＣＣ130

伊奈製陶株式會社

本社及工場 愛知県常滑市扇面新田 電　(代) 7 0 0
東京事務所 東京都中央区西八丁堀2—8 電(551)5261—2 5921

コーキングパテ

ウヅラEP

柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東２ノ５　電話大阪 ㊼ 1494～4
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西３ノ99　電話大阪 ㊼ 0426

パテタイル

世界に誇る驚異的建材！

ガスにも熱にもビクともしない！

40年の厂史と最新技術の産物

特許……耐酸，耐アルカリひふく鉄板

オリエンタルメタル

永久建材・超ひふく鉄板

スーパーオリエンタルメタル

新時代にマッチした色つきのひふく鉄板

オリエンタル カラーメタル

美しいアル三箔 ひふく鉄板

オリエンタル アルシート

型録送呈

責任施工

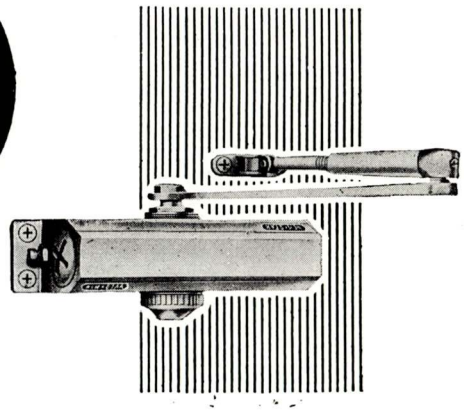
オリエンタルメタル製造株式会社

本社並工場　尼崎市大物北口　電話（48）4947~9
東京支店並工場　埼玉県蕨市大字塚越1620　電話蕨3252~4
支店、出張所　八幡・郡山・名古屋・敦賀・徳島・三原・徳山・延岡・岩国・宇部・川崎

NEW★STAR

創業大正八年







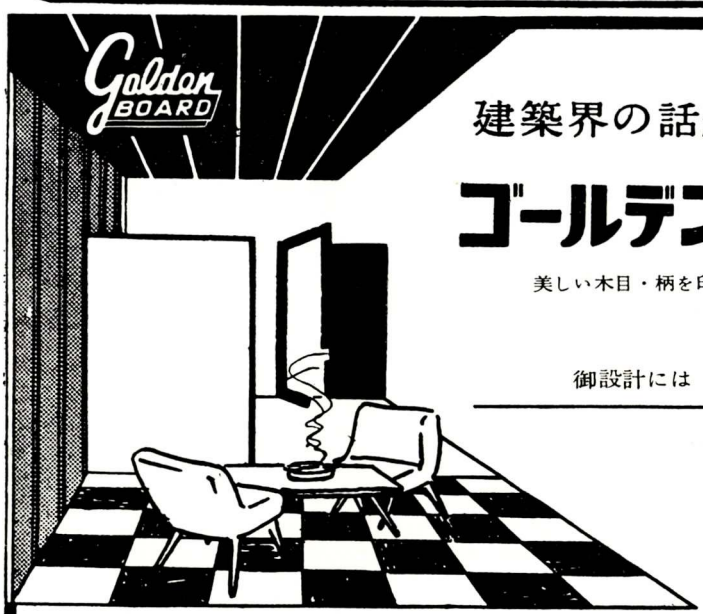




日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長　出向井啓蔵

本社工場	布施市横沼町3丁目11番地	電話 大阪(72)代表6666−8
巽工場	大阪市生野区巽矢柄町222	電話 大阪(72)6669
東京支店	東京都千代田区神田錦町1丁目23	電話 東京(291)1920・4920
福岡出張所	福岡市舟津町1番地	電話 福岡(4)2372・3312
名古屋出張所	名古屋市中区下園町1丁目5番地	電話 名古屋(23)7361



建築界の話題をさらう

ゴールデンプリントボード

美しい木目・柄を印刷した優雅にして強じんな建材です

御設計には　第3の材質 **ゴールデンボード** を

保温・断熱・防音にすぐれた
- **インシュレーション**

建物から家具まで用途が広い
- **ハードボード**

間仕切用に効用大
- **サンドウイッチボード**

四季を通じて快適な居住性を造る建築材料です　経済的で仕上りが美しいので住宅・オフイス・工場等に広く用途を持っています

代理店　伊藤忠商事株式会社　三菱商事株式会社
安宅産業株式会社　住友商事株式会社

日本ハードボード工業株式會社

名古屋市港区汐止町
TEL 名古屋(23)4284・8261
東京都中央区京橋2の4
TEL 東京(281)5151〜5
大阪市西区南堀江大通り1の19(三友ビル)
TEL 大阪(54)2745〜6

ABCの建材

ABCコーキング

凡ゆる間隙から永久に漏水の心配を根絶する
永久に気密を保持する
廉価で耐久性のある コーキング剤

18リッター罐		8,500円（現場渡）
1cm×1cm×1m	材料費	48円
コーキングガン		3,000円（現場渡）

カラクリート

美しく，磨耗せず，滑らず，かつ耐水性に富んだ床材床，廊下，階段，ロビー，バルコニー，ガソリンスタンド等美しい色彩と耐磨耗性を必要とする場所や，防水力があるので戸外にも使用出来る。

価　格　42kg袋入（6坪分）　現場渡｛緑 7,080円（坪当り¥1,180）／その他 5,880円（〃 ¥980）

フェロコン

工場，倉庫用コンクリート床仕上材
コンクリート床の金属性硬化材で，フェロコンの施工によって床は恰も鋼板を張ったような効果をあげる。

価　格　49kg袋入（7坪分）　現場渡｛色物 6,200円／ナチュラル 5,400円

コルキート

近代人の部屋には疲れをいやし，いらいらを取る壁材
合成ゴムとコルクから製造されたコルクシートで落着いた上品な感覚で，老化せず水洗出来る

価　格　坪当り　東京渡　2,200円　　寸法　3尺×6尺×0.7mm

ロビンスコンダクティブタイル

麻酔ガスの爆発を防止する手術室用電導ビニールタイル

- 常に一定の電導性を保証出来る
- 施工翌日から使用出来る
- 掃除、補修が容易である

K.K. ABC商会
東京都千代田区永田町2～77
TEL（581）1411（代表）～7
大阪出張所
大阪市西区京町堀通1～18（京町会館ビル）
TEL（44）3915・0500・9303

海外の近代建築アンケート

アンケート

海外へ行かれて、もっとも感銘をうけられた近代建築の作品を一点だけご紹介ください。

「海外の近代建築アンケート」によせられた作品名と執筆者はつぎのとおりであります（順不同・敬称略）。各位に厚くお礼申しあげます。

◀ 公共建築関係

ケルン市庁舎……鈴木　洋也
ストックホルム市庁舎……秀島　乾
ウッパルタール市営浴場……坂　静雄
マラカァナア・スタジアム……吉成　武
アインドーフェン駅本屋……山崎　兌

◀ オフィスビル関係

Republic National Bank of Dallas……伊藤　鉱一
レバーハウス……小川　正
レバーハウス……木村幸一郎
レバーハウス……東畑　謙三
ピレリービル……角田　栄
ピレリービル……山根正次郎
ピレリービル……永井　賢城
ピレリービル……池田　宮彦
シーグラム・ビル……徳永　正三
シーグラム・ビル……陶村　功
ノートン・ビル……長谷川　大
トレ・ベラスカ……黒川　紀章
Manufacturers Trust Company……稲田　芳郎
LORRAINE-ESCAUT……稲垣　皎三

◀ 学校建築関係

ブラジル学生寮……近藤　正志
ウェイン大学記念館……吉原慎一郎
メキシコ大学構内の一群の建築……高田　秀三
Administration Building（メキシコ大学）……中村　功

◀ 教会関係

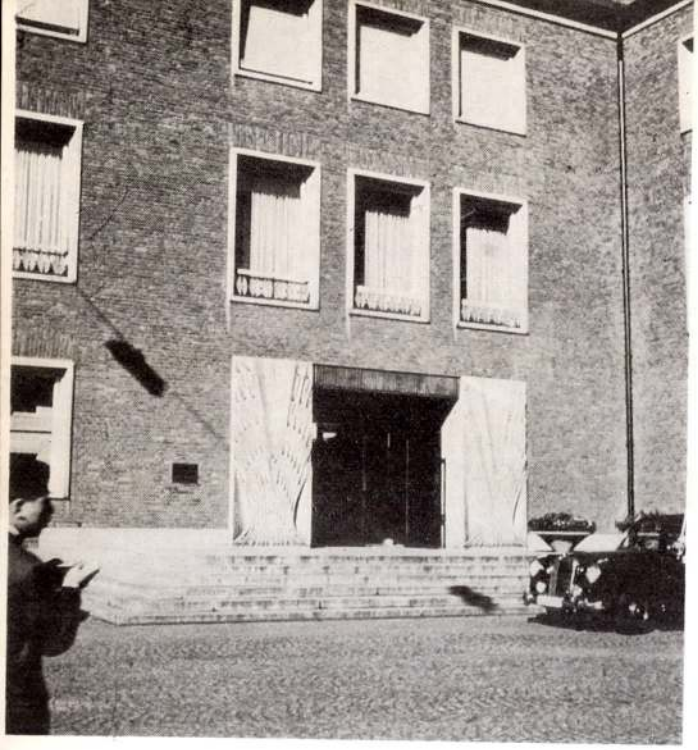
Chapel for M.I.T……桜井　清
学生の礼拝堂（Otaniemi工科大学）……塚本　猛次
ロンシャンの教会……前川　国男
バシリカ St pie X……川崎　清
サグラダ・ファミリア寺院……棚橋　諒

◀ アパート・住宅関係

明日の住宅（プラスチックスの住宅）……亀井　勇
アルバ・アールトのアパート……大倉　三郎
ベリンピのアパート……吉家　光夫

◀ 会館

オールボルグ市民会館……寺島　三雄
パリユネスコ大会議場……村田　政真



◀ケルン市庁舎
ケルン（西独）
設計者：ご存知のお方があれば
ご教示下さい

海外の
近代建築
アンケート

ケルン市庁舎　　鈴木洋也

雑誌などの写真で調べておいて，さて欧州へ行って実物をみてみると，スケールが異っていたり，材質があてはずれだったりして落胆することが案外多かった。これに比べて，歴史的な建築はその雄大な構想壮麗な表現，まことにみるべきものはこれだと思った。とても薄っぺらな近代建築など，この完成された古典の足もとにも寄れぬと考え，これに必死に抵抗し，あるいは足掻き，結局は駄作に終った建築がいかに多いことか。もちろんこれもひとつの途だし，そして古典の重圧から解放される有力な途だろう。このケルン市庁舎も立派な現代建築のひとつだと感じた。全体の構成，ストックホルム市庁舎を思わせる暗褐色の煉瓦積外壁，その神経の行きとどいた目地割，色斑の織りなすテクスチャー，窓と壁とのこころよい比例，トラバーチンの額縁を持った端正な窓（2階窓にはゴールドブロンズの化粧手摺がある），きりっと引締ったスカイライン，レリーフに縁取られた入口まわり，中庭・アーケード・突きだした翼棟の創りだす変化に富んだ空間などまことに立派である。内部はモダーンなものであったが，外観は全体的に古典に近いといえよう。しかしいやらしい妥協は感じられない。そして特に感じたことは，ここには騒々しい叫びの表現がないことである。静かに黙って何かを語りかけてくる。古典と現代の融合とでもいえようか。このケルン市庁舎は古典との対決を目指していない，別な現代建築のありうべき途を暗示しているように思う。大作ではないが，相似て退屈な表現の多いドイツの現代建築のなかにあって，それらと異りつつ，しかもドイツ的な良さを持ち，いつまでも清新さを失わない建築のひとつであろうと考えて，あえて紹介することにした。（東畑建築事務所）



ストックホルムの市庁舎　　秀島乾

昭和11年建築科はでたが，3年間偽満洲国の庁舎建築ばかり設計して，建築商売をやめ，旧新京，現長春の都市計画に20代から30代の若き青春を燃やしてしまった私は，自称計画士として都市計画専門のコンサルタントを商売している。

建築家でない私は，あまり建築の勉強をしない。ただ先年，亜，欧，亜の首都巡りをやったとき，建築出身だから名建築には心引かれる。パリーに1週間いてルーブルやベルサイユをみない私は，大のなまけものだし，首都以外は何処の街もみないひねくれものだ。

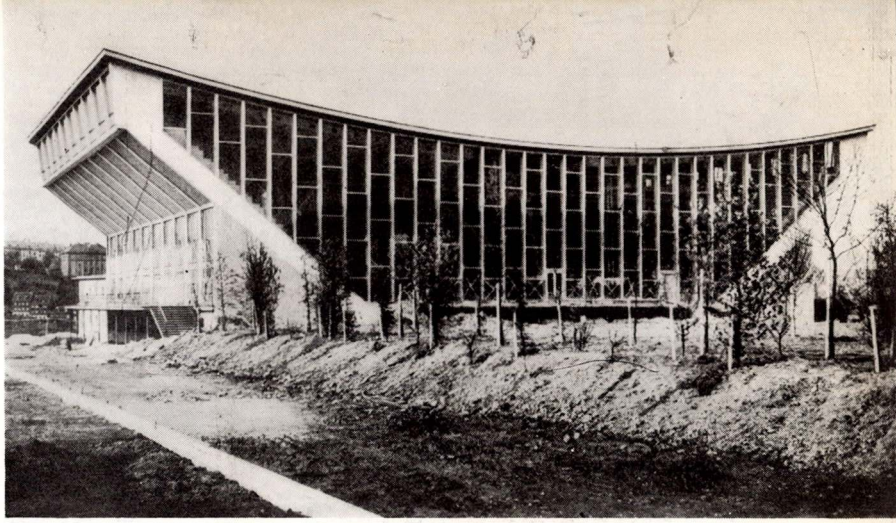
ストックホルムはキャタリナリフトのクローバーとビエリンビリーの郊外住宅都市の見学にあたったが，学生時代，今井兼次先生からストックの市庁舎の感激を聞かされて，私も一度はみたいと望んでいた。

金色さんぜんとして輝く塔，スクラッチタイルのしぶい色，それにもまして入江に面し，オールドタウンに対応する庁舎立地の見事さ，私は丸一日をこの市庁舎にほれこんで暮した。

ストックからモスコー行はでる，上空から眺めた金色の塔，まさにこの名建築はストックの宝石である。



ストックホルム市庁舎
ストックホルム（スェーデン）
設計：エストベリ



ウッパルタール市営浴場 ▶
ウッパルタール（ドイツ）
設計：ウッパルタール市営浴場建設委員会
各方面の専門家の合議によって決定，そのうち
建築計画：市建設担当助役 F. Hetzel 教授
構造計画：F. Leonhardt 博士
施工計画：Dyckerhoff u. Widmann K.G.
建築の詳細：Der Bauingenieure. Ht.9. 1957
附記　写真は市営浴場発行の冊子 Stadfbad Wuppeltal による。

ウッパルタールの市営浴場

坂　静雄

デユッセルドルフから東へ車で約1時間のところにウッパルタール市がある。ここは名の示すとおり，渓谷ぞいの市街で，谷の上を懸垂電車が走っているので有名である。

1957年ここに復興された市営浴場は釣屋根形式の屋根が使用されているので，それを目的に半日をさいた。写真は南側立面で，管理棟，正面入口などはこの裏側にある。

市営浴場といっても主要部分は競泳（25m）高飛込（10m以内）と水球競技（20×20m）の3種類が可能な屋内プールで，冬期はもちろん温水プールとなる。これに約2000人の観覧者を収容しうるもので，世界有数の屋内プールと思う。これはウッパルタールが水泳，特に水球に対し約100年の歴史をもつ名門であるからである。

さてこの建築を特に感銘深いものとするのは，特に建築計画と構造計画の間に寸分の隙もないところにある。釣屋根は65×40mの大きさで，釣元に生ずる反力の主要部分は観覧席下の斜の受け梁と，東西のそれをつなぐプール底下の繋ぎ梁で受けられ，水平力成分はすべて構造物内部で平衡を保つ，釣元反力の一部は，釣屋根の長手方向の縁梁の圧縮力として受けられているが，北側は壁面で処理に困難はなく，南側は図にみえるような軽快な孤状の梁とこれを下部構造物に引きつける細い方立の協力によって処理してある。プールの所要大きさ，飛込台の高さ，観覧者用固定席の数のいずれが変化しても，構造計画も外観も大きく変るはずである。それほどこの建築は建物使用上の要求に応ずる建築計画と構造計画が極めてよく適合し，全く無駄な空間を占有していない。（京大名誉教授）

マラカァナア・スタジアム

吉成　武

4年前の5月末，アメリカをまわってから帰途，南米，中米の建築を時間をさいてみてまわった。リオの滞在が2日ほどであったので，日本の田舎にもない程のガラクタのタクシーで街なかをとばしてみた。ポルトガル語しか分らぬ運転手を相手に，料金は数字を紙に書いてやりとりした記憶がある。

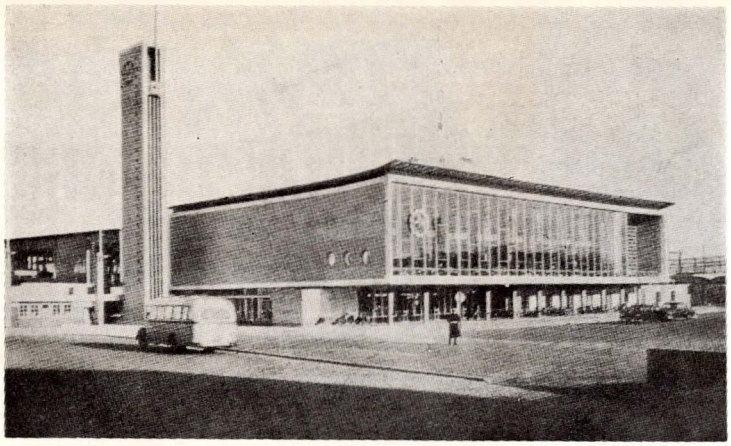
岩山の上にあるリオの街は，地ハダといい，植物といい気候とともに風土の違いをいやという程思いしらされたものであった。

このマラカァナ・スタジアムは，ブラジルの国技であるフットボールのためにつくられたスタジアムで収容人員15万人，つめると20万人程入るといわれていた。休演中のスタジアムのなかに入ると，フィルドのグリーンに手入をしている数名の人を除いて，だれもみあたらない。そのためかスタジアムに座ってみても，収容人員15万というスケールの大きさがピンとこなかった記憶がある。打放しコンクリートそのままのマス。しかもその施工精度からいうと，われわれの考えもしない荒っぽさにはいささか驚かされた。一部施工中の処を残してあったが，スケールの大きさは施工のアラサをおぎなっていた。私はつねづね建築の人間の心に訴える感動というものは，そのフォルムにしろスペースにしろ，その構成の骨組となる構造が大きな要素となっていると考えている。特にこのような大規模のスタジアムというものは，構造そのものが重力に抗してフォルムをささえる姿がかくすところなく表わされるもので，構造そのものの格調というか，過不足なきバランスがデザインそのものの生命を決定するのでないかと思う。

昔ギリシャでつくられた石造のコロシャムと現代のコンクリートと構造技術を駆使した大スタジアム。その背後の国家制度，経済組織，技術社会がどうあろうと，人間の建築への熱情を肯定しないではいられぬ思いであった。もし原爆か大地の変動で一度廃墟になっても，後の時代の人々は，これを創った現代の人々の希望，夢，技術，施工力を新しい感懐をもってみなおすであろうと考えた。（大成建設KK）



マラカァナア・スタジアム ▶
（1952）
リオデヂャネイロ（ブラジル）
設計：A・リファス・カルネイロ
P.B.パストス



◀ アインドーフェン（Eindhoven）駅本屋
アインドーフェン市（オランダ南部地方の中心都市）
設計：ケイ・ファン・デア・ハースト（K. van der Gaast）

アインドーフェン駅本屋

山崎　兌

欧洲旅行のさい(1959年1～2月)，戦後新しく建築された欧洲鉄道の諸駅をみました。もちろん,有名なロース•テルミニーや立派なウィーンの二大新駅もそのなかに含まれていますが,そしてそれらはそれぞれすぐれた多くの点を持った優秀な停車場建築であるに違いありませんが,私が最も心ひかれたのは,いずれも小規模ですが,オランダの戦災復旧の諸駅でした。そのなかでも特に感銘の深かったのは，オランダ鉄道の現建築課長ファン•デア•ハースト氏の設計にかかる2～3の駅でした。それらはいずれが甲乙と差をつけがたいのですが，そのうちでも最も規模の大きいアインドーフェン駅をあげることにします。私はもちろん，駅ばかりでなく，例えばパリーのユネスコ本部の建物をはじめとして一般の建築も数々みましたが，ハースト氏の作品がやはり一番深く私の心に刻みこまれているようです。どういうところが私を捉えたのか。一口にいえば，緻密な設計による珠玉のように美しい作品であるという点でしょう。非常に密度の高い設計で，緻密なデテールにより，極めて上質の材料を駆使し，豊富で暖かいカラースキームを施し，諸所に彫刻と工芸を配して，巧みに建築と融合せしめて，全体としてたいへん美しい，建築を造りあげているのです。建築と他の造形芸術との融合は新旧を通じて欧洲の建築のすぐれた点であると思いますが，日本では，今まであまりこのことに関心がなかったようです。それはとにかくとして，このような建築にしてはじめて作品とよばれるにふさわしいという思いでした。

オランダの建築の質の良さは，イギリス，フランス，イタリーをしのぎ，スイスに匹敵するものでしょうが，その質のよさが美しい緻密なデザインを一層引立てていることは確かです。この建築で私は外観よりも室内の美しさ，快適な中2階の食堂，天井の高いスペイシャスな出札広間の美しさに心ひかれました。美しい大理石を貼った柱，デルフト（オランダ）産の上質のタイルを貼った床や腰，すがすがしいアルミサッシュ，巧緻な意匠の照明器具，暖色の豊富なカラースキーム，オランダ特有のガラス工芸を施した丸窓（写真にもみえる），レリーフを施した軟石積の隅角部（正面向って右手），八角形断面が下細りになっているピロッティの柱，赤く塗られた天井にくっきりと浮出した梁形，正面の庇裏に施されたNSというオランダ鉄道（Nederlandische Spoorwegen）のイニシャル模様，等々，心にくいまで隅々に行きわたった意匠力でした。写真には色がでないし，室内の写真もだせないので，外観の写真だけでは，この建物のよさを十分理解していただくことのできないのが残念です。設計者に伴われてこの駅をみに行き低徊さる能わず，私は少しの躊躇もなく世界で一番美しい停車場建築であると断言したいのです。　（国鉄施設局）

ダラス市の銀行建築

伊藤鉱一

私が欧米へ建築視察にいきましたのは1955年の夏3カ月でありまして，ここに感銘を受けた感想を書くのも時間がたち過ぎたと思います。

この写真は Republic National Bank of Dallas であります。アメリカ，テキサス州のダラス市の銀行本店建築です。

地上は35階，地下は4階の建築で地下4階まで garage で，地上8階まで Republic National Bank の本店が使用しております。それ以上は貸室であります。1階の街路に面した部分は商店でありまして，1階の中央部は銀行のホールになっています。主な Banking Hall は2階にあり，エスカレータ（上り下り）と階段で1階と連絡しています。銀行員は1,200人であり，貸金庫は13,000個であります。

以上のような規模の建築でありますが，感銘を受けたのはその外観であります。写真でご覧のようにその外部はアルミ張りであります。対象の二方面には窓がなく，他の二方面は窓があります。サッシはもちろん壁，家廻り全部アルミであります。

近来，日本にもアルミを使用したビルディングが増加してまいりました。しかし日本では建築にアルミを使用する歴史が僅かで，あるいはアルミ合金（シリコンなどを混入する）にしても，アルマイトをしたものにしても，色の不揃いは免がれず，また台風がしばしば襲来する日本の風土にあわせるには充分な考慮を払わねばなりません。

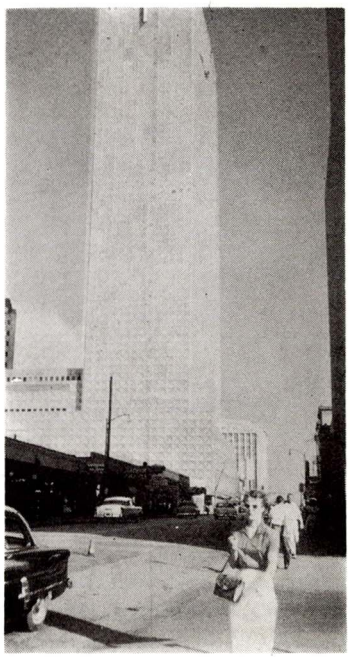
うっかりすると水がジョイントからしみ込みます。それからアルミを張った建築はわが国では掃除を怠らずにやらねば汚れが目立ってどうにもならぬと聞きます。いろいろ聞いたりみたり考えたりしているうちにアルミ・ノイローゼになります。

それにしてもこの Republic National Bank は大胆にアルミを駆使して成功しております。

真夏のテキサスの強烈な太陽の光を建築一杯に受けて力強く建っている近代建築を感映をもって仰ぎました。最上部は航空標示器がついていて夏の夜，涼しげな光をあたり一面に投げかけ南部アメリカの新興都市ダラスを表徴していました。

（日建設計工務KK取締役社長）

▼ Republic National Bank of Dallas
ダラス市（アメリカ・テキサス州）
設計：Harrison & Abramovitz; and Gill & Harrell の共同設計



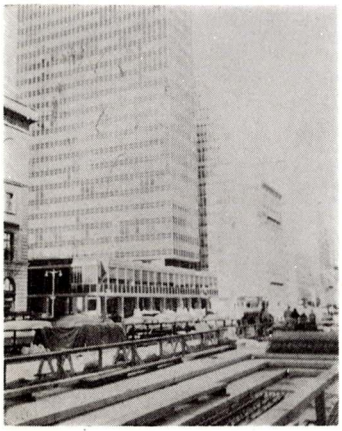
レバーハウス　　小川　正

少し古い話ですが1952年の5月でした。ようやく戦後の混乱より都市再建の気運がみちはじめたときです。

アメリカの商業建築のあり方を求めてニューヨークに1カ月ほど住みつきました。美しいパークアベニューの舗道はそのまま，このレバーハウスのピロティを通じて中庭へ入ります。緑の柳のある小さな植込みですが，青い耐熱ガラスの壁，24階のオフィス部分と低いクラブの壁に囲まれたこのコアは春の太陽が珍しく燦々と輝いて，休憩時のBGが陽光を浴びて楽しく談笑していました。

太陽を求め暮うこの街の人々はこのピロティを通して美しい植込みと硝子張りのロビーを開設しています。この会社はこの建築を完成してから業績の上ったことはいうまでもありません。アドバタイジングと人間性の解決，ヒューマニズムの建築として感銘を受けたことは忘れられません。

また設計者のG・バンシャフト氏をスキッドモアの事務所に訪ね，商業建築のアドバタイジングバリューやステンレスのはめ殺しサッシの利点，経済性，維持管理の問題などについて控え目の意見をのべながら，窓ごしにこの硝子のタワーを指す横顔にはすでに低層の硝子張りの信託銀行のアイデァがあったのです。　　（筆者　KK竹中工務店取締役設計部長）



◀レバーハウス
木村 幸一郎 撮影





Lever House
（レバーハウス）
ニューヨーク（アメリカ）
設計：スキッドモア・オウイングズ・メリル事務所
担当：Gordon Bunshaft
（ゴルドン・バンシャフト）

上下：小川　正 撮影

海外の近代建築アンケート

レバーハウス　　木村 幸一郎

1957年の秋だからちょうど3年前に2カ月程北米の各地を見学して歩いた。ロスアンゼルスの大通りやシカゴの湖畔や，ピッツバーグ市内に多くの新建築をみて，いかにもアメリカらしいと感じた。その後ニューヨーク市で多くの新建築にであったうちのひとつを挙げる。

これはすでに雑誌で紹介済のものと思われるが，周囲の環境によくマッチしていること，無駄がなくてスッキリしていると思われたので，これを挙げる。

写真の手前の工事中の所は，これもちょうど完成に近づいたシーグラム・ビル（ミース・ファン・デル・ローエ作）の前庭であって，これに関係している明石乃武君の案内で見学したときの記念写真である。

（早大教授）

レバーハウス　　東畑 謙三

イ，プランの明快なこと。

ロ，材料の使用方法に極力乾式構造を採用しながら，重厚な感じのすること。

ハ，外部のステインレススチールの方立とガラスのムリオンとの寸法の比例のよさ。この建物の二，三軒隣にできたビルのそれと比較して，僅かの比例の差でこれ程上品さがちがうものかを感ず。

ニ，所主のスキッドモアよりは，ローエの影響をうけている。　　（東畑建築事務所長）



角　田　　栄　撮影

ピレルリ・ビルディング　　角　田　　栄

こんどのヨーロッパの旅は，もっぱらスポーツ施設の調査が目的でした。なかでも，ローマのオリンピック施設が主たる目的でしたので，それについてはあるていどくわしくみましたし，感銘深い新建築にもぶっつかりました。だが，時節がら，これらの施設は多くの新聞雑誌に紹介されていて，いまさらことあたらしく取りあげるのもどうかと思われます。

1カ月でヨーロッパの主要な都市をまわるということは，なかなかいそがしいことです。スポーツ施設をみてあるくことだけで，せいいっぱいでした。ましてスポーツ施設以外の新建設をあさりあるくなどいうことは，当時の私には重荷以外の何ものでもありませんでした。それよりも，多少の余暇は漫然とサイトシーイングについやしたいというのが本音でした。こんな気持で，ローマからナポリをみて，ピサ，フローレンスと北上し，ミラノの駅におりたったとき，にゅっと空高く板をたてたようなピレルリ・ビルが目にとびこんできました。さすがに商売がら，ちよっとなかをみたいという気を起しましたが，正面出入口まわりと1階の部分がまだ工事中で，建物のなかにはいることはできませんでした。おかげで，こんどの旅の主義をかえずにすむことができたというものです。

ミラノはイタリヤ随一の工業都市ときいていましたが，古いが整った市街のなかに，こんな高層ビルが数本空高くそびえている偉観をみたとき，なるほどと感心しました。ヨーロッパの主要な都市は，どこでも密度の高い市街を構成していて，いつ，どのようにしてこんなみごとな蓄積がなされたか，われわれ日本人には不思議で，その立派さにおどろくほかありません。そのような市街地の古い建物をおしげもなく取りこわして，あたらしい高層ビルを建設しているさまをあちこちでみかけました。だが，数にしてみれば，ほんのわずかで1都市に1本か2本，多くて数本というところでしょうか。高層ビルの建設では，ミラノはどの都市よりも勇ましいと私には思われました。この種の高層ビルは不思議に同じタイプで，その特徴は建物の外部から鉄もコンクリートも追放し，アルミとガラスがそれにとってかわっています。まさにインターナショナル・スタイルといってよいでしょう。これらのインターナショナル・スタイルのうちで，ミラノのこの建物がもっとも美しく，印象深く感じました。

（関東地建営繕部第一課長）

ピレリー・ビルディング
ミラノ（イタリア）
設計：ジオ・ポンティ　他四名
構造：ピエール，ルイジ，ネルビ　他一名

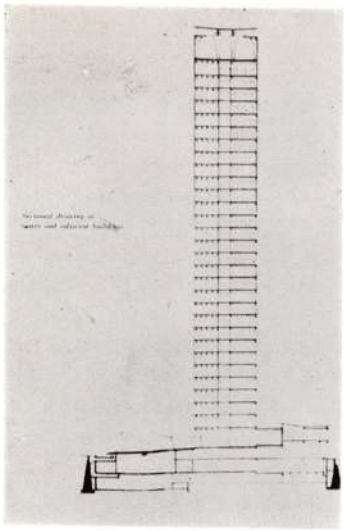
海外の近代建築アンケート

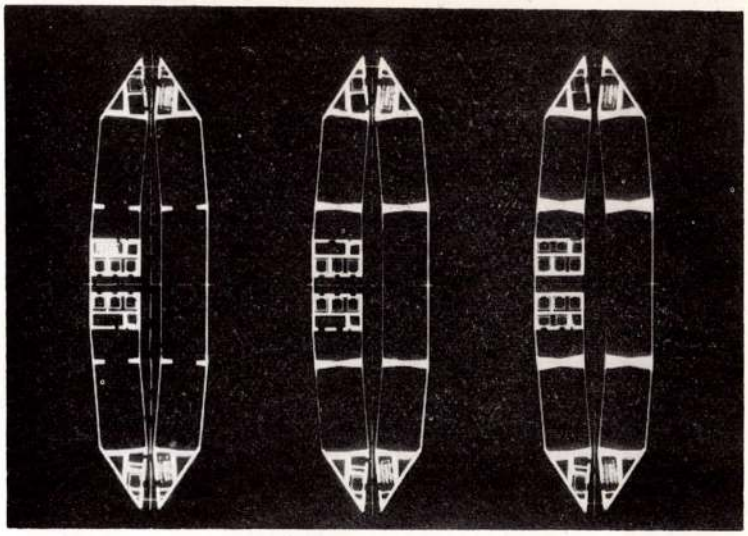
ピレリー・ビル　　山根正次郎



すぐれた配置計画による都市計画への協力，建築技術的表現，構造計画の特異性，機能の見事な解明，入念に考慮されたディテイル，それらをまとめて表現した作者のいう〝エッセンシヤリティ〟……このようないろいろな賛辞はおそらく数頁を費やしてならべることはできましょうが，私が最も感銘をうけたのは，イタリーを中心とする民族の血に流れている伝統的文化が，一見それとはかけはなれてみえる〝近代建築〟においても見事にその体質の基盤となっている，という事実でした。

（日建設計工務KK常務取締役）





ピレリ株式会社本社ビル　(Head Office of the Pirelli Co.)　永井　賢城

伊太利ミラノはちょうどわが国でいえば大阪のような商業都市で，1943年第2次世界大戦の際爆撃によって駅附近は最も大きな損害を蒙った。その結果幸か不幸かこの古い街に新しい建築の芽生えをえ，1960年末にはここに紹介するピレリ株式会社の社屋のような世界的な近代建築を生むにいたったことは，建築家として伊太利に敬意を表する材料のひとつになる程の功績があると思う。

設計者は建築設計をギオ・ポンティ（Gio Ponti），ギィウセッペ・フォナロリ(Giuseppe Fornaroli) およびアルバート・ロッセリー(Alberto Rosselli)の建築事務所，構造設計はギィウセッペ・バアルトリーナ(Giuseppe Valtolina)エヂィディオ・デロルト(Egidio Dell' Orto) であって，構造計算のコンサルタントとしてピエルギイ・ネルビイ(Pierluigi Nervi) とアルツーロ・ダヌーソー (Arturo Danusso) が担当し，ミラノ大学のピエロ・ロカテリ教授もコンサルタントとして協力した。

その他屋外の造性，インシュレーションの研究についても各専門家の協力をえたこの建物は，一人の設計者のイメージでできたもののごとく統一され，微塵もチグハグの点をみだすことができない。すなわち巨大なる尖塔が天空に突きささっているような感じを与えるこの形は，建物の機能上構造上より必要的に定ったものであり，外観と構造が美しく融合したものである。

ここにわれわれが学ばねばならぬことは，構造設計者が単なる構造計算屋でなく構造計画者であること。各設計者はお互にその専門を生かし，しかも独走せず，素直な態度で協力をしていることである。

特にインシュレーションに関しては，この会社が合成ゴムの会社であり，小会社に種々の建材会社を擁している関係上特別な注意が払われている。例えば床の遮音として弾力性のゴムを鋼状にスラブの上にはり廻らしてあるので中間の空気のエアースペースが振動の伝播を防ぐ役となっている。なお総ガラス張の考想で出発したこの外観のデザインも，ミラノ工芸研究所のガラス試験の結果，一部に壁面をとってエアーコンディションに便ならしめている。その他サッシの取付け方には1年近くの研究を行ない，タイルの貼り方もモルタルを用いず，特殊の糊を使用した結果モザイクタイルに目地もなく，タイル自体の色調効果を充分表わしている。

以上特徴の一部であるが，その他の数々のアイディアが綜合されたこの建物は，ここに働く人々に必ずや能率と快適さを与えるであろう。

（久米建築事務所）

ピレリー・ビル　池田　宮彦

今次の大戦でミラノは幾度も爆撃され，特に駅前の中心街はひどく爆破された，その跡にイタリーには珍らしくも摩天楼が建ちならんだのは驚嘆に値する。戦前にはこういう高層建築に手を染めていなかったイタリーの建築家が戦後突如としてスカイスクレーパーを計画してよくこれをまとめあげた努力に敬意を表したい。もっともミラノには地震はないといっておりその計算はしていない，風圧は93.2マイル/時（約41.6m/s）を考えてある。

また太陽熱によるアルミサッシおよび方立類の伸縮にも注意の払われた特殊な取付方法が講ぜられている。

この建物は33階建（地2階を含む）鉄筋コンクリート造，設計者は Architect PONTI, 1956年7月起工，1958年7月コンクリートを打ちあげ，1959年末に竣工のはず。高さ地上138ヤード，上部各階の床面積は1291平方ヤード，このうち事務室床面積705平方ヤードである。また敷地は8611平方ヤードあり，うち4365平方ヤードは車のパーキングおよび通路となっており，1台平均½時間駐車として1時間800台と計算されている。窓枠アルミ，サーモペングラス嵌込，内開，連窓で近代的事務所として快適である。天井高2.80m。

設備も近代的に完備されている。概要は次の通り。

温調：キャリヤーシステムを用い窓下にウエザーマスターを，インテリヤは天井吹出口を配置してある，井戸は18インチ深80m2本

電気：23000Vで受電し，380および220Vに変電し各所へ送電，3000KVA

電話：3000回線，クロスバー式（Crossbar Pentacont Exchang lift)

電灯：螢光灯，天井埋込形

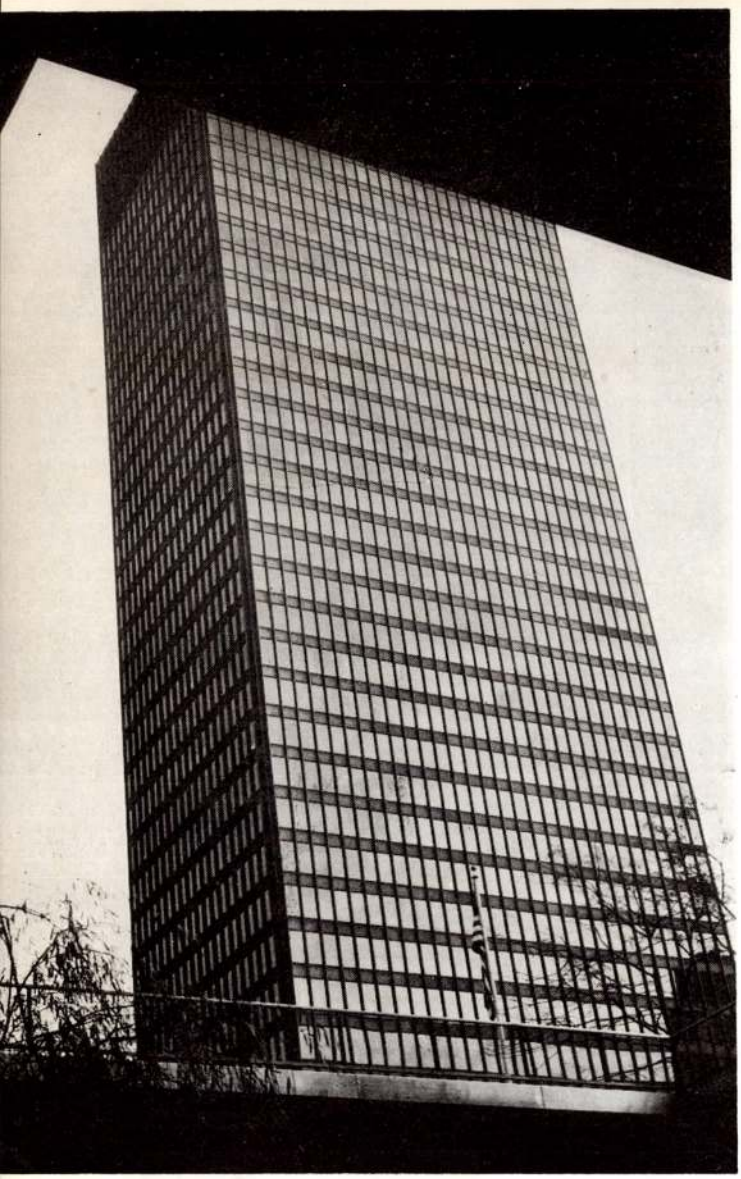
エレベータ：12台あり，客用10台，荷物用2台，このうち，中央6台は，4m²，33階まで，2台は2.5m²，12階まで，他2台は2.5m²，8階まで。スピード4m/sec.（240m/min）。

荷物用は2台共4m²，スピード2.5m/sec.のいずれもオーチスエレベータ（イタリー製）

その他特に構造的に変っている点は，平面がオサ（箴）形をなしているその中央部約⅓と左右と3つのブロックに分けられた軀体となっている。すなわちエキスパンションジョイントが設けられ，基礎ともに完全に3つのものがならんで立っているものである点は細心の注意が払われたものと思う。



（KK大阪建築事務所社長）



レバー・ハウスの中庭より見たシーグラム・ビルディング
（撮影：徳永　正三）

シーグラム・ビルディング

所在：ニューヨーク市
設計：ミース・ファン・デル・ローエ
フィリップ・ジョンソン

海外の近代建築アンケート

シーグラム・ビルディングの印象

徳永　正三

すばらしく調子の高い建築である。

それはニューヨーク市がおよそ世界のどこの都市とちがって一寸調子が高いので，その街のなかで一段と気高い建築のシーグラム・ビルディングをそう表現することが一番適切だと思う。第一この街は鋼鉄のにおいがする。街をあるいても建設工事中のものはたいてい鉄骨造で主体構造が組み立てらている。窓や壁体も金属製のユニットで，それが精度の高い工場生産で次々に順序よく取付けられている。地下鉄にのっても，セントラルステーションに行っても，とにかく鋼鉄のにおいがするのである。それが，この街の最大の特徴であり，また他の都市では感じられなかったことであった。

そのような鋼鉄のにおいのするニューヨーク市の目抜通りのマヂソン街に，スキッドモアー設計のレバー・ハウスの筋向いにこのシーグラム・ビルディングがあるが，外装全体が薄いブラウン色に輝いている。硝子も同じ色。1階のホールは2階まで吹抜の高い天井に硝子とブロンズ色のスチールサッシュ，それに石しか材料はもちいられていない。単調すぎるほどにさへ感じる。歩道からは一段高くビルディングの前は広場があり，左右にある二つの池はただ手摺もなく，なにげなくしつらえてある。毎日午後3時にツアーがあり私はシーグラムの事務所の内部をくまなくみることができた。

エレベーターホールからつづく各室全面に，厚手のベージュ色の敷物がしきつめられている。窓のブラインドも同じベージュ色である。受付から応接室，会議室，議長室，役員室，それに昔からのシーグラムウィスキーの瓶が一面にならべてある展示ホール。全く同じ手法で単一に仕上げられている。そんなことが心憎いほどにシンプルなそしてまた単純なディテールで扱われている。ただ私の記憶に残ったのは，英国産オークではられたパネルと米国産オークではられた役員室のあったことである。英国産オークはさすがに木肌色やもくの味が殊更いい調子のものだった。ロンドンにいる間度々でかけた紳士用品デパートのオースチンリード等は床も壁もこのオークで貼り廻らされていたのに，それほどに感じなかったが，このシーグラム・ビルディングをみて今更の如くに感じた。

その他一般事務室をみたが，業務別に壁面の色彩が区分されており能率一点張りのところをみせられた感じがした。

しかしシーグラム・ビルディングを語るには，大衆的にしたレストラン——ブラッセリーと四つの季節（フォアー・シーズンズ）と呼ぶ高級レストランとカクテルロンヂのことをつけ加えねばならない。

ブラッセリーは横丁より半地下に下りる仕組で食事のできるカウンターと，サービス付の4人がけのテーブルのある部分があり，甘いものから酒類一皿料理まで大衆的にできている。簡潔な手法は前記のシーグラムの事務室等と変らない。フォアー・シーズンズのカクテルロンヂの窓にある横段のブロンズの鎖のカーテンが波うち動いている姿，独立した四角のバーとその上部にピアノ線で吊られたブロンズの四角い棒の単純で彫刻的な装飾，広い空間と段型の客席，静かで華やかな，建築的空間と内部の雰囲気の品のよい一体の結びつきは私のみた世界最高のものといえるだろう。

Sep. 17. 1960.　記　　（三座建築事務所）

シーグラム・ビルディング

陶村　功

簡潔，荘重な型と色，夕暮の空にそびえるガラスと鋼のこの建物は，孤高の精神の具象とでもいいましょうか，現代建築中で古典建築にも比べておとらない気骨を感じさせる作品です。

（清水建設KK）

ノートン・ビル

長谷川　大

昨年（1959年）の4月なか半ばから6月にかけて，約2カ月アメリカへまいりましたが，用務の関係で，西海岸のシヤトル市に約50日滞在しておりました。

そんな関係で，このノートン・ビルをとり上げてみました。シヤトル市は人口約60万人の中都市ですが，自然のめぐまれた環境と，市民の平和なまた清潔な考え方にみちた，おちついた都市です。

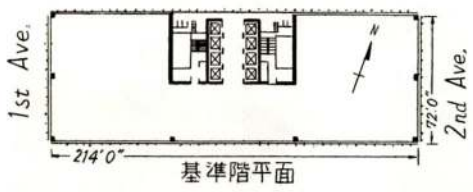
当時，都心部は1961年（市ができて100年目に当る由）に開かれる世界博覧会をめざし，新しい町としての衣替えの最中でした。高層ビルとしては，このノートン・ビルやニュー・ワシントンビル，また公共建築として，市立図書館や郵便局などが工事中でしたが，昨年の暮までは，その偉容をあらわしているはずです。

このノートン・ビルは地元の Bindon & Wright 事務所が，桑港の Skidmore, Owings & Merrill 事務所の人達の協力のもとに設計されたもので，地下4階，地上17階の貸ビルです。地下4階といいましても，東側の2番通りからみてのことで，西側の1番通りからは B_3 階に直接入れるような傾斜地に建てられています。B_2，B_3，B_4 階は車庫ですので B_3 階より上，下に斜路で出入できるわけです。B_1 階は機械関係諸室です。

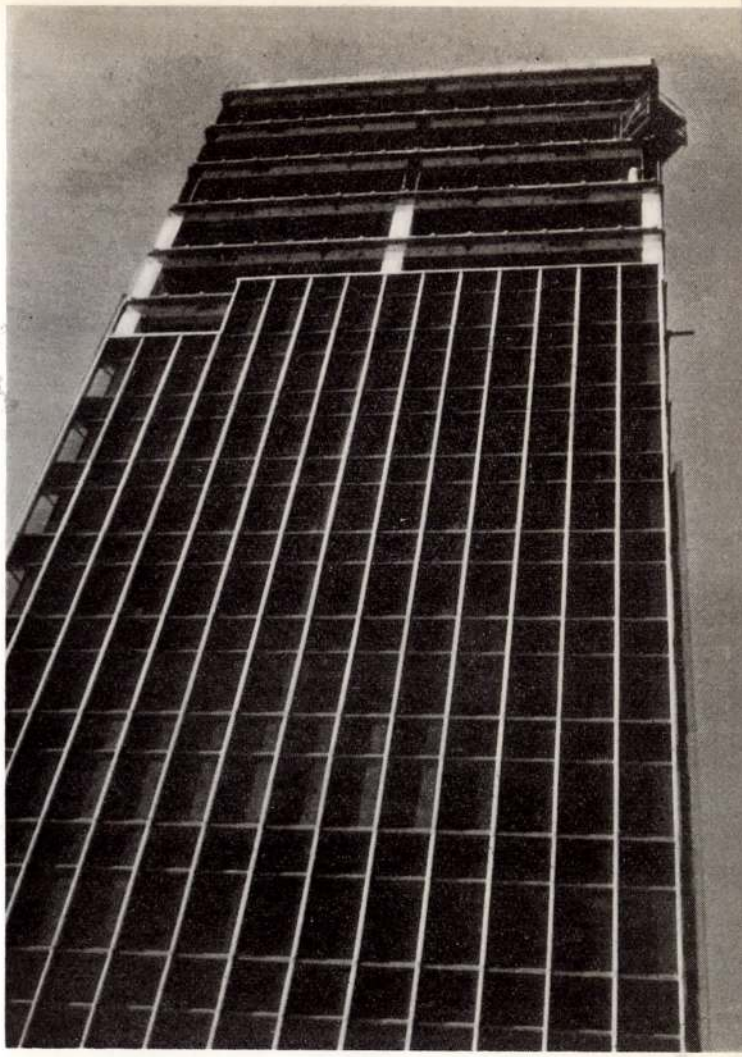
このビルは下図にあるように約⅙がコア部分で，これを囲む2′の壁が水平力をうけもち室内には柱のない，72′×72′の大部屋が2ケ，その½の室が1コとられているのが特色となっています。

このためにスパン72′の Prestressed の梁が10′間隔に配置され，各階14本，総数238本が工場製産されて現場にもちこまれています。

なお，この詳細は紙面もありませんので，省略していただきますが，幸い「Engineering News Record」の昨年8月号に記事がでていますので，あわせてご覧いただければ幸いです。また写真は工事中のため全体がつかみがたいと存じ恐縮です。

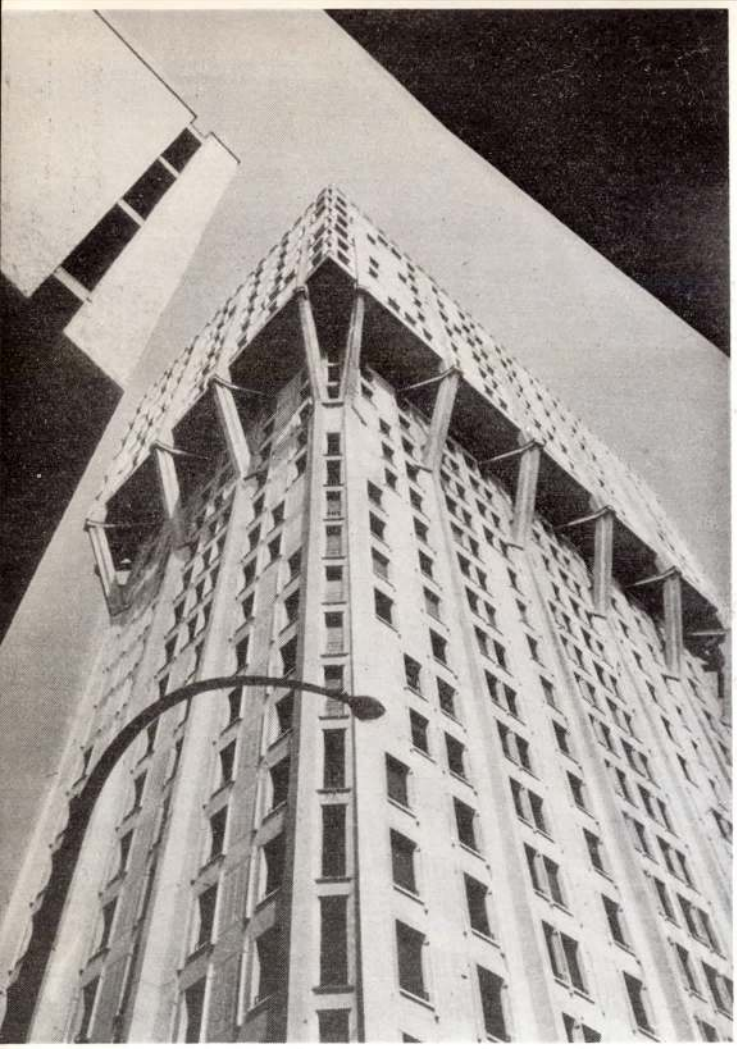


基準階平面





ノ　ー　ト　ン・ビ　ル
シャトル市（アメリカ）
設計：Bindon & Wright 事務所
Skidmore, Owings & Merrill 事務所



トレ・ベラスカ
ミラノ（イタリー）
設計：ロジャース（B.B.P.R）

ミラノの町とトレ・ベラスカ

黒川　紀章

歴史の重積にあえぐヨーロッパ各国から，イタリーのミラノに入ると，そこには，近代建築の強い息吹きを感ぜずにはおられない。ここは，イタリーのなかでも，観光都市ローマとは異なり，工業中心としてこの活気がみられる。さらに，建築家をはじめ，あらゆるデザイナー，芸術家の集っている中心でもある。

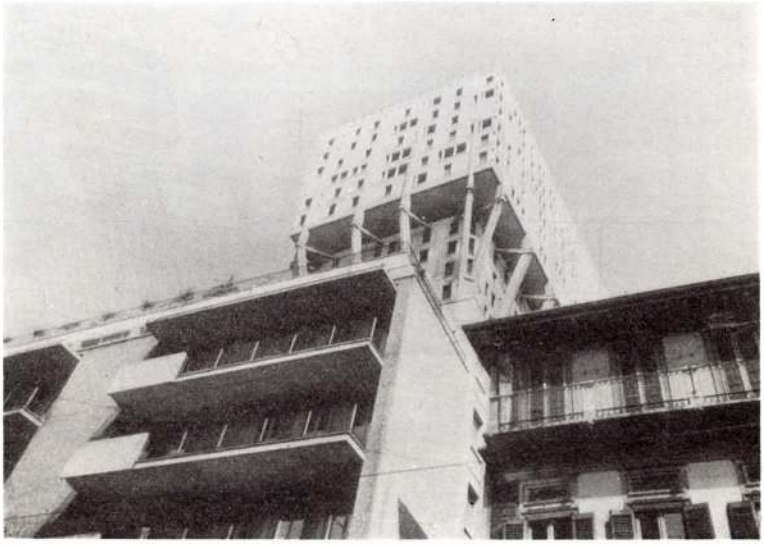
この町に入ると，先ず人々は，イタリアン・ゴチックの傑作，ドウオモ（ミラノ中央聖堂）とその広場の空間創型に心をうばわれるだろう。しかし，つぎの瞬間から，この町に重積する輝かしい伝統の中から，新しい近代建築の息吹きが起っていることを感じはじめる。ドウオモの聖なる高さを張ってはならないというおきてにそむいて，林立する近代建築の群は，ヨーロッパの他にはないものを感じさせる。特に，ひときわ注目されるのが，このロジャースのトレ・ベラスカであろう。ゲンコツを天につき上げたような異様な表情のこのオフイス・ビル（アパートを展示室も含む）は，新しい伝統の創造に対するひとつの姿勢と，都年における建築のあり方によって私の心をひいた。

私のホテルの近く，中央停車場の右には，これもまた話題をよんだピレリー・ビルがある。そして，私は，むしろこのピレリー・ビル（ジオ・ポンティ設計）に期待をいだいていたのだが，問題意識の深さの点で，トレ・ベラスカは特に都市に対して，挑戦しているようだ。私は，ジオ・ポンティの目指す，新しい空間獲得への近代技術の徹底的な採用とその表現は，見事であると思う，その車まわしにおける都市計画的配慮の点もすぐれている。しかし，このミラノという町では，ジオ・ポンティの態度のなかに，近代的表現，近代的技術へのなれあいを感じたのである。そして，この意味から，トレ・ベラスカの伝統に対する態度こそ，新しい問題提起として，つぎの創造へのモーメント，になるのだと思われた。

古いものと，全く形式的な新しいもののなかに，このトレ・ベラスカはこのいずれにも属さない異様な姿で，人々に何かをうったえている。そしてドウオモの塔から，このトレ・ベラスカをながめたとき，私の心から，この建築についてもっていた不満——足まわりの処理のまずさ，ファサードからうける古典的表情——は，すでに消えさるのである。

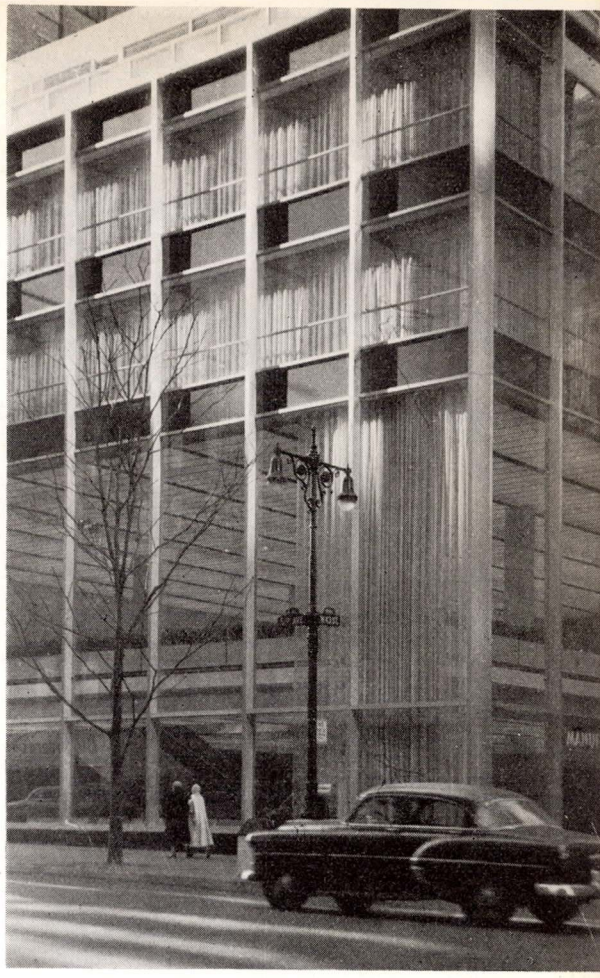
（東大丹下研究室）

海外の近代建築アンケート



MANUFACTURERS TRUST COMPANY ▶
NEW YORK CITY（アメリカ）

設計者：
SKIDMORE, OWINGS & MERRILL
Architects
SYSKA & HENNESSY
Mechanical Engineer
GEORGEA, FULLER COMPANY
General Contractors
WEISKOPE & PICKWORTH
Structural Engineers
ELEANOR LE MAIRE
Interior Design Consultant
CLARKE AND PAPUANO
Landscape Architects



海外を廻って

稲田芳郎

昭和29年10月はじめ当社の吉家光夫君，中川仲夫君と小生3名が，吉家君はデザイン，中川君は構造，小生は施工と大体の任務を割当てられ，伊太利を振出しに欧洲，北欧，南米，北米を廻って30年1月中旬帰ってまいりました。

あれから5年を経ましたのでその後海外の建築も相当立派な建築が沢山完成していると思います。当時欧洲では住宅建築の面は相当盛でありましたが，本格的なビル建築はまだ数少く日本よりむしろ遅れている状態で，とくにロンドンなどではまだ木材が統制されているような始末で，市内ではようやく大きいビル建築の地下工事，あるいは鉄骨組立工事が数カ所みられるていどでした。

北欧ではホテル，学校など立派な作品も数多くみられ，とくにフインランドの設計者の感覚は日本人の共感を呼ぶものもありましたが，スケールの点はそれほど大きいものはみられませんでした。

南米にまいり高層ビルはじめ，各種の建築が盛に各所に建築されている有様には驚きましたが，施工の方はむしろ粗雑で写真でみるように造形的に面白い建物は沢山ありますが，施工面を併せて立派と思える建物は少ないと思いました。

北米各地でみた近代建築と高層ビルはさすが米国の経済力，工業力をそのまま表した建物で建築そのものの背後に大きい国力を感じさせられました。ここに紹介いたしました作品は銀行建築で，すでにご承知と思いますが，建物のスケールは大きいものではありません。しかし，外部は全面アルミと硝子，1，2階の昇降はエスカレーター，天井は全面アルミのルーバー，建物の隅々まで寸分すきのない設計で，すべて洗練された立派なものでした。

特記したいことはこの建築が現場で大勢の職人が混雑しながら出来上ったという性質のものでなく，大きな工場ですっかり設計通り出来上ったものが現地ですっきりと組立てられた建物であるという感じであり，この建物の背後にアメリカの工業力と経済力の偉大さを感じさせる建物であると思います。

昭和35年8月19日　（大成建設株式会社大阪支店）

感銘をうけた作品

稲垣皎三

外遊中感銘をうけた近代建築ということですが，私が欧米に行ってから数年を経ていますし，私の行った目的が主として施工の視察にあったので編集される方のご意図にそうかどうかわかりませんが，私の撮影した写真の中から1枚を選んでみました。もちろん見方によってはこれ以上に感銘をうけたものもあります――（例えば次に述べるふたつは誰か外の方が選ばれることと思いますが）

完成してから相当年月のたっているストックフォルムの市庁舎，これは何といっても一番立派なものではないでしょうか。あの環境を心憎いまで取入れた北欧色豊かな，しかも今でもなお生新さを失わない独創の力強さは，他に類をみだしにくいのではないでしょうか。またフランスのルアーブルの都市計画も私の感銘をうけたもののひとつといえましょう。大戦によって大半を爆撃された跡の町造りが統一さきれた設計によって実にみごとに実現されています。市庁舎を中心にオフイス街，商店街，住宅街などがうまく計画されて，学校や教会などもあり街全体の調和を保ちながら，街路や広場で結ばれ，実によく各々の建物のマスは均整がとれて，渋い色合いで調った町並を形作っています。これはブラジルのブラジリヤ以上の立派な計画と思います。

さて，ここにかかげた建物は，例のパリーの凱旋門から Ave. Toch を2キロばかり行った横町のあまり道巾の広くない，三叉路に建つ地下1階，地上10階の中規模のオフイス・ビルであります。（この写真では未だ完成していませんが）一見これといって取立てていうほどの特色はないビルのようにみえますが，対称的にセットバックした単調さを右側のカンチレバーの5階部分で補って調和を保っています。これは同時に各ブロック境を，淡いエメラルド色のストリップで区画されたマスの融合を計っており，クリーム色の壁面はご覧のようなプロポーションの良い開口でまとめられて全体がフランス風のショウシャな建物となっています。この建物で最も特色というべき点は，建物全体が工場加工を極度に多くして，現場加工の範囲を少くしたことでしょう。主体は鉄骨造で熔接を大部分取入れて現場組立てはハイテンションボルトを使って床も鉄板を主とした下地で，床面を現場打ちのコンクリートで施工し，一部の塗装をのぞいて現場施工の範囲を極度に少なくしています。

この工法は工期短縮，施工精度の向上，現場労務管理の容易という種々の利点があり，今後この種の設計施工の行き方が段々多くなってゆくものと思われます。

この意味においてこの建物は有意義な実例と考え，ここに取りあげた次第であります。　（KK大林組）

LORRAINE - ESCAUT
パリー
設計者：J. DEMARET
R. RUSSE
J. ZIMMERMANN





◀ブラジル学生寮
パリー大学都市
設計：ル・コルビュジェ

ブラジル学生寮をみて

近藤　正志

これが過日のヨロッパ旅行で最も感銘をえた建物であるとはいえないのですが，アンケートの意向が近代建築の動向を知るためというのですから，そのためにはやはりこれに落着くと思います。本当はストックホルムの郊外に建つアスプルンドのクレマトリウムの方にはるかに感銘を持ったのですが，それは何しろ20年も前の建物ですから，時間のずれを感じましたのであげないことにします。

ブラジル学生寮は，同じコルビュジェのスイス館のすぐ隣にありました。本当のことをいえば，スイス館の方がよいのではないかと思いますが，これは皆さんがよくご承知のことと思いますが昔の建物です。むしろブラジル館をみるためでなしにスイス館の方をみるために不案内のパリーの地下鉄にのって，地図だけを頼りに大学都市を見に行ったのです。独りで歩いて見に行くということは大変心もとないことですが，さがしあぐねてみつけだす喜びはその建物がよければ一層感銘深いものなのでしょうか。スイス館の美しいプランとエレベションは矢張りみてよかったと去りかねましたが，新しいブラジル館は指呼の館にあります。この建物のプランも20年前のスイス館と似ています。エレベーションは高低二つのブロックに別れています。高層部ではコルビュジェはアビタションコニラと同じ手法をとっています。私はその高層部は余り好きでありませんし，また少しズングリしていると思います。好いのは低層部でした。私は言葉の通じないくせに中に入らせてもらい玄関ロビー廻りをみましたが，集会室は閉っていてみられませんでした。この建物で一番好きでよいと思った所はそのアプローチでないかと思われます。日本の民家と似た梁の組み方や階段やスラブが段形に露出していたりする様は，ピロテイ など共に変に 彫刻的に 表現されていて，ある種の玄想的な感じを出していました。オーディトリアムが低層部より更に延びていてその外観も，ランダムに区切られたサッシや窓割と壁面に凹凸を持たしていて，これは確実に機能主義とか合理主義とかの規範を逸脱しています。これだけではなくコルビュジェは年とともに，ますます造型主義ともいうべき方向に傾いているのでないでしょうか。

ローマン主義といわれるべきものでない感じですが，それにしても1930年代までのヨーロッパの近代建築の主流であった合理主義が，河床のみえるくらい枯れているのでないかと思われました。

（村野・森建築事務所）

ミノル・ヤマザキの作品

吉原　慎一郎

ミノル・ヤマザキは日系のアメリカ中堅の建築家で，同じくデトロイドに事務所を持っている，フインランド出身のエーロ・サリーネンとともにアメリカのもっとも優れた建築家の一人である。

氏の最近の作品，このウエイン大学の一連の仕事は，目下施工中のも含めて数棟あるが，この記念館は昨年竣功したプレキャスト・コンクリート造による，意欲的な清新な，そして美しい建築である。

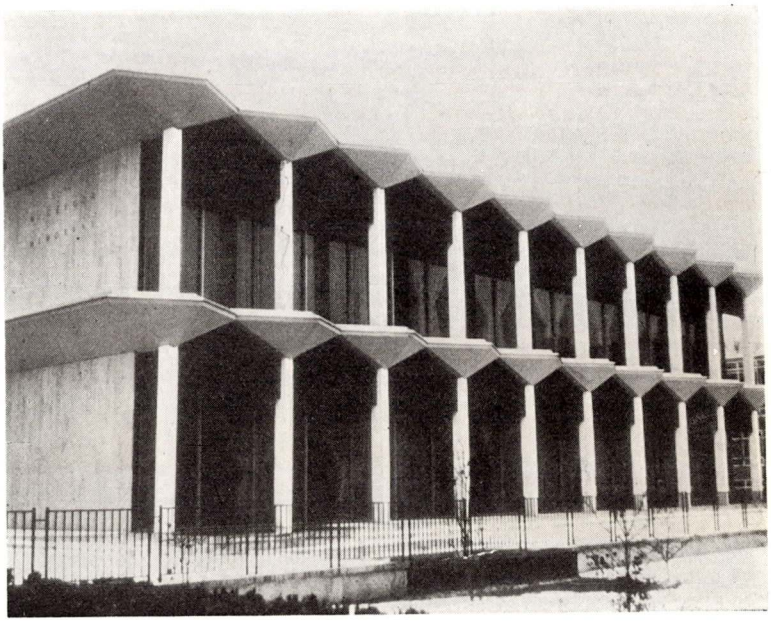
氏は数年前までもっぱら鉄骨造による建築の設計に専念してきたが，最近は腐蝕のはなはだしい鉄骨をさけて，コンクリートのプレキャスト造による仕事で，注目すべき作品のいくつかを生んでいる。

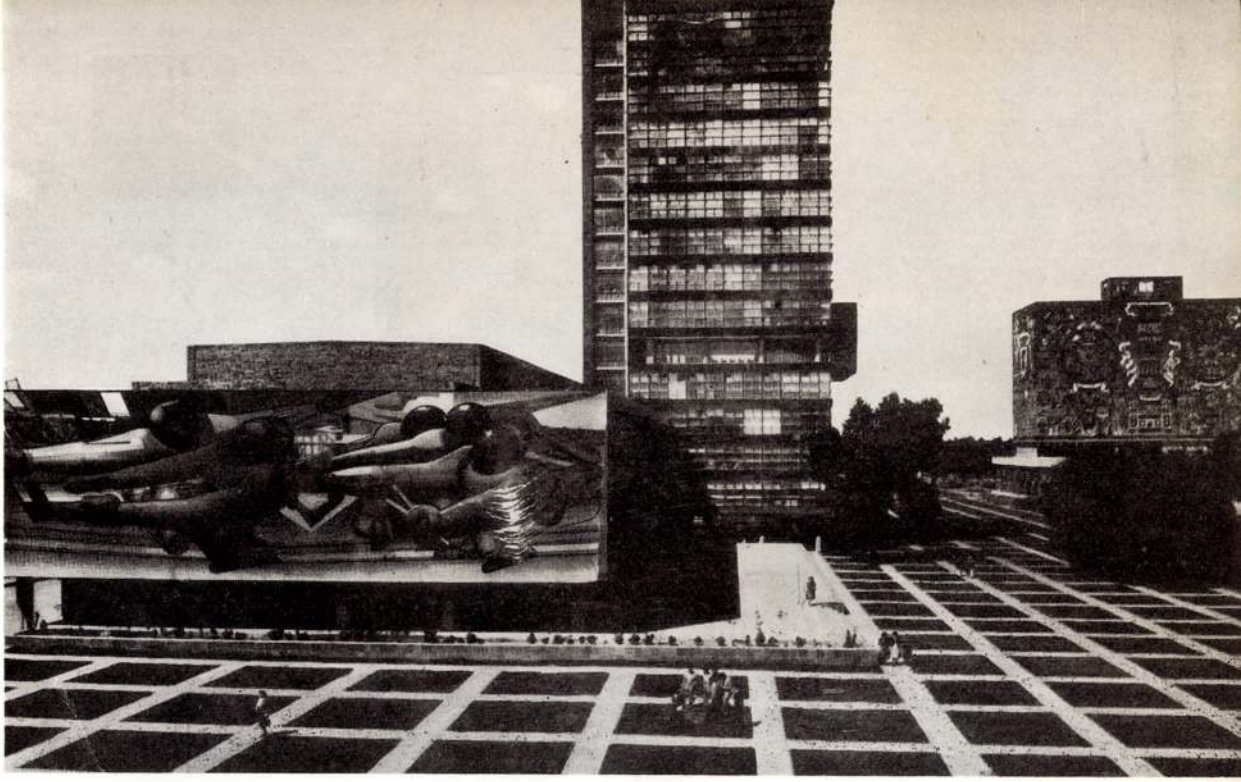
このウエイン大学もその一つ。純白の工場生産によるプレキャストの柱，梁を組立てて構成している。この例では柱頭の三角形は床のスラブを兼ねており，また同時に空調のダクトも兼用している。

真白い軀体に紫外線よけの青い硝子，黒いサッシ，内部は中央部に天窓を取り，神秘的ともいえる頂部採光をはかっている。ここに彼の永年の鉄骨造を採用して美しい空間を作っている。機能と美を調和させた，独創的な建築といえよう。

（創和建築設計事務所長）

ウエイン大学記念館　デトロイド市（アメリカ，ミシガン州）
建築家：ミノル・ヤマザキ





メキシコ大学構内にある一群の建築　メキシコシティー（メキシコ）　設計：C. LAZO, M. PANI

メキシコ大学構内の一群の建築

高田　秀三

海外に旅行して，感銘をうけた作品は数多くあります。しかしでかけるまえに，なにかの本や写真をみて，期待をしたり，学生のころからあこがれていたものをこの目でみたときは，大げさにいえば，ああ生きていてよかった，きてよかったと思いました。

ああこんな色だったのか，

ああこんな材料だったのか，

こんな気候のところだったのか，……などとなにもかも感心したりするのです。

けれども見合の写真のように，写真うつりはいいのですが，肌がとんでもなくあらかったり，もう老境になって歯が欠けていたりして，せっかく年来の恋人のように思っていたのにがっかりしたのもあります。昨年の秋，第1回の旅行のとき，無理をしてメキシコに飛んだのも，メキシコの建築になにかしら感激をもとめていたのでしょう。

パルパラ教授が日本にやってくる直前で，案内して下さったのも運がよかったのでしょうか，広々とした構内の一角に車で連れてゆかれたとき，そのスケールの大きさに圧倒されました。

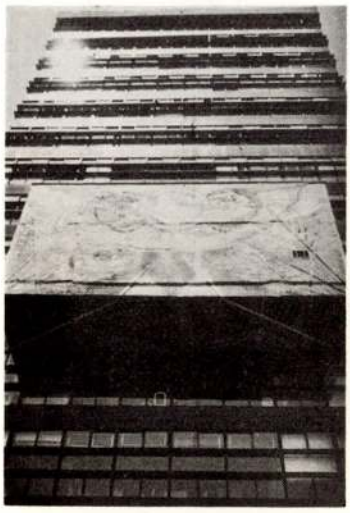
ご存じ，例の図書館だけでなく，馴れない私の眼には，むしろどぎつささえ感ずる程の，壁面をうめる色彩と凸凹は強烈でした。長さ200m近い教室，荘大なプール，13層の大学院，サッカースタジアム等。海抜2000m近い高原で，その暑くない，そしてさむくないメキシコシティ。

スペインの植民地から脱して，独立国メキシコとしての国づくりの意気……。

そこにこのような建築ができたことを，パルパラ教授の話で，ふとわれにかえったのです。

タイルがはげて落ちていたり，仕上げのおさまりが，わるかったり……，いわば歯が欠けていたり，肌が荒れているのが，ここではいっこう気にならない程でした。

（高田建築設計研究室）





◀ Mexico University の
Administration Building
Mexico City（メキシコ）
設計：David Alfaro Siqueiros

メキシコ大学

中村　功

去年の夏突然に，アメリカ，カナダ，メキシコを1月余り旅行しましたが，この大学都市に建つメキシコ大学には深い感銘を受けました。

図書館もそうですが，特にこのAdministration Buildingについては，〝異様な雰囲気〟の一語につきます。また，この大学の環境のよさは，おそらく世界一で，メキシコの学生がつくづくうらやましく思ったことでした。

（大成建設KK設計部）



海外の
近代建築
アンケート

◀ Chapel for M.I.T.
Boston (U.S.A)
作家：Eero Saarinen

サーリネンの教会

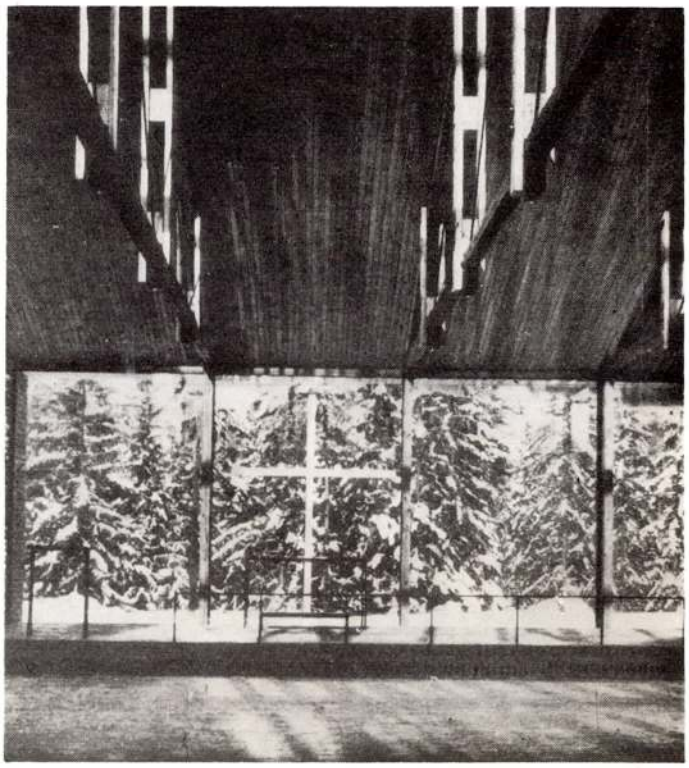
桜井　清

数多くの現代建築のピークをみて，その中から特にひとつのものを選び出すことは実に難かしいことです。

みな夫々に異った意味での大きな感銘を与えてくれました。コルの歴史の1ページとしての偉大さ，ミースの透徹した美しさ，ミノル・ヤマザキの繊細華麗なクラフト，S.O.M. の膨大の経済力をバックにした技術の駆使，そしてサーリネンの飽くなき創作力，等々どれも素晴しい感銘でした。しかし特にひとつの作品をという注文なのでこのサーリネンの教会を選びました。数多くの名建築の中で特に離れがたい愛着を感じたのが，この小さな教会だからです。この教会は M.I.T. の校内の広場に，それもまたユニークな存在であるオーディトリウムと向いあって建てています。最初に目に入ってきた時には，なんだこんな小さなものかという感じでしたが，時間をかけてみればみる程その伝統と人間性と現代との素晴しい融和に心を打たれました。サーリネンの父から受けついだヒューマンスケールと彼自身の現代の創作力が見事な結実を示していました。特に感銘をうけたのは，この建物の距離による視覚的展開です。遠距離からの円形の建物と鐘楼との巧みなそして鋭い構成，近づいた時のレンガの暖いディテール，渡廊下から内部への神秘な展開，そして内部の壁と光の空間構成はベルトイヤーの金色のスクリーンによって素晴しい緊張感を漂わせています。この建物が伝統と現代と人間性との結実という意味でもっとも忘れがたい感銘を与えてくれた建築です。

（久米建築事務所）

オタニエミ大学の礼拝堂（1956）▶
Otaniemi（フインランド）工科大学の構内
設計：Kaija and Heikki Siren

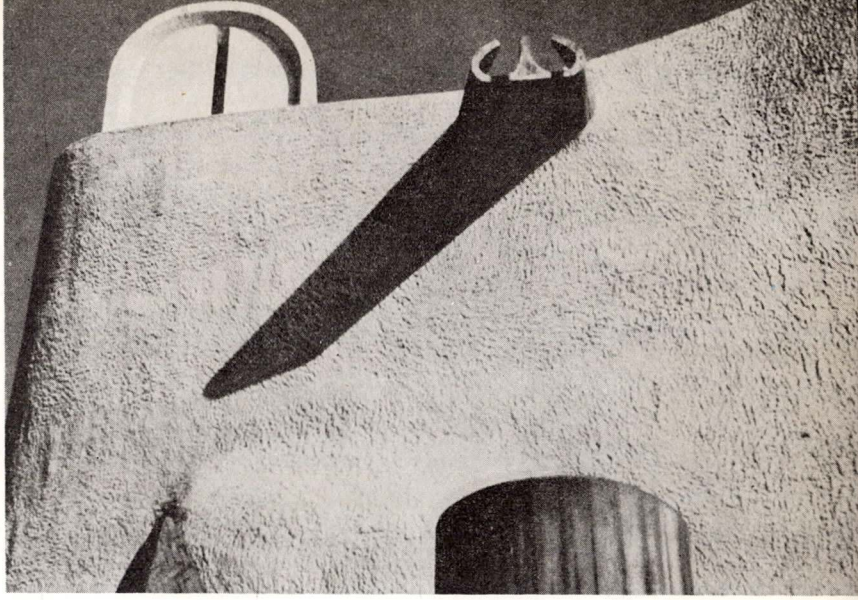


学生の礼拝堂

塚本　猛次

ヘルシンキの西郊に Alvar Aalrer が全体プランと建物のいくつかをやられた Otaniemi の工科大学があることはご承知の通り。その中の学生のための礼拝堂は虚飾をやめて，煉瓦の壁と木造の軸組とガラスで構成されている。礼拝堂の正面の庭に，硝子ごしに建てられた白い十字架は自然と堂とを結びつけて人の心を静めさせる。時間が許せば1日でも2日でも滞在したかった。木造をかなぐりすてて，打ち放しコンクリートにあけくれる日本も，何かもう一度，反省してみなければならない。写真は丁度私はフィルムがなくなったので撮っていない。L'architecture D'aujourd'hui, No. 71, 1957から借用した。（1960.08.27記）

（日建設計工務KK常務取締役）



ノートル・ダム・デュ・オー礼拝堂 ▶
ロンシャン（フランス）
設計：ル・コルビュジェ

ロンシャンの教会　　前川　国男

スイスのバーゼルに近いヴォージュのゆるやかな山岳地帯をベルフォールから北に向って約20キロばかりの山の頂上にこの愛すべき教会が建っている。ヨーロッパの新建築に失望を感じ続けた僕が久し振りに何か救われたような感動を味わった。

ほんとうに久方振りの感動である。大げさにいえば30年前，はじめてパリについた翌日にガルシュのヴィラの前に立った時以来の感動であった。

みちろん，ここにはノートルダムの森厳さもシャルトルの壮麗さも見当らない，ただ僕らに身近かな人間の体臭がやわらかに僕らを包みこんでくれる。

稚拙な落書とさえ感じられる画や字を描き込んだ大小の窓からさしこむ光に，ほの暗い御堂の内部に，蠟燭の灯がゆれる。

そこらの百貨店のショーウィンドウのような窓に，逆光を浴びたマドンナが紅衣をひいて，静かに僕らを見下している。

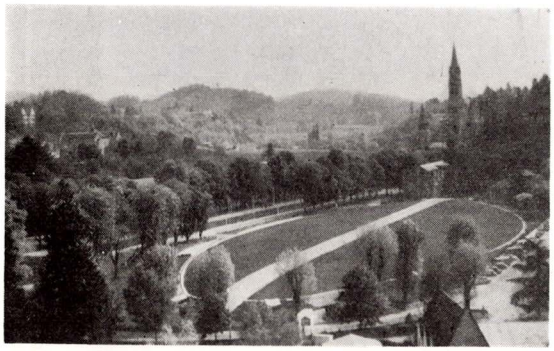
素朴な村の少年少女の合唱が，これはまた神に捧げた歌とも思えぬほどの艶やかさである。

設計者コルビュジェの碑に曰く

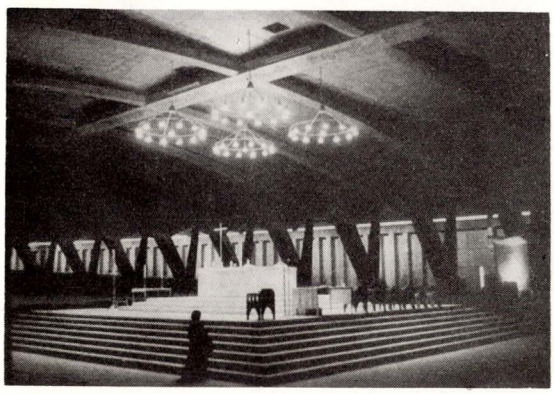
「私はここに平和と静寂と，そして祈りの場所をつくりたい」と。

何から何まで騒がしい近代建築にソッポをむいたような建築，何か建築家の虚栄心，愚かさ，そうしたものを静かにたしなめるように，このロンシャンの教会は美しいヴォージュの起伏を見下してスックと立っていた。(1960.8.15)

（前川国男建築設計事務所長）



バシリカ St Pie X　(1958年)
ルルド（フランス）
設計：P. VAGO　その他



ファサードのない建築　　川崎　清

暴言になりかねないが，建築は外形と内部空間とによって造形されると考えていたことが根本的に崩される事実に遭遇して，建築の原則などというものは可能性であっていつ変るかわからないというような恐れを抱きはじめたことを冒頭に告白したい。ファサードがないということは，手っとり早くいえば地下に造られたということで，カタコウムや中国の石窟を連想されるが，これはれっきとした近代建築である。ここで紹介するバシリカ St Pie X と称する教会はすでにフランスの建築雑誌 L'ARCHITECTURE D'AUJOURD'HUIの81号誌に詳しくでているのでご存知のかたがたも多いと思う。私がルルドを訪れたのは丁度フランスを引き揚げる直前のことで，コルビュジェを含めてフランスの近代建築にいささか失望を感じていた時だけに，久しぶりに愁眉を開いた思いがしたものだった。ルルドはピレネー山脈の麓にある巡礼地で，丁度私がここを尋ねた折は年に一度の宗教祭にめぐりあって，フランスとスペインの各地から集った善男善女の層の厚いのに驚いたものであった。ここには1876年と1889年に建てられたロザリオのバシリカと称する上下二段の教会があり，私がみた地下の教会というのはその前方の広場の一劃に埋められた2万人収容できるという大聖堂である。ルルドには聖母マリヤが現れたという奇蹟の洞窟があり，それ以後この地が聖域となって巡礼者の集るところとなったのであるが，新しい地下の聖堂はマリヤ出現の百年祭のために造営されたものである。地下に入れたということはけっして奇矯を狙おうなどといった建築家の疼しい心掛からではなく，立派な理由がある。風光に恵れた地形を利してすでにロザリオの教会を中心に大遊歩道，広場等の構成が完結されており，もし広場を犠牲にして近代的な建物が出現したならば，勿論広場自身の効用が失われるばかりでなく，新旧のデザインの取合わせのまづさから親しまれた聖域の雰囲気が失われたのであろうと想像される。そしてこのアイデアの発想が奇蹟の洞窟に由来するのではないかと考えると，まさに設定された間に対してうってつけの答をだしたという感がある。建築の最近の傾向として形が先にあるといったような建築が少なくなく，とくに形に執着する日本の建築家の場合ファサードを捨てるというようなことをなし得ただろうか。外形のないこの聖堂の内部は豪快な解決にふさわしく大味な扱いで処理されてこの建築家の力量の並々ならぬことを示している。とにかくここに詣でた時の爽快な気分を当分忘れることができない。

（京大建築学教室）



◀サグラダ・ファミリア寺院　バルセロナ　設計：ガウディ

バルセロナの怪寺院

棚橋　諒

お寺の名前は Templo Expiatrio de la Sagrada Famillia，1882年に起工され，建築家 Villar の死後，Gaudí がその仕事をつぎ彼の一生をかけての大作である。1936年 Gaudí の死後放棄され，1954年に再開されたとはいえ，その仕事は少しもはかどってはいない。Gaudí の完成したものは東側の入口の方だけであって「純情」に捧げられたもの。四つのとうもろこしのような塔が立ち入口の Porch の上には自然主義的な彫刻で一ぱいかざられている。垂直の線もなければ水平の線もないプロポーションははなはだ美しく，色彩も美しい。まだ両側に同じような四つの塔をもつ「情熱」にささげられた Porch が設計され，南側の「最後の審判」に捧げられる主入口の設計にいたっては Gaudí の鬼才を思うままに表したデザインが残されている。

今できている部分は全体の一割位であろう。それでさえこの圧倒的な印象をあたえる建築がもし全部完成してサンピエトロのようなマスを持ったとしたら，ミケランヂエロも驚くであろう。ミケランジェにはバロックだが Gaudí はゴヂックバロックである。サンピエトロには世界を支配するカトリックの姿があり，サクラダ・ファミリアにはサボナローラらの異端をやいた，信仰の炎の姿がある。カトリックの神秘的な幻想的なものがここに昇華する。これは新しいゴジックである。ゴジックバロックである。Gaudí と共にこの20世紀初頭の天才は失われた。もはやサクラダ・ファミリアの設計をなしうる建築家は地上にあらわれないだろう。

（工博・京大教授）

明日の住宅

亀井　勇

21世紀への階段は，科学の進歩にともなう建築改革を当然要求する。

古典的な踏習による建物の材料枯渇これからの新しい生活様式は建物の形態にも，構造材料にも影響し，そのための世界各国はきそってその開発に力を注いでいる。

この開発のひとつにプラスチックがあり，しかも建築物に利用されてきた。その最初の建物として，アメリカを旅する世界各国の人々に注目をひかせている〝明日の住宅〟といわれている総プラスチックの建物がある。

この建物は工場生産を目的とし，輸送と施工の容易さを考慮し，しかも構造，材料，その他物理的検査も行なっている。

建物の平面は十字形で，4翼は居間，寝室となっていて，一つの翼は4個の殻をボルトで組立てたもので一室16ft²の室となる。側面は開放され，青透明の プラスチック・ガラスである。天井裏に換気用パイプが入り，床面はガラス強化ポリエステル薄板張りである。断熱のために天井と床下に気泡ポリエスが入っている。

中心核の四隅にある鉛直柱が翼の重量を支え片持梁となるが曲げ荷重は分担しない。

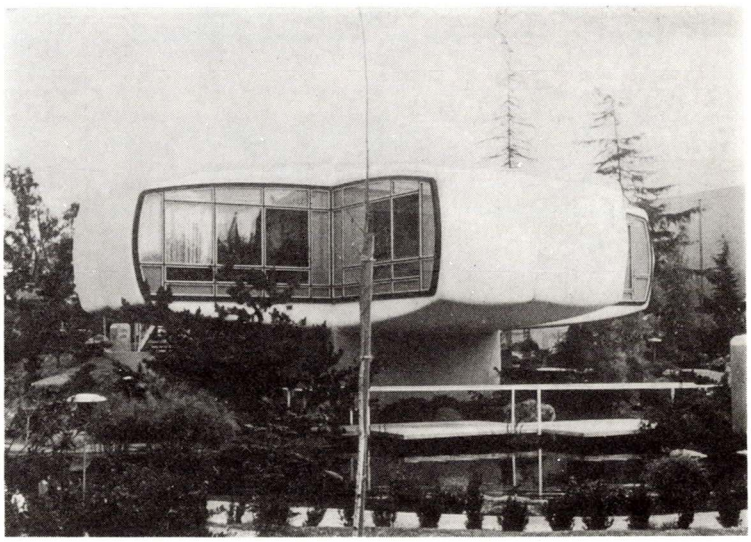
この建物について特に注目されることは，実物建物を用いた各種の物理的試験が M.I.T を中心に行なわれた。固定荷重，積載荷重による撓み応力測定，また設計用地，震力，風荷重，積雪荷重による安全性の試験，さらにプラスチック製品は膨張率が大きいので問題となるが，室内温度を70°F，屋根温度170°Fにしたとき支障のないようにした。また樹木の陰による影響も調べた。

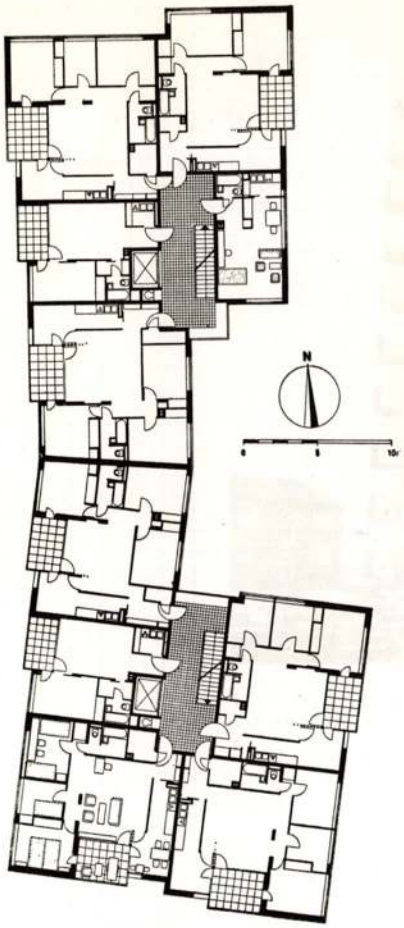
この殻は300°Fの温度で真空加圧によりつくられ，内部は不燃性ポリエステル，外部は風化を防ぐため樹脂系で覆われている。補強材をも含めてすべてガラス繊維強化ポリエステル構造であるばかりでなく，建具サッシ，ベッドのスプリングに至るまで目に入るものすべてプラスチックである。

新時代の科学の力を応用した人工材料によるこの建物は，私の滞米中最も興味をひいたもので，ここにあえて読者に推薦紹介する。

（東北大学教授・工博）

〝明日の住宅〟（プラスチック住宅）
ディズニーランド（アメリカ）
設計者：M.I.T のプラスチック研究会ならびにモンサント化学会社共同作成





Grundriß



アルバ・アールトのアパート
西ベルリン，ハンザ地区所在

アルバ・アールトのアパート

大倉三郎

ヨーロッパの建築が，それぞれ建築家の強い個性をただよわしているなかで，ただひとつを選びだせ，といわれると，いささか戸惑ってしまう。何れも独自のよさを香高く発散しているからである。それについて思いだすのは西ベルリンのハンザ地区である。ここは戦後，住宅団地の模範的な町づくりを目標として，大規模の区劃整理と建設計画をたてた。建築は各国から著名な建築家，約48人を招いて，各自一棟づつ，自由な設計に委ねたのである。1957年に大半完成の上，展示会を開いたのだが，それは文字通り，世界著名建築家展とでもいえるものとなった。各棟の位置や規模は，予め定められていたにしろ，思い思いの特異の作品が林立したのであるから，全体として，一見甚だ統一のないものとなったのだが，個々の建築には優れた逸品が少なくないのは，さすが一流の腕を競っただけのことはあると感激させられた。

ここにだしたのは，そのなかのひとつ。他と比べて形も色もじみで一向に目立たないのだが，よくみると，やはりアールトのよさがうかがわれる。プランは1ホールを囲む5戸が，2組連続する形で，8階建，全高28m。1階では中央部の2戸にあたる部分が，入口のピロチとなっているほか，各階は10戸の中，1室戸が1(8)，2室戸2(16)，2・3½室戸1(8)，3・1½室戸1(8)，3・2½室戸3(24)，4・1½室戸2(14)となっている。〔カッコ内は全戸数，合計78戸〕延住居面積 5732m²，総容積 26752 m³。ほかに地階には洗濯室，機械室，倉庫などがある。

構造は鉄筋コンクリート壁構造で，外壁厚20cmに7.5厚の泡コンクリートを施している。内支持壁17.5cm厚，屋根防熱スラブ17cm厚。仕上は他にくらべて，お粗末だが，音や熱の遮断，内部の造作や調度など入念に考えてある。平面の配置の細かい心づかいが，例えば，全体のゆるい折線形や各戸の僅かづつのづれと露台部分の断層など，巧みな変化の妙を与え，それは立面の上にも，心よい階調をかもしている。一見，平凡なアパートでありながら，その基調にみれる現代浪漫的な構成意図が，なにげなくにじみでている。平凡から非凡への道が，この建築のなかにある。

（工博・京都工芸繊維大学教授）



撮影：吉家　光夫

ベリンビのアパート
ベリンビ(ストックホルムの衛星都市)
設計：H. ワレミング

ベリンビのアパート

吉家　光夫

地下のプラットホームから上って駅前広場を眺めると，アドバルーンがあがり，バンドマンがならび，街はお祭気分である。ここはスェーデンの首都ストックホルムから西へ15キロ，衛星都市として完成を急いでいるベリンビの商店街が落成し，今日はその開店祝いを大臣列席のもとに盛大におこなうところであった。1954年の11月14日と日記に書いてある。

私にベリンビ見学をすすめてくれたのは親日建築家として知られているC・ヨハンソン氏であるが，氏の説明で街の様子はだいたいわかっていた。ストックホルムとベリンビ両市は高速度鉄道で連絡され両駅とも地下にあって途中の風景は美しいこと，ベリンビは計画された都市であるが自然に発生した都市のように駅に近いところには高層アパートを建て，遠くなるに従って低層とし，いちばん遠くには平家の独立家屋としてあるから，この姿は当分保たれると考えられていること，あるいは，自然の地形や樹木は大事に保存され，道路も直線を避けて住宅地の気分を尊重したことなど，いずれも興味深いことであった。

アパートはあらゆる形式のものが，その見本市のように建ちならび，多くの建築家が関係していることは一目してわかるが，その中にスェーデンの好みの良さが，全体を統一する何かとなっていて，隣どうしのアパートが不自然な対立となっていない。どこの新建築も持っているような唯我独尊的な冷たさがないのだ。スェーデンは新しさの中にも民族の核となるものをいつも忘れていないようだ。窓割りにも，ベランダの手摺にも，街灯にも，伝統を忘れない新しさがあって感心した。

そして私の最も感じたものは，建物の色であった。渋い色の配合は外国雑誌で承知していたが，付近の風景を眺め，ひとびとの服装を眺めたとき，それらの調和の良さに打たれるのであった中多くのアパートのなかで最初にみた高層アパートが私に最も強い印象を与えた。美しいアパートであった。建築家はH.ワレミングときく。

(大成建設KK設計部)

海外の
近代建築
アンケート

AALBORGHALLEN（オールボルグ市民会館）▶
AALBORG 市（デンマーク）
設計者：Otto Frankild
Preben Hansen
Arne Kjær
(Architects M.A.A.)
Johs. Jørgensen
(Civil-engineer F.R.I.)



オールボルグ市民会館

寺島三雄

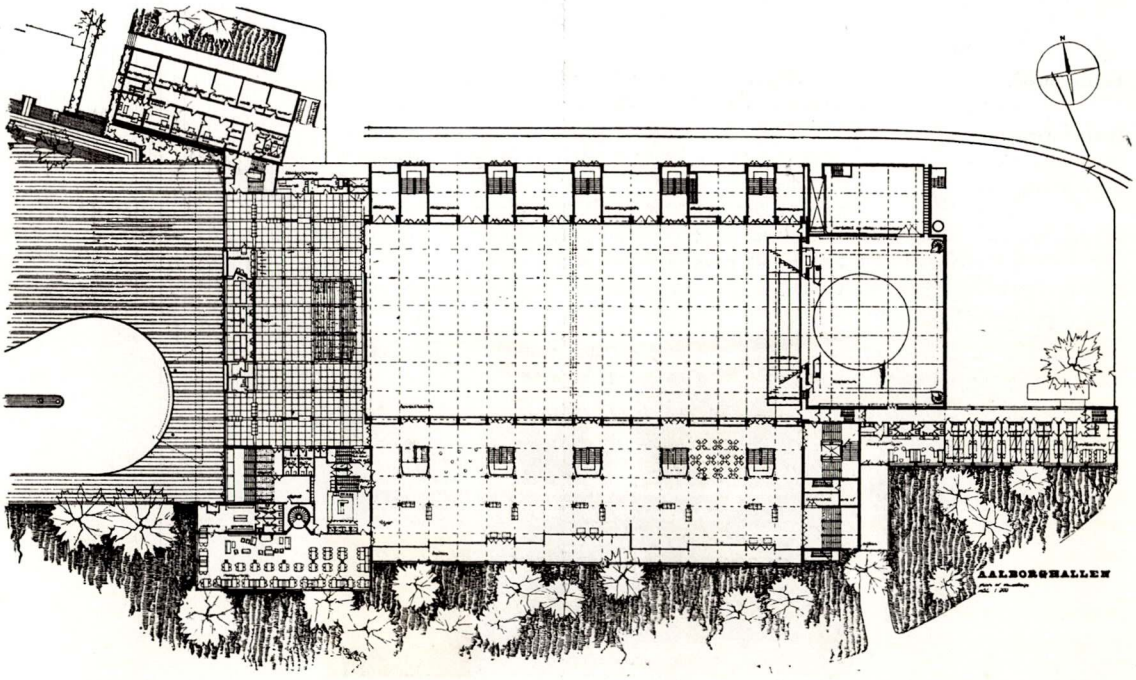
オールボルグ市は，デンマークの北端に近くジュトランド半島から深く入りこんだフョルドの中程に位する入口12万の地方都市である。デンマークのほこる有名なセメント工場やタバコ工場がここにある。この都市に建つ市民会館（AALBORG HALLEN）は，1953年工費約7億円をかけて完成した。建物は中央公園の一角にあって面積8000m²，鉄筋コンクリート造，大ホールを中心にプロムナード，9つの中小集会室レストミン，ホテル，事務室(株)等を施し，市民の憩いの場所となっている。

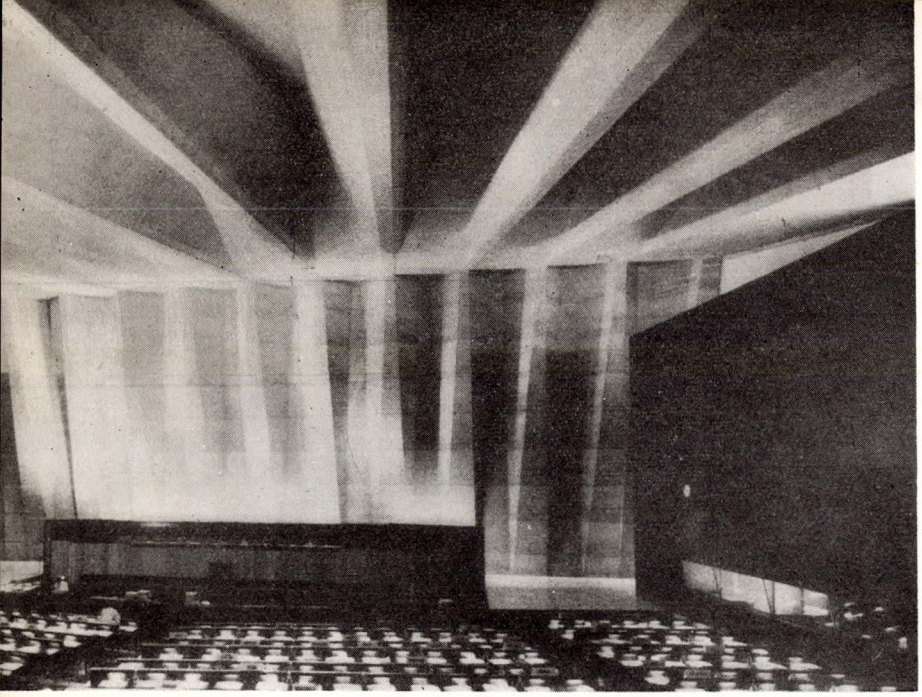
大ホールは，70m×32mで，コンサートホールに，劇場に，あるいは催物の会場として多用的に使用できるよう設計されている。小集会に使用するときには，ホールの壁面いっぱいに設けられている移動式の大間仕切壁を動かして，適当な広さにでき，また使用定員の広さに応じて，壁体および開口部に取付けられた吸音板の操作にも新しい工夫がなされている。

このホールには，正面玄関から先づ地階の広々としたクロークルームに導かれ，そこから10ケ所の階段を経てホールに入る。冬期の長いこの国では，コートをぬいであづけるための施設に，こんなにまで意をそそぐことが必要なのであろうかと，少々異様に感ぜられた。

デザインは極めて簡明直截で，単純な中に簡単な美しさを表現している。壁いっぱいにとられた開口部は，あくまでも広々としていて，日ざしの弱い北欧の日光をできるだけ豊富にとり入れようと試みている。室内の意匠家具も軽快で，明るい5色で統一されたカラーコンディショニングは誰でもアンデルセン童話のさし絵をみるような気易さを感ずるであろう。(1960.9)

（大阪府建築部住宅建設課長）





巴里ユネスコ会議場　　村田　政真

概して，一つの建築がその軀体を建ち上げたときが，もっとも魅力を感じるときである。しかし，仕上ってゆくにしたがい，その魅力が次第に薄れて，期待に反することが多い。何故だろうかといつも思う。

おそらく，緻密な探究，設計上の練りの不足が正直に表面に現われてくるのだと思う。平面計画と同時になされる，建築それ自体のもつ空間の造型面に，構造や設備計画が完全に溶け合わない証左といえよう。建築がただの衣になっては終りである。

この工事現場を訪れたのは4年前である。鉄とコンクリートの素材が構成するたくましい力をその時感じとった。この夏，ふたたび訪れて，できあがった姿を，この目で見てきた。力強く，しかも格調の高いこの建築は，強烈ではあるが，ハッタリを微塵も感ぜしめない落ち着きと豊かさをもって，私の心を完全に把えた。これこそ，本当の建築であると，しきりに感動と歓喜を覚えた。

外部も内部も，構造壁のコンクリートの素肌が造型力の巧みさに誘導されて実に美しい。幾つかの大会議場の組み合わせは，それらの有機的に連帯する空間とあいまって，機能を充分に満たしたあとに生じる豊かさを，そこに織りなしていた。人々の心を高度にたかめることをこの建築は忘れてはいなかった。

また，この力強い建築造型を賛えるように，広い緑の芝生と四囲の大きな空間が，それを温しく包容していた。建築と環境えの関連の細かい心使いを，とかく，忘れ勝ちの私達を省りみて，そのことを深く心に刻んだことであった。

（村田政真建築設計事務所）

パリ UNESCO 会議場

建　築　家

Marcel Breuer
（アメリカ）

Pier Luigi Nervi
（イタリー）

Bernard Zehrfuss
（フランス）

国際建築委員

Lucio Costa
（ブラジル）

Le Ccrbusier
（フランス）

Walter Gropius
（アメリカ）

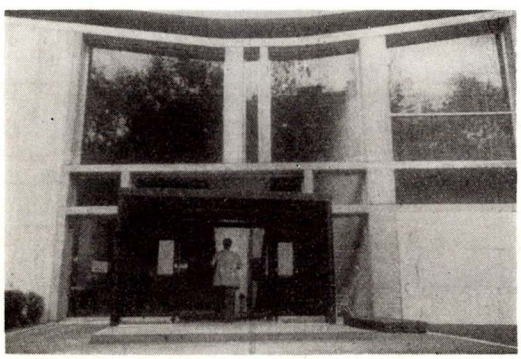
Sven Markelius
（スエーデン）

Ernesto Rogers
（イタリー）

完　成

1955年4月 着　工

1958年11月 完　成



8年目のホノルル、サンフランシスコ、ロスアンゼルス

尾　崎　久　助

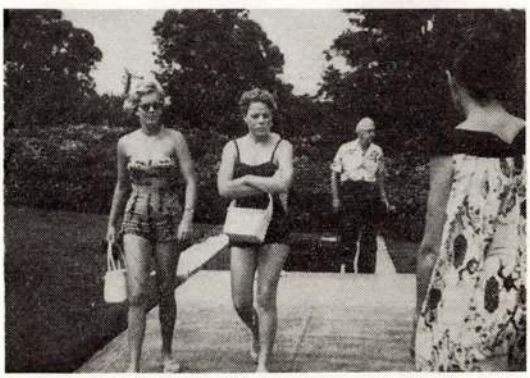
▶昨年，ホノルルにいる伯母に招かれて私ども夫婦は10月なかばに羽田を出発してホノルルへ行き，ついでにサンフランシスコ，ヨセミテ，ロスアンゼルス，グランドキャニオンを遊びまわって，わずか3週間たらずして帰ってきた。したがって始めから専門的に物をみるつもりはなかったのだが，本誌1月号の巻頭言を書かねばならなかったので，まず見聞の一端を披露した。上記の通りで専門的にみたわけではないのだが，そこは職業柄で，専門的に目に映ったものもあるので何等かの参考になればと思ってひろい書きをしたのがこの一文である。貴重な誌面を割いていただいたことを恐縮に存じます。

▶ホノルルは往きと帰りとで合計1週間余滞在した。ホノルルでまず興味を持ったのは，新しくできた Sears というショッピングセンターであった。建物はだだっぴろい2階建で，各階のレヴェルに広大な駐車場を持ち，もちろん道路から直接に駐車場に達する（2階を mall level と書いてあった。mall は樹陰遊歩道と訳してある。2階には中庭があっていくらか植木等があった故か）日本の名店街をうんと大きくしたものと思えばよい。商店をショッピングセンター形式にもって行こうとするのはアメリカのどの都市でも同様だとのことで，7年前ボストンから20マイル余離れたフレミンガムというところで，ショッパース・ウォールドというのをみた。ここには郵便局，銀行から映画館もあった。

アメリカでも，人はエレベータで上下することを好まず，エスカレータですら数階を上下するのはおっくうらしく，郊外の平たいショッピングセンターが繁昌するのだそうだ。それはダウンタウンの商店街は，駐車に全く困るからでもある。先年ニューヨークのメーシー百貨店を存続させるかどうかが問題となり，某大学で3年かかって研究したあげく，駐車場をもつことに建物を改造する限りにおいて存続OKということになったと聞いたことがある。7年前ヒューストンで，新築デパートの付属ガレージビルが裏道をへだてて粗末な別棟で建てられているのをみた。このような例はほかでもいくらもみたが，ガレージビルは open deck といって，窓障子もないきわめて粗末な建物で，実際それでよいのだ。日本では建築基準法上そういう程度ですまぬのではないかとおそれる。ホノルルでもショッピングセンターの出現によってダウンタウンの個々の小売商店はさびれるだろうとのことであった。私どももダウンタウンへ買物にいったとき，自動車の置場をさがすのに一苦労した。

▶ところでいかに常夏の町とはいえ，若い女が黄や赤のショートパンツにかざりつきの派手な草履ばきでショッピングセンターの内外を濶歩しているのには驚いた。さらに裸足の女がいたのにはあきれた。ショートパンツに草履ばきは，その後ロスアンゼルス市内，ディズニーランド，グランドキャニオンの観光客中にもいた。まことにうらやましい自由の国である。また日本でネグリジェーとよばれる寝巻とまったく同じにみえ，長くて裾が足くびまでもあるムームーというのを着ていた。ロスアンゼルスとホノルルとの間のジェット機内のスチュワーデスもこれを着て愛嬌をふりまいていた。今年は日本にもはやるだろうとの声を聞いたが，丈の低い日本の女にはどんなものか。

▶ついでながらハワイの生活程度の一例をあげて参考にしよう。私どもの渡航手続について世話になった人は40才そこそこであろうか，二世で，ある trust company（住宅の建て売りもやっていた）の assistant secretary で，月収800ドル（29万円）であった。住居は立派な住宅地



1. ハワイのモルモン教寺院（海岸に近い）境内の海水着姿とムームー姿（右端）



2. ハリウッドの町中（シナ劇場前）でのショートパンツ姿

にある平家建で，広い居間のほかに2寝室，ダイニングキッチンという程度らしく，広い庭の芝生に面していた。自動車はむろん2台で，1台は奥さんが子供の学校の送迎に使っていた。学校には多数の自動車が駐車していた。もっとも物価は高いらしく，われわれが日本で自分の所属以外のロータリークラブへ出席すると中食代350円程度支払うが，サンフランシスコは3ドルであったように記憶する。

私どもは伯母の家に滞在したのだが，外出のたびにだれかに自動車を運転してもらうのがあまりに気の毒なので，一度バスでダウンタウンへ出かけたことがあるが，そのときのバスの乗客といえば，ほとんど有色人のしかも老人ばかりであった。また住宅地には切手を買う店も散髪屋もみあたらないで困った。いかに自動車が必需品であるかが痛感されたものだ。

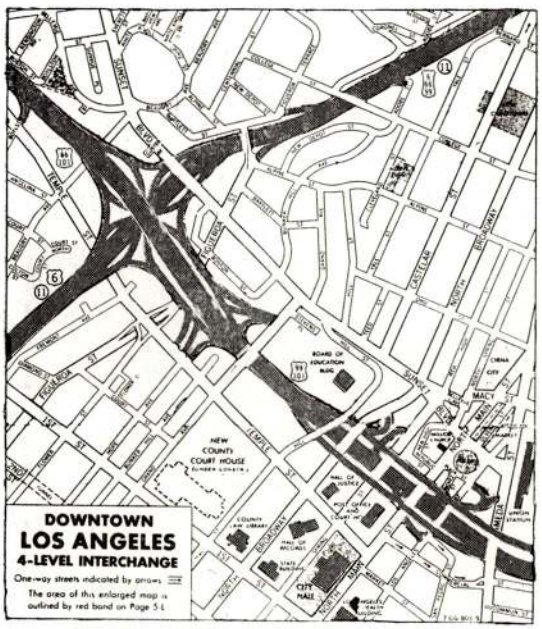
▶ホノルルを夜たって早朝サンフランシスコ着，出迎えを受けてダウンタウンへ向ったのだが，7年前は山の中腹を通ったように記憶しているのだが，今度は埋立の近道を走ってすばやくダウンタウンへ入ったように思った。今さらながら羽田空港からゴミゴミした京浜国道をようやく抜けると凸凹の国辱道路上，種々雑多の車とゴーストップにイライラしながら，ようやく鉄鋼ビルへ到達する日本の醜態が思い出された。

サンフランシスコは神戸のように傾斜地に建っているからであろう，立体交叉の立派なフリーウェーが沢山できているのが目立った。それから古い地域の木造建築が毀されて改造されつつあった。7年前，日本人街の日本人ホテルに泊って電信柱をみてなつかしんだことがあるので，どの辺かたずねたところ，その辺はすでに取毀されたらしかった。new town in the cityとか，urban renewalすなわち市街地再開発ということで，いまサンフランシスコは大手術を受けているのだ。7年前，ニューヨークやシカゴで，古い地域や不良地域を全部取毀して立派なアパートを作っていたが，これと同じやり方であう。これは市がやったり，保険会社もやるらしい。私は日本へ帰ってから住宅公団大阪支所で飜訳されたカリフォルニア州の都市再開発法（The Community Redevelopment Law）なるものをみる機会を得た。（コムミュニティー再開発エージェンシー複写，1957年と書いてある。）これはたまたまみてきたサンフランシスコやロスアンゼルス等の再開発に適用されたもので，きわめて興味深くひろい読みしたので，わずかながら紹介してみよう。

▶アメリカでも都市老化は顕著になってきている。そこで都市（Community）なり，市街地（Urban）なりの大手術が緊急の大仕事となってきているわけである。そして病へいは局所的治療ではおさまらず，実際には局所的に行なわれはするけれども，それはあくまで都市のほかにその周辺までも考慮に入れた全体計画に基いたものでなくてはならず，それをスムースに実施するために上記の法律ができたわけだというのである。そして都市再開発も公共の福祉，安全，健康の確保という目的のために統一された一連の事業として行なわれるのである。再開発法もカリフォルニア州の保健保安法（Health and Safety Code）の一部をなしているとのことだ。その目的の遠大さと規模の大いさとに承服する次第である。そして実施には The Community Redevelopment Agency つまり公団のようなものがあたるのだとのことである。再開発法中の一章にとくに Urban Renewal（市街地再開発）というのがあって，その仕事の内容には不良建築物の復修，除却等とともに，再開発にともなう移住者に対する住宅の提供等も含まれている。サンフランシスコでみた建物の除却，新築等がこの仕事であろう。都市と市街地とを区別しているのは注目に値すべく，urban renewal というのがとくに重視されているわけである。

▶ロスアンゼルスでは，シヴィックセンターを中心にオープンカットの数条のフリーウェーと呼ぶ放射線道路が走っている立派さに改めて驚いた。交叉は全部オープンカット上に架せられた橋によっているので，放射線は長い距離をノンストップで走れる。道路の中心近くは70マイルぐらい，外側にゆくにしたがって50とか45マイルぐらいで走るので，フリーウェーの側に立っていると身体が自動車の流れに吸い込まれそうに感じる。またフリーウェーへ入ったりそれから出たりは，それこそしくじったら生命がけなので，自動車の中にいてもハラハラさせられる。

ロスアンゼルスの人口は1958年末に645万でシカゴを抜いたとのことだが，なにしろ平面的にひろがった都会



3. ロスアンゼルスのシヴィックセンター

ゆえ電車やバスははあまり役に立たぬので，自動車なしの生活というものは考えられない。街のいたるところに中古自動車売場，ガソリンスタンド，ドライブイン・レストラント，モーテル等があって，なんのことはない，自動車関係の商売で町が成立っているように感じたことがあった。

7年前，アメリカ所感中に町中の空地は日本のようにそのままにして置かず，有料駐車場になっているのが多いと書いたが，今度いってみると，水平に移動するエレベータを備えた駐車場があった。そのうちに日本にもお目見えするかも知れぬ。そして夜フリーウェーを走らせると，前には赤のテールランプの行列が走っていき，左側には白のヘッドライトの行列がこちらへ向って走ってきて整然たる提灯行列のような見事さであった。

▶ある日シヴィックセンターの某所を出発して，ハリウッドからサンタモニカの海岸へ出で，ウイルシャイヤー・ブールヴァードを通って帰ったが，地図で測ると50マイル以上あるのだが，いささかも疲れず至極快適であった。それほど道路はすばらしい。バスでサンフランシスコからヨセミテ国立公園まで約8時間，ヨセミテ国立公園からロスアンゼルスまで約11時間，いずれも1回乗り換え，たしか1回降りて軽い飲食をしたと記憶しているが，快適で疲れを知らなかった。日本でそんなにバスに乗ったら大変な疲れだ。オランダのロッテルダムは大規模な戦災を受けたが，根本的な都市改造を進めて，東京駅前広場の2倍もあるような駅前広場を軸として幅員50ないし80メートルぐらいのオープンカットの街路をさかんに造っており，主要な交叉点はすべて立体交叉にしていると日本人の視察記で読んだことがある。東京，大阪名古屋では，いま地下鉄が作られまたは計画されている。ところがロンドンでは地下鉄のために街路の立体交叉や地下化が思うようにできなくて困っているとのことである。日本でも考えねばならぬことと思う。また日本では駅前にまず儲かる地下商店街を作るが，それよりも地下駐車場を作るべきではないか，当局者は心してもらいたいと思う。

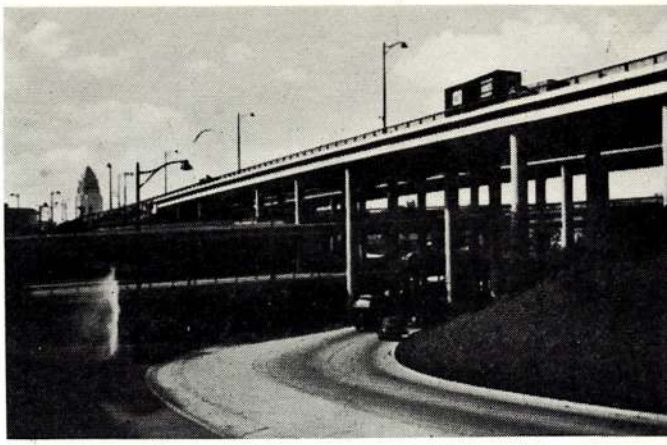
▶ヨセミテからロスアンゼルスへいくとき，バスの終点が一体どなのかこかわからないので一抹の不安を感じていたのだが，見覚えのあるシティーホールの高塔がみえてきたときはうれしかった。シティーホールのあるシヴィックセンターを基準にして，他の場所の見当が大体つくからだ。市庁舎に高塔を建てることは近ごろはやらぬが，こういう点からは有意義だと思う。

▶私どもはある日ディズニーランドへ遊んだ。シヴィックセンターから東南，サンタ・アナ・フリーウェーを約20マイルいったところにある。豊島園，花月園あるいは宝塚遊園地をずっと大きく豪華にしたものと思えばよい。漫画家ウォールト・デズニーが「老人には過去の楽しい思い出を，若人には未来の挑戦を約束しよう」と建設したものだとのことだ。またディズニーランドはお祭の場，未来の首都，魔法と自然の真相の展示場であり，とりわけ人々が幸福と知識を見いだす場所であるとディズニーはいっている。

ディズニーランドは，おとぎの国，冒険の国，開拓の国，未来の国の4つにわかれ，大きな昔風の飾りのついた帆船に乗って池の中をまわると，両岸に開拓時代のア



4. ロスアンゼルスのシヴィックセンター。高塔はシティホール



5. ロスアンゼルス・シヴィックセンター附近のフリーウエー



6. 見事なロスアンゼルスのフリーウエー



7. ロスアンゼルスのハーヴアー・フリーウエー
（マリンランドへの道）



8. マリンランドの鯨の曲芸



9. ロスアンゼルスのスーパーマーケット



10. ロスアンゼルスのスーパーマーケット内食料品店

メリカの様相が，建造物や，動く人間や動物の造り物でみられるという歴史的の部分，原子潜水艦ノーチラス号で海底巡りをする新しい部分，そのほかお伽の城，熱帯の島等々ゆっくりみたら1日では足らぬであろう。

ディズニーランドは1955年に建設され，昨年21億6千万円で新規の建設が行なわれて，資金は106億5千万円の巨額に達したといわれている。まったくすばらしいものだ。私どもがいったのはウィークデーであったせいであろうが，バスは往復とも立つようなことはなく，園内では子供の姿は少なく，むしろ老人夫婦が目立った。まことに羨ましい光景であった。

▶別の日に私どもは Marineland というのえいった。シヴィックセンターからハーヴァー・フリーウェーというのをまっすぐに20マイルほど南下し，さらに西へ折れて5マイルほどいった海岸にある。若い日本人の女事務員のドライブでいったのだが，例によって道路がよいので別に不安も感ぜず快適なものであった。マリンランドというのは大規模な水族館のほか，鯨の芸当等をみせるだけとはいえ，その規模，設備等むろん日本の及ぶところではない。それよりもシヴィックセンターから遠い場所にあって，しかも見物人が沢山きているのは道路がよいからに違いないと感服した。

▶それとその途中でみたスーパーマーケットに感心した。食料品の部分だけでも300m²もあったろうか，商品がぎっしり，しかもそれが実に美しくならべてあって十分購買欲をそそるようにできていた。こういう立派なスーパーマーケットが場末というか郊外というか家がまばらのところにできているのは，やはり自動車と道路の発達のせいであろう。

▶ロスアンゼルスはロスアンゼルス市のほかにハリウッド，パサデナ，ビーヴァーリーヒル，その他の市とともに大きな市域を形成しているので，近ごろアメリカではこういう形態に対してメトロポリタンという言葉を使い，市というと旧市街を指すのでそうだ。1958年の人口が645万だというのはメトロポリタンの人口であろう。大阪市とその周辺の高槻，守口，堺，尼崎，西宮，豊中，宝塚等多数の市をあわせ考えると，メトロポリタンというのであろう。こういう広い地域に対して regional planning というのが考えられ，さらに広くサヴァーバンデヴェロプメントというのが考えられるのだそうだ。ロスアンゼルスから500kmを6時間とばすと，人口2万のラスヴェガスがある。2日の週末休暇と自動車を利用するリクリェーションの町である。ジェット機を利用すれば2時間半でマイアミリクリェーションができるという。ジェット機ならば5時間でハワイへもいける。私どもはロスアンゼルスで中食を，それから飛んでホノルルで夕食をご馳走になった。（1959）

（筆者　本会会長・日建設計工務株式会社会長・工博）

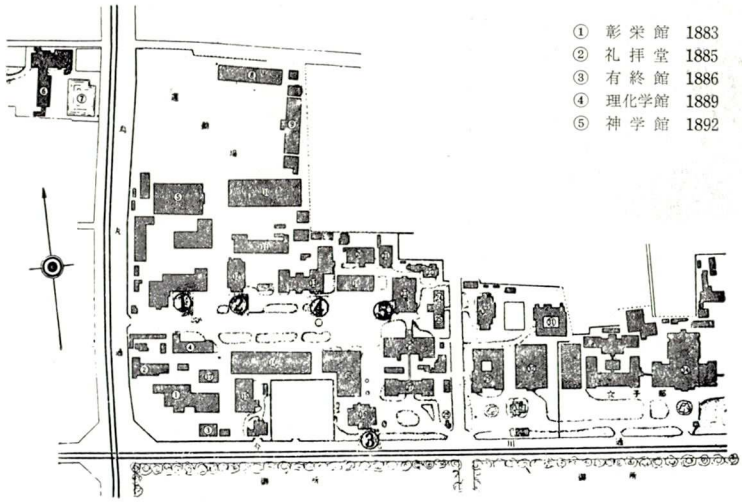
同志社の明治建築

概　要

新島襄生先の創立になる同志社が「英学校」として，開校されたのは明治11年〔1878〕11月で，当時の校舎は現存しないが，創立者の旧宅が，現在京都で最古の洋風住宅として健在であり，さらに同志社構内には彰栄館・礼拝堂・有終館等の煉瓦を主体とする明治10年代の建築が，またハリス理化学館・神学館が20年代の同種の建築として現存している。それ以後も木造・煉瓦造（外観だけのも含めて）とも明治末期，大正初・中期にいたるまでずらりとそろっていて，こんなのは他では求め難いであろう。しかも近年になって，一部取りこわしのものや内部大改造をしたものも少なくない。ここでは個々の建築について述べる紙面がないので，幹事からの注意により，とりあえず全体を一べつすることとした。（詳細は近日発表の予定）

同志社関係の建築が，かくも多数保存されているのに，調査に望ましい資料となると，ほとんど何も残されていず，設計監督者・大工棟梁・工費期間など現段階では不詳である。しかし創立いらい現在までも続いているアメリカとの関係は資金の他あらゆる点で，忘れてはならないと思われる。

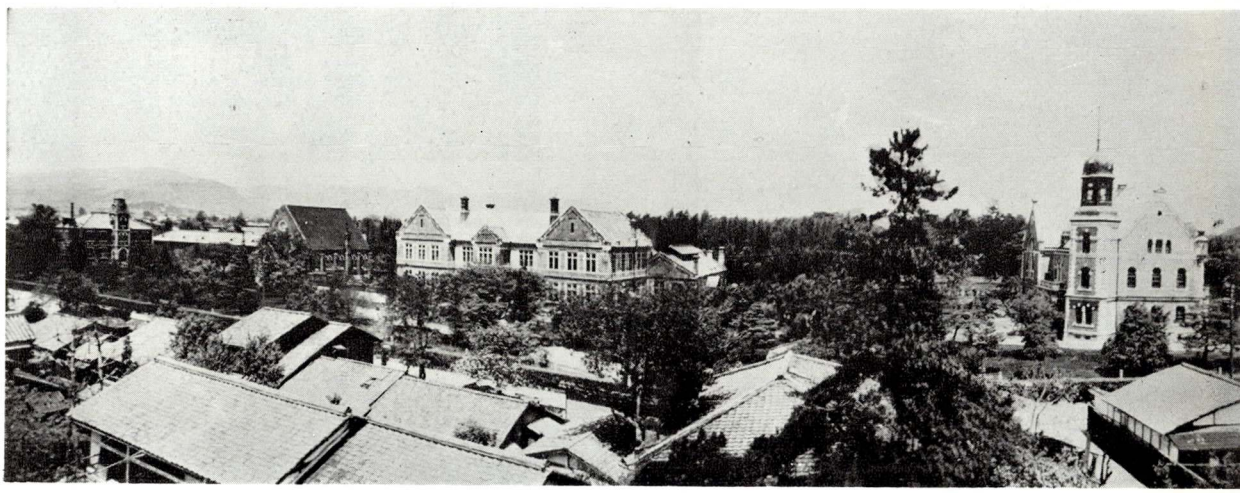
主要建築の要点：つぎに彰栄館，礼拝堂，有終館，ハリス理化学館，クラーク神学館，静和館の順にのべる。



第1図　同志社主要部建築配置図（西歴は定礎石の刻銘）

第2図　明治末年頃の同志社

左から彰栄館・立志館（木造）・礼拝堂（チャペル）・ハリス理化学館，右端に神学館がみえる。撮影位置は多分有終館の辺からであろう。1910年にできた立志館が真新しい姿で写っているから撮影時期は明治末と推定される。下方に並ぶ瓦屋根は同志社の教職員の住宅。この状態は昭和初年でもあまり変らなかった。（写真は筆者が古本屋でみいだしたもの）





第3図　彰栄館東南面（増築前）　昭和25.12.19撮

昭和26年の増築前まで外観は創建当初からほとんどそのままの姿で保存されてきた。京都現存最古の煉瓦造で，創建数年後の案内記の銅版画とほとんど同一である。ただ屋根瓦に漆喰留がしてあったかもしれぬ疑いがある。それ以後の銅版案内記にもわりに掲げられ，珍らしかったらしい。手前の隅石下部に年号がある。一部に木骨を入れているらしいが後の調査を俟ちたい。武田五一先生のいわれる「アメリカンゴシック」の一典型，新島先生のアーモスト大学在学中のノートにゴシックの細部などがスケッチされていてそれ等が役立ったものと思われる。現在では時計塔の右から直角に東へかけて大倉三郎氏案により鉄筋コンクリート造3階建が増築されている。これは昭和26年2月起工，9月竣工，総工費1,500万円の予定で始められたものである。



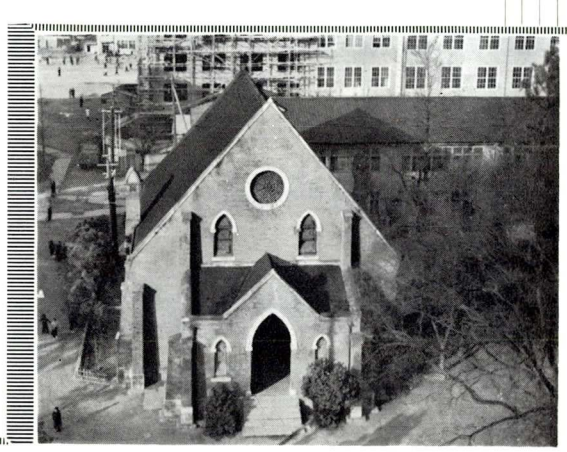
第4図　彰栄館東面南隅　昭和32.11.30撮

同志社の古い建築は幸に皆このように和洋両様の年次が刻まれていて大体の見当がつけられる。そのなかで彰栄館のこれが最も古い。一石に和洋両様を刻んだのと，左右に分けて難したのとがある。写真のような煉瓦の積み方と同類のものに年代的に近い礼拝堂・有終館があり，煉瓦の寸法もほとんど同じとみられる。

1. 彰　栄　館

京都市上京区烏丸通今出川上ル同志社構内（以下同）

明治16年（1883）起工，17年竣工，煉瓦造2階建，建坪83.46坪。延坪171.81坪。寄棟造桟瓦葺。資金は米国海外伝導協会（American Board of Commissioners for Foreign Missions，通称アメリカンボード）の寄附，設計は同ボード派遣宣教師 Dr. Daniel C. Greene 氏で，日本の大工が施工したという。現在北東部分は取除かれ，増築部分に続く。

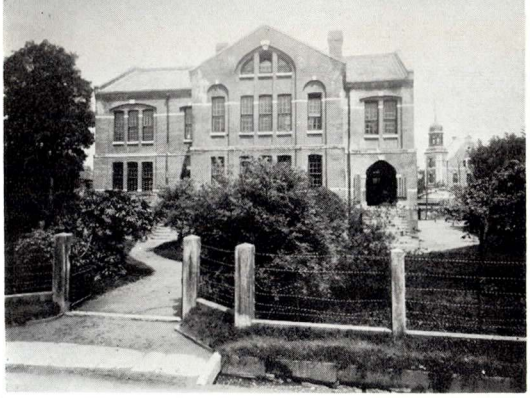


第5図　礼拝堂（チャペル）南正面　昭和30.12.2撮

前にある新築の高塔からみ下したもの。竣工直後の写真と較べてもほとんど変っていない。但し大棟には全長に亙って鋳鉄製の美しい棟飾りがついていたがずっと以前に取り去られ，所在不明とのことである。大阪川口基督教会の旧礼拝堂もこれに似たものであった。

2. 礼拝堂（チャペル）

明治18年（1885）起工，19年竣工，煉瓦造1階建。建坪98.99坪，延坪114.91坪。切妻造後陣付，鉄板葺，設計者および，資金同前，監督は下村孝太郎工博（明治12年同志社第1回卒業生）。意匠および構造優秀。



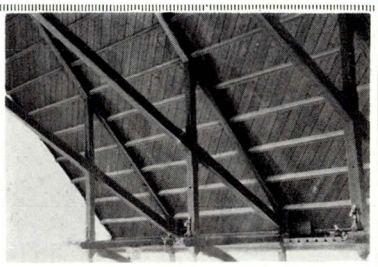
第8図　明治末年頃の有終館南面

今出川通りに電車が通る前の姿で，もとはこれが正面である。電車開通に伴い，前の地所をけずられ，門は移されて東向きとなり，同時に有終館も東が正面のような工合になってしまった。それで右側の階段を東向けに変更した。また屋上二本の煙突も大正3年火災後取除かれた。その他の外観は現在も大体同じで，煉瓦の白っぽい汚れもそのままである。火災後内部間仕切を変えたり，補強を施したりして内部は案外である。右に神学館の南面がみえる。なお右入口にかけた木札にはそれぞれ「同志社図書館」，「同志社大学政治経済部」，「同志社大学英文科」とあり，後の二枚は新しく，図書館のは相当風蝕しているから，これからも図書館としたのが古いことが知られる。いまの正面である東側はこれにくらべて窓などが少し違っているのはもと側面だったからである。

3. 有　終　館

（もとの図書館・政法学教室など，現在本部事務室）

明治19年（1886）起工，20年竣工，煉瓦造地上3階地下1階，建坪106.50坪，延坪213.00坪。十字形平面，各面切妻造桟瓦葺，設計および資金同前。大正3年（1914）火災，その後補強，変更などが多い。



第6図
礼拝堂内部構架
昭和34.5.21撮

屋根が金属板葺だから小屋組も簡単で要領を得ている。要所は鉄金具で補強，弁柄類を塗り，面だけ朱色仕上げとしている。比較的暗い色なので全部白ペンキ塗りの案がでたが猛烈な反対者があって助かったのは有難い。裏板を斜め張りとしているが，この手法はすでに，明治9年の磐田市旧見付小学校にみたところである。



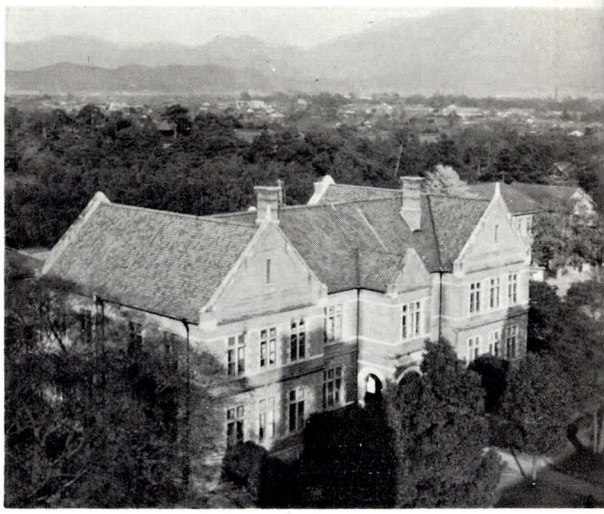
第7図　礼拝堂の窓
—内部から
昭和34.5.21撮

上部が尖イアーチをなすもので，武田五一先生はこれ等一郡の建築にアメリカンゴシックの名を与えられた。周りは赤・青紫・緑・黄などの色ガラスを入れる。中の組子は全部木造で見込みは相当な深さがある。正面上部の円窓も色の配合が美しく，さらに手がこんでいる。

4. ハリス理化学館

Science Hall Harris School of Science.
（現在工学部研究室その他）

明治22年（1889）起工，23年竣工，煉瓦造2階建桟瓦葺。建坪224.29坪，延坪680.76坪。米国 New London 市の紳商 Hon. Jonathan N. Harris（1815—1896）が理化学校建設のため，10万ドルを寄附したなかから建設，当初は屋上に八角平面の塔（天文台という）があった。



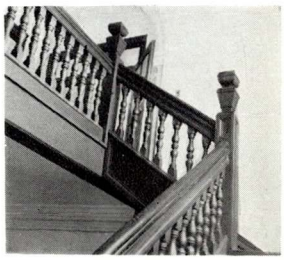
第9図　ハリス理化学館南西面　昭和30.12.2撮

外観上の最大の変化は中央にあった八角平面の塔（天文台）および背面屋上（北側）にでていた2本の煙突を失なったことである。塔は早く取去られたらしく，当初に近い写真にしかみられない。背面の煙突は昭和7，8年頃に雨仕舞に困って取り去ったという。その時現監理部長田中良一氏が注意されたので正面は漸く助かった。小屋組は真東小屋組の本格的なものであるが，一部に再用材も混り，これは塔の取除きと関係するものであろう。後方に平家の実験室が続くがこれも当初に近いものらしい。正面出入口上部の花崗岩には ⑱SCIENCE ⑲ と浮彫りで表わしている。



第10図　ハリス理化学館南西隅
昭和32.12.16撮

隅石の刻銘で1889年に据えられたことが知られる。そして竣工直後らしい写真が1890年出版の Davis 氏著の新島先生伝にでているところをみると短期間にできたものらしい。煉瓦の積み方がそれ以前と違っている。



第11図
ハリス理化学館中央階段手摺
昭和32.11.30撮

同志社明治建築中最も立派な階段である。手摺子・笠木・親柱など皆手のこんだもので総檜造り，木目が美しい。このような壮麗なのは1879年にできた竜谷大学本部本館にもあるが，この方が後だけに在来的要素が少ない。それでも上り口の上部には江戸末期風の雲を漆喰であらわしていて，大工棟梁の面影を残している。5年ほど後にできた平安女学院明治館（煉瓦造2階建）の階段手摺はこれを摸したらしく酷似している。但し一昨年ペンキ塗りとし，親柱の頭を切り捨てて心なき業をしてしまった。

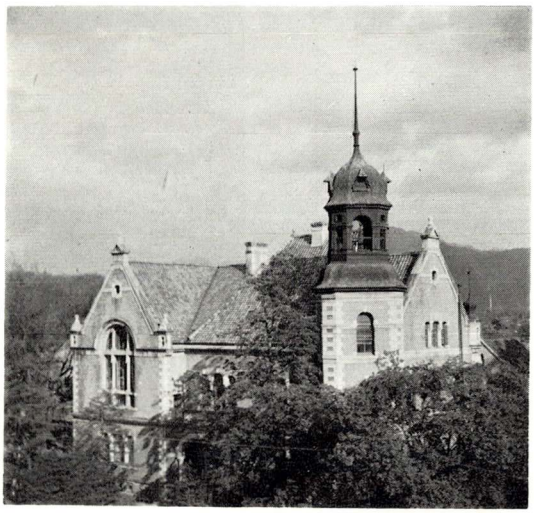


◀ 第12図
明治末年頃のクラーク神学館正面（西面）

外観上現在との大きい差は屋根における二つの屋根窓が今はないことで，背面とともに昭和6，7年頃雨漏りの理由で取除いたという。ドイツ人の設計と伝えるようにドイツ風で古い煉瓦造と違った表現をもつ。この地はもと沼地だったそうで，基礎工事の不完全と相俟って最近壁面亀裂や部分的沈下が目だってきた。それで取毀ち説もでている有様である。前面の美林は今はまったく想像も難しい。

5. クラーク神学館

明治25年(1892)起工，26年竣工，煉瓦造2階建，塔付，桟瓦葺。建坪120.66坪，建坪241.82坪。設計はドイツ人，施工は日本人という。米国New York 州の Mrs. Clarke 夫人が亡息記念に明治24年6000ドル(当時邦貨換算72,000円)を建築費として寄附したが，建築費がこれ以上となり2,568円67銭5厘不足，ふたたびClarke 氏から貰ったという。



第13図 ▶
クラーク神学館西南面
昭和32.12.16撮

これは現在の姿である。図の右端，東南隅の小塔の下方には最近補強のため控壁が造られた。

6. 静和館(Pacific Hall)

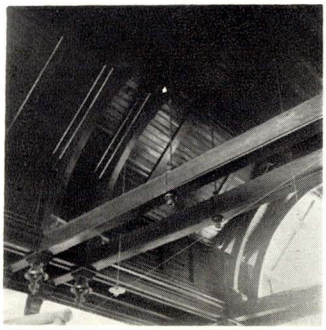
明治44年(1911)起工，45年竣工，煉瓦造2階建，総工費41,200円。

（以上のほか，明治20年代のものが多少あり，30年以後現在までのも多いが今回は省略する。なお上記の煉瓦造と上記したなかには，石材も混用され，木骨煉瓦造らしい部分もある。）　（近藤　豊記）



第14図　クラーク神学館西南隅　昭和32.12.16撮

この位置の上に塔が聳え，それが隅切りなので石積もそれに倣っている。1892年据付。煉瓦積は理化学館のそれともやや異なり，寸法もこれが最大である。彰栄館以来の煉瓦がいつ何処で何人によって焼かれたかは現段階では未詳である。



第15図　クラーク神学館階上天井
昭和32.12.16撮

2階礼拝堂の内部，板張りの一種のボールト・天井である。室内は明るく，窓は皆透明ガラスで電灯も粗末であるが当初の計画はスティンドグラスとシャンデリアだったが実現せず現在に到るという。天井裏の小屋組は誠に危なっかしいものであるという。（未調査）

・参　考　文　献・

『同志社五十年史』……（同志社五十年史編纂委員会）　昭和5.7
同志社の建築について……武田五一
『我等の同志社』　昭和10.10
『Present Day Doshisha』…（同志社）
同志社タイムス11月号附録　昭和25.11
『同志社の古い建物を見る手引』……田中良一（謄写版印刷）昭和32.3
京都における明治初中期の洋風学校と住宅Ⅰ.Ⅱ.……（抽稿）　大阪学芸大学紀要7，8　昭和34.3，昭和35.3
その他，明治以降の案内記，新聞記事などの断片的記事

会　　報（8 月 分）

臨時総会

書面表決による臨時総会を開催
　議　事　　監事1名補欠選挙の件

理　事　会

10日　4時―5時　於会館会議室
出席者　尾崎会長外4理事　井手京都支部長
議　事　(1)　近代建築調査委員会調査費補助を神戸市に申請に関する件
　(2)　委員会委員委嘱の件
　(3)　入退会者承認の件
　(4)　報告事項
　（イ）現場実務講習会
　（ロ）出版企画に関する件
　（ハ）その他

会勢審議会

25日　3時―5時　於大阪建設会館
出席者　東畑会長外12委員
議　事　　会員倍加運動について

編集委員会

幹　事　会

11月「公共住宅特集」号の企画審議
2日　2時―9時　於会館会議室
出席者　上林副委員長外9幹事

23日　2時―5時　於会館会議室
出席者　泉編集委員外8幹事

委　員　会

6日　4時―8時　於北水
出席者　上林副委員長外9委員
議　事　(1)　9，10，11月号経過報告
　(2)　居留地特集号に関する件
　(3)　12月特集号の件
　(4)　その他

事業委員会

委　員　会

6日　5時―6時　於嵐峡館
出席者　岩崎，岡本正副委員長外10委員
議　事　(1)　9月，10月，11月の事業企画について
　(2)　資料「建築用加工板」に関する件
　(3)　報告事項

小委員会（新建材資料作成）

資料「建築用加工板」の出版作業
8日　5時半―7時半　於会館会議室
出席者　矢野主査，坂内，岩本両委員

12日　5時半―8時　於会館会議室
出席者　矢野主査外5委員

22日　5時半―8時　於会館会議室
出席者　山本，岩本，坂内各委員

23日　5時半―8時　於会館会議室
出席者　矢野主査外4委員

小委員会（若い会員の集い）

17日　5時半―9時　於会館会議室
出席者　松村主査外5委員
9月―12月の事業企画審議

合成樹脂調合ペイント
タイコーペイント
大日本塗料
型録進呈
本　社　大阪市此花区西野下之町38　営業所　東京，札幌，仙台，新潟，静岡，名古屋，神戸，高松，岡山，広島，福岡　工　場　大阪，横浜，茅ヶ崎，平塚

教育委員会

衛生設備図書編集準備会

5日　3時—5時　於大阪建設会館
出席者　田中教授外9氏
編集項目について検討

空調設備改訂編集幹事会

18日　2時—5時　於大阪建設会館
出席者　前田主査外4委員
関連事項についての執筆範囲の調整

法規委員会

15日　3時半—5時半　於会館会議室
出席者　恒岡委員長外5委員
議　事　1．検討テーマに関する審議

出版委員会

鉄骨コンクリート実例集小委員会

提出原稿の検討

18日　5時半—7時　於会館集会室
出席者　石崎主査外4委員

31日　5時半—7時　於会館会議室
出席者　石崎主査外3幹事

テレビ放送実行委員会

会長3社長打合会

4日　12時—1時半　於大阪クラブ
出席者　尾崎会長，足立委員長，中村，松島，町田3社長外8氏
会長，3社長の座談会放送企画について協議懇談

委員会

16日　5時—9時　於会館集会室
出席者　足立委員長外9委員
議　事　(1)　提出原稿の検討
(2)　放送番組の予定変更について
(3)　演出についての打合せ

近代建築調査委員会

18日　4時—6時　於会館会議室
出席者　滝沢委員長外7委員
議　事　(1)　神戸市え調査費補助申請の件に関する報告
(2)　10月号発表建物の件
(3)　特集号の内容に関する件
(4)　資料の紹介

講習会

第4回現場実務講習会

会場　大阪建設会館
日時　8日—22日　8時半—12時半

8月8日	建築工事の着工から竣工までの業務総論	
	大阪市調度課	田中　三郎氏
8日9日	労務管理と災害防止	
	大林組	牧野　素氏
9日10日	仮設物と仮設材料	
	松村組	政岡　基次氏
10日11日	機械器具と工具類	
	竹中工務店	楠瀬　泰雄氏
11日	材料の検収とその管理	
	鴻池組	横山　裕氏
12日	現場製図	
	浅沼組	篠崎　一郎氏
12日13日	施工計画	
	大成建設K.K.	松岡　照夫氏

スーパー
ポリマテックス
アクリル系　ラテックスペイント
水谷ペイント

13日15日　土工事，基礎工事，排水工事
　　間　　組　　渡辺　　勇氏
15日　　現場に関する諸法規とその手続
　　大成建設K.K.　　大久保　登氏
16日　　地下工法
　　竹中工務店　　北山二十三氏
16日17日　鉄筋コンクリート工事，鉄骨工事
　　清水建設K.K.　　鬼頭　寿郎氏
17日18日　木工事，屋根工事，金属工事
　　鹿島建設K.K.　　岩下　久哉氏
18日19日　石工事，タイル工事，ブロック工事
　　藤木工務店　　矢野　豊作氏
19日20日　防水工事，左官工事，塗装工事
　　銭　高　組　　七尾　健三氏
20日22日　設備工事
　　大　林　組　　高橋　誠義氏

現場見学　17日　1時—2時半
新住友ビル地下工事

テレビ放送

毎日曜午前11時—11時20分　毎日放送

7日　世界の建築
14日　街のお化粧
21日　新しい構造美
28日　台風とすまい

懇親会

高野山納涼懇親会と見学の会

20日　21日　於高野山上
和歌山支部と共催　参加者　40名

若い会員の集い夏の懇親と見学の会

27日　2時—9時　於奈良
新薬師寺（林野全孝氏解説）高円山ロッジ見学の後
同所において懇親パーテー　参加者56名

今秋発行！　建築建材業者の必読書

プラスチックス&ビルディング

早大助授教　田村　恭　著

建築におけるプラスチックスの正しい活かし方を
内外の豊富な資料と
多数のデーターと
写真による解説

¥380〒共

予約申込先　月刊　**プラスチックス・エージ**
大阪南区東清水町34　TEL(27)6077~9
東京中央区日本橋木町4—5　TEL(241)5320・5398
振替　大阪二一一三番

建築材料の選び方使い方の専門誌
建築技術者と材料業者の必読書

建築雑誌　**材料と設計**

毎月1日発行
B5　¥150〒共
全国書店で発売

建設文化社

本社　東京都文京区小石川町1—1　電話(921)2739
支社　大阪市西区西長堀1—5　四ツ橋ビル　電話㊾9200

杭

株式会社　**武智工務所**
取締役社長　福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階
電話㉖3606・4089

日本建築協会優良認定

外部用壁塗料
ダイヤアルテックス
恒和化学工業株式會社

本社　豊中市豊南町南6—16　電話(39)0666~8
東京支店　東京都太田区北糀谷町287　電話(741)2145~8

見　学　会

アサヒビール吹田工場見学会

17日　1時半—4時　参加者45名

神戸の明治建築見学会

20日　1時半—5時半　参加者22名

建築学会支部建築史研究分科会と共催。神戸市建築局坂本勝比古氏の神戸居留地に関する説明を聞いた後，江商神戸支店，北野寮，藤月荘を見学。

日本住宅公団瓦屋町分譲施設付住宅見学会

設　計　日本住宅公団大阪支所
K.K.大阪建築事務所

施　工　K.K.鴻　池　組

24日　3時半—5時　参加者35名

大阪府建築士会と共催

後援した会

異形鉄筋講習会

1．主　催　社団法人鉄鋼倶楽部
1．日　時　8月3日　10時—4時
1．会　場　関電ホール
1．科目及び講師
異形丸鋼
明大教授　工博　小倉弘一郎氏
異形鉄筋コンクリート設計法
東大助教授　工博　梅村　魁氏

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・

耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工

株式会社　奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町五六番地
電話北㊱四一三一～四

第2回プレストレストコンクリート講習会

1．主　催　日本建築学会近畿支部
1．日　時　8月25日　9月1日　9時—5時
1．会　場　大阪建設会館
1．講　師　京大名誉教授　工博　坂　静雄氏
京大講師　六車　熙氏
大林組研究室　鈴木　計夫氏

編　集　後　記

スイスのある雑誌に，「近代建築の諸相」と題して，三角図表がのっていた。この三角図表の頂点に，コルビュジエ，ライト，ミースの三人があげられている。これは面白いということで，これをもとにして，本号を組んでみたものである。はじめは「海外の近代建築特集」の予定であったが，むしろ「近代建築論」にした方がよいということで，そういう特集名になった。「海外の近代建築アンケート」は皆様にご協力いただいて，海外の代表的作品の一覧表みたいなものができた。

11月6日から大阪市立美術館で，「ル・コルビュジエ大阪展」が開かれる。本号も何らかの参考になれば幸いである。

以上，ご協力いただいた方々に厚く感謝申しあげます。次号は「公共住宅特集」の予定。

第1回 "建築業協会賞" 受賞作品

昭和35年9月

作品名（イロハ順）	建築主	設計者	施工者	作品所在地
日本電波塔	日本電波塔kk	日建設計工務kk	kk竹中工務店	東京都港区芝公園20号地
日本生命保険相互会社南館	日本生命保険相互会社	同左　不動産部	kk大林組	大阪市東区今橋4～13
法政大学校舎	学校法人法政大学	大江宏建築事務所	大成建設kk	東京都千代田区富士見町
東京経済大学本館	東京経済大学	大成建設一級建築士事務所	大成建設kk	東京都北多摩郡国分寺町
香川県庁舎	香川県	丹下健三計画研究室	kk大林組	高松市天神前
八幡市民館	八幡市	村野森建築事務所	清水建設kk	八幡市本町
慶応義塾三田校舎（西および南）	慶応義塾	三菱地所kk	kk安藤組	東京都港区三田
新朝日ビル	朝日ビルkk	竹中工務店kk	kk竹中工務店	大阪市北区中之島
シルクセンター国際貿易観光会館	財団法人シルクセンター国際貿易観光会館	坂倉準三　建築研究所	鹿島建設kk	横浜市中区山下町
新住友ビル	新住友ビル管理事務所	日建設計工務kk	清水建設kk	東京都千代田区丸ノ内



建築界待望の新扉錠……！
ゴール ユニロック
GOAL
日本住宅公団・公営住宅御指定
株式會社　谷山製作所
大阪市東淀川区三津屋北通四丁目　電話(37)3117．5871．7724

シリンダーレバーハンドル錠
押ボタン式シリンダー錠
アンチ式シリンダー錠
シリンダーナイトラッチ
シリンダー抽斗錠
各種高級彫込錠

屋根浪板
谷樋には **大島化学のひふくてっぱんを**

固定式通風器 連続式換気装置にも

耐酸スタンダードメタル

カラースタンダードメタル

PATENT Standard

大島応用化学工業株式会社

本社 大阪市城東区野江東之町4の104 ㉝3679・4481・8471
支店 新居浜・名古屋・四日市・広島

田中式 スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター

TNK **田中工業株式会社大阪出張所**

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2～89　　TEL 大阪(40)6341(代表)・(40)6342

本社	東京第一工場	東京都墨田区錦糸町1～25	TEL 東京(623)代表0106～0108・(622)0790
	東京第二工場	東京都墨田区吾嬬町東4～122	TEL 東京(611)2118～9
	小倉工場	福岡県小倉市赤坂上の宿37	TEL 小倉0653・2833
	川崎工場	神奈川県川崎市東渡田3～43	TEL 川崎 ② 4540
	札幌出張所	北海道札幌市北上通東4丁目4	TEL 札幌 ③ 6762・0515
	盛岡代理店	岩手県盛岡市木伏49・東北建設（株）	TEL 盛岡 7642
	名古屋代理店	愛知県名古屋市西区西菊井町2～12・岡田建材KK	TEL 名古屋(53)0121・2057
	米子代理店	鳥取県米子市祇園町2～93・吉田工務店	TEL 米子 4683
	長崎代理店	長崎県長崎市愛町11・関西工業（有）	TEL 長崎 ② 6046

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事

専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話大阪(34)207～8・4836～7

暖・冷房・空気温湿度調整装置

設　計　施　工

高砂熱学工業株式会社大阪支店

大阪市北区中ノ島3丁目3番地（朝日ビル8階）
電　話　大　阪　㉓　7　6　4　1（大　代）
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設　計・製　作・施　工

東洋キヤリア工業株式会社
大　阪　支　店

大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電　話　大　阪　㉞　局　8　3　5　6（代表）
本　社　東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支　店　東　京・名古屋　　出張所　九　州
工　場　東　京　都　足　立　区　下　沼　田　町　3　6　0　番　地

給　排　水・衛　生　設計施工
暖　冷　房・換　気

株式会社 **大阪城口研究所**

代表取締役　城　口　庸　平

大阪市北区高垣町一・電話大阪㊲7575(代表)
京都市東山区大和大路大仏前・電話京都⑥4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸④5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設　　計　　施　　工

株式会社 **大阪電気商会**
株式会社 **大阪暖房商会**

取締役社長　菅　谷　三　郎

本　　店　大阪市西区江戸堀南通一丁目三七番地
電　話　大　阪　㊹　大　代　表　8　2　3　1　番
支　　店　東　京・名　古　屋
出　張　所　京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡
熊本・札幌・仙台・新潟・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設　計　並　施　工
特許ＹＭ式ルーフドレイン製造販売
（旧斎藤久孝事務所）

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話大阪㉘代表4496～8・4993～4番
本　店　東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電話(281)局6505～8番
金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢②2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話福井2436
高松出張所　高松市二番丁九　電話高松②5195

創　　業　**暖冷房・換気・空気調和**
大正二年　**病院諸機械・給排水・衛生**

株式会社 **斎藤省三商店**

東京店　東京駅前丸ビル6階676区
電話東京(201)3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通大同ビル714号
電話大阪㊹1568・1569・2594
札幌店　札幌・北四・西四（札幌駅前）
電話札幌②0010・0956③4661
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目千代田ビル522号　電話中局㉔1766

暖冷房・環境衛生・水道・電気・厨房・築炉
鋼製建具・軽量間仕切・工事設計施工
鋼　管・荷　役　機　械・製　造　販　売

三機工業大阪支店

大阪市東区高麗橋三丁番壱番地・電話代表26局{2951 3076
本　社　東京都千代田区有楽町壱丁目十番地
支　店・出張所　名古屋・福　岡・札　幌・広　島
工　場　川　崎・鶴　見・中　津・六　郷

暖房・冷房・水道・衛生設備
設　計　施　工

須賀工業株式会社

大阪市西区土佐堀通1丁目14番地
電　話　㊹　代　表　5　1　7　1　番
東京支店　東京都港区芝田村町6丁目　電話(431)代表7121
名古屋支店　名古屋市中区材木町1丁目　電話㉓代表7856
京都支店　京都市下京区烏丸通松原下ル電話⑤1989・2255
神戸支店　神戸市生田区北長狭通2丁目　電話③代表5101
福岡支店　福岡市千代栄町電話㊺代表4731

給水・排水・衛生設備・暖房設備
汚水浄化装置・都市廃物処理装置

株式会社 **西原衛生工業所大阪店**

大阪市大淀区中津南通2丁目51　電話大阪㊺3415
東京事務所　東京都港区西芝浦3の1電話東京(451)5281
広島出張所　広島市空鞘町99の1　電話広島③7544
福岡出張所　福岡市下呉服町2の9　電話福岡②5389
祐徳ビル

空気調和装置・塗装乾燥装置
設　計　施　工

株式会社 **建　材　社**
大　阪　支　店

大阪市北区中ノ島二丁目（新朝日ビル5階）
電話大阪㉟6041（代）
本社及東京支店　東京都中央区八重洲三丁目七
営　業　所　名古屋市中区西万町二丁目一

暖冷房・温湿度調整
水道・衛生・環境衛生装置
設計施工

山田工業株式会社

本社 大阪市西区京町堀上通1丁目7
電㊹(代表)2613・(代表)9431
営業所 神戸市生田区北長狭通7丁目1の1
電④1778・4386
出張所 名古屋市中村区牧野町1－6 電話㊿0966
〃 東京都北区上十条1の10 電(911)2346
〃 広島市西魚屋町31 電②1375

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 **三晃商会**

本社 大阪市北区富田町一六 ㉞7031㊱6793
出張所 東京都中央区宝町二・六(村幸ビル2階)(561)5441
名古屋市中区新栄町二丁目一 ⑨1820
福井市宝永上町一〇五 1596
松江市東本町四丁目一四九 5098
広島市紙屋町八 ②1938
福岡市養巴町二二 ④1158

暖冷房・水道衛生工事
設計施工

株式会社 **栄興商会**

取締役社長 中山敏正

本店 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話大阪㊺3391～5番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話(351)2177～8番
神戸出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三 電話元町④3035番
京都出張所 京都市中京区高倉通三条下ル 電話上③2869番
三沢出張所 青森県三沢市上久保三一 電話大三沢36番

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工

株式会社 **朝日工業社**

大阪市北区中之島4—39 電㊹6671～5

東京支店 東京都港区芝浜松町2－7 電(431)7341～5
北海道出張所 札幌市北四条西15丁目 電②2203・③5374・5969
仙台出張所 仙台市元寺小路(五城ビル) 電②8061・③9261
名古屋出張所 名古屋市中区東陽町6－5 電㉔1270・1484
広島出張所 広島市大手町8－155 電③7949
福岡出張所 福岡市薬研町3 電④0788・⑤0296

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30 電話大阪㉞ {(代表)0977 {0978～9・0970
本社 東京都千代田区丸ノ内2－10
電話(281)2631－5
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話 733 2
名古屋出張所 名古屋市東区東門前町3－6
電話 ⑨2893

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役 市川進男

本社 京都市中京区両替町通リ姉小路上ル
電話㉒(代表)7975・(夜間専用)5532
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1-37(天満橋北詰)
電話㉟8829
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話7503・3665
津営業所 津市栄町2—111 電話3610

暖冷房・換気・空気調和
給排水・衛生・電気
設計施工

日本熱学工業株式会社

取締役社長 牛田正郎

本社 大阪市東区唐物町5丁目10
電話大阪㉕(代)5171～3・3643
東京支店 東京都千代田区神田和泉町1
電話東京(866)7683・7716・2594
西部営業所 下関市大和町33 大和ビル23号室
電話②7306

煖房・冷房・温湿度調整・衛生設備
設計施工

大嘉熱工業株式会社

取締役社長 嘉幡政四郎

大阪 大阪市北区万才町四三浪速ビル六階
電話大阪㊱直通2085・5725
(代)9851～9・9951～9
東京 東京都千代田区西神田町一ノ八
電話東京(291)8002～3
出張所 愛媛県川之江市・九州福岡市

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市西区江戸堀北通3丁目46番地
電話大阪㊹(代表)3818
本社 東京都文京区元町2丁目17番地
電話(921)(代表)6294
支店出張所 名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

冷暖房・温湿度調整装置・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪営業所 大阪市北区宗是町1(大ビル)
電大阪代(44)8621番
本社・工場 東京都北区神谷3の10の3
電東京代(901)3191番
本社・分室 東京都港区芝佐久間町1の46(大同ビル)
電東京代(501)3156番
営業所 名古屋・仙台 連絡所 福岡

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

大阪市北区野崎町八〇
電話・大阪㊱2891—5番
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島・福岡

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄
本社 大阪市東区北浜二丁目六九
電話大阪㉓5273—5・5451—2
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)1316・2536・4715・3573
営業所 名古屋・札幌・沖縄・福岡

電気工事設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英
大阪市北区永楽町8番地(日産生命館)
電話 大阪㉞代表 1234～9
支社 東京都港区芝浜松町(大門ビル)
出張所 名古屋・舞鶴・広島・八幡
福岡・富山

電気工事全般設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 今村騰
本社 大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話 大阪㉞8131代表～4 ㊱7263
営業所 東京・名古屋・新宮・御坊

電動機自動操作用配電盤・分電盤・受電盤
自動遠方操作盤・電動機単逆相運転防止装置
温湿度自動装置監視盤・遠方監視自動装置
各種フロントスイッチ・スペースヒーター及び
ウォータヒーター・其の他特殊電気機器設計製作

森井電業株式会社

東京本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京(451)9611～5番
工場 東京都港区麻布新広尾町一丁目一三四番地
電話 東京(451)0535番
大阪支店 大阪市北区常安町十六番地
電話,大阪(44)9516～8番 夜間専用(44)502番
名古屋出張所 名古屋市中村区長戸井町三丁目四十一番地
電話 笹島(54)6865・9495番
福岡出張所 福岡市東職人町二七番地
電話 (4)7813番 (5)3516番

各種電気工事設計施工

株式会社 **ヤマト電気商会**

取締役社長 山本龍太郎
本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪㉞代3056
東京営業所 東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室電話東京(541)7464
出張所 北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三
本社 大阪市北区絹笠町50(堂ビル3階)
電話 ㊱7077～9
倉庫 大阪市大淀区浦江北2丁目51
電話 ㊺5148・6646
支店 東京都中央区西八丁堀4丁目10番地
(後関ビル3階) 電話(551)5590～2
営業所 名古屋市中村区泥江町2ノ1
電話 ㊺7146

電気工事
設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長 山本博三
本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル7階
電話 大阪局㉙9531(大代表)
営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目十一番地
電話 大阪局㊹5201番(代表)～3
出張所 京都市右京区西院今田町六番地
電話 京都局㊿3481番

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長 猪飼幸次郎
本社 大阪市生野区勝山通9丁目72
電話 (716)4035(代)～8
支社 東京都新宿区淀橋533
電話 東京(371)6203
出張所 金沢・名古屋・高知・広島

電気設備工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中本正明
本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話 ㉝5143・5373・9594・2134
機器工場 大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫 電話 ㉝2193

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）

八千代電設工業株式会社

取締役社長　梶本秀尾

大阪市東区森之宮東之町
電話大阪（94）6531（代）～5
支店　名古屋
出張所　東京・岡山・門司

PAINTING CONTRACTOR

塗装工事請負

株式会社 **林塗装店**

TEL. 大阪 ㉕ 1756—7・東京 ㉙ 1335



発売元

大和洋瓦（だいわ）

雨風に強く緩勾配に最適
超軽量荷重（坪当37貫）
和型より安い

大仏組　大仏瓦，各種和洋瓦工事請負一式

本店　京都市東山区今熊野池田町九　⑥ 3555
大阪営業所　大阪市東区内淡路町一丁目　㉔ 975



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社
三幸商會

大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話 大阪 ㉞ 3145

コペンハーゲンリブ

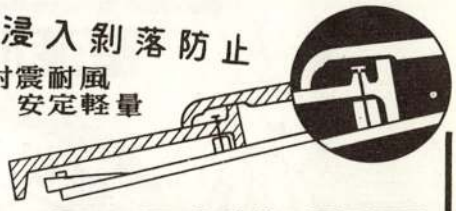
商月報無料送呈

井田ペイント

井田商事株式会社

大阪市浪速区西円手町一〇一七番地 湊町駅貨物入号門前
電話 (53) 4890　(54) 0808~9

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



大阪市浪速区元町二丁目七四三 電話(64)五〇六五

ナニワ瓦株式会社

ナニワ緩勾配瓦

3寸緩勾配最適軽量水止付（空葺）瓦

特許植物性　型枠離剝塗料

サンヒット

メタルフォーム用特号

関西代理店　株式会社 **金剛商会**

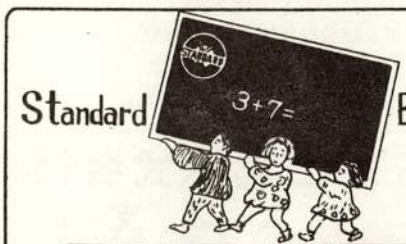
大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道　野里電停前
製造元　東京サンヒット商会　電 大阪㊼0417・4091

タイル衛生陶器

販売と施工
奉仕感謝の店

株式会社 **川岸窯業**

大阪市西区靭南通二の二一（市電靭南通電停前）
電話 ㊹ 2435・2788・8597



フタバ黒板

大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地　電話天王寺(74)4692番

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売



建築陶器の百貨店

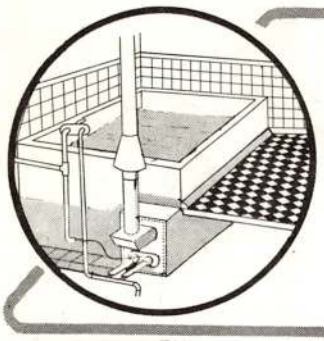
株式会社 **吉田芳雄商店**

大阪市北区南森町交叉点
電話大阪㉞2403・3904

鈴木式防火シヤタア

株式会社 **鈴木シヤタア商会**

大阪市北区茶屋町33　電話㊲0098・5837・8729



田中のガス風呂

清

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂

大阪ガス会社指定

田中風呂鑵作所

大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　電話㊹5313・8128

平和式

親切.丁寧 ニ御照会

軽量シヤッター

平和工業株式会社

大阪工場　大阪市浪速区河原町2丁目 電(64) 5750・8444
東京工場　東京都太田区糀谷町4丁目 電(741)0160・1733

トイレの脱臭に

メルコン

電気脱臭器

熱海　菜の宮ホテル　全室装備

製造元　株式会社　メルコン　大阪市東区今橋一ノ一〇 (朝日生命ビル)TEL 大阪㉓5110

リグノイド床・床材料

製造・販売・施工

福屋工業株式会社

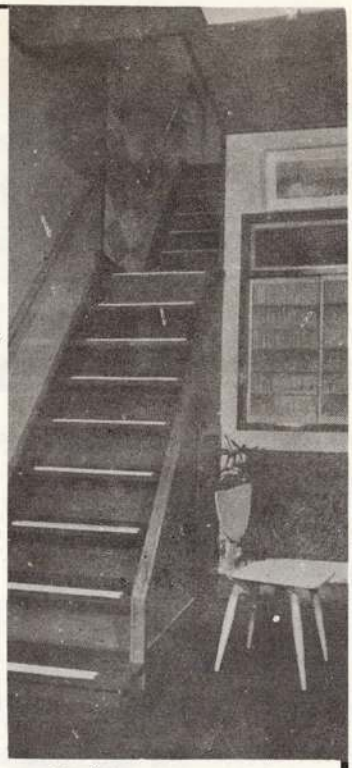
本店　大阪市西区南堀江上通一丁目三一
電話　大阪㊸3426～7

工業用及建築用各種石灰製造販売
小野田 セメント セレミコン ブロック 特約販売店
セントラル硝子特約販売店

樫野石灰工業株式会社
大阪支店

大阪市北区曽根崎新地三丁目十四番地
(桜橋電停曽根崎新地西入)　電話大阪㉞1274～6
支店・東京・神戸・姫路・徳島・高松

プリント合板
ビデオンボード
リブ付塗装合板
美装パネル
吸音多孔合板
ベニヤトーン
繊物の壁貼材料
オーツカクロース
コーライ
線條塗装合板
ラインボード
ビニール合板
ビニライト
立体塗装合板
カーベライト
九つの特長を誇る
九徳天井板



モデルルームへどうぞ

一歩でも時代感覚に先駆しようと努力しています

大阪市浪速区
幸町通3丁目20
浪速合板
電話 新町(53)
2201−3番

工場 大阪市住吉区西加賀屋町4丁目81・電話 住吉(67)5109

吸音テックス
Acoustic Tex



株式会社 室谷商店

本 社 神戸市生田区長狭通四ノ一地産ビル
TEL神戸 ③ 0881〜3
支 店 大阪市北区絹笠町五〇 堂ビル5階
TEL大阪(312) 2031〜4

燃えない建築資材
タイガー印
耐火ボード
石膏ラスボード
タイガートーン
絶対に亀裂を生じない劃期的下塗壁材
Y.N石膏プラスター
キーンズセメント
各種焼石膏
吉野石膏大阪支店

大阪支店 大阪市西区土佐堀通1−1(大同ビル)
電話 (44) 8912〜4
本 社 東京都丸ノ内・三菱東九号館四号
電話 東京 (281) 2391(代表)
福岡営業所 福岡市相生町1−1 電話 (58) 631〜3

木毛セメント板



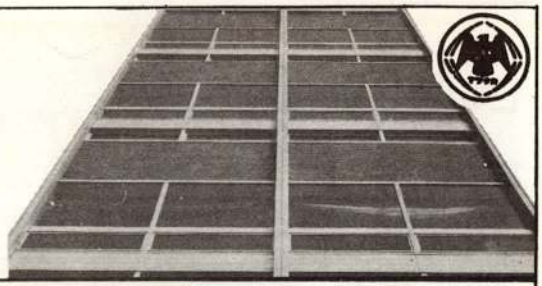
東邦商会
本 社 大阪市東住吉区桑津町3丁目59
電話大阪⑭ 1296〜7
出張所 和歌山市新堀6丁目13
電話和歌山②0298・9435

軽量鉄骨
設計・施工
新鋼建設工業株式会社
取締役社長 吉田信武
本 社 大阪市西区新町通2丁目25
電話 ㊸ 7418・609・6575
工 場 神戸市東灘区本庄町青木古堂町53
電話 神戸 ⑧ 616
広島県御調郡向島町立花3010
電話尾道2968 向島西19

セメント分散剤 リグナール
神戸材料株式会社
神戸市長田区西代通り四丁目一八
電話神戸⑦3871
東京営業所 東京都文京区表町五八
電話 東京(921)6824
九州営業所 八幡市前田町二丁目一七
電話 八幡 (66) 0945
研究所 神戸市兵庫区明治通り二丁目五
電話 神戸 ⑤ 4195

昭和アルミの押出型材

アルミニウムの押出型材は複雑な型状のものが容易に作れ、製品コストを下げ、美しく、錆びず、合金によって鉄鋼に匹敵する強度を持ちます。最近は、建築、船舶、航空機、その他軽工業や家庭器具等極めて広範囲に使用されています。アルミニウム工業に於て伝統を誇る当社は、最新式押出機により、管、棒、線、その他各種の型材を生産し、急激に増大してきた新しい需要に応じています。



昭和アルミニウム株式会社　本　社　堺市海山町6の224　東京営業所　東京都中央区日本橋堀留町1の12
電話 堺(3)1181(大代表)・大阪(67)3522(代表)　電　話　(661) 0087・0334・0715・1776・4626・7667

光り 波型ガラス

ダイニチライト　ポリエステル樹脂硝子繊維強化板

（網入及網ナシ）



製造元 大日本硝子工業株式会社

大阪支店　大阪市北区玉江町2—4（三菱倉庫ビル）電話 大阪 ㊹3389・1389
本　社　東京都中央区京橋3—6　電話(281)6926～8

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地　電話大阪㊲1333番

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C式

N.G.インシュライト工事責任施工
メタリヤンメッシュD.M38番責任施工
米国パブコ.コンパウンドアスファルト販売

内外工業株式会社

脇山静夫

本社　大阪市阿倍野区旭町一ノ五一　電話㊸3434～6
工場　大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

N.G.インシュライト断熱材製造発売元

日本で初めての **年限仕様**

Ⓐ アスタイト防水

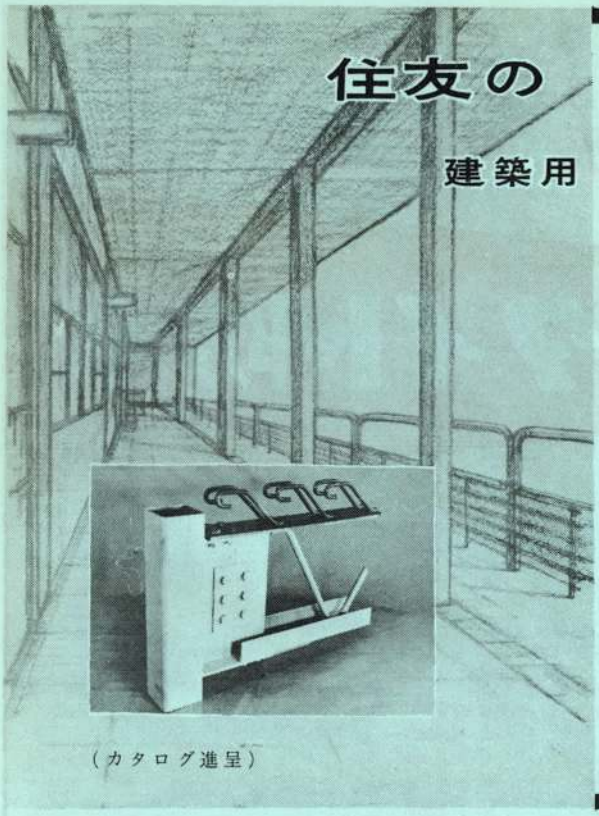
地区	組合員名	住所	電話
近畿（順不同）	(株) 久保商店	大阪市北区真砂町5	大阪㊱0207～8・4836～7
	(株) 木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5ノ35	大阪㊹5408・5486
	(株) 明正社	大阪市東区高麗橋詰町21	大阪㊸8125～8・0761
	(株) 井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1ノ7	大阪㊹8531～5
	(株) 大和商会	大阪市南区高津町4番丁73	大阪㊸6221～4
	(株) 石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通り1ノ31	大阪㊼3340・3505
	内外工業株式会社	大阪市阿倍野区旭町1ノ51	大阪㊸3434～6
	旭化建工業株式会社	大阪市北区茶屋町38	大阪㊼6555～7
	日本瀝青工業(株)大阪支店	大阪市北区富田町40	大阪㊱1804
	石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	神戸⑤2140・2697
	(株) 中出商会	神戸市兵庫区上沢通6ノ9	神戸⑤4630
	タテバヤシ商店	京都市下京区四条大宮南入学校前	京都㊸4468
	田島応用化工(株)大阪出張所	大阪市西区京町堀上通1ノ14	大阪㊹5951～8
東海	岡田建材株式会社	名古屋市西区西菊井町2ノ12	名古屋㊸2057・0121
	(株) 名建商会	名古屋市中区宮出町41ノ2	名古屋㉔1329・2817・2106
	高橋建材店	名古屋市中区材木町1ノ12	名古屋㉓3295
北陸	北川工業株式会社	金沢市西側町8	金沢②4552～3
	北川工業(株)富山営業所	富山市奥田新町23	富山②2218 ③1014
	北川工業(株)福井営業所	福井市大和中町70	福井②4532
	(株) 小島工務店	高岡市大坪旭町2丁目32ノ1	高岡 2463
	(株) 小島工務店 富山営業所	富山市神通町3区1003	富山②8221
中国・四国	青盛建材株式会社	広島市鉄砲町108	広島②2281～4
	青盛建材(株)岡山営業所	岡山市東田町3	岡山②7911・8169
	(有) 小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	岡山②4272
	(株) 浜原豊商店	尾道市若宮町	尾道 2760
	(株) 浜原豊商店 防府支店	防府市大林寺	防府 1037
	古市断熱工業株式会社	高松市宮脇町960	高松③5034
	正和商事株式会社	松山市1番町21	松山②8161～5
九州	青盛建材(株)福岡営業所	福岡市万行寺前町14	福岡③1225～6
	暁建材工業株式会社	福岡市薬院町65	福岡④4326・8467
	高稲工業株式会社	長崎市大橋町138	長崎④1726

出資金 600 万円

建設省阪建 22 号認可

三星 西日本アスファルト事業協同組合

大阪市西区京町堀上通一の一四　TEL ㊹ 代表5951
東京連絡所 東京都足立区小台町六三三（田島応用内）　TEL (911) 代表1181
北陸・東海・近畿・中国・四国・九州



住友の

建築用

角形鋼管

「鋼管を素管とした
継目無角形鋼管」

形鋼を組合わせて溶接した角形鋼管と比べると
均質で、**軽量**で、**経済的**な(高級)継目無角形鋼管

（カタログ進呈）

住友金属工業株式会社

本　　社 大阪市東区瓦町4丁目31 電話(大代表)大阪(27)2201
支　　社 東京都千代田区丸ノ内1丁目8ノ6(新住友ビル) 電話(大代表)東京(211)2211

指定問屋

住友商事株式会社 大阪市東区北浜5丁目22 電話 大阪㉑ 6781
ヰゲタ鋼管株式会社 大阪市西区新町通1丁目14番地 電話 大阪㊸ 6331
山本鋼業株式会社 大阪市南区安堂寺橋通1丁目10番地 電話 大阪㉖ 2831
合名会社 渡辺藤吉本店 福岡市上西町16 電話 福岡③ 2235

減らず・滑らず・美しい
モルタル打と同時仕上る 美装床材

カラー・コンク

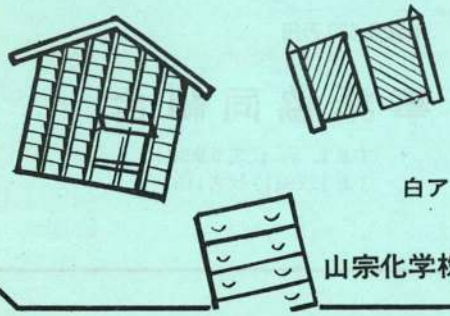
超硬骨材に顔料、薬品等を配合した粉末剤でその儘水練り、金鏝仕上げの為特に技術を要せず、色ムラ、ノ口汚れ等の缺点がない耐磨耗性特に強大、表面滑らかで美しく清潔、耐水性に富み価格低廉であります。（**坪当り材料代¥ 950**）仕上り厚さ約2 ㎜程度
学校、工場、病院、事務所、商店、ガレーヂ、ガソリンスタンド、住宅の玄関、流し、浴室等に最適であります。

（求 代 理 店）

慧精（ケイセイ）工業株式会社

大阪市此花区四貫島旭町1－3
TEL 大阪（46）3594

住宅や家具につく白アリや害虫を退治します、その上「アリノン」は
くされ・かびにも特効があります。



白アリに

アリノン

山宗化学株式会社

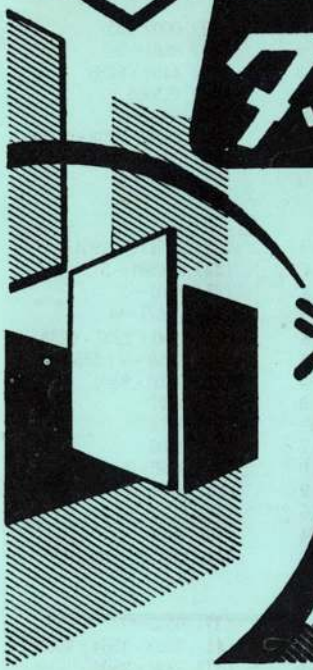
東京都中央区八丁堀2丁目3番地 電話（551）5292・3634・0729
大阪市西区江戸堀下通2～38西船場ビル 電話大阪（44）7715・2803

DK

伝統の歴史と最高の技術を誇る!!

ダントウタイル

カタログ進呈



淡陶株式会社

大阪支店　大阪市西区阿波座中通1丁目48番地
電話新町㊿432・1247・6706番
東京支店　東京都中央区日本橋浜町2丁目47番地
電話兜町㊼7309番

小野田防水ブロック

美しくて、強くて経済的な唯一の化粧目地、仕上用防水ブロック

特許 小野田NN防水剤

透水比も吸水率も低く、耐久的な防水モルタル、防水コンクリートをつくるには唯一不可欠な防水剤

小野田パーライト

粒状・均質・純粋で軽量性・断熱性・耐火性・吸音性の卓れた経済的なパーライト

特許 小野田CXモルタル

耐薬品性・防水性・防滑性・耐震動性・接着力の卓れた特殊弾性（ゴムセメント）モルタル

小野田 パール・フォーム・ボード

小野田パーライトの特性を活かした軽量・断熱・耐火・吸音防湿の諸点が特に卓れた強化気泡コンクリート板

特許 小野田K6セメント

塗装によって人造大理石が簡易にできる特殊着色セメント

CXC 小野田ブロック株式会社

本　社・東京都千代田区丸の内1の1　第一鉄鋼ビル
電　話・東京（201）1311・1411内線365~7

御問合せは最寄り工場へ
東京工場　東京都江東区深川豊州1の1
神戸工場　神戸市灘区灘浜町3
名古屋工場　名古屋市港区丸池町1の1

アスファルト防水の材料と工事は

（アイウエオ順）

◀製造業社

協和建材工業 k.k.	大阪市東淀川区田川通5丁目91	(37) 6002・857
k.k. 工英社	大阪市西成区橘通9丁目24	(66) 8861～2
k.k. 工盛社	大阪市城東区西鴫野6丁目43	(97) 4460・8288
田島応用化工 k.k. 大阪出張所	大阪市西区京町堀上通1丁目14	(44) 代5951
大恵工業 k.k.	大阪市西淀川区姫島町1690	(47) 3131～2
東亜工業 k.k.	八尾市竜華町字太子堂629	八尾 (029) 2308・3039
日瀝化学工業 k.k. 大阪営業所	大阪市東淀川区堀上通3丁目39	(39) 0924～5・2045
日新工業 k.k. 大阪支店	大阪市西区新町北通1丁目40	(53) 5281～3

◀販売業社

浅野物産 k.k. 大阪支店	大阪市東区瓦町2(三和ビル)	(23) 1731代・2931代
井上工材 k.k.	大阪市西区京町堀上通2丁目4	(44) 代8581～5
池田商事 k.k.	大阪市福島区鷺州本通1丁目48ノ3	(45) 7601～5
内田商会	大阪市北区万才町47	(312) 0871～8
梅本石油 k.k.	大阪市東淀川区新高南通1丁目28	(39) 2080・2207・0238
枝松商会	大阪市北区道本町41	(36) 5858～9・5850
大阪朝日瀝青 k.k.	大阪市西区南堀江一番町14	(53) 4520・8401
三友アスファルト k.k.	大阪市東住吉区矢田住道町913	(79) 4427
川崎物産 k.k. 大阪営業所	大阪市北区絹笠町50 (堂ビル二階)	(36) 0774
中西瀝青産業 k.k. 大阪営業所	大阪市北区老松町2丁目7	(34) 4305
k.k. 長野商店	大阪市西区京町堀上通3丁目40	(44) 5195～6
日本建設興業 k.k.	大阪市東区北浜4丁目19	(23) 2771～2
前田商店	大阪市西区江戸堀北通5丁目36	(44) 5224
村井工業所	大阪市生野区生野田島町94	(73) 2514
山文商事 k.k.	大阪市西区土佐堀通1丁目13	(44) 0255代・5392代

◀工事業社

旭化建工業 k.k.	大阪市北区茶屋町38	(37) 6555～7
k.k. 井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1丁目7	(44) 3520・4564・1005
k.k. 石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通1丁目31	(37) 3340・3505
大阪耐酸工業所	大阪市北区浮田町82	(37) 1333
大島応用化学工業 k.k.	大阪市城東区野江東之町4丁目104	(33) 3679・4481・8471
大野産業 k.k.	大阪市北区同心町1丁目33	(35) 3845
k.k. カナヱ商会	大阪市北区空心町1丁目30	(35) 2922
共栄瀝青工業 k.k.	大阪市東区船越町2丁目34	(94) 5561～2
k.k. 木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5丁目35	(44) 5408・5486
k.k. 久保商店	大阪市北区真砂町5	(34) 0207～8・4836～7
坂口興業 k.k.	大阪市北区木幡町18	(34) 1105・8640
清水興業 k.k.	大阪市北区鶴野町34	(37) 0251～3
k.k. 新光商店	大阪市南区塩町2丁目13	(26) 7195代
関本建材 k.k.	高槻市大字高槻146	高槻 (5) 1646～7
k.k. 大和商会	大阪市南区高津四番丁73	(63) 6221～4
谷中建材工業 k.k.	京都市下京区西七条比輪田町28	京都 (5) 9954
友田工業株式会社	大阪市都島区都島中通6丁目41	(35) 4779・0997
内外工業 k.k.	大阪市阿倍野区旭町1丁目51	(64) 3434～6
日新工材 k.k.	大阪市西区新町北通1丁目52	(54) 3785～6
日本瀝青工業 k.k. 大阪支店	大阪市北区富田町40	(34) 1804
フタバ興業所	大阪市福島区上福島北4丁目24	(45) 6089
k.k. 双葉商会	大阪市東淀川区木川西ノ町2丁目6	(37) 3375
松本瀝青工業 k.k. 大阪支店	大阪市北区伊勢町40	(35) 9231
マルヱス工業 k.k.	大阪市福島区上福島南通1丁目152	(45) 2360・2030
k.k. 明正社	大阪市東区高麗橋詰町21	(94) 8125～8
米田工業所	大阪市天王寺区南玉造町43	(75) 7271・0871
石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	神戸 (5) 2697
k.k. 中出商会	神戸市兵庫区上沢通6丁目9	神戸 (5) 4630
三信工業所	神戸市兵庫区神田町439	神戸 (4) 6930
中村瀝青工業株式会社	神戸市生田区北長狭通6神繊共栄ビル	神戸 (4) 5884
日建瀝青工業 k.k.	神戸市兵庫区水木町8丁目5	神戸 (6) 0505
有限会社小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	岡山 (2) 4272
k.k. 浜原豊商店	尾道市若宮町	尾道 2760
青盛建材 k.k.	広島市鉄砲町108	広島 (2) 2881～2
古市断熱工業 k.k.	高松市宮脇町960	高松 (3) 5034
正和商事 k.k.	松山市一番町	松山 0525・1159・2159
k.k. 山本商会	松山市萱町2丁目95	松山 2717

▶賛助会員

丸善石油 k.k.	大阪市南区長堀橋筋3丁目	(27) 1251(代)

社団法人 アスファルト同業会関西支部 大阪市城東区西鴫野6—43 電話 (97) 4460・8288

広告目次 (50音順)

建築と社会 昭和35年 Vol. 42 No. 10

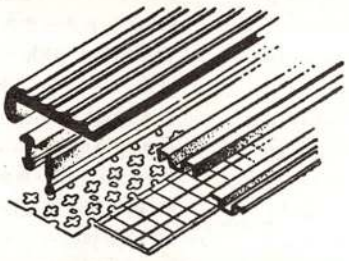
ア アスファルト ……12
浅海電気kk …… 4
kk 朝日工業社…… 3
旭硝子kk ……前付
伊奈製陶kk ……中挟
井田商事kk …… 5
kk 岩住鉄工所……前付
岩元工業kk ……14
kk 栄興商会…… 3
kk ABC商会……中挟
荏原製作所……表4
オリエンタルメタル製造kk 中挟
大阪建材工業kk ……20
kk 大阪城口研究所…… 2
kk 大阪電気暖房商会…… 2
大阪耐酸工業所 ……18
大島応用化工業kk …… 1
kk 奥村重兵衛商店……本文
奥山化工業kk ……19
織本建築事務所 ……17
小野田ブロックkk ……11
カ 樫野石灰工業kk …… 6
kk 川岸窯業…… 5
川口ゴム工業kk ……前付
河津装飾kk ……前付
関西暖房工業kk ……15
関西三星タイル会 ……前付
関西ペイントkk ……前付
柏原瀝青 ……中挟
工藤電気kk …… 4
kk 久保商店…… 1
栗原工業kk …… 4
慧精工業kk ……14
建材信和会 ……14
kk 工英社…… 表2
江東電気kk …… 4
神戸料料kk …… 7
kk 小俣製作所……本文
kk 金剛商会…… 5
恒和化学工業kk ……本文
サ 斎久工業kk …… 2
kk 斎藤省三商店…… 2
「材料と設計」 ……本文
三機工業kk …… 2
kk 三幸商会…… 5
kk 三晃商会…… 3
三宝電機kk …… 4
kk 三和シヤッター製作所…前付
敷島金物kk ……前付
昭和アルミニウムkk …… 8
新鋼建設工業kk …… 7
kk 新興建材工業所……19
須賀工業kk …… 2
鈴木シヤタア商会 …… 6
住友金属工業kk ……10
タ 田島応用化工kk …… 表4
田中工業kk …… 1
kk 田中風呂製作所…… 6
田辺工業kk ……本文
田村商会建材部 ……14
kk 谷山製作所……本文
第一企業kk …… 3
第一工業kk …… 3
大嘉熱工業kk …… 3
大日本硝子工業kk …… 8
大日本塗料kk ……本文
大仏組 …… 5
耐酸化学工業kk ……15
高砂熱学工業kk …… 3
kk 武智工務所……本文
淡陶kk ……11
中央電気工業kk …… 4
朝陽電気kk …… 4
東京鋼板工業kk ……15
東邦商会 …… 7
東洋キヤリア工業kk …… 2
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリュームkk ……前付
東洋レーヨンkk ……前付
ナ ナニワ瓦kk …… 5
内外工業kk …… 8
内外土木建材社 ……16
中本電気kk …… 4
中之島製鋼kk ……前付
浪速合板 …… 7
浪速建材工業kk ……18
日共冷熱機材kk ……前付
日本管工業kk …… 3
kk 日本金具製作所……前付
日本サッシ協会関西支部 …前付
kk 日本シヤッター製作所… 表3
日本セメント防水剤製造所…表3
日本ドアーチエツク製造KK ……中挟
kk 日本ドアーチエク製作所…17
日本熱学工業kk …… 3
日本ハードボードkk ……中挟
日本建鉄kk …… 表3
日瀝化学工業kk ……前付
西日本アスファルト事業協同組合…… 9
kk 西原衛生工業所…… 2
ハ kk 林塗装店…… 5
kk 汎建製作所……16
kk 日立製作所…… 表2
kk 平川鉄工所……前付
平田タイル ……18
フタバ黒板 …… 5
福屋工業kk …… 6
藤森建材kk ……前付
「プラスチックス・エージ」…本文
平和工業kk ……17
豊国セメント ……15
北陸軽金属工業 ……18
八幡エコンスチール ……前付
マ 水谷ペイントkk ……本文
kk 三高製作所……15
美素工業所…… 前付
kk 室谷商店…… 7
kk メルコン…… 6
森井電業kk …… 3
ヤ 山田工業kk …… 3
山宗化学kk ……10
kk ヤマト電気商会…… 4
八千代電設工業kk …… 5
kk 山本建材社……20
kk 油脂化工社…… 表3
kk 吉田芳雄商店…… 5
吉野石膏kk …… 7
kk 寄木商店……14
ラ 理研鋼機kk …… 3

特別広告 (順不同)

kk 竹中工務店…… 5
三機工業kk …… 6
東洋リノリュームkk …… 7
kk 西原衛生工業所…… 7
日軽アルミニウム工業kk …… 8
ナニワ工機kk …… 8
東洋オーチスエレベータkk … 9
kk 鈴木シャタア商会…… 9
日本パイプ製造kk …… 9
kk 大阪硝子店…… 9
明装興業kk …… 9
大阪三越…… 10
日本ドアーチエック製造kk …10
山武ハネウエル計器kk ……11
内外木材工業kk ……11
kk 矢橋大理石商店……11
富士精工kk ……12
kk 石渡康三郎塗装店……12

タムラ 最高の品質・新しい建築資材

金属建材



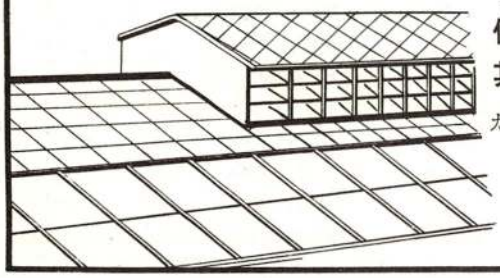
田材式メタルシーリング
田材式金属タイル
田材式ジョイナー
モリソン式ボードサッシュ
ノンスリップ・目地棒
コーナービード・パンチング

創業明治24年
貿易・木材・建材

田村商會 建材部

本店 神戸市生田区京町72（クレセントビル） 電話 代表神戸 ㊴ 0881
支店 東京都中央区八重洲一丁目一西河岸橋西詰 電話 東京(271) 6181・6182

岩元式 スカイライト 並 固定筒型 コンチニアス ベンチレーター



サッシュ、ドアー、シヤッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工

カタログ進呈



岩元工業株式会社

本社 大阪市東成区東今里町4の40
電話 ㊳ 0616・0617

寄木貼床板
フローリング
ブロック
ベニヤフラッシュドアー
グラインダー床削

施工請負
造作取付

株式会社 寄木商会

営業所 大阪市東区横堀6—49
電話 ㉕ 3731・3960
工場 大阪市浪速区勘助町1



アルミニウム
サッシ・ドアー
ステンレス
スチールシヤッター

東京鋼板工業株式会社

本社及工場　東京都荒川区尾久町5ノ1000
電話　(891) 8131～7
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地（聚嘻ビル3階）
電話　㊱ 9154～7
名古屋支店　名古屋市中区大池町24（丸菱ビル）㉔3048・4593
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル3階）　④8825

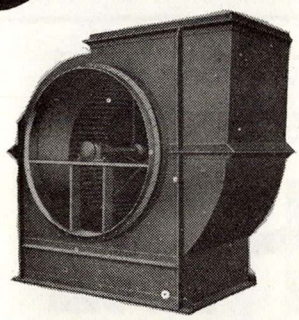
豊国セメント株式会社

本社　福岡県苅田町
事務所　小倉・大阪・東京

KANDAN

煖冷房温湿度調整

設計　施工



各種送排風機

設計　製作

関西煖房工業株式会社

本社　大阪市住吉区万代東6丁目3番地
電話　大阪　67－6751(代表)～4・1590
堺工場　堺市浜寺石津町中二丁目二四〇番地
電話　堺 ① 1213 ③ 1322
出張所　福岡　徳島

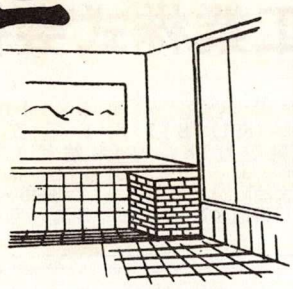
建築資材に 家庭用に

セメントに混合して
御使用下さい

発売元
耐酸化学工業株式会社
大阪市北区高垣町80
TEL. 大阪(36)0178・4161

セメントの性質が素晴しく良くなります

セメント強化混合剤
DOW CHEMICAL 製品
セメラン
見本説明書呈上
Cemelan



タイル・衛生陶器

株式會社

平田タイル

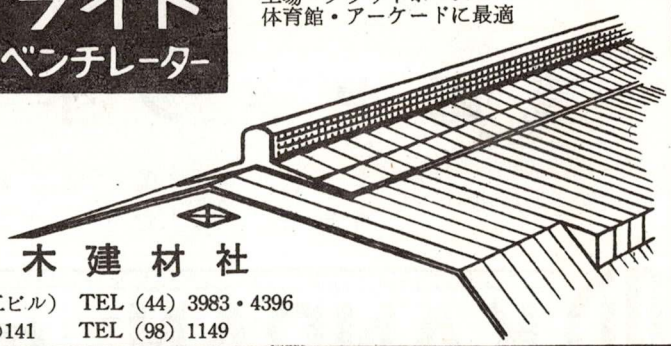
内外式 **スカイライト**

コンチニアスベンチレーター

建築基準法にフリーパスのガラス屋根

工場・プラットホーム・
体育館・アーケードに最適

ベンチレーター（筒型各種）
バーチカルベンチレーター（電動式）
波型硝子屋根完全葺
タービヤ舗装工事・設計施工



株式会社 **内外土木建材社**

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル） TEL（44）3983・4396
工場 大阪市城東区天王田町1の141 TEL（98）1149

DON'T DRILL IT DRIVE-IT JAPAN DRIVE-IT CO.

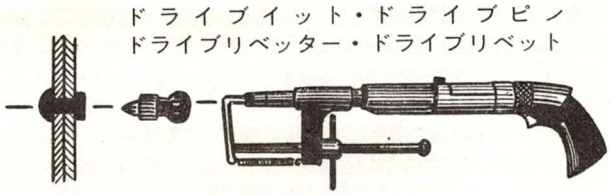
建設用鋲打銃ドライブイットが
軽量鉄骨業界に贈る新工法！

ドライブリベット工法

（PATENT. PEND）

御手持ちのドライブイット（三三〇型及四四〇型）にドライブリベット用アタッチメントを取付けるだけで電気も、ドリルも、コンプレッサーも使はずに薄鋼板金属板に、瞬間に、強固に経済的にリベット打ちが出来る特殊リベット法が完成致しました。

ドライブイット・ドライブピン
ドライブリベッター・ドライブリベット



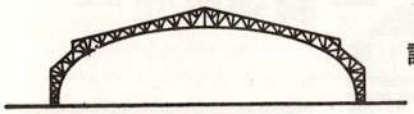
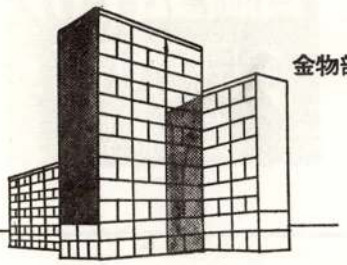
製造元

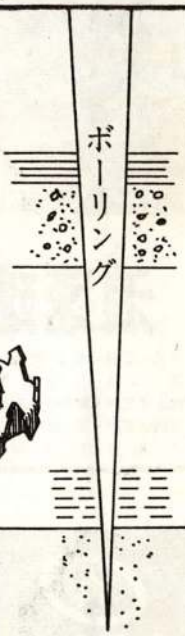
日本ドライブイット株式会社

東京・大阪・名古屋

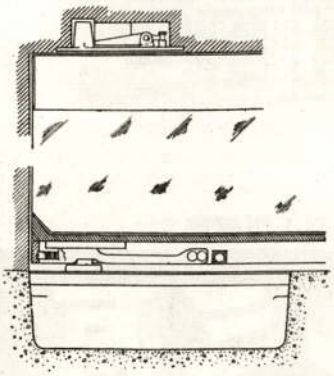
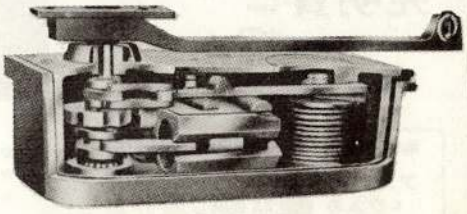
大阪市北区絹笠町11 TEL 34－6444
36－8709

三高式 サッシュ.ドアー.シヤッター
オペレーター
ドアーハンガー
TRADE MARK
M.T.K.S
株式会社 三高製作所
本社工場 大阪市東淀川区西中島町7－69
電 話 大 阪 37—1 7 5 4（代 表）

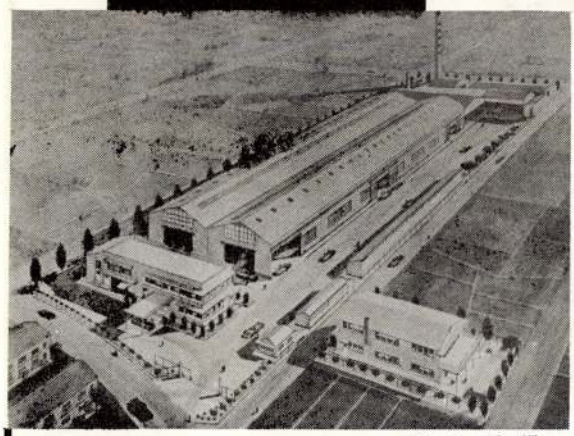
綜合建築設計への道

設計部 1.各種鉄骨・鉄筋コンクリート造建築の設計監理
2.ダイヤモンドトラス・ジグザグトラス・平行トラス等
各種大張間鉄骨造の設計監理

金物部 耐震耐風木材接合金具の製造販売
PAT.O式（織本式）ヂベル及クランプ

地質部 ボーリング・建築物基礎工事の為の土質調査


株式会社 織本建築事務所 所長 織本道三郎
（旧織本建築設計々算事務所・織本特殊構造研究所・合体）
東京都中央区日本橋かきがら町3の2 電話（671）6443・7007・7062

登録 NEWS 商標
ニュース印フロアーヒンヂ


営業品目
ニュース印 ドアーチェック
〃 フロアーヒンヂ
〃 ピボットヒンヂ
〃 ラバトリーヒンヂ
カタログ進呈
株式会社 日本ドアーチェック製作所
尼崎市金楽寺2丁目24番地・電話 大阪（48）5855・7273番

NK



第二工場

浪建式

アルミサッシュ・ドアー
スチールサッシュ・ドアー
シャッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
—製造販売—

NANIWA
大正十四年創業

日満ゴムタイル
全国總代理店
責任施工

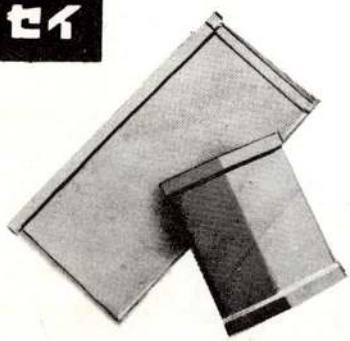
浪速建材工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地　電話 大阪㊸1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地　電話大阪㊸6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館 607号室　電話　東京(541)4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地(サンビル内)電話　福岡　④　8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地電話　大分　1366番

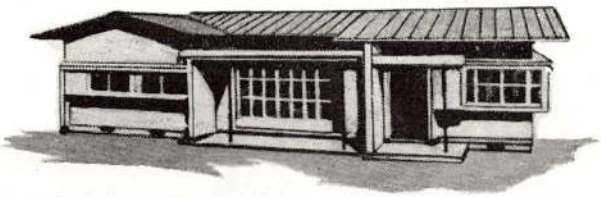
ホクセイ

アルミニウムの新しい瓦！

よい住心地をお約束……



MBV表面処理



—設計施工は施工明細書で—

発明賞に
輝く……

特許 アルミ瓦

—特　徴—

☆近代建築にマッチした美しい銀白色
☆軽くてさびず塗装不要の理想的屋根材
☆緩勾配で完全な防風水特許
☆熱反射高く夏は涼しく冬は暖かい
☆不燃・耐震性で防火・密集地区にも最適

北陸軽金属工業株式会社
本　社　富山県高岡市金屋町168　電話（代）2045
東京出張所　東京都中央区築地4の4（築地会館6階）
電話（541）4005～7・夜間専用（622）9885

建物内外装用に……
アルミニウムの ホクセイ 角波板
—色種— 金,銀,赤,青緑,青,黒,ブロンズ

※長尺,規格板,その他アルミ建材も販売致しております。



塗りつける

織物壁

★化学繊維の特長を生かした高級化粧壁材！

パピロン壁

（カタログのお申込みは全国有名建材店へ）

★純和壁の最高級……

日本壁

★日本座敷に優美な……

錦上壁

★近代文化建築の塗壁材……

いすゞ壁

株式会社 新興建材工業所

本　　社　大阪市西区四ッ橋　TEL（54）5756～9番
九州出張所　福岡市西唐人町1番地　TEL福岡(4)4651番

COPPER-BOSUITAI TRADE MARK OAM

● 黄綬褒章受賞

陸屋根防水には

特許 絶縁工法を

カッパー防水帯

コーパータイト

特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8の3
TEL　銀座（571）2703～4・2370・4064・0264

● 御申越次第カタログ進呈

新建材

- アルマイト吸音板
- スギメラス
- 木毛セメント特殊板

防火材

- メラミン樹脂製品
- ボード特殊合板
- プラスチック製品

化粧板

- スロール天井板
- 吸音ボード
- スロール断熱板

吸音断熱

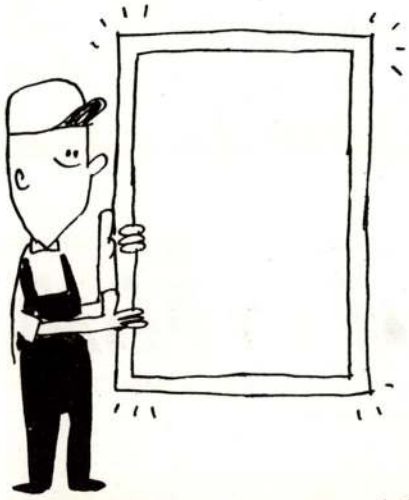


ロック綿 ちもと
生きる近代建築に
魂ある文化材

モデルハウス展示
すまいの開発店
西区立売堀2電(53)2843

30メーカー代理店

大阪・四ツ橋
株式会社 山東建材社
TEL (54) 1861～5・2131・2233



近代建築に....
大建の
アルミサッシ
住友軽金属工業株式会社と提携

■錆びないスチールサッシは
オートメーション焼付塗装ラインに依る
大建の 2重焼付塗装で
■部材で1回、成品で1回

建
大阪建材工業株式会社
営業所 大阪市南区九郎右衛門町21番地 TEL 大阪 ㉕ 0836～9
本社工場 堺市松屋町1丁目6番地 TEL 堺 ② 3323～7
出張所 名古屋 TEL 名古屋 ⑨ 4884 金沢TEL金沢 ③ 3427～8

日本建鉄の

PS型レディメードサッシ

アルミサッシドア

日本建鉄株式会社

本　　社　東京都千代田区大手町2～8　TEL東京（201）0341（代）
大阪営業所　大阪市北区堂島上2～39　TEL大阪（36）6758（代）

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝塚（079）2153
大阪連絡所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話 ㊹ 2626（直通）
出張所電話　東京（431）0874・名古屋 ㉜ 1331
ウォータイト式防水工事代行店電話　大三工業高松②8697 安藤工事　仙台③0721・札幌⑤7171　福岡③5765　豊永建材　広島④3567

仕様書型録贈呈

紫綬褒章に輝く

責任・施工・請負

JIS合格モルタルコンクリート用

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

株式会社 油脂化工社

取締役社長　矢中龍次郎

本　社 東京都品川区二葉町1－441　電話東京（781）1715
大阪営業所 大阪市東成区西今里町2－48 電話 ㊼ 4765・0063

防火シャッター

甲種
乙種

☆電動式
☆手動式
☆バランス
☆パイプ

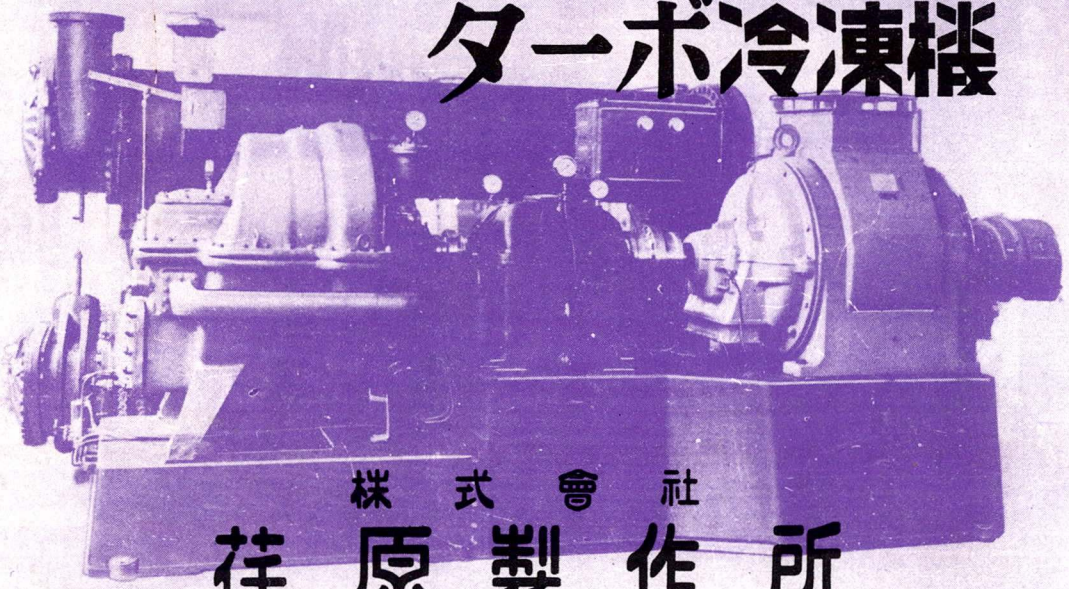
株式會社 日本シャッター製作所

本社工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地
電話（大阪）㊲代8565～8番
工場　東京　福岡　支店営業所　名古屋　高松　岡山　高知
代行販売店　全国主要都市ニアリ

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可

昭和三十五年十月二十日印刷
昭和三十五年十月廿五日発行
（毎月廿五日発行）

エハラ・ポンプ
ターボ冷凍機



株式會社
荏原製作所

明るい床材
三星プラスタイル
（3.2耗厚）

三星アスファルトタイル
（3.2耗厚）
三星Pタイル
（2耗厚）
三星マチスタイル
（3.2耗厚）
三星ソフトタイル
（3.2耗厚）

★　各製品毎のカタログ見本御請求下さい

三星ルーフィングの
田島応用化工株式会社
東京・東京都足立区小台町633　TEL 東京（911）代表 1181
大阪・大阪市西区京町堀上通1～14　TEL 大阪（44）代表 5951

売価　一部　金百八十円（送料共）

御入会の御申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3—37　電話北浜 ㉓ 9648・9649・9640
振替口座大阪 39975番